

第三百十五 冷却器

細管式ニシテ機關ノ前部兩側ニ各一箇ヲ取附ケ水管ニ依リテ連結ス其ノ構造一般自動車ニ同ジ

第三百十六 風車裝置

風車裝置ハ機關前部兩側ノ冷却器内方ニ位置シ風車驅動軸及風車ヨリ成ル

風車ノ驅動ハ齒車式ニシテ左ノ順序ニテ逐次驅動ス

「クランク」軸(風車驅動主齒車)→風車驅動副齒車(驅動軸短及主

傘齒車)→風車驅動副傘齒車(驅動軸長)→風車

風車取附部ニハ特ニ摩擦板ニ依ル制衝裝置ヲ附ス(第二百七圖)

第四款 始動裝置

第三百十七 起動電動機ニ依リ行ヒ補助トシテ豫熱裝置、減壓裝置

及起動「ハンドル」ヲ備フ

第三百十八 起動電動機

二四「ボルト」六馬力電磁型直巻直流電動機ニシテ略、九四式六輪自動貨車用ト同一構造ナルモ電機子軸ノ前方ニ「クラッチ」ヲ挿入シアリ

「クラッチ」ハ起動摩擦板、受動摩擦板、調整板、均壓板、制衝ばね等ヨリ成リ之等ヲ内筒及外筒内ニ收容ス電機子前進シ小齒車及はずみ車齒車ノ嚙合ヘルト同時ニ内筒前部ハ前蓋ニ接ス而シテ小齒車及内筒ニハ回轉方向ニ「スプライン」ヲ刻ミアルヲ以テ電機子ノ回轉ニ依リ内筒ハ起動摩擦板及受動摩擦板ヲ壓シ始メテ電機子ヨリ小齒車ヘ動力傳ハリ發動機ヲ起動ス

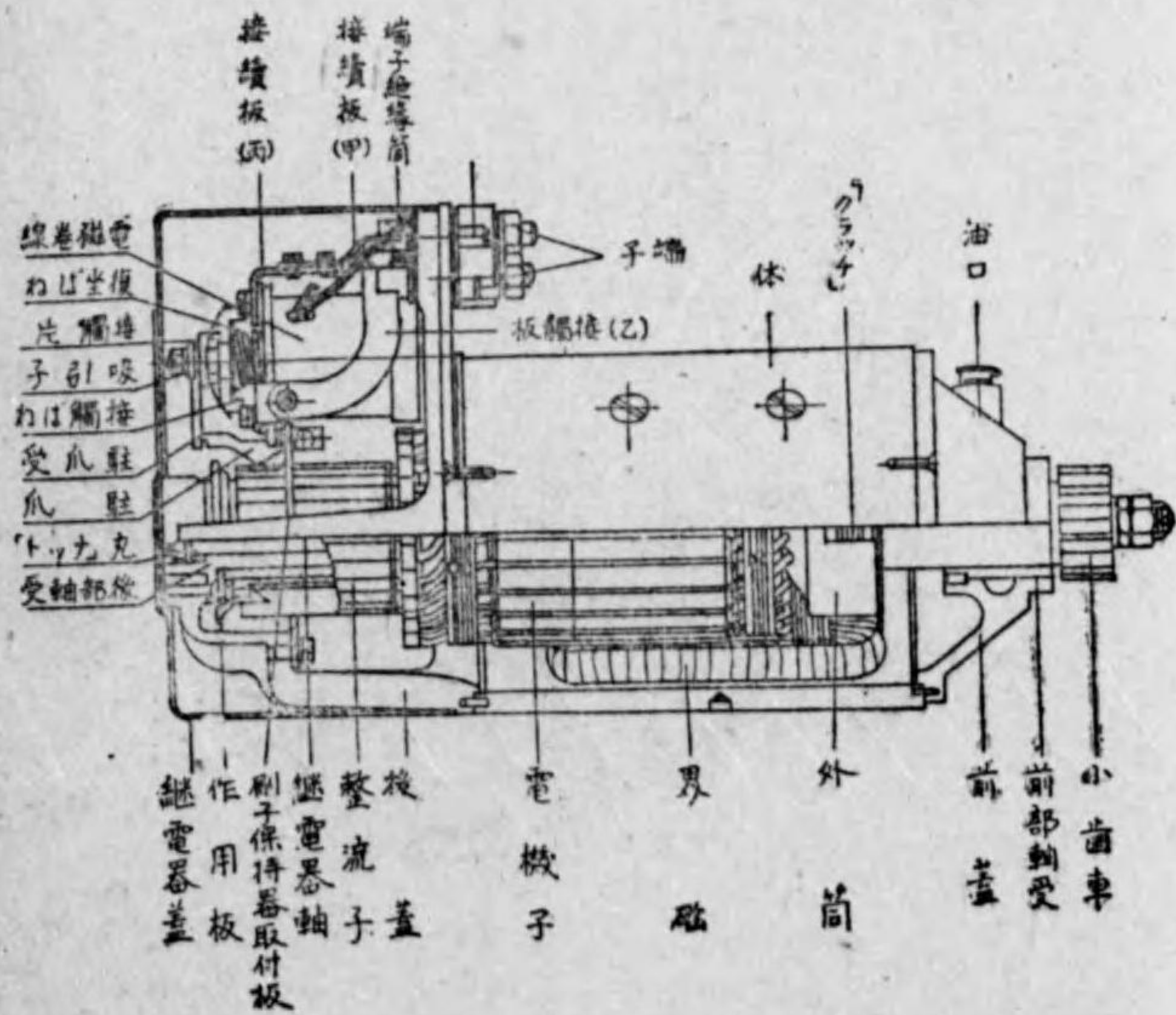
第百八圖

此ノ場合發動機重ク「クランク」軸ヲ回轉シ能ハズシテ内筒ノ摩擦板ヲ壓スル力程度以上トナルトキ小齒車ハ内側ニ在ルバねヲ壓シテ制衝ばねニ作動シ摩擦板ヲ遊離セシム

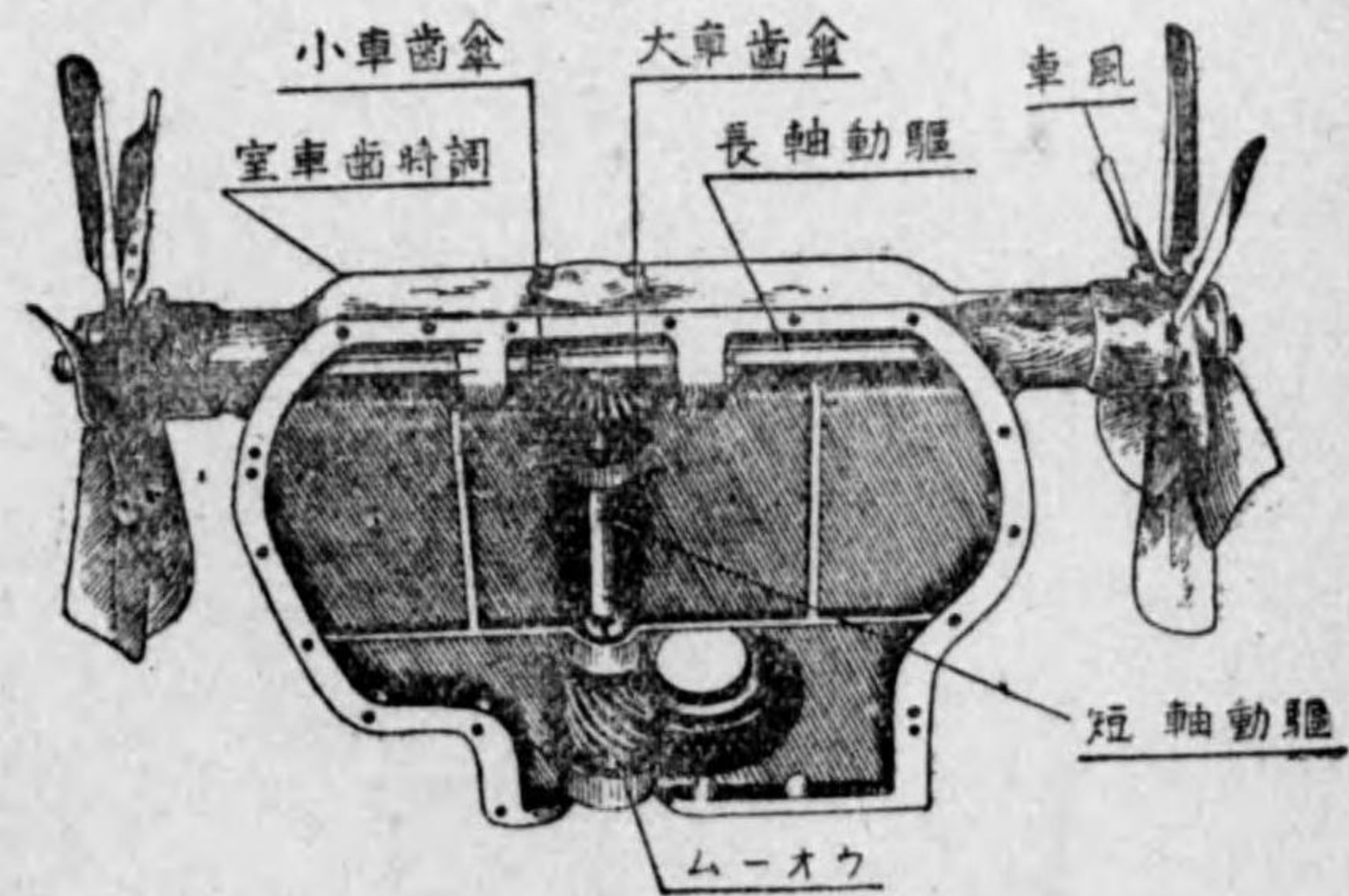
第三百十九 豫熱裝置

豫熱裝置ハ發動機起動ニ先立チテ電熱ニ依リ豫メ豫熱室内ト加熱室内ヲ加熱シ起動ヲ容易ナラシムルモノニシテ豫熱栓、豫熱栓抵抗器、同標示灯等ヨリ成ル

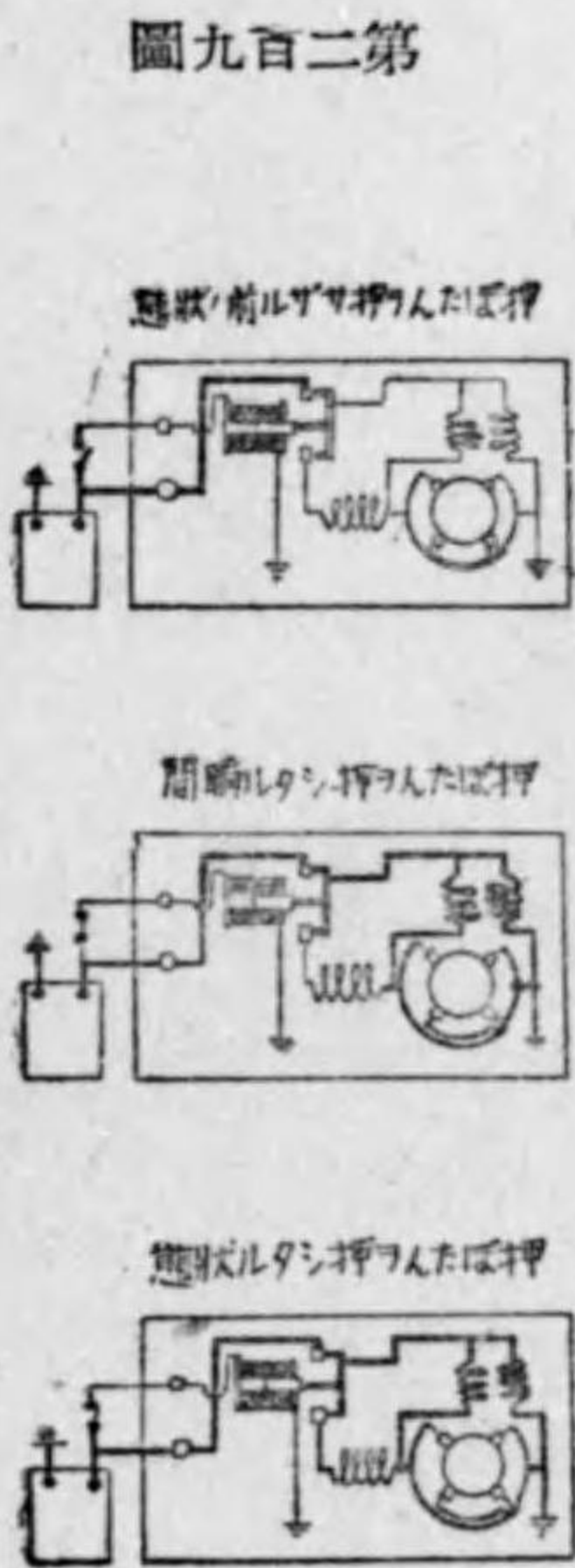
構造機能並ニ取扱 九八式六輪牽引車



第百七圖



- 一 豫熱栓ハ豫熱燒室ニ取附ケラレ電流ヲ通ズルコトニ依リ電熱線赤熱シ豫熱燒室ノ加熱ヲナス而シテ之ガ所要電流ハ一箇ニ付二「ボルト」三七「アンペア」ニシテ六箇直列ニ接続シ回路中ニ標示灯及抵抗器ヲ入レ六箇ノ豫熱栓ニ一二「ボルト」ノ電流ヲ通ズ
 - 豫熱栓ハ銅板ニ依リテ接続ス此ノ場合ノ短絡ヲ防止スル爲絶縁體ヲ挿入シアリ
 - 二 豫熱栓抵抗器ハ豫熱栓ニ過大電流ノ流ルルヲ制御スルモノニシテ三箇ノ端子ヲ備ヘ一箇ハ起動時ニ於テ豫熱栓ニ通ズル電流ヲ短絡セシムルモノトス
 - 三 豫熱標示灯ハ豫熱栓ト共ニ赤熱サルルモノニシテ前部計器板ニ裝著ス
- 若シ標示灯ニ故障ナクシテ電流ヲ通ズルモ赤熱セザルトキハ豫熱栓ノ燒損セルカ途中ノ配線不良トナリアリテ豫熱セザルヲ示スモノナリ(第二百九圖)



圖九百二第

第三百二十 減壓裝置

本發動機ノ如ク大馬力ノモノハ起動ニ當リ大ナル回轉力ヲ必要トス

之ガ爲「シリンダ」内ノ減壓ヲナシ其ノ起動ヲ容易ナラシムルモノニシテ減壓てこヲ廻シテ減壓姿勢トナス時ハ減壓てこハてこ軸ヲ介シテ減壓軸ニ作用スルヲ以テ減壓軸ノ「カム」ハ各「シリンダ」ノ吸氣用弁てこヲ介シテ吸氣弁ヲ壓下シ「シリンダ」内ノ減壓ヲナスモノトス(第二百十圖)

第三百二十一 起動「ハンドル」

普通自動車ノ起動「ハンドル」ト略、同様ナルモ本車ニ在リテハ之ヲ用ヒテ起動ヲナスヲ目的トセズ「クランク」軸ヲ廻シテ發動機ノ點檢調整ヲナスニ使用スルモノトス

第三百二十二 起動閉閉器

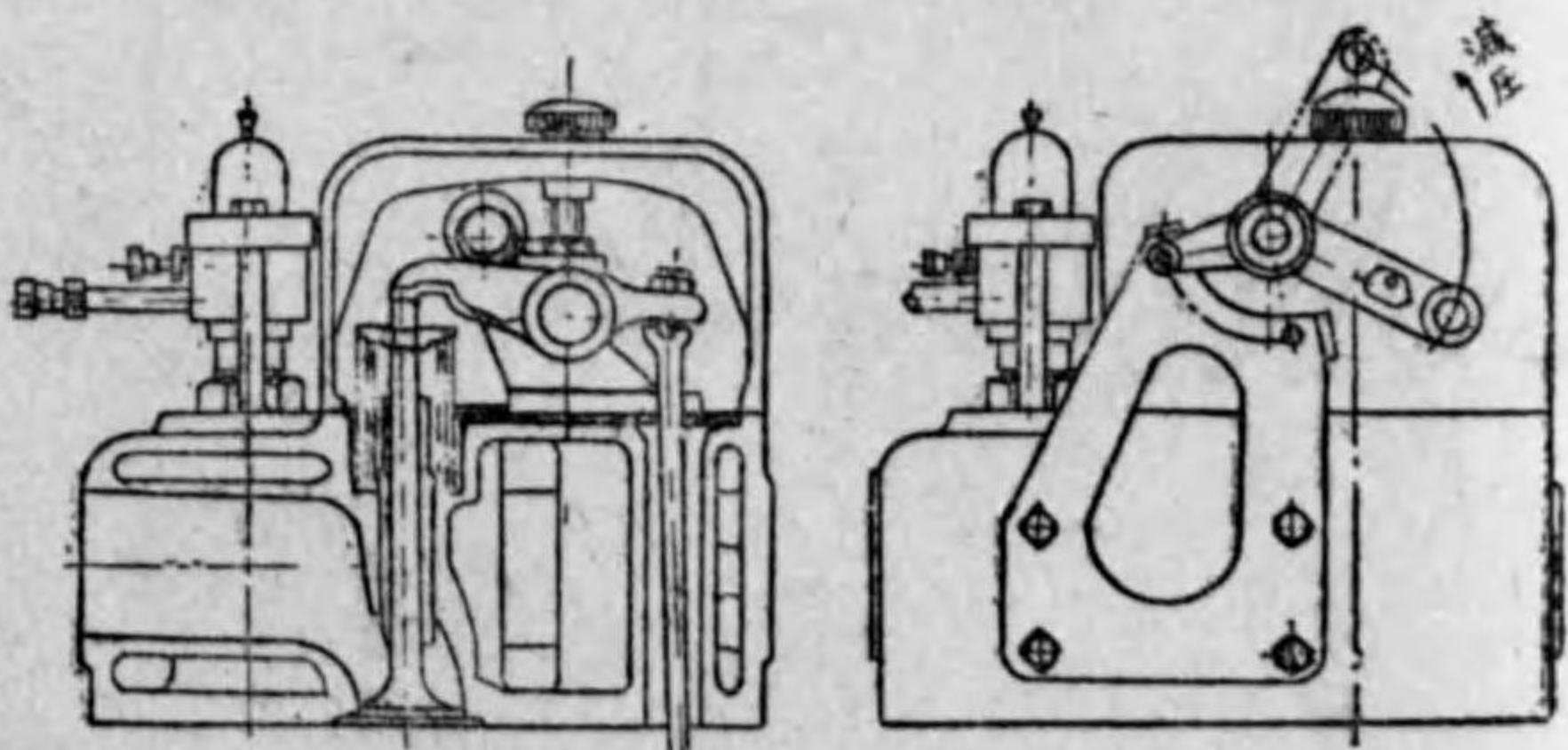
電路閉閉器ハ「キー」ニ依リ左ノ如ク接続シ豫熱及起動ヲ爲スモノニシテ前部隔板ニ裝著ス

- 一 「キー」ヲ①ノ位置トナストキハ蓄電池ヨリノ電流ハ蓄電池閉閉器ヲ經テ
- ②及「キー」ヲ通り標示灯↓抵抗器③↓豫熱栓↓車體地絡ノ回路ヲ成シ電熱線ヲ赤熱ス

- 二 「キー」ヲ②ニ移ストキハ蓄電池ヨリノ電流ハ蓄電池閉閉器ヲ經テ
- ④及「キー」ヲ通りテ後一ハ抵抗器ノ途中⑤ニ入り(標示灯ハ抵抗大ナル爲通ラズ)豫熱栓↓車體地絡ノ回路ヲ成シ一ハ起動電動機⑥ニ至リ副界磁卷線ニ入りテ電機子ニ回轉ヲ與ヘ小齒車ヲはずみ車齒車ニ啞合ハシ次デはずみ車ヲ回轉セシメ發動機ヲ起動ス

構造機能並ニ取扱 九八式六兩牽引車

圖十百二第



第五款 吸氣裝置

第三百二十三 吸氣裝置ハ清淨ナル外氣ヲ「シリンダ」内ニ吸入スル裝置ニシテ吸氣多岐管、空氣清淨器接續管ヨリ成ル

第六款 排氣裝置

第三百二十四 排氣裝置ハ「シリンダ」内ノ燃焼「ガス」ヲ外部ニ排出スル裝置ニシテ排氣多岐管及排氣管、消音器及排出管ヨリ成ル

第七款 燃料裝置

第三百二十五 燃料裝置ハ「ポンプ」供給式ニシテ燃料槽、燃料給油管及切替「コック」、燃料供給「ポンプ」、燃料濾過器ヨリ成ル

第三百二十六 燃料槽ハ銅板第一種製ニシテ内部ヲ錫めつきシ主燃料槽及第一、第二副燃料槽ヨリ成ル
上部ニ補給口及換氣口ヲ又主燃料槽ハ後面ニ、副燃料槽ハ何レモ前面ニ吸入管ヲ取附ク
主燃料槽ハ助手席下ニ、第一副燃料ハ中央右方座席下ニ又第二副燃料槽ハ中央左方座席下ニ「フェルト」板ヲ挟ミ緊定帶ニ依リ車框ニ取附ク

第三百二十七 燃料給油管ハ銅第二種製管ニシテ左ノ各種ヨリ成ル(第二百十一圖)

主 燃 料 槽	第一切替「コック」		
第一副燃料槽	第二切替「コック」	内 徑	一・二・六耗
第二副燃料槽	第二切替「コック」	外 徑	一・五・〇耗
第一切替「コック」	第二切替「コック」		
第一切替「コック」	接 續 ね じ		
接 續 ね じ	燃料供給「ポンプ」		
燃料供給「ポンプ」	燃料濾過器	内 徑	一〇・〇耗
燃料濾過器	燃料噴射「ポンプ」	外 徑	一二・〇耗

第三百二十八 切替「コック」ハ所謂三方「コック」ニシテ第一及第二切替「コック」ヨリ成ル

第一切替「コック」ハ第二副燃料槽ノ前方ニ在リテ主燃料槽ト副燃料槽トヨリ來ル燃料ノ通路ヲ「ハンドル」ノ操作ニ依リ切替ヲナスモノトス
第二切替「コック」ハ第一副燃料槽ノ前方ニ在リテ第一及第二副燃料槽ヨリ來ル燃料ノ通路ヲ「ハンドル」ノ操作ニ依リ切替ヲナスモノトス
各「コック」ニハ左ノ標示板ヲ附ス

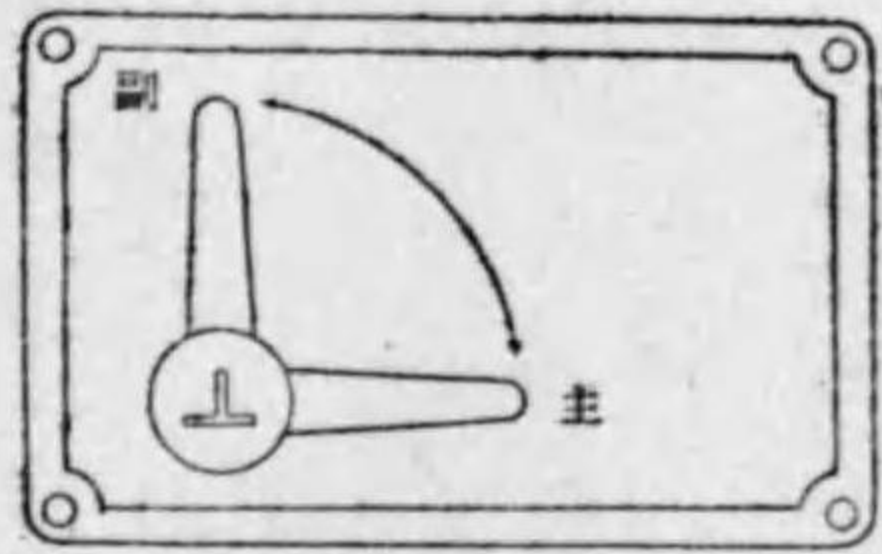
第三百二十九 燃料供給「ポンプ」

一 構造

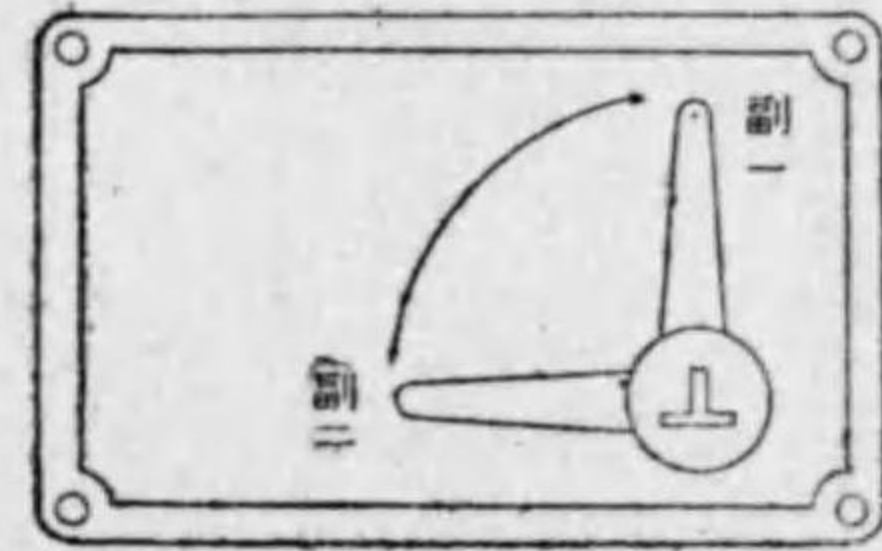
燃料供給「ポンプ」ハ第二百十二圖ノ如クシテ噴射「ポンプ」ノ側面ニ取附ケラル

構造機能並ニ取扱 九八式六筒牽引車

第 二 百 一 十 一 圖

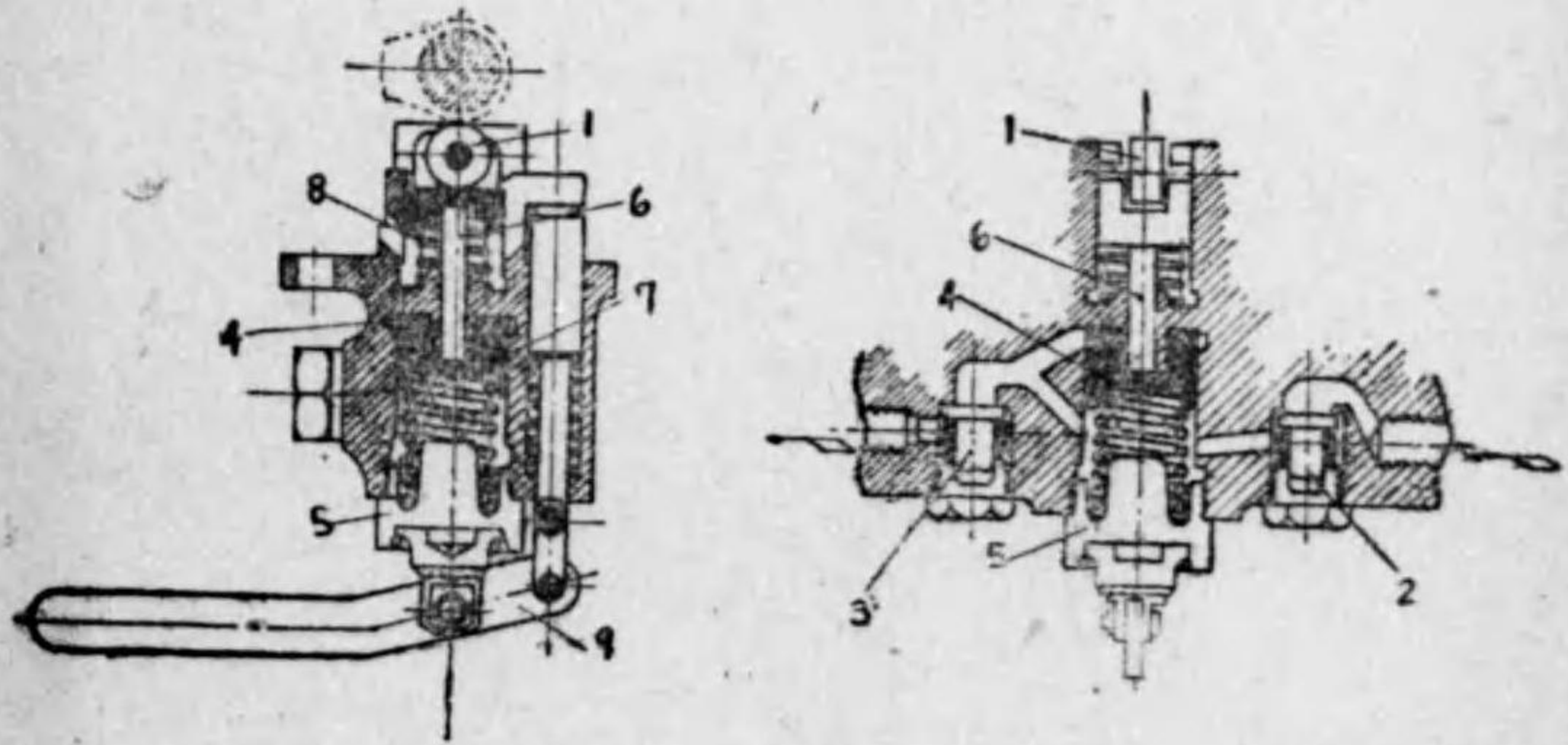


第一切替「コック」用



第二切替「コック」用

第 二 百 二 十 二 圖



一八二

二 作 用

先づころが噴射「ポンプ」カム「軸」ノ驅動ヲ受ケテころばね(8)及「ピストン」ばね(6)ノ伸張力ニ抗シテ「ピストン」(4)ヲ押壓ス

此ノ際燃料槽ヨリ來レル燃料ハ吸入弁(2)ヲ壓シテ「ポンプ」内ニ入ル「カム」ノ作用止ムヤ「ピストン」及推桿ハ夫々ばねノ伸張力ニ依リテ復歸ス而シテ「ポンプ」内ニ入リアリタル燃料ハ吐出弁(3)ヲ壓シ燃料濾過器ヲ經テ逐次噴射「ポンプ」内ニ入リアリタル燃料ハ吐出弁(3)ヲ壓シ燃料濾過器ヲ經テ逐次噴射「ポンプ」内ニ入リアリタル燃料ハ吐出弁(3)ヲ壓シ燃料濾過器ヲ經テ逐次噴射「ポンプ」ニ供給サル又機關ノ負荷少ニシテ燃料ノ消費量少ク供給量多キニ過グルトキ燃料ハ吐出口ヨリ分歧シ「ピストン」ノ背面ニ背壓ヲ加ヘテ「ピストン」ノ動作ヲ中止セシメ以テ自動的ニ供給量ヲ調節ス
手動て(9)ハ豫メ燃料系統内ニ燃料ヲ充滿セシムルモノニシテてこの末端ハ推桿ニ作用シアリテてこの操作ニ依リ前條ノ如ク「ピストン」ヲ作動セシム

第 三 百 三 十 燃 料 濾 過 器

滑油濾過ト一體ニ製作シ壁ニ依リ各々ノ室ニ區分シアリテ其ノ構造滑油濾過器ニ同ジ

第 八 款 燃 料 噴 射 裝 置

第 三 百 三 十 一 本 裝 置 ハ「シリンダ」内ノ壓縮サレタル高温空氣中ニ燃料ヲ噴射スベキ裝置ニシテ燃料噴射「ポンプ」同噴射弁、燃料噴射管及燃料濾過管ヨリ成リ噴射「ポンプ」及同弁ハ「ボツシユ」製ヲ使用ス何レモ九七式輕裝甲車ニ準ズ

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

一八三

第九款 照明装置

第三百三十二 照明装置ハ發電機、蓄電機、電路開閉器、電灯、電流計、電線及「ヒューズ」匣等ヨリ成ル

第三百三十三 充電發電機

發動機左側ニ裝著セラレ九四式六輪自動貨車ト略、同一ナリ(第二百十三圖)

第三百三十四 蓄電池

一二「ボルト」一八〇「アンペア」時耐震型ニシテ二箇ヲ直列ニ接続シ車體前方蓄電池室ニ收ム

第三百三十五 電路開閉器

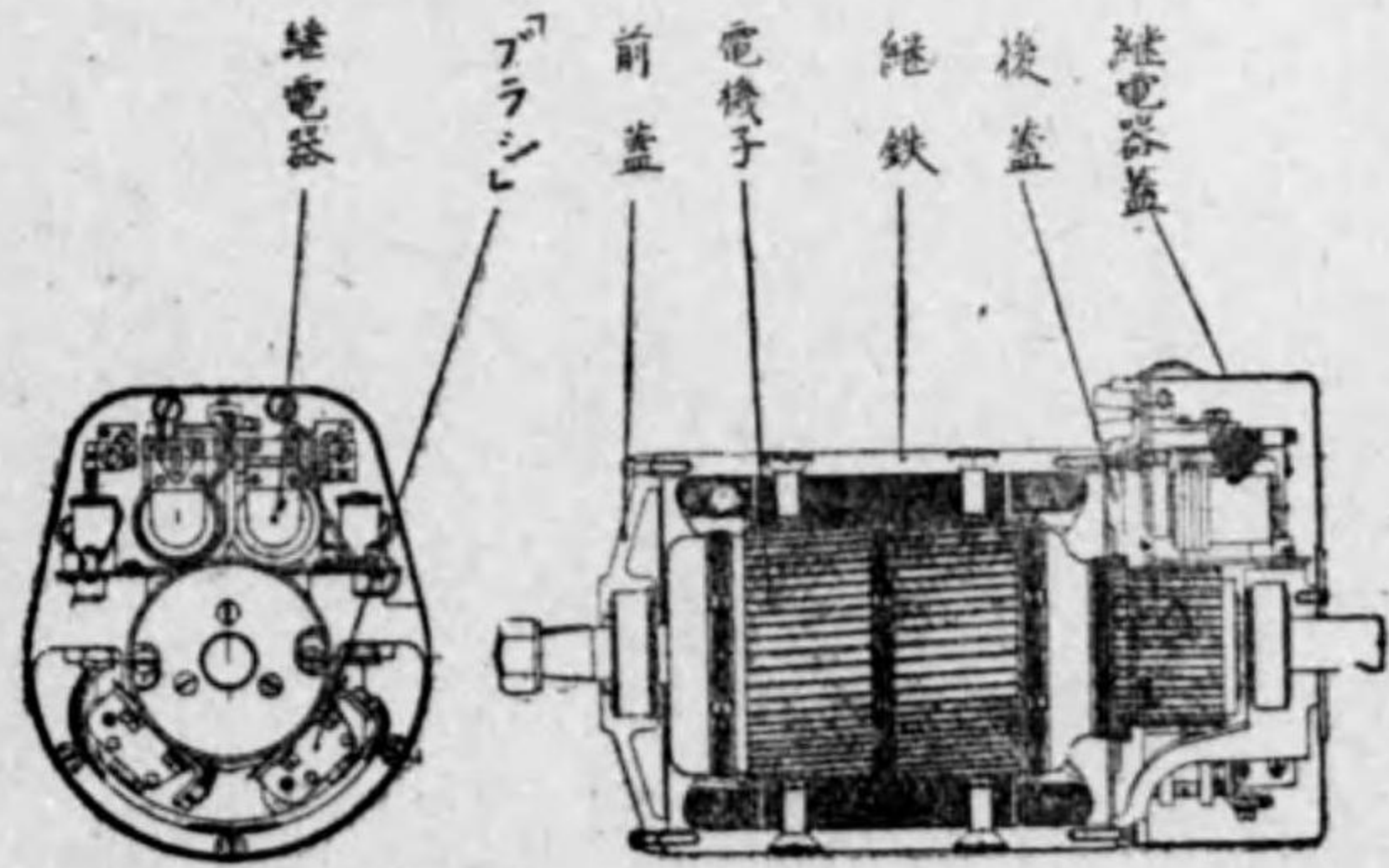
電路開閉器ハ前部計器板ニ取付ケ「キー」ニ依リテ電灯風除「ガラス」拭淨器及警報器等ノ回路ヲ完結ス

但シ信號灯風除「ガラス」拭淨器及警報ニハ更ニ開閉器ヲ有ス

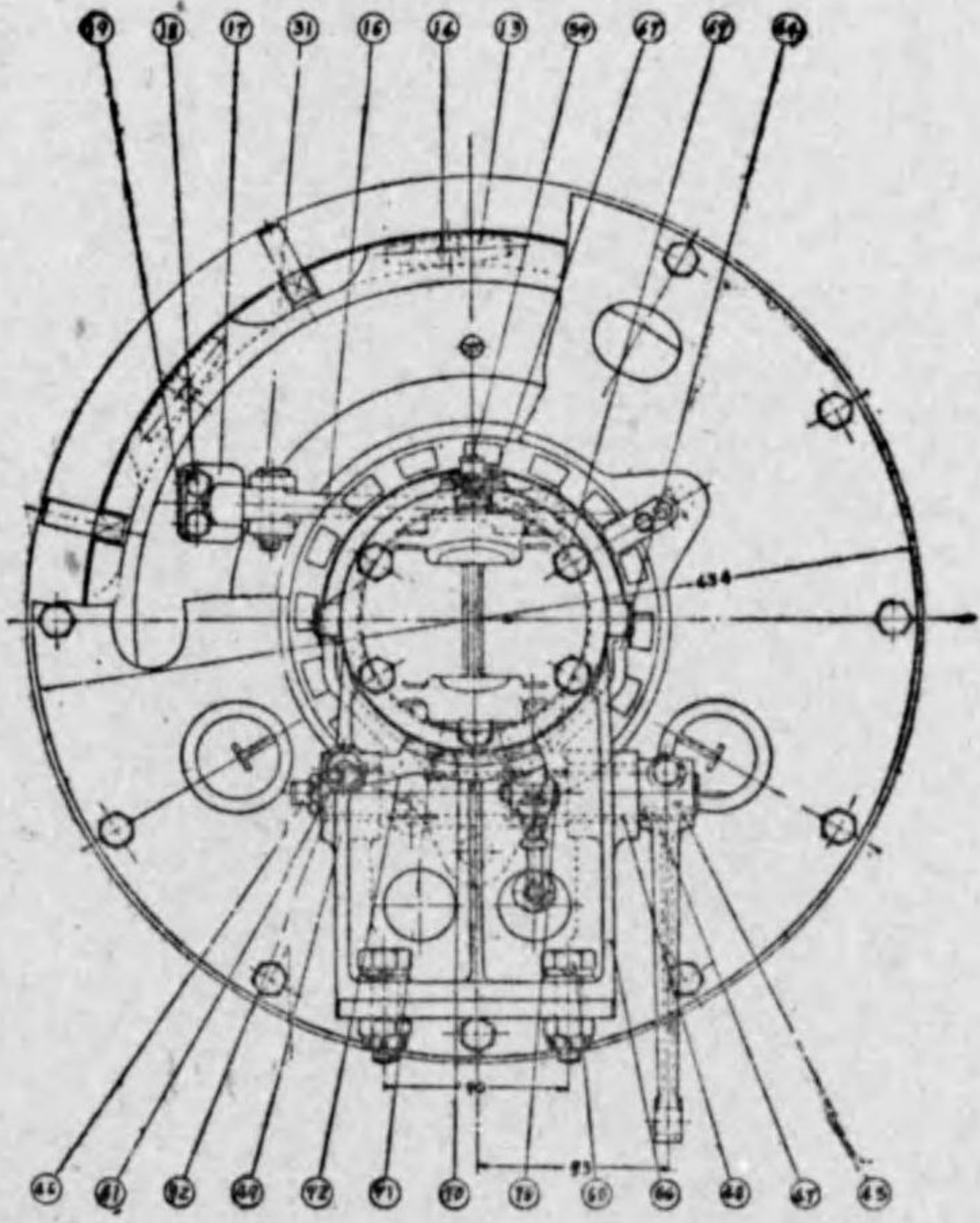
第三百三十六 電灯

前照灯、信號灯、計器板灯及點檢灯ヨリ成ル

圖三十百二第



圖四十百二第



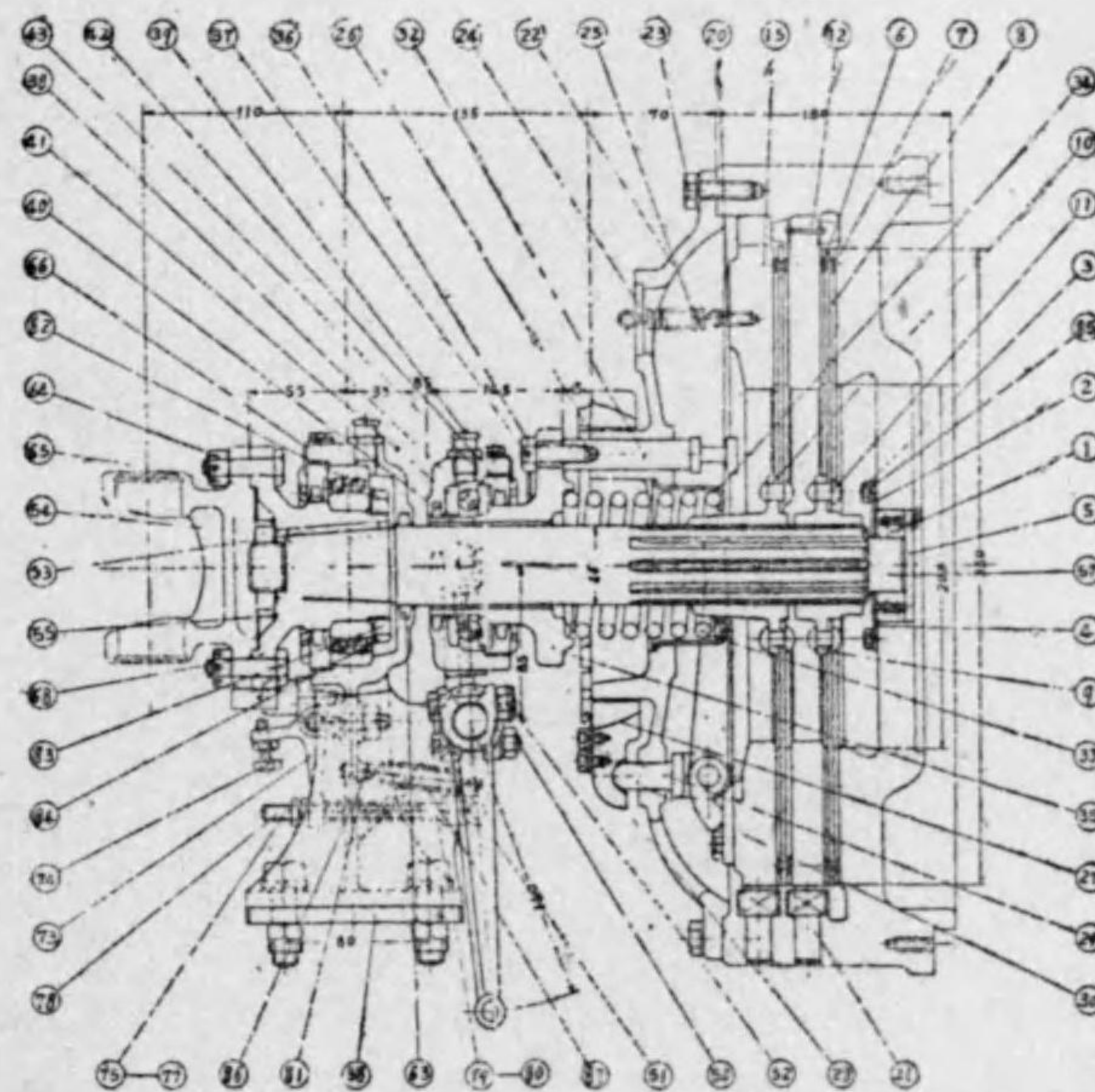
番號	名 稱	番號	名 稱	番號	名 稱
1	球 軸 受	10	摩擦板「ボス」(大)	19	てこ座板ボルト止線
2	球軸受蓋板	11	摩擦板 鋸	20	ばね受ねじ
3	球軸受蓋板「ボルト」	12	摩擦板(受動用)(小)	21	摩擦板傳動栓
4	球軸受蓋板「パッキン」	13	板 ばね	23	「クラッチ」室
5	球軸受座板	14	板 ばね 鋸	23	「クラッチ」室「ボルト」
6	摩擦板(傳動用)	15	摩擦板(受動用)(大)	24	ばね受
7	表張綫鋸	16	て こ	25	ばね
8	摩擦板「ライニング」	17	てこ座板	26	駐止環
9	摩擦板「ボス」(小)	18	てこ座板「ボルト」	27	てこ受座環

第三百三十七 「クラッチ」ハ乾燥多板式ニシテハすみ車内ニ取附ケラル其ノ構造ハ第二百十四、二百十五圖ノ如シ
 通常ノ聯動シアル場合ハばね壓ニ依リ斷續筒ハ壓セラレ誘導軸及クラッチ」てこ長部ヲモ共ニ後退セシメアリ
 構造機能並ニ取扱 九八式六軸牽引車

第二節 傳動裝置
 第一款 主「クラッチ」

番號	名	稱	番號	名	稱
55	接 手 駐 座 板		72	推進軸「ブレーキ」板	
56	軸 受 臺		73	推進軸「ブレーキ」てこ	
57	軸		44	推進軸「ブレーキ」 「ボルト」	
58	軸 受 臺 座 板		75	「ブレーキ」てこ	
59	軸 受 臺 油 口		76	二又接手頭付「ピン」	
60	軸受臺「ボルト」		77	「ナ ッ ト」	
61	「テ ー バ ー ピ ン」		78	推進軸「ブレーキ」速 桿	
62	球 軸 受		79	二 又 接 手	
63	軸 受 臺 「バ ッ キ ン」		80	二又接手頭付「ピン」	
64	軸 受 蓋		81	「ブレーキ」速桿ばね	
65	軸 受 蓋 「バ ッ キ ン」		82	「ブレーキ」板 軸	
66	駐 板		83	接 手 緊 定 ね じ	
67	駐 板 「ボ ル ト」		84	駐 座 板	
68	接 手		85	止 線	
69	接 手 「ボ ル ト」		86	ば ね 受 ね じ	
70	推 進 軸 「ブ レ ー キ」		87	ば ね	
71	推 進 軸 「ブ レ ー キ」皿 鉄				

圖 五 十 百 二 第



番號	名	稱	番號	名	稱	番號	名	稱
28	締 定 板		37	誘導筒「ボルト」止線		46	斷續轉又軸油口	
29	締定板「ボルト」		38	斷 續 筒		47	斷續轉又軸「キ	
30	て こ 受		39	斷 續 筒 油 口		48	斷續轉又軸軸筒(大)	
31	二又接手頭付「ピン」		40	斷 續 筒 「バ ッ キ ン」		49	斷續轉又軸軸筒(小)	
32	斷 續 筒 案 內 軸		41	斷 續 筒 縱 球 軸 受		50	斷 續 轉 又 ボ ル ト	
33	「クラッチ」ばね		42	斷 續 筒 緊 定 ね じ		51	斷 續 曳 臂	
34	「クラッチ」ばね受		43	緊 締 ね じ 「バ ッ キ ン」		52	斷 續 曳 臂 「ボ ル ト」	
35	誘 導 筒		44	斷 續 轉 又		53	「キ	
36	誘導筒「ボルト」		45	斷 續 轉 又 軸		54	接 手 「ナ ッ ト」	

從ツテ「クラッチ」てこの短部ハ座ヲ介シテ壓板大ヲ壓シ引張ばね、板ばね等ニ抗シテ各壓板摩擦板ヲ一體トシはず
 み車内面ニ壓着シ聯動スルモノトス
 「クラッチペダル」ヲ壓下シ聯動ヲ斷テタル場合ハ曳臂後退シ轉又ハ斷續筒ト共ニばねヲ壓シテ前進ス
 然ルトキ誘導軸及「クラッチ」てこの長部前進シ短部ハ壓板ヘノ壓力ヲ緩ム
 斯クシテ壓板小ノ兩側ニ有スル板ばねト壓板大ニ有スル引張ばね作用シテ壓板摩擦板ハ各、引離サレ聯動ヲ斷ツモ
 ノトス

第二款 推進軸

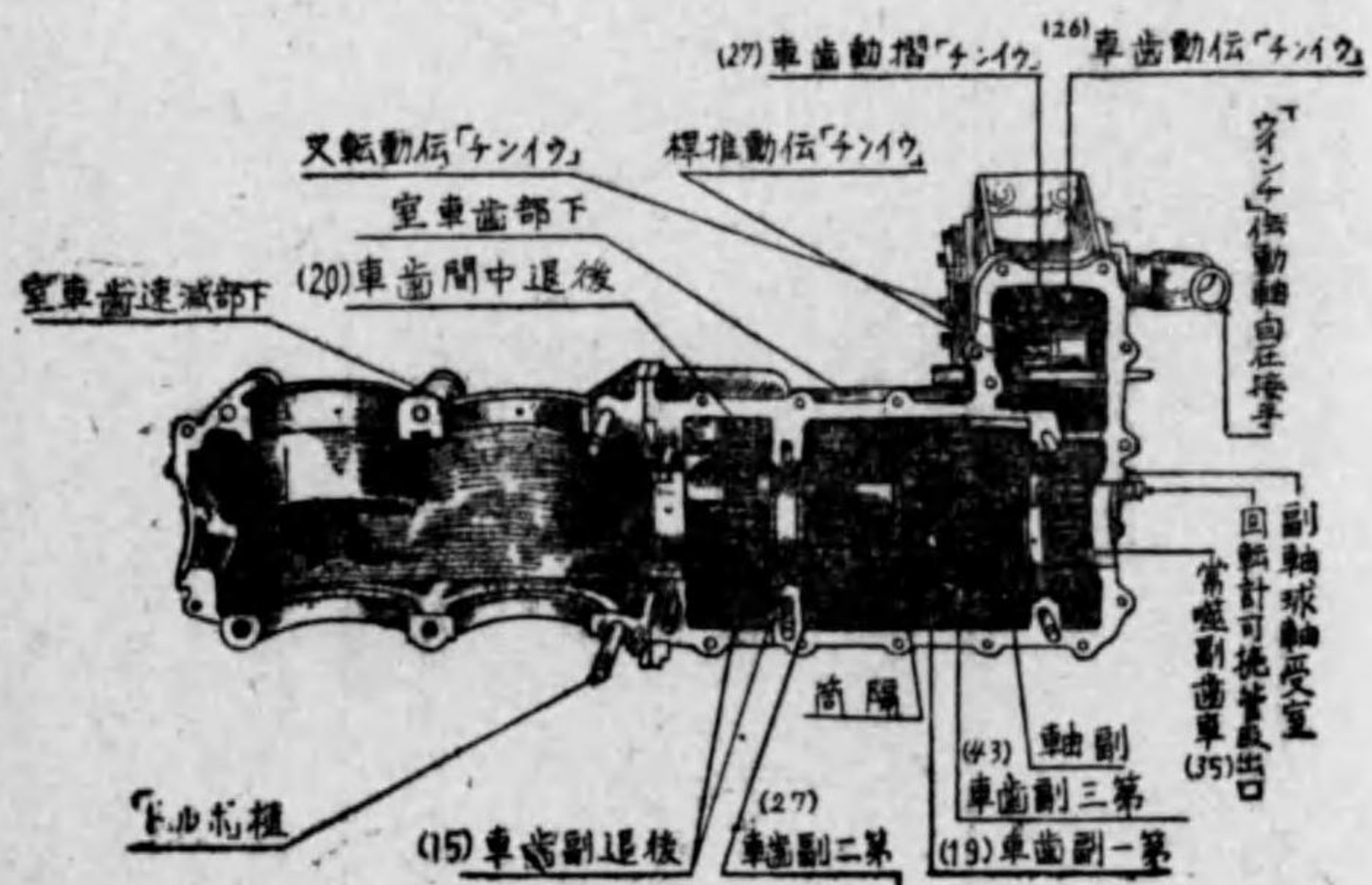
第三百三十八 推進軸ハ主「クラッチ」ヨリ變速機ニ動力ヲ傳達スルモノニシテ軸及十字型齒在接手ヨリ成ル

第三款 變速機

第三百三十九 變速機ハ選擇齒車式ニシテ前進四段後退一段ニシテ變速機本來ノ任務ニ用フルノ他「ウインチ」ノ驅動
 ニモ使用セラル

「ウインチ」ノ驅動裝置ハ「ウインチ」摺動齒車、同軸「ウインチ」傳動齒車、同軸、轉又及推桿ヨリ成ル(第二百十六圖)
 各速度ニ應ズル動力傳達順序左ノ如シ

圖六十百二第



構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

「ウイン チ」驅動	後退	進				速度變速てこ及傳動てこ位置	齒車運動方向	動力傳達順序
		4	3	2	1			
變速てこ中立傳動てこ後 方ニ引ク	後退用握リヲ引上ゲ左前	右	右	中	中	齒車運動方向	動力傳達順序	
	後退主齒車後退	後	前	後	前			
摺動齒車後退	後退主齒車後退	第三、第四主齒車前進	第三、第四主齒車後退	第一、第二主齒車前進	第一、第二主齒車後退			
		常啞主齒車—常啞副齒車—副軸— 第四副齒車—第四主齒車	常啞主齒車—常啞副齒車—副軸— 第四副齒車—第四主齒車	常啞主齒車—常啞副齒車—副軸— 第二副齒車—第二主齒車	常啞主齒車—常啞副齒車—副軸— 第一副齒車—第一主齒車			

第四款 橫軸裝置

第三百四十 橫軸裝置ハ變速齒車室前端ニ位置シ減速齒車室、減速傘齒車、減速齒車及同軸、橫軸齒車及同軸ヨリ成ル(第二百十七圖)
變速機主軸ヨリ橫軸ニ到ル間ノ動力傳達左ノ如シ

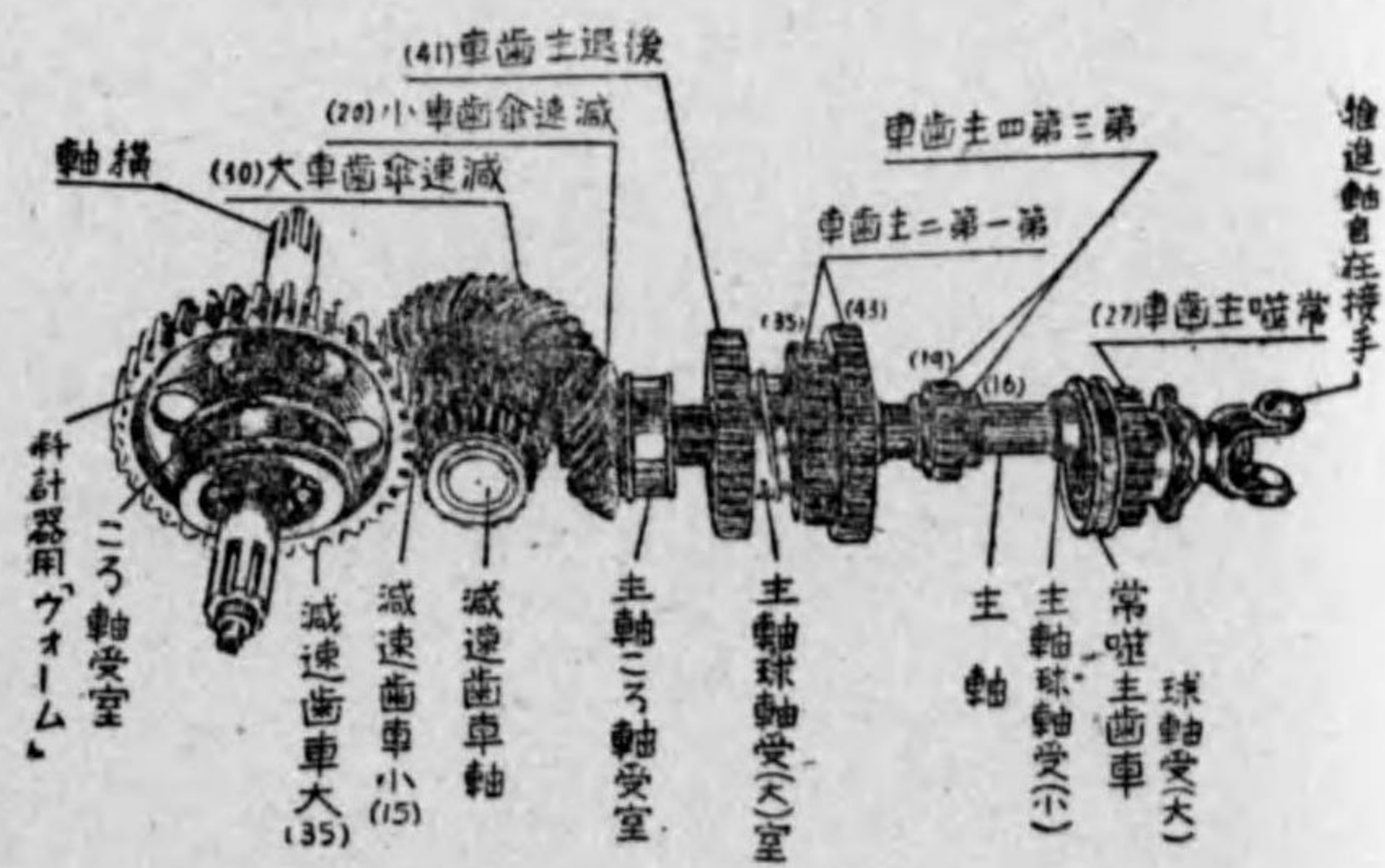
動力傳達順序
主軸(減速傘齒車小)——同大(減速齒車軸、同齒車)——
橫軸齒車(橫軸)

第五款 操向變速機及操向聯動制動機

第三百四十一 其ノ構造機能殆ド九七式中戰車ニ等シ

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

圖七十七百二第



第六款 終減速裝置

第三百四十二 其ノ構造機能殆ド九七式中戰車ニ等シ

第三節 車 框

第三百四十三 車框ハ車輛ノ骨組ヲ構成シ發動機、傳動諸裝置、「ウインチ」等ヲ裝載シ側部ニ懸架及無限軌道裝置ヲ取附ケ車框本體、前板及後板、前部及後部隔板、蓄電池室、機關室及附隨品ヨリ成ル

第三百四十四 車框本體ハ舟形ニシテ前方ヨリ蓄電池室、座席、機關室、「ウインチ」ヲ裝載シ底板ニ操向機、變速機、燃料槽、主「クラッチ」、發動機等ヲ取附ク又外部ニハ懸架裝置、無限軌道裝置、牽引裝置等ヲ裝著ス

第三百四十一 前板及後板

- 一 前板ハ蓄電池室前方ヲ覆ヒ中央ニ星章板、操向機點檢孔蓋ヲ左右ニ前照灯ヲ有ス
- 二 後板ハ機關室後方ヲ覆ヒ中央ハ「ウインチ」操作孔ヲ有ス

第三百四十六 前部及後部隔板

- 一 前部隔板ハ運轉席前面ニ裝著シ計器板、燃料噴射量及時期調整裝置、蓄電池開閉器、「ヒューズ」匣、豫熱栓抵抗器等ヲ有シ左右下方ニ操向機點檢孔ヲ有ス
- 二 後部隔板ハ左右各一ヨリ成リ機關室前面ニ裝著シ左側ノモノニハ計器板ヲ有ス

第三百四十七 蓄電池室ハ前方ヲ前板後方ヲ前部隔板ニ依リ形成セラレ上方及側面ハ鑊番ヲ有スル蓋ヲ以テ覆ハル内

部ニ「二」ボルト「一八〇」アンペア耐震蓄電池二箇ヲ收容ス

第三百四十八 機關室ハ前方ヲ後部隔板、後方ヲ後板ニ依リ形成シ兩者ハ支材ヲ以テ支ヘ蓋板及左右側板等ヲ以テ之ヲ覆フ

第四節 牽引裝置

第三百四十九 牽引裝置ハ牽鉤(前端二箇)及牽引鉤(後面中央ニ一箇)ヨリ成ル

第五節 懸架及無限軌道裝置

第三百五十 其ノ構造機能殆ド九七式中戰車ニ等シ

第六節 操縱裝置

第三百五十一 操向裝置ハ主「クラッチ」操縱機、手動及足動「ブレーキ」操縱機、操向操縱機、燃料調整裝置及附屬裝置ヨリ成ル

第三百五十二 主「クラッチ」操縱機ハ「クラッチペダル」、「ペダル」臂、曳桿及曳臂ヨリ成ル
「クラッチペダル」ヲ壓下スルトキハ「ペダル」臂ハ軸部ヲ中心ニ前方ニ移動ス
ばねヲ後方ニ引張シ曳桿中ヲ前方ニ推進セシム

而シテ曳臂—曳臂軸短—曳臂—曳桿長—曳臂—曳臂軸長—曳臂—曳桿短—斷續曳臂ノ順序ニ作動シ以テ斷續筒ヲ前
構造機能並ニ取扱 九八式六兩牽引車

方ニ摺動セシム

而シテ斷續筒前進スルトキハ「クラッチ」ハ遮斷セラルルモノトス

第三百五十三 手及足「ブレーキ」操縦機ハ左ノ各部ヨリ成ル

一 手「ブレーキ」操縦機

1 手「ブレーキ」にてこ

2 手「ブレーキ」にてこ齒板

二 足「ブレーキ」操縦機

1 「ブレーキベダル」

2 「ベダル」臂

3 曳臂、曳桿及平衡臂

手「ブレーキ」にてこ足「ブレーキ」トハ足「ブレーキベダル」臂軸受ニ於テ其ノ作用一致スルモノトス

手「ブレーキ」にてこ後方ニ引クカ「ブレーキベダル」ヲ壓下シタルトキハ足「ブレーキベダル」臂軸左端ニ取附ク曳

臂下端前進シ連桿ヲ介シテ平衡桿ハ左右操向「ブレーキ」にてこ軸ニ作用シ操向「クラッチブレーキ」ノ「ブレーキ」帯

ヲ緊縛ス

第三百五十四 操向操縦機ハ操向てこ、同軸、曳桿、「ブレーキ」にてこ、同軸、曳桿ヨリ成ル

一 操向てこハ左右各一ヨリ成リ「ブレーキ」にてこノ外側ニ位置ス

操向てこヲ後方ニ引クトキてこ軸ハ後方ニ旋回シ外端ニ對スル操向「クラッチブレーキ」斷續用曳桿及操向變速機

「ブレーキ」帯用曳桿ヲ後方ニ引キテ聯動ヲ斷テ外筒ヲ「ブレーキ」帯ヲ以テ緊縛スルモノニシテ定半徑ノ方向變換
又ハ減速ヲ行ヒテ出力ノ増加ヲ増スモノトス

二 「ブレーキ」にてこハ左右各一ヨリ成ル

「ブレーキ」にてこ後方ニ引クトキてこ軸ハ後方ニ旋回シ外端ニ附スル操向「クラッチブレーキ」斷續用曳桿及「ブ
レーキ」帯用曳桿ヲ後方ニ引キテ聯動ヲ斷テ且ツ鼓胴ヲ「ブレーキ」帯ヲ以テ緊縛スルモノニシテ信地旋回及停止
ヲナスモノトス

三 手及足「ブレーキ」ハ共ニ「ブレーキ」にてこノ左右各軸ニ連絡シ同一作用ヲナシテ停止ニ用フルモノトス

第三百五十五 燃料調整裝置

運轉席ヨリ燃料ノ噴射量及噴射時期ヲ調整スル裝置ニシテ左ノ各部ヨリ成ル

一 燃料噴射量調整裝置

二 燃料噴射時期調整裝置

1 「ハンドル」

1 「ハンドル」

2 齒板

2 轉臂及同軸受

3 轉臂及同軸受

3 曳桿

4 曳桿

5 「ベダル」及壓桿

二 燃料噴射時期調整裝置

1 「ハンドル」

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

2 轉臂及同軸受

「ハンドル」ヲ下方ニ下グルトキ「ハンドル」ト一體ナル轉臂ハ中央軸部ヲ中心トシ前端ヲ折上ス
 從ツテ各曳桿轉臂ヲ經テ噴射「ポンプ」ニ至リ噴射量調整用曳桿ハ調整桿ヲ推進シニ記述セル如ク噴射量ヲ増加スルモノトス
 (燃料「ペダル」ハ壓桿、轉臂ヲ介シテ噴射量調整用曳桿ニ連結シ其ノ作用同一ナリ)

噴射時期調整用曳桿ハ調整器てこヲ推進シ噴射時期ヲ進ムルモノトス

第三百五十六 附屬裝置

計器、回轉計、油温及水温計、電氣警報器、風除「ガラス」拭淨器及方向指示器ヨリ成ル

第七節 「ウインチ」

第三百五十七 「ウインチ」ハ車輛後端ニ裝載シ重量物ヲ卷揚、其ノ他ノ力作作業ニ從事スルモノニシテ傳動裝置「ウ

イン」裝置、啞合裝置、「ブレーキ」裝置及操縱裝置ヨリ成ル(第二百十八圖)

傳動裝置

本裝置ハ變速機ノ「ウインチ」驅動裝置ヨリノ動力ヲ傳達スルモノニシテ自在接手、傳動軸、傳動軸受ヨリ成ル

第三百五十八 「ウインチ」裝置

本裝置ハ鋼索ヲ卷取スル裝置ニシテ傳動齒車及同室、「ウオーム」齒車及同室、鼓胴、同軸及同軸受、鋼索及鼓胴「ブレーキ」板ヨ成ル(第二百十九圖)

傳動裝置ヨリ傳動セラレタル動力ハ傳動齒車室ニ入り大、小及中間ノ三種ノ傳動齒車ヲ經テ「ウオーム」ニ傳達サレ「ウオーム」齒車ニ傳動セラル、而シテ「ウオーム」齒車ハ「ボス」部ニ於テ「キー」ニテ鼓胴軸ト一體ニ結合セラレアルヲ以テ同軸ニ傳動ス
 鼓胴軸ハ軸筒及球軸受ニ依リ支持セラレ轉動自由ナルモ鼓胴トハ別個ニ運動シ左項ノ啞合裝置ノ作用ニ依リ鼓胴ト一體ノ回轉ヲナシ「ウインチ」作用ヲ行フモノトス

第三百五十九 啞合裝置

本裝置ハ鼓胴軸ト鼓胴トヲ一體ニ或ハ別箇ニ運動セシムル爲ノ離合裝置ニシテ啞合環、啞合環轉又及曳臂ヨリ成ル運轉席左側ノ啞合てこ(參照「ウインチ」操縱裝置)ノ操作ニ依リ曳臂ヲ經テ啞合環ヲ右方ニ摺動セシムルトキハ同環ノ正齒車(齒數二四枚)ハ鼓胴「ボス」部ノ内啞齒車ト啞合ス

而シテ啞合環ハ摺動自由ナルモ回轉ハ軸ト同一ナル故、軸ハ回轉ヲ鼓胴ニ傳フルモノナリ
 鼓胴「ブレーキ」板ハ鋼索緩解ノ際隨性ニヨリ鼓胴ノ回轉スルヲ防止スルモノニシテ轉又下端ニ裝著セラル二箇ノ軸

構造機能並ニ取扱 九八式六輪牽引車

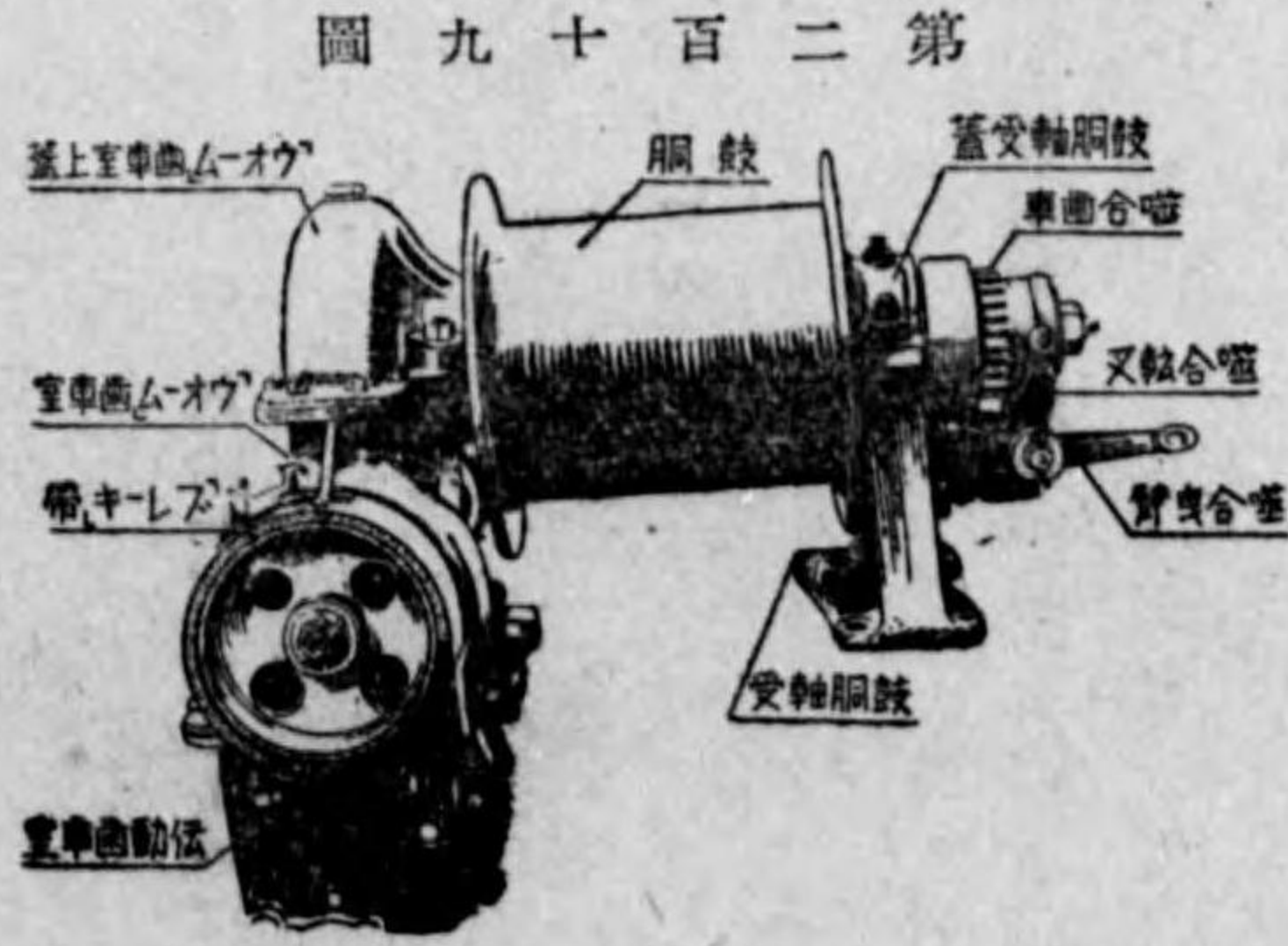


圖 九 十 百 二 第

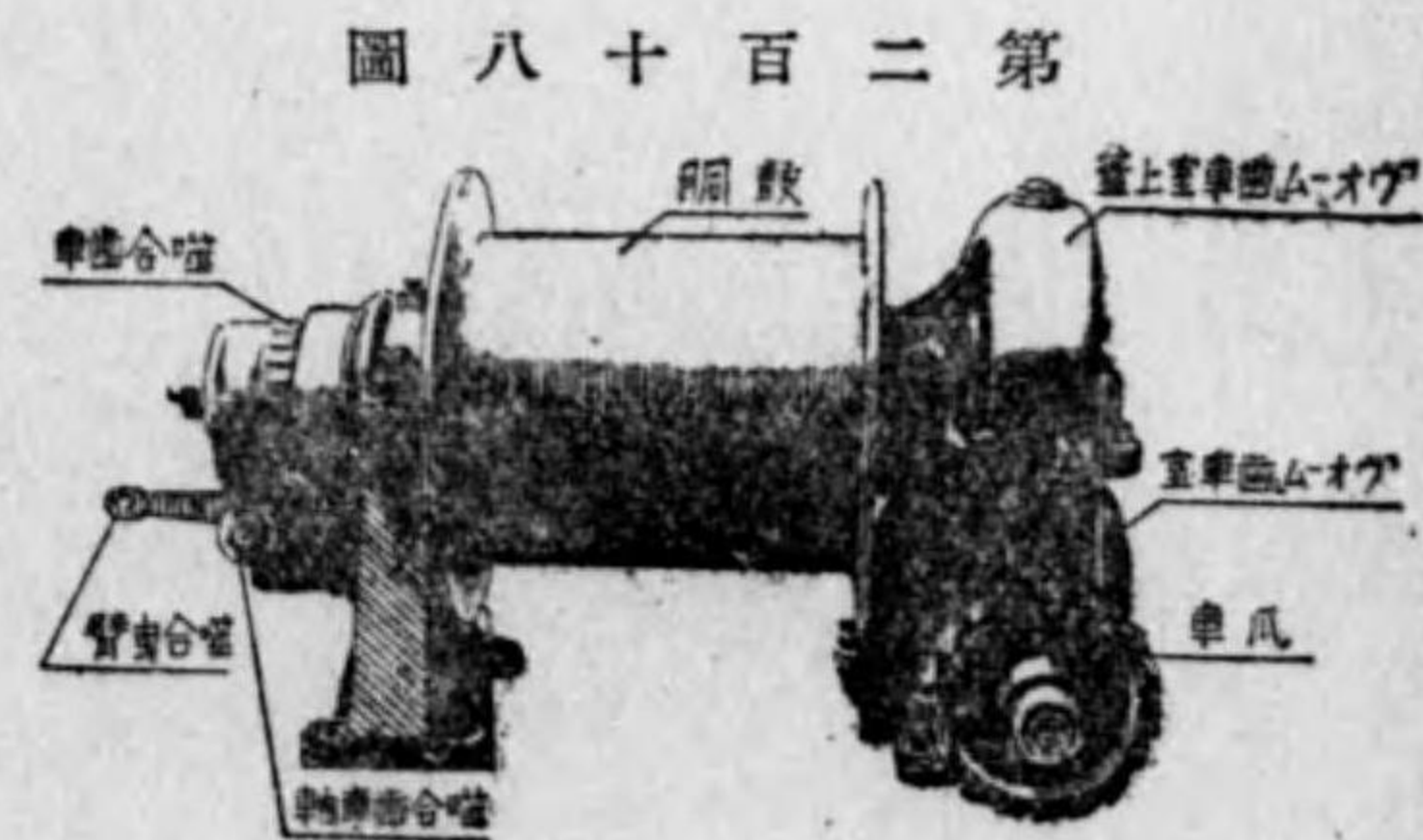


圖 八 十 百 二 第

ニ螺卷ばねヲ挿入シ此ノばね壓ヲ以テ「ブレーキ」板ヲ鼓胴ニ向ツテ壓著セシメ制動板表張ノ摩擦力ニ依リ鼓胴ノ空
轉ヲ防止ス

第三百六十 「ブレーキ」裝置

本裝置ハ卷取り途中ニ於テ停止セシメ、卷取り姿勢ニ於テ車輛ヲ前進後退セシメントスルトキ使用スルモノニシテ
「ブレーキ」鼓胴、「ブレーキ」帶、「ハブ」ブレーキ「曳桿」及轉臂ヨリ成ル
「ブレーキ」てこヲ後方ニ引クトキハ連桿ヲ經テ「ブレーキ」曳桿及轉臂ヲ介シ「ブレーキ」帶ヲ締附ケ、「ウオーム」軸
上ノ「ブレーキ」鼓胴ヲ制動スルモノトス

第三百六十一 操縱裝置

傳動操縱機、啞合操縱機及「ブレーキ」操縱機ヨリ成ル

一 傳動操縱機ハ變速機ヨリノ動力ヲ鼓胴軸ニ傳達セシムル任務ヲ有シ左ノ各部ヨリ成ル

1 運動てこ

運轉席左側ニ在リテ下端ヲ軸受ニ依リ底板ニ支持ス

後面ニ曳桿ヲ附シ曳桿ノ下端ニ駐爪ヲ有シテ齒板ニ啞合ス、軸上部前面ニ連桿ヲ以テ變速機傳動轉又軸ニ連結
ス

2 齒板

半月板ニシテ軸受ニ裝著セラレ爪ノ啞合スベキ二箇ノ缺切ヲ有ス

3 てこ軸受

上部ノ並列ニ又トシ傳動及啞合てこ用齒板ヲ有シ中央部ニテ軸ニ依リ各てこヲ結合シ底板ニ取附ケラル

二 啞合操縱機ハ鼓胴軸ノ動力ヲ鼓胴ニ傳達セシムルモノニシテ左ノ各部ヨリ成ル

1 啞合てこ

運轉席左側ニ在リテ下端ヲ軸受ニ依リ底板ニ支持ス

後面ニ曳桿ヲ附シ曳桿ノ下端ニ駐爪ヲ有シテ齒板ニ啞合ス下端ニ於テ轉臂及曳桿ニ連結ス

2 齒板

半圓板ニシテ軸受ニ裝著セラレ爪ノ啞合スベキ二箇ノ缺切ヲ有ス

3 曳桿

曳桿ハ兩端ニ二又接手ヲ有シ轉臂ヲ介シテてこト曳臂トヲ連結ス

4 轉臂軸及轉臂軸受

轉臂軸ハ轉臂ヲ相互ニ連結シ轉臂軸受ニ依リ底板ニ支持セラル

三 「ブレーキ」操縱機ハ「ウインチ」鼓胴ヲ制動スルモノニシテ左ノ各部ヨリ成ル

1 「ブレーキ」てこ

運轉席右側ニ在リテ下端ヲ軸受ニ依リ底板ニ支持ス

後面ニ曳桿ヲ附シ曳桿ノ下端ニ爪ヲ有シテ齒板ニ啞合ス下端ニ於テ轉臂及曳桿ヲ經テ曳臂ニ連結ス

2 齒板

鋸齒形半月板ニシテ軸受ニ裝著セラレ爪ト啞合ス

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引

3 てこ軸受

上部ヲ二又トシ「ブレーキ」にてこ用齒板ヲ附シ中央部ニテてこヲ結合シ底板ニ取附ケラレル

4 曳桿及轉臂

曳桿ハ兩端ニ二又接手ヲ有シ轉臂ヲ介シ槓桿ト曳桿トヲ連結ス

5 轉臂軸及轉臂軸受

轉臂軸ハ轉臂ヲ相互ニ連結シ轉臂軸受ニ依リ底板ニ支持セラル

本機ハ運轉手、助手共同連絡ヲナシツツ行フモノニシテ先ヅ手「ブレーキ」ヲ後方ニ引キテ確實ニ車輛ヲ駐止セシメ且「クラッチペダル」ヲ壓下シ左ノ操作ヲナス

1 「ウインチブレーキ」にてこ前方ニ倒ス

然ルトキハてこ下端ハ後退ス

而シテ調整曳桿ばねハ其ノ伸張力ニ依リテ「ブレーキ」帯ヲ開キ「ブレーキ」鼓胴ノ回轉ヲ自由ナラシム

2 牽引鋼索ヲ所要量引出シテ被牽引車ニ連絡ス

3 傳動てこヲ後方ニ引ク

然ルトキ連桿ハ後退シ變速機傳動轉又軸ヲ引キ摺動齒車ヲシテ常啞副齒車ト傳動齒車トノ中間ニ入ラシメ兩者ヲ啞合連結セシム從ツテ變速機主軸ハ齒車傳動軸等ヲ介シテ「ウオーム」ト連結セラル

4 啞合てこヲ後方ニ引ク

然ルトキハてこ下端ハ前進シ曳桿、轉臂、同軸及曳臂、轉又等ヲ纏テ啞合環ヲ鼓胴「ボス」ニ啞合セシム

5 機關ノ回轉ヲ増加シツツ「クラッチペダル」ヲ壓下ヲ止ムルトキハ鋼索ハ鼓胴ニ卷取ラル

此ノ際鋼索ノ卷込ヲ誘導シ鋼索ヲシテ齊整鼓胴ニ纏絡サルル如クナスヲ要ス

第八節 取扱

第一款 調整

第三百六十二

各部ノ調整ハ構造機能ヲ熟知シタル者之ヲ行ヒ調整前ノ状態ヲ充分調査シ置キ規定ノ順序ニ隨ヒ周到ナル注意ヲ以テ實施スルヲ要ス而シテ調整後ハ確實ニ其ノ機能ヲ點檢シ

第三百六十三

本車ノ主要ナル調整部位及調整要領左ノ如シ

一 發動機ノ部

1 「カム」軸ノ規正

2 燃料噴射「ポンプ」ノ規正

3 弁間隙ノ調整

4 油壓ノ調整

5 冷却裝置ノ調整

二 車體ノ部

1 主「クラッチ」ノ調整

2 主「クラッチブレーキ」ノ調整

構造機能並ニ取扱 九八式六輪牽引車

- 3 操向装置ノ調整
- 4 「ブレーキ」ノ調整
- 5 無限軌道ノ調整
- 6 「ウインチ」ノ調整

其ノ一 發動機ノ調整

第三百六十四 「カム」軸ヲ規正スルニハ各調時齒車ニ第一「シリンダ」上死點ニ於テ出合フベキ「X」印ヲ刻ミアリテ之ヲ合致セシムルコトニ依リ行ハル若シ齒車ノ交換等ニ際シテ嚙合部不明ノトキハ左ノ如ク規正スルモノトス

- 一 弁間隙ヲ嚴密ニ規正ス(吸排氣共○・二耗)
- 二 「クランク」軸ヲ回轉シテ第一「シリンダ」ノ上死點前一〇度ヲ求メ(はずみ車ニ角度刻印シアリ)「クランク」軸齒車及調時齒車室ニ標示シ此ノ位置ニ停止セシム
- 三 「カム」軸ヲ單獨ニ回轉方向ニ廻シテ第一「シリンダ」ノ吸氣弁ノ開キ始ムル位置ヲ弁間隙測定部ニ於テ探究シ此ノ位置ニ於テ「カム」軸齒車ト「クランク」軸齒車ヲ結合ス

第三百六十五 燃料噴射「ポンプ」ノ規正

燃料噴射「ポンプ」驅動齒車ニハ「カム」軸ノ規正ト同様第二「シリンダ」上死點ニ於テ合致スル「X」印アリ「ポンプ」ヲ規正スルニハ先ヅ此ノ「X」印ヲ合致セ次ニ「ポンプ」接手ノ驅動側、被動側及「ベークライト」板ニ刻印セル○印ヲ合致セシムルコトニヨリ行フ

若シ符號ノ不明ナルトキハ左ノ如ク規正スルモノトス

- 一 第一「シリンダ」壓縮衝程ニテ上死點前二〇度ニ「クランク」軸ヲ定ム
 - 二 燃料噴射「ポンプ」噴射時期調整テコヲ垂直位置ニス
 - 三 「ポンプ」接手側ニ刻印セルR方向ノ刻線ト接手ノ刻線トヲ合セタル位置ニ於テ結合ス
- 以上ニ依リ規正ヲ終リタルモ尙不十分ナルトキハ接手緊定環ヲ弛メ「ポンプ」側接手ヲ回轉方向ニ廻セバ噴射時期ハ進ミ反對ニ廻セバ遅ルルモノナリ

(接手ノ目盛ハ一目盛三度トス)

第三百六十六 弁間隙ノ調整

弁間隙ノ調整ハ發動機ノ加熱シタル状態ニ於テ行フモノニシテ發動機起動後約十分間回轉セシメタル後左ノ要領ニ依リ實施スベシ

- 一 「シリンダ」蓋板ヲ離脱ス之ヲ行フニハ減壓テコヲ引上ゲ減壓ノ位置ニ於テ頭部ノねじヲ弛ム
 - 二 手動「ハンドル」ヲ以テ「クランク」軸ヲ徐々ニ回轉シ順次各「シリンダ」ノ壓縮上死點ニ於テ弁桿ト弁テコトノ間隙吸氣共○・二耗ニ調整ス
 - 三 壓縮上死點ハはずみ車ニ刻印セル各「シリンダ」番號ニ依リ求メラルルモノナリ
- 調整要領ハ先ヅ弁テコ調整ねじノ緊定「ナット」ヲ弛メ次ニ緊定「ボルト」ヲ弛メテ間隙「ゲージ」ニテ間隙ヲ○・二耗ニナル如ク調整シ緊定「ボルト」ヲ締メ次ニ緊定「ナット」ニテ緊定ス緊定ノ際ハ調整「ボルト」ガ回轉セザル如ク注意ヲナス

第三百六十七 油壓ノ調整ハ起動電動機上方ニ在ル配油安全弁ニ依リ行フモノナルモ製作會社ニテ規正シアルヲ以テ其ノ以後ノ調整ハ行ハザルモノトス

第三百六十八 冷却裝置ノ調整

冷却時發動機ノ過冷スル場合ニアリテハ機關室保温覆ヲ附シ冷却水溫度ヲ調整スベシ又滑油濾過ニ取附ケタル「コック」ヲ切換ヘテ滑油冷却器ヲ中斷シ油溫ヲ調整スルモノトス

其ノ二 車臺ノ調整

第三百六十九

主「クラッチ」ハ「クラッチベダル」ヲ壓下スルトキハ動力ヲ完全ニ遮斷シ壓下ヲ解クトキハ完全ニ接續シ被牽引車ノ牽引鑿登等ノ負荷ニ際シ滑動セザルヲ要ス

本器ハ摩擦板「ライニング」磨耗ニヨル「切代」及「遊ビ」ノ増加ヲ規正スル以外ハ自動調整式ナルヲ以テ調整ノ要ナシ

「ライニング」ノ磨耗ニヨル調整ハ之ヲ二段ニ分チ小ナル調整ハ「ベダル」ノ「踏代」ニヨリ大ナル調整ハ「クラッチ」斷續てこ調整ねじニヨリテ行フ

一 ベダルノ調整

先ヅ操縦席ノ床板ヲ離脱シ「ベダル」臂傳動子ト曳桿ノ調整「ナット」トノ間隙ヲ測定シ概ネ二耗ニ規整ス

「ライニング」磨耗セバ此ノ間隙ハ漸次少クナルニヨリ規定通りノ間隙ニ調整シ緊定「ナット」ニテ緊定ス

二 斷續てこ調整ねじノ調整

「ベダル」ノ調整ニテ尙斷續機能不十分ナルトキハ先ヅ數回「ベダル」ヲ壓下、「クラッチ」ヲ斷續シテ各部ノ機能ヲ調査シ中央座席ヲ離脱シ斷續筒ト蓋板後面トノ間隙(此ノ間隙ガ切代ヲ規正ス)概ネ一五耗ニ規整ス

「ライニング」磨耗セバ此ノ間隙ハ漸次増大スルヲ以テ二〇耗以上トナシタラバ調整スルノ要アリ

點檢孔ヨリ等分ニ一節ヅツ弛メ置キ、主「クランク」機調整用鈎狀「スパナ」ニテ調整ねじヲ回轉ス之ヲ右ニ廻セバ間隙ハ小トナリ左ニ廻セバ大トナル(調整ねじノ一回轉ハ間隙ノ増減一二耗ニ相當ス)

本調整ヲ行フトキハ豫メ「ベダル」ノ調整「ナット」ハ弛メ置キ再調整ヲナスモノトス

第三百七十 「主クラッチ」、「ブレーキ」ノ調整ハ「ブレーキライニング」ノ磨耗ニヨリ「ブレーキ」作用衰ヘタルトキ行

フモノニシテ其ノ調整ハ主「クラッチ」軸受臺ノ下部ナル「ブレーキ」テ「コ」ノ兩端ニアル調整「ボルト」及「ナット」ニヨリ行フモノトス

其ノ要領ハ「ブレーキ」帶ト壓ねじトノ間隙ハ常ニ二耗ニ保タシメ「ブレーキ」連桿ノ調整「ナット」ニ依リ調整スルモノニシテ右回轉セバ「ブレーキ」作用ハ強クナルモノナリ

第三百七十一 操向「クラッチ」ノ調整ハ左右何レモ同一要領ニシテ先ヅ傳動板ニ設クル三箇ノねぢ孔ニ八耗「ボルト」

ヲ螺入壓板ヲ完全ニ壓シタル後操向てこヲ引キテ斷續筒ヲ斷チタル状態トナシ斷續てこ壓ねじト壓座トノ間隙ヲ四耗トナル如ク調整スルノトス

操向「ブレーキ」ノ調整ハ左右内外四組共同ニシテ鼓胴及外筒ト「ブレーキ」帶トノ間隙ヲ一耗ニ規整ス

其ノ調整ハ先ヅ前部隔壁ニアル點檢孔蓋ヲ除キ引吊ばねヲ弛メ置キ間隙測定器ニテ調ベツツ下方ノ調整ねじヲ回轉シテ全周概ネ一耗トナシ然ル後引吊ばねニテ中心ヲ定ムル如ク釣上ゲ調整ス

構造機能並ニ取扱 九八式六趣牽引車

操向てこヲ左右内外四箇ヲ均一ニ調整スルタメニ前述ノ操向「クランク」及「ブレーキ」ヲ正確ニ調整シアルヲ要ス
調整ニ當リテ左右何レカ一方ヲ基準ニ定メ「ブレーキ」クランクノ順序ニ調整ス今左側ノてこヲ基準トセバ左ノ順
序ニテ調整ス

一 「ブレーキ」曳桿ノミヲ連結シテ兩操向て共略、垂直ナル位置ニ於テ「ブレーキ」帯ガ完全ニ縮ル如ク曳桿ノ長
サヲ調整ス

二 操向變速てこ軸ト「クラッチ」曳桿ヲ連結シテ操向變速てこノ尖端ト前部隔板トノ距離ガ八〇耗ニ於テ「クラッ
チ」曳桿ガ作用シ始ムル如ク曳桿ヲ調整ス

三 操向「ブレーキ」てこノ曳桿ト操向變速てこ軸ノ曳桿トヲ前項ト同様八〇耗ノ位置ニテ作用シ始ムル如ク調整
ス

四 左側完了シタルトキハ右側モ同要領ニテ左右均一ノ「引代」及「遊ビ」トナル如ク調整ス

五 床板ヲ取附ケ床板上ニ在ル止ねじヲ調整シテ操向てこト隔板トノ距離ガ四〇耗ニナル位置ニ駐止緊定ス

以上ニテ調整ヲ終リタルモノニシテ上記ノ方法ニ依レバ操向てこハ四〇耗ノ「遊ビ」ノ後先ヅ「クラッチ」ガ作用シ始
メ次デ「ブレーキ」ガ作用シ垂直ノ位置ニ於テ完全ニ制動ス此ノ際「クラッチ」ハ完全ニ斷タレアリ

第三百七十二 「ブレーキ」ノ調整ハ操向「クラッチ」ブレーキ」ノ調整ヲ終リタル後ニ行フ「ベダル」及「ブレーキ」てこト
モ聯係作用ヲナシ居ルヲ以テ概ネ「引代」ノ4・5ニテ制動スル如ク調整ス

第三百七十三 無限軌道ノ調整ハ車臺後方兩側ノ調整「ボルト」爪ヲ引出シツツ半回轉セシメ駐止ヲ解キタル後無限軌
道調整「スパナ」ヲ以テ調整「ボルト」ヲ回轉シ誘導輪軸ヲ前後ニ移動セシメテ行フモノトス

而シテ無限軌道ノ張度ハ道路ノ景況ニ依リ異ルモノニシテ豫メ之ガ點檢調整ヲナシ置クモノトス

「ウインチ」ノ調整部ハ「ブレーキ」裝置ニシテ「ブレーキ」帯或ハ爪車ノ爪斷續帶トス

「ブレーキライニング」ト「ブレーキ」胴トノ全周間隙ヲ約一・五耗トナル如ク「ブレーキ」曳桿及調整ねじニ依リ調整
シタル後連桿ノ長サヲ伸縮セシメテ「ウインチ」ブレーキ」てこヲ概ネ「引代」ノ4・5ニテ完全ニ制動シ得ル如ク調整ス
ルモノトス

爪斷續帶ニ後部點檢孔蓋ヲ除キテ緊定「ナット」ヲ弛メ「ライニング」摩擦ニ依リテ爪ガ斷續スル如ク調整スルモノト
ス

第二款 分解結合

第三百七十四 各部ノ分解及結合ハ主トシテ分解ノ順序ニ就キ記述スルヲ以テ結合ハ概ネ其ノ反對順序方法ニ依リ行
フモノトス

其ノ一 車體總分解ノ順序

第三百七十五 車體ヲ分解スルニハ概ネ推進軸ヲ境トシ前部後部ヲ別々ニ獨立シテ分解スルコトヲ得故ニ前半部後半
部何レヨリナスモ差支ナキモ一般ニハ後半部ヨリ分解スルヲ正規トナス

以下分解順序ヲ記述ス

第三百七十六 後半部ノ分解順序左ノ如シ

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

- 一 車體底板四箇所ニ高サ概ネ五〇釐ノ枕木ヲ挿入シテ車臺ヲ確實ニ釣上ゲ
- 二 冷却水、燃料ノ排出
- 三 蓄電池ト蓄電池閉閉器ヲ連絡スル電纜ノ離脱
- 四 幌、座席ノ離脱
- 五 機關室蓋及附屬品ノ離脱
 - 1 機關室上蓋、側蓋、「ウインチ」點檢孔蓋ノ離脱
 - 2 冷却器支桿、隔板支材、機關室後蓋ノ離脱
- 六 冷却器ノ離脱
 - 1 上下送水「ゴム」管ノ離脱
 - 2 風車導板ト冷却器トノ分離
 - 3 滑油冷却器配油管ノ離脱
 - 4 冷却器ノ離脱
- 七 後部隔板ノ離脱
 - 1 計器類ノ可撓管、接續管等ノ離脱
 - 2 燃料調整てこノ離脱
 - 3 隔板ノ離脱
- 八 副板ノ離脱

- 1 燃料管ノ離脱
- 2 燃料槽取附「ボルト」ノ離脱
- 3 燃料槽ノ離脱

九 發動機、主「クラッチ」ノ離脱

- 1 燃料槽ト供給「ポンプ」ノ燃料管ノ分離
- 2 油冷器ト油濾過器ヲ連結スル配油管ノ離脱
- 3 起動電動機、發電機、豫熱栓等ノ電纜ノ分離
- 4 水「ポンプ」側吸水「ゴム」管ノ分離
- 5 排氣管ノ離脱
- 6 油壓計、水溫計、油溫計ノ端子ノ分離
- 7 推進軸ト主「クラッチ」接手ノ分離
- 8 主「クラッチ」連桿接手ノ分離
- 9 主「クラッチ」軸受臺「ボルト」ノ離脱
- 10 發動機取附「ボルト」ノ離脱
- 11 發動機ノ離脱

一〇 「ウインチ」ノ離脱

- 1 鋼索ヲ適當ニ引出ス

構造機能並ニ取扱 九八式六兩牽引車

- 2 鋼索案内板及蓋板ノ離脱
- 3 「ウインチ」傳動、啖合、「ブレーキ」にてこの各連結桿分離
- 4 傳動軸接手分離
- 5 「ウインチ」取附「ボルト」離脱
- 6 「ウインチ」ノ離脱

第三百七十七 前半部ノ分解順序左ノ如シ

- 一 主燃料槽ノ離脱
 - 1 床板ノ離脱
 - 2 推進軸覆、變速機覆ノ離脱
 - 3 燃料管ノ離脱
 - 4 燃料槽取附「ボルト」ノ離脱
 - 5 燃料槽ノ離脱
- 二 蓄電池ノ離脱
 - 1 「ジャッキ」、豫備「タイヤ」筒ノ離脱
 - 2 前部室上蓋ノ離脱
 - 3 蓄電池電纜ノ離脱
 - 4 蓄電池ノ離脱

- 5 回轉計、料計ノ可撓管ノ離脱
- 6 操向「クランチ」、「グリース」つば、接續管ノ分離
- 7 蓄電池支柱ツ離脱

三 前部覆ノ離脱

- 1 前照灯電纜ノ離脱
- 2 前照灯離脱
- 3 泥除板支柱ノ離脱
- 4 前部覆ノ離脱

四 隔板ノ離脱

- 1 電纜ト車框トノ連結ヲ斷ツ
- 2 油壓計配油管ノ離脱
- 3 溫度計ヲ巻取りテ處理ス

第三百七十八 懸架裝置ノ分解順序左ノ如シ

- 一 無限軌道ノ離脱
- 軌板軸割「ピン」ヲ拔取り軌板軸ヲ離脱
- 二 ばね蓋ノ離脱
- 三 後部ばね離脱

構造機能並ニ取扱 九八式六噸牽引車

兩端曲臂トばね曳桿受ヲ連結スル軸栓ヲ拔取り中央ノばね受ト車框ノ取附「ボルト」ヲ分離シばねヲ二箇一體トナシタル儘離脱ス

- 四 前方ばねノ離脱
後部ばね離脱ノ要領ニテ軸栓ヲ拔キ一體ノ儘離脱
- 五 搖臂、轉輪ノ離脱
搖臂ト轉輪ハ一體ノ儘離脱スルモノニシテ搖臂軸ノ緊定「ナット」ヲ解キテ離脱ス
- 六 曲臂ノ離脱

第三百七十九 誘導輪ノ離脱順序左ノ如シ

- 一 誘導輪軸受蓋ノ離脱
- 二 軸緊定「ナット」ノ離脱
- 三 誘導輪ノ離脱
- 四 誘導輪受ノ離脱
- 五 誘導輪軸ノ離脱

其ノ二 主要部分ノ分解順序

第三百八十 本項ニ於テハ主要部分ノ分解ヲ示ス程度ナルヲ以テ細部ノ分解事項ニ就キテハ第一節ノ分解結合上ノ注意ニ依ルベシ

一 發動機及主「クラッチ」

- 1 主「クラッチ」軸及軸受臺ヲ一體ノ儘徐々ニ拔出ス
- 2 壓板ばね(三箇)ヲ離脱
- 3 はすみ車取附「ボルト」ヲ均一ニ解キツツ蓋板及斷續筒ヲ一本ノ儘離脱
- 4 壓板、摩擦板離脱

二 發動機附隨品ノ離脱

- 1 空氣清淨器
- 2 燃料噴射弁(此ノ際銅製「パッキン」ヲ取出シ結合ニ際シテハ當リ面ノ凹部ヲ平滑ニヤすり仕上スルモノトス)
- 3 燃料濾過器(油濾過器)
- 4 風車
- 5 燃料噴射「ポンプ」水「ポンプ」發動機、起動電動機、(此ノ際接手ノ位置ヲ檢シ置クベシ)

三 「シリンダ」ノ離脱

- 1 滑油槽換氣管ノ離脱
- 2 「シリンダ」蓋被ヲ離脱(此ノ際減壓テコヲ引上グベシ)
- 3 瓣テコ軸受離脱(此ノ際過度ニ力ヲ加ヘザル如ク注意スベシ)
- 4 弁推桿ノ離脱
- 5 「シリンダ」蓋緊定「ナット」ノ離脱(相對スルモノヨリ均等ニ緩解スベシ)

構造機能並ニ取扱 九八式六廻牽引車

6 「シリンダ」ノ離脱（「シリンダ」蓋「ガスケット」ヲ損傷セザル如ク入念ニ行ヒ「ガスケット」ハ「シリンダ」本體ニ殘スモノトス）

四 豫燃燒室ノ離脱

- 1 豫熱栓ノ離脱
- 2 豫燃燒室緊定「ナット」同「ガスケット」ノ離脱
- 3 豫燃燒室ノ離脱（結合ニ際シテハ豫熱栓孔ヲ合セ挿入スル如ク注意スベシ）

五 弁ノ離脱

（弁著脱工具ニ依リ弁座ヲ壓下シ弁駐環ヲ取除ケバ弁及弁ばねハ離脱ス）

六 發動機本體ノ分解

- 1 油槽下部ノ排油栓ヲ解キテ滑油ヲ排出ス
- 2 下部「クランク」室ノ離脱
- 3 はすみ車ノ離脱
- 4 手動「ハンドル」接合ねじヲ解キ「クランク」軸衝器ノ離脱
- 5 調時齒車室ノ離脱（此ノ状態ニテ本體ヲ轉倒スルヲ可トス）
- 6 連結桿大端結合「ボルト」ヲ解キ軸受被ヲ離脱
（軸受被相對部ニハ刻印シアルヲ以テ豫メ點檢シ置クベシ尙補助板ノ毀損紛失ニ注意スルヲ要ス）
- 7 「ピストン」連結桿ヲ一體ノ儘離脱

8 「クランク」軸被ヲ除キ「クランク」軸ヲ離脱（軸筒被ノ相對部ニハ刻印シアリ）

9 弁衝桿及同受ヲ一體ノ儘離脱

10 「カム」ノ離脱「カム」軸ハ「カム」軸齒車ノ裏側ニアル三本ノねじヲ取り去リ前方ニ引拔ケバ可ナリ）

11 燃料噴射「ポンプ」驅動齒車軸ノ離脱

（驅動齒車ヲ離脱シ次ニ「シリンダ」本體ニ挿入セル緊塞筒ノ止ねじ（八耗ノモノ）ヲ解キ齒車軸ヲ齒車方向ヨリ徐々ニ「ポンプ」側ニ離脱ス）

七 推進軸ノ分解

- 1 止環ヲ自在接手分解工具ニテ離脱
- 2 推進軸ヲ靜カニ叩キテ十字軸轉子蓋ヲ離脱
- 3 十字ヲ傾斜シ離脱（過度ニ叩クトキハ油「パツキン」蓋ヲ損傷ス）

八 變速機及減速齒車室ノ分解

車框ヨリ離脱シタルトキハ操向「クラッチ」變速機、減速齒車裝置ハ一體トナリアルタメ之等ヲ分離シタル後分解スベキモノニシテ變速機減速齒車室ヲ一體トシテ上下方向ニ分離スルモノナリ（横方向ニ分離スル要ナシ）

1 變速機ハ減壓齒車室ノ各排油管ヨリ滑油ヲ排出ス

2 上部室ヲ十二箇ノ「ボルト」ヲ解キテ一體ノ儘離脱シタル後左記順序ニ依リ細部ノ分解ヲナス

イ 變速てこノ離脱

ロ 轉又止「ボルト」ヲ解キ推桿ヲ拔取ル

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

- 同様に銅球(五箇)ばね(三箇)ノ離脱モ行フベシ
- 3 減速齒車室ノ滑油補給口、檢油桿ノ離脱
- 4 秤計器驅動齒車ノ離脱
(補助板及齒車軸尖端ニ銅球(一箇)アルニ注意スベシ)
- 5 本體ノ離脱
- イ 推進軸接手、同蓋ノ離脱
- ロ 減壓齒車上部室蓋ノ離脱
- ハ 變速機室緊定「ボルト」(二〇箇)減速齒車室緊定「ボルト」(四箇)ヲ除キ上部室ヲ離脱
- ニ 常啞齒車、主軸及各主齒車、軸受「ブッシ」ヲ一體トシテ離脱
- ホ 減速傘大齒車軸、軸受「ブッシ」ヲ一體トシテ離脱
- ヘ 橫軸離脱
- 6 副軸ノ離脱
副軸及副齒車ハ本體ニ取附ケタル儘ニテ點檢スルコトヲ得ルニヨリ成ルベク分解セザルヲ可トス
止ムヲ得ザル場合ハ左ノ順序ニテ分解ス
- イ 變速機及減速齒車室ノ下部室ノ分離
- ロ 兩側ノ副軸取出蓋ヲ離脱、補助板ニ注意ヲ要ス)
- ハ 副軸緊定「ナット」ノ離脱
- ニ 第一及第二副齒車間ノ隔筒ヲ離脱
- ホ 第二副齒車ノ「キー」ヲ離脱

ヘ 副軸分解工具ノ拔取「ボルト」ヲ常啞副齒車ニ保持シ當板ニテ支ヘ拔取「ボルト」ニテ徐々ニ約八〇耗拔出シ
此ノ位置ニテ第一副齒車ノ「キー」ヲ離脱ス(此ノ時第四副齒車ノ下部室ニ當ラザル如ク適當ナル所ヲ押ヘハ
ナス)

- ト 副軸ノ離脱
- 7 後退中間齒車軸ノ離脱
本軸モ成ルベク分解セザルヲ可トス止ムヲ得ザル場合ハ後退中間齒車軸ノ分解工具ニヨリ離脱スルモノト
ス
- 8 「ウインチ」驅動齒車ノ離脱
本齒車モ成ルベク分解セザルヲ可トス、止ムヲ得ザル場合ハ中間齒車ハ軸ヲ離脱シ驅動齒車ハ兩側ノ緊定蓋ヲ
離脱シ分解ス(補助板ニ注意スベシ)
- 九 操向「クラッチ」、操向變速機ノ分解
車框ヨリ卸下セシトキハ兩機ハ一體ナルタメ先ヅ操向「クラッチ」ヨリ分解ス
- 1 終減速装置トノ接續板緊定「ナット」ヲ解キ接續板及軸受臺ヲ一體ニテ離脱
- 2 斷續てこ軸(六箇)ヲ離脱シ斷續筒ヲ離脱
- 3 支軸ノ取附「ナット」(六箇)ヲ解キテ支軸ヲ離脱(結合ノ際本取附「ボルト」ハ豫メ挿入シ置クヲ要ス)

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

- 4 操向「クラッチ」ヲ一體トシテ離脱
離脱後鼓胴及傳動板「ボルト」ヲ解キ壓板、摩擦板、内筒等各部分ノ分解
- 5 操向變速機ヲ一體トシテ離脱
離脱後滑油ヲ排出シ外胴「ボルト」ヲ解キ各齒車ヲ分解
- 十 終減速装置
 - 1 兩側ノ軸蓋(三箇共)ノ離脱
 - 2 起動輪軸小軸受緊定「ナット」ノ離脱
 - 3 終減速齒車室ノ分離
 - 4 終減速齒車ノ離脱
 - 5 起動輪軸ノ離脱
- 十一 下部轉輪ノ分解
 - 1 下部轉輪軸蓋ノ離脱
 - 2 轉輪軸緊定「ナット」ノ離脱
 - 3 轉輪拔取「ボルト」二箇ヲ轉輪體ニ螺入シころ軸受及同蓋ヲ損傷セザル如ク徐々ニ離脱
 - 4 ころ軸受蓋及ころ軸受ヲ離脱
- 十二 「ウインチ」ノ分解
 - 1 「ウオーム」齒車室及驅動齒車室下部ノ排油栓ヲ抜キテ排油
 - 2 「ウインチ」ブレーキ帶、曳桿、曳臂等ノ離脱
 - 3 「ブレーキ」帶鼓胴ノ離脱
 - 4 鼓胴軸受ノ側蓋、上蓋離脱シ鼓胴、「ウオーム」齒車一體ノ儘拔出シ各部ヲ分解
 - 5 「ウインチ」爪車離脱
 - 6 「ウオーム」ノ兩側軸受蓋ノ離脱
 - 7 「ウオーム」ノ抽出
 - 8 下部驅動齒車室ヲ分解シ各部ヲ分解ス

其ノ三 車體上ニ於ケル主要部分ノ分解

第三百八十一 本項ニ於テハ總分解ノ場合ト異リ分解セントスル部分ノミヲ主點トシ成ルベク他部分ノ分解ヲ避クルヲ以テ作業亦復雜困難トナリ周到ナル注意ヲ要ス

一 發動機

- 1 「シリンダ」及連結桿
本作業ヲ二分シ一ハ車體上部ヨリ「シリンダ」蓋ヲ離脱ス他ハ車榘床板ヨリ下部曲軸室ヲ離脱スルモノトス
分解要領ハ左ノ如シ
- イ 冷却水ノ排出
- ロ 蓄電池閉閉器ノ遮斷

構造機能並ニ取扱 九八式六砲牽引車

- ハ 機關室蓋ノ離脱
- ニ 後部左側隔板ノ離脱
- ホ 車框底板下部「クランク」室ヲ離脱
以下總分解ノ順序ニ從フモノトス
- 2 燃料噴射「ポンプ」噴射弁、豫熱室、豫熱栓、弁てこ、弁推桿、弁衝桿、弁ばね、發電機ノ離脱
- 3 弁「シリンダ」離脱ニ依ル
- 4 起動電動機水「ポンプ」
- 機關右側蓋ヲ離脱シ分解ス
- 5 調時齒車
- イ 機關室上蓋、側蓋、後蓋離脱
- ロ 右側冷却器離脱、左側風車導板分離
- ハ 「ウインチ」鋼索ヲ引出シ案内板離脱
「ウインチ」操縱連桿分離「ウインチ」推進軸接手離脱緊定「ボルト」離脱後「ウインチ」ヲ一體ノ儘離脱
- ニ 風車驅動齒車室離脱
- 二 主「クラッチ」
- 車體上ニテ分解結合スルコトヲ得(結合ノ際ハ軸ト軸受臺トヲ分離スベシ)
- 三 減速傘形齒車

- 蓄電池、操縱席、前部室ヲ離脱シ分解ス
- 四 操向「クラッチ」及操向變速機
(本機ハ車體ヨリ離脱セザレバ分解シ得ズ)
- 五 終減速機
(本機ハ車體ヨリ離脱セザレバ分解シ得ズ)

第十章 九八式四軌牽引車

第三百八十二 本牽引車ハ機動九〇野砲ノ牽引ヲ主目的トスル裝軌式車輛ニシテ牽引力及攀登力大ニシテ特ニ路上及路外ニ於ケル運動性優秀ナルヲ特徴トス(第二百二十圖)

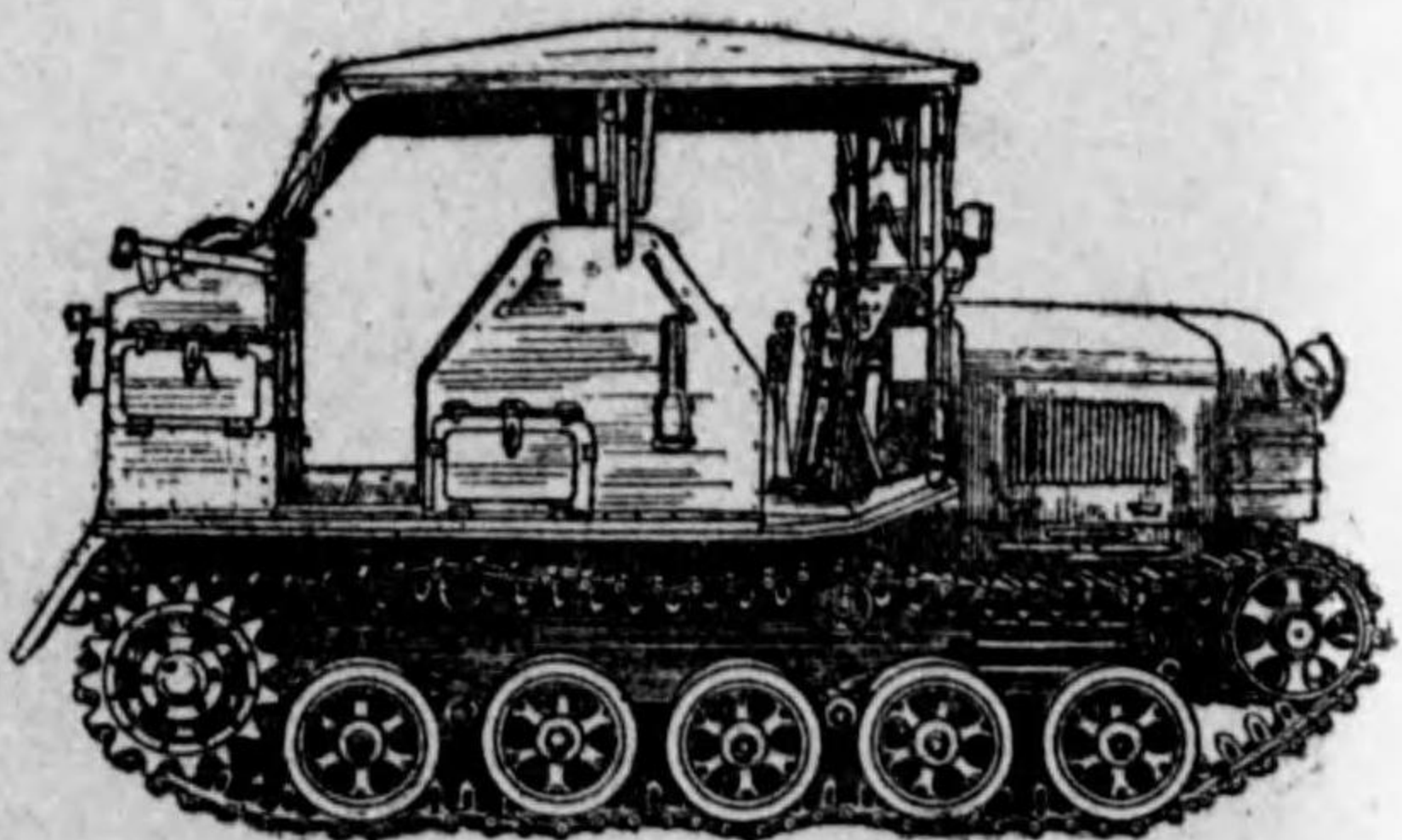
第十一章 九二式八軌牽引車(甲)(乙)

第三百八十三 本牽引車ハ裝輪十五加農ノ牽引ヲ主目的トセル裝軌式車輛ニシテ牽引力並ニ攀登力大且路上及路外ニ於ケル運動性著シク優秀ナルヲ特徴トス(第二百二十一圖)

第三百八十四 本牽引車ハ甲、乙二種ニ分ル

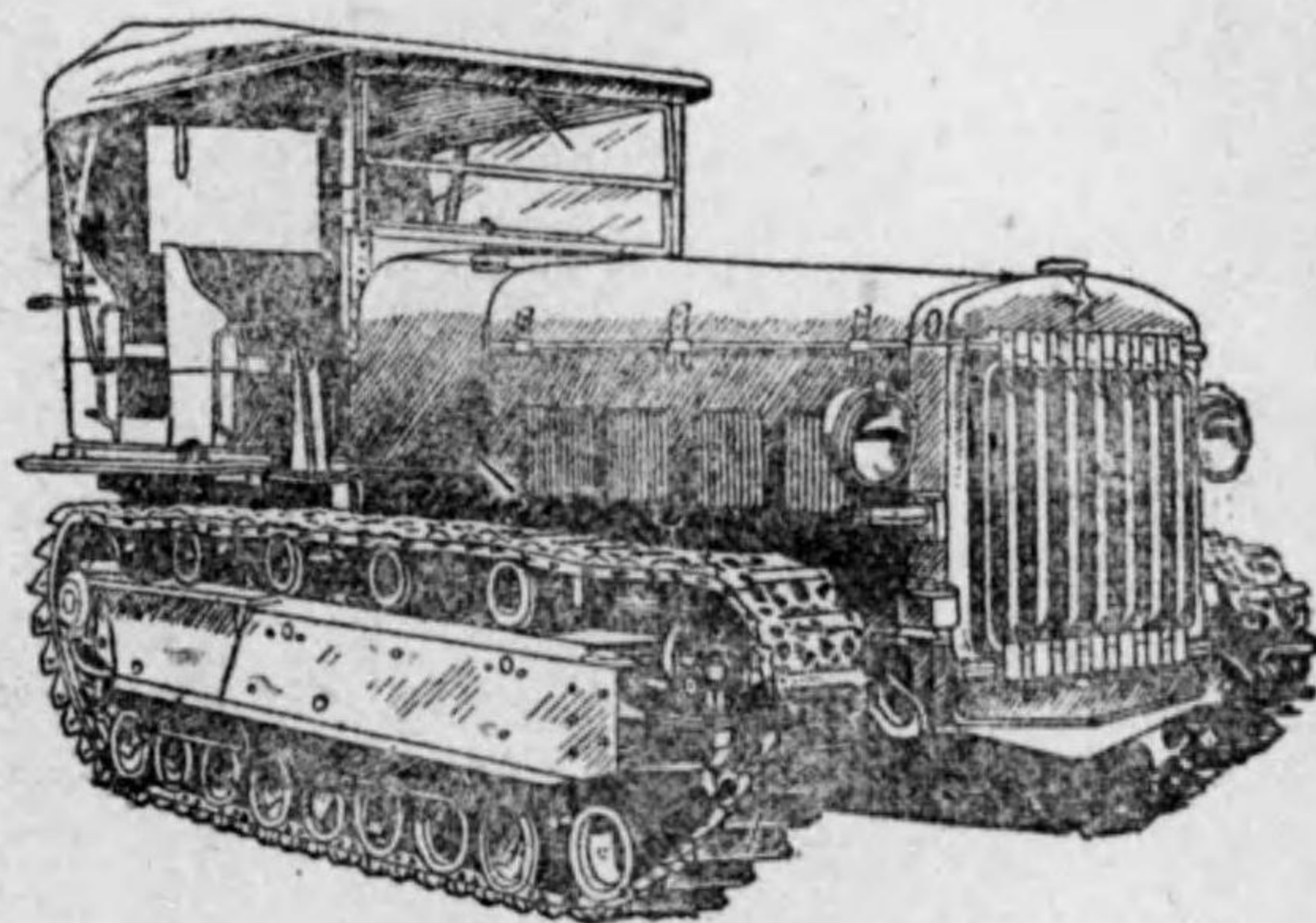
乙ハ甲ノ揮發油發動機ヲ「ディーゼル」發動機ニ改装シ且之ニ應ズル電氣裝置ヲ裝備シタルモノトス

圖 十 二 百 二 第



構造機油並ニ取扱 九八式四軌牽引車 九二式八軌牽引車(甲)(乙)

圖一十二百二第



圖二十二百二第



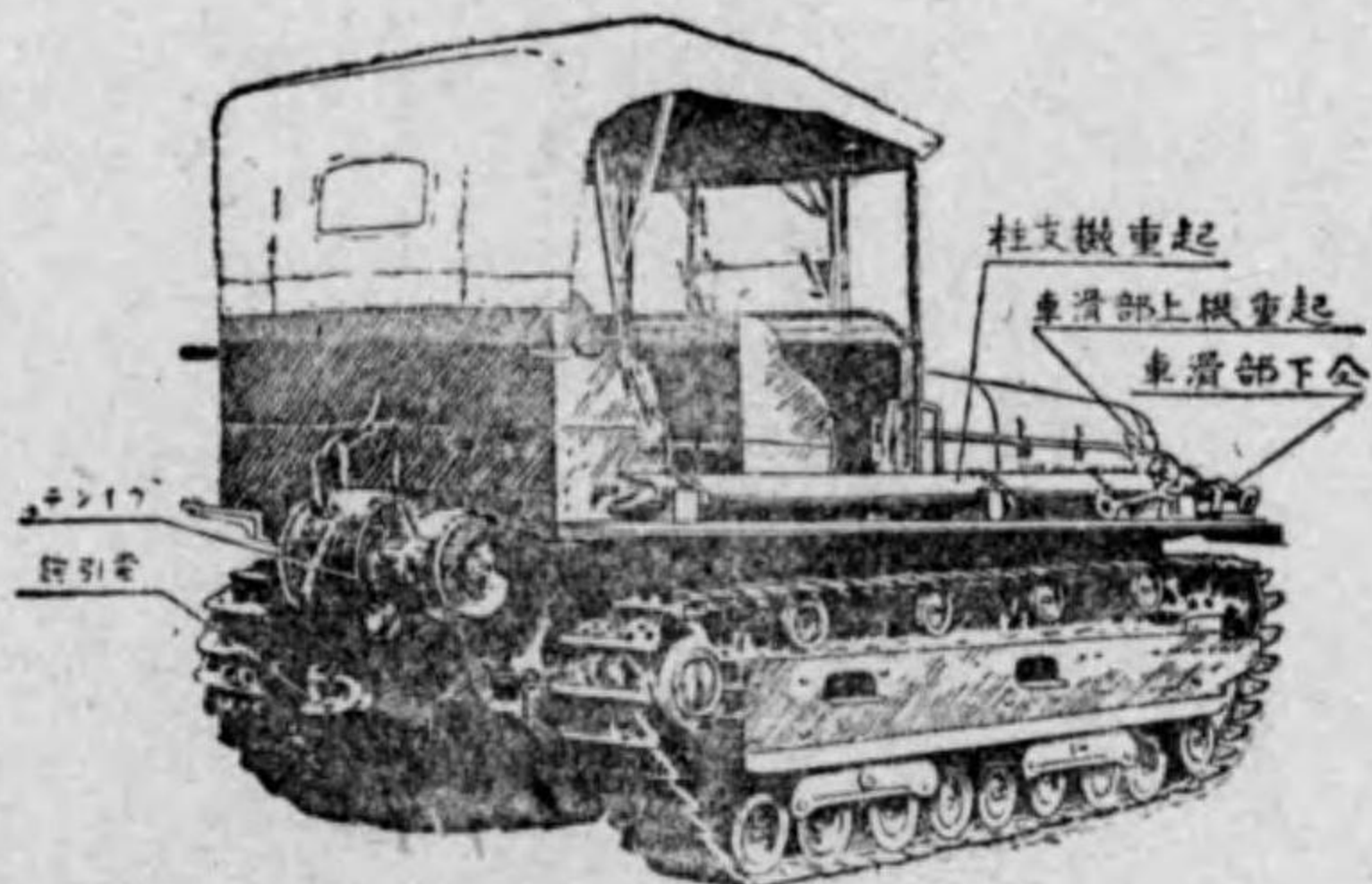
第十二章 九五式十三吨牵引车(甲)(乙)(第二百二十二圖)

第三百八十五 本牵引车ハ大口徑火砲ノ分解搬送等ニ使用セラルルモノニシテ其ノ様式ハ概ネ九二式八吨牵引车ニ類似シ牽引力大ニシテ不齊地通過能力優秀ナルヲ特徴トシ車尾ニハ強力ナル「ウインチ」ヲ備ヘ車體兩側ニハ分解セ

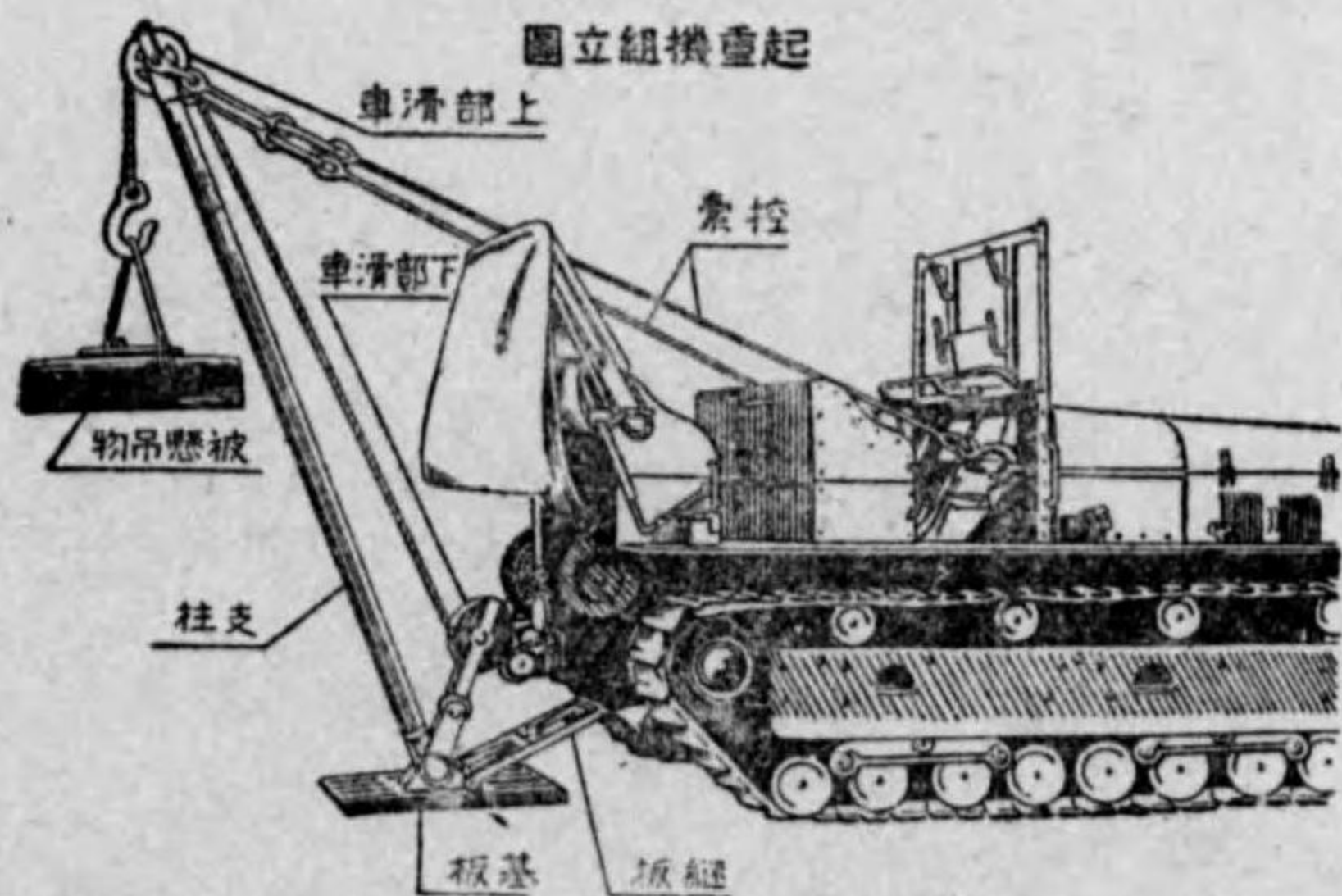
起重機(臨時車尾ニ組立テ使用ス)ヲ積載ス(第二百二十三、二百二十四圖)

第三百八十六 本牵引车ハ甲乙二種ニ分ル、乙ハ機關ヲ特ニ「ディーゼル」機關ニ改装セルモノトス

圖三十二百二第



圖四十二百二第



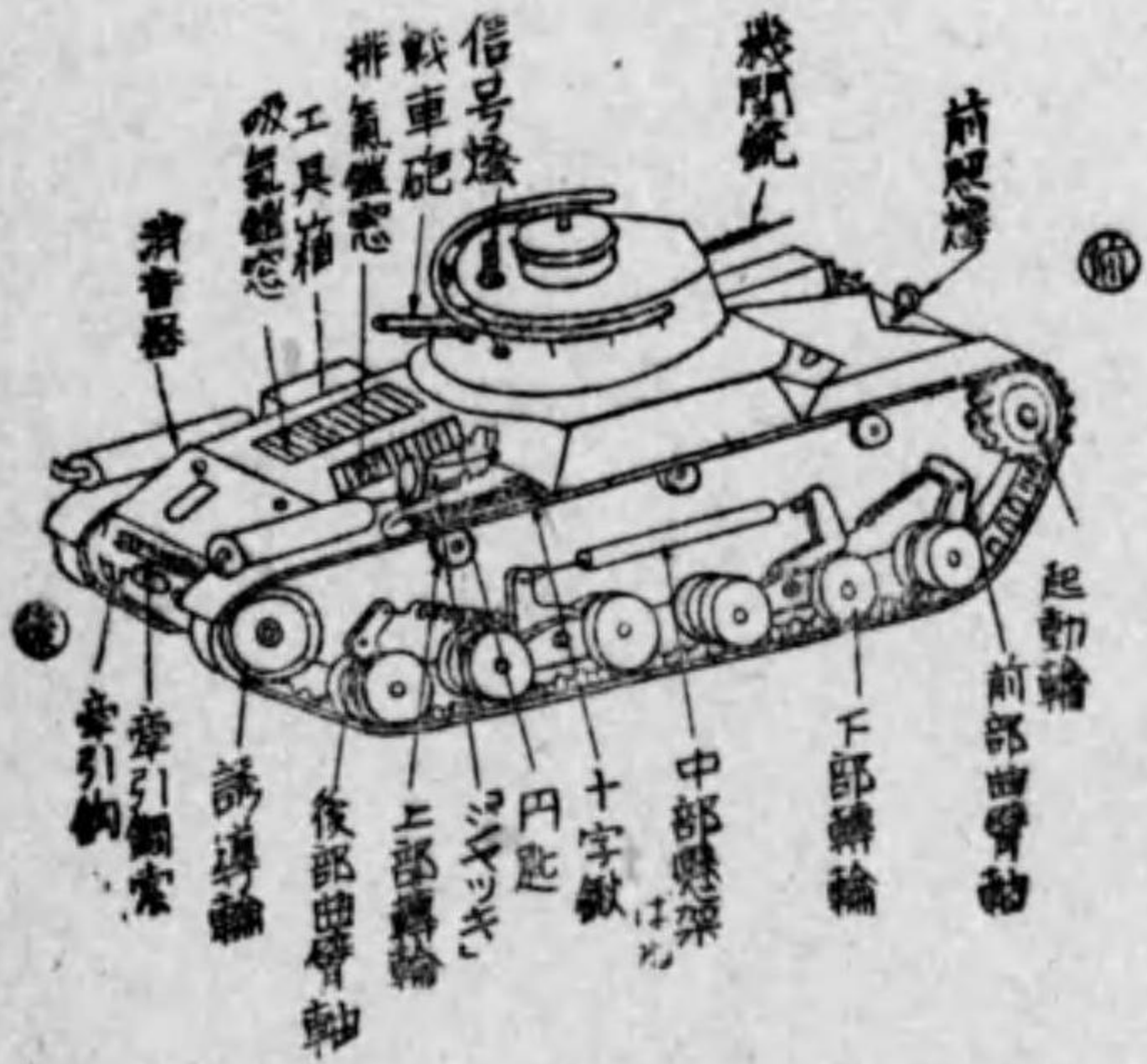
構造機能並ニ取扱 九五式十三吨牵引车甲、乙

第十三章 九七式中戰車

要 則

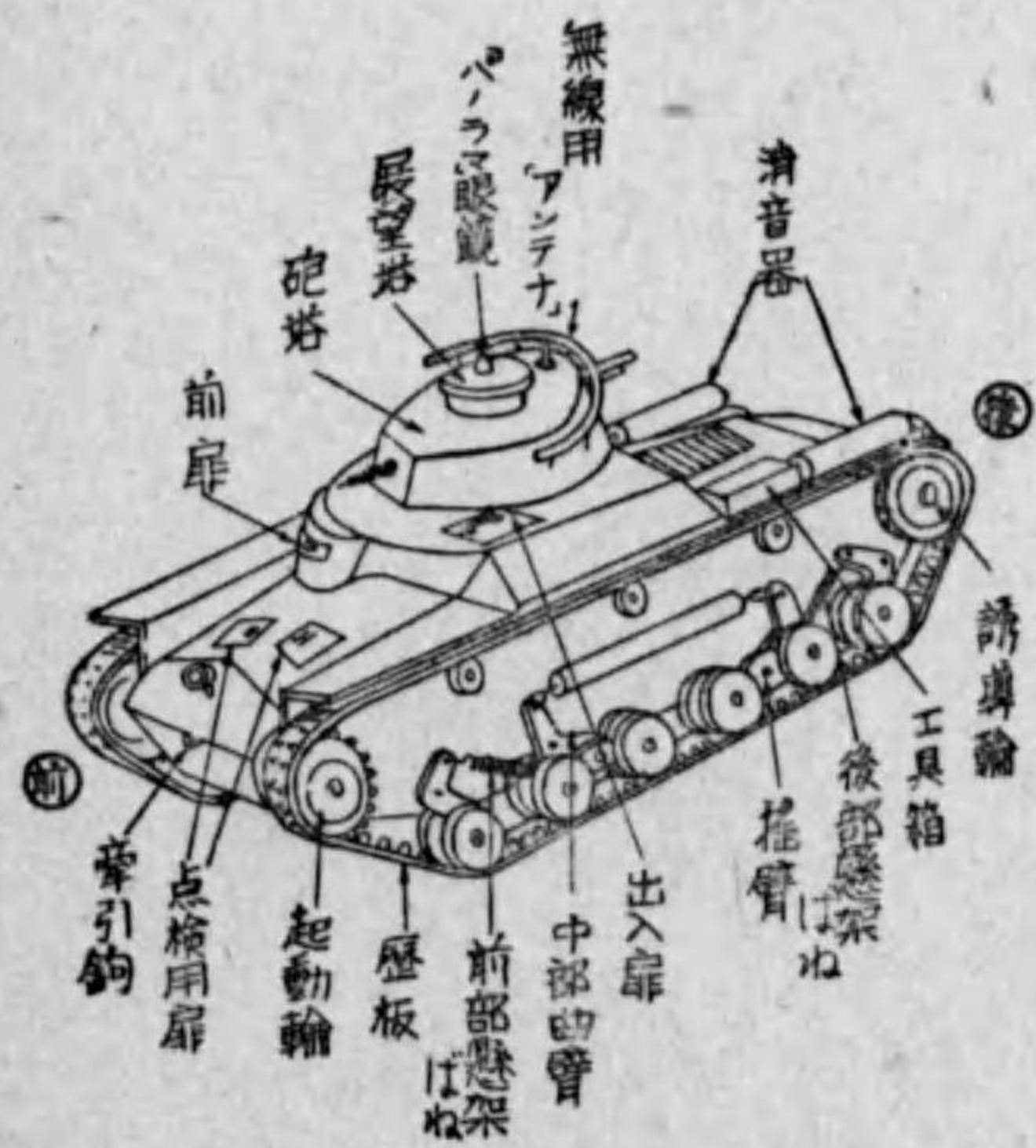
第三百八十七 本中戰車ハ八九式中戰車ニ比シ全高ヲ減シ努メテ避彈經始ヲ採用シ其ノ他後者ニ比シ威力ノ増大ニ努
メアリ本戰車ノ外觀名稱第二百二十五圖、第二百二十六圖ノ如ク其ノ傳動要領第二百二十七圖ノ如シ

圖五十二百二第



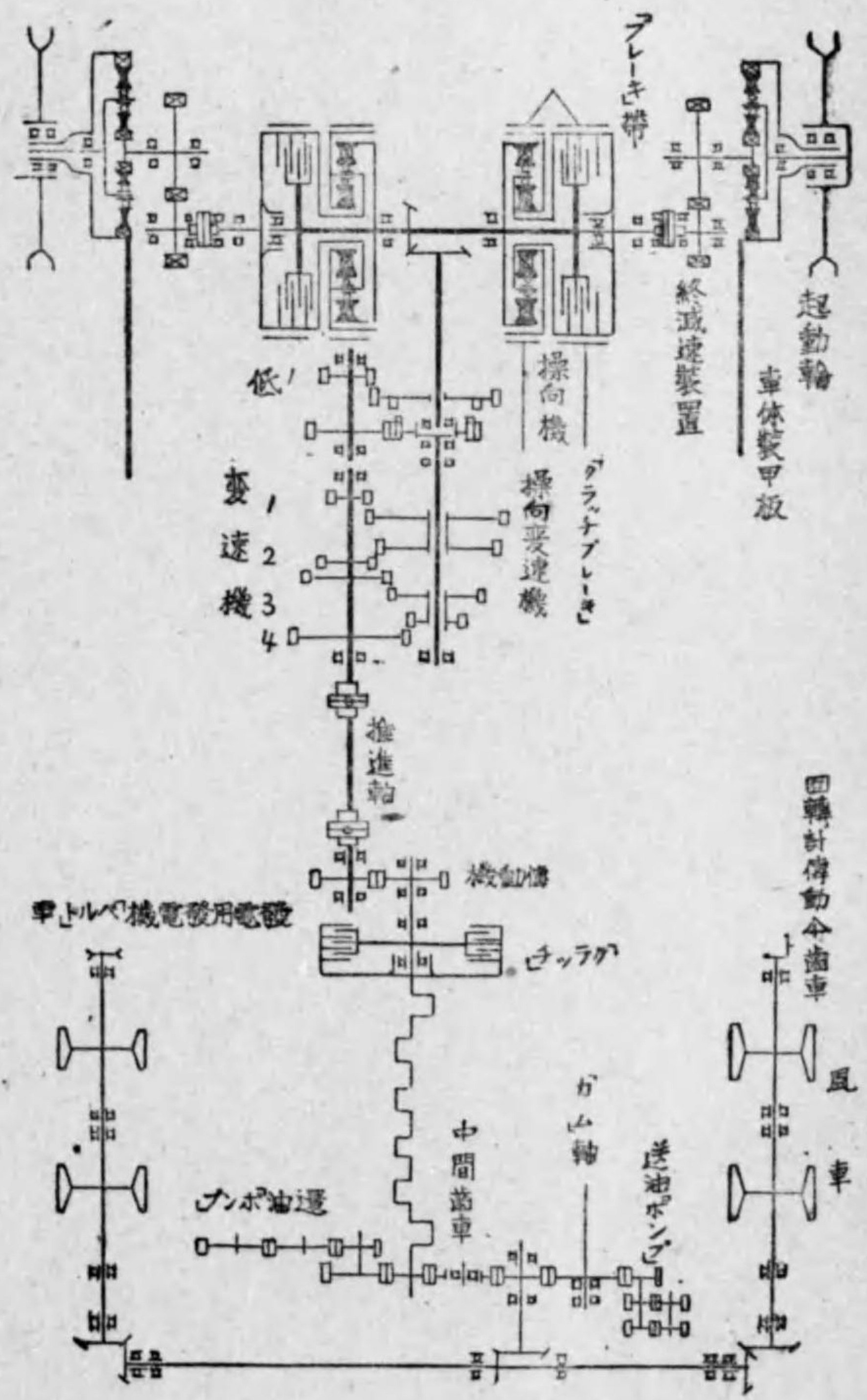
構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

圖六十二百二第



二三五

圖七十二百二第



第一節 發動機
要旨

第一款 外觀名稱

第三百八十八 本發動機ノ外觀名稱第二百二十八圖ノ如シ

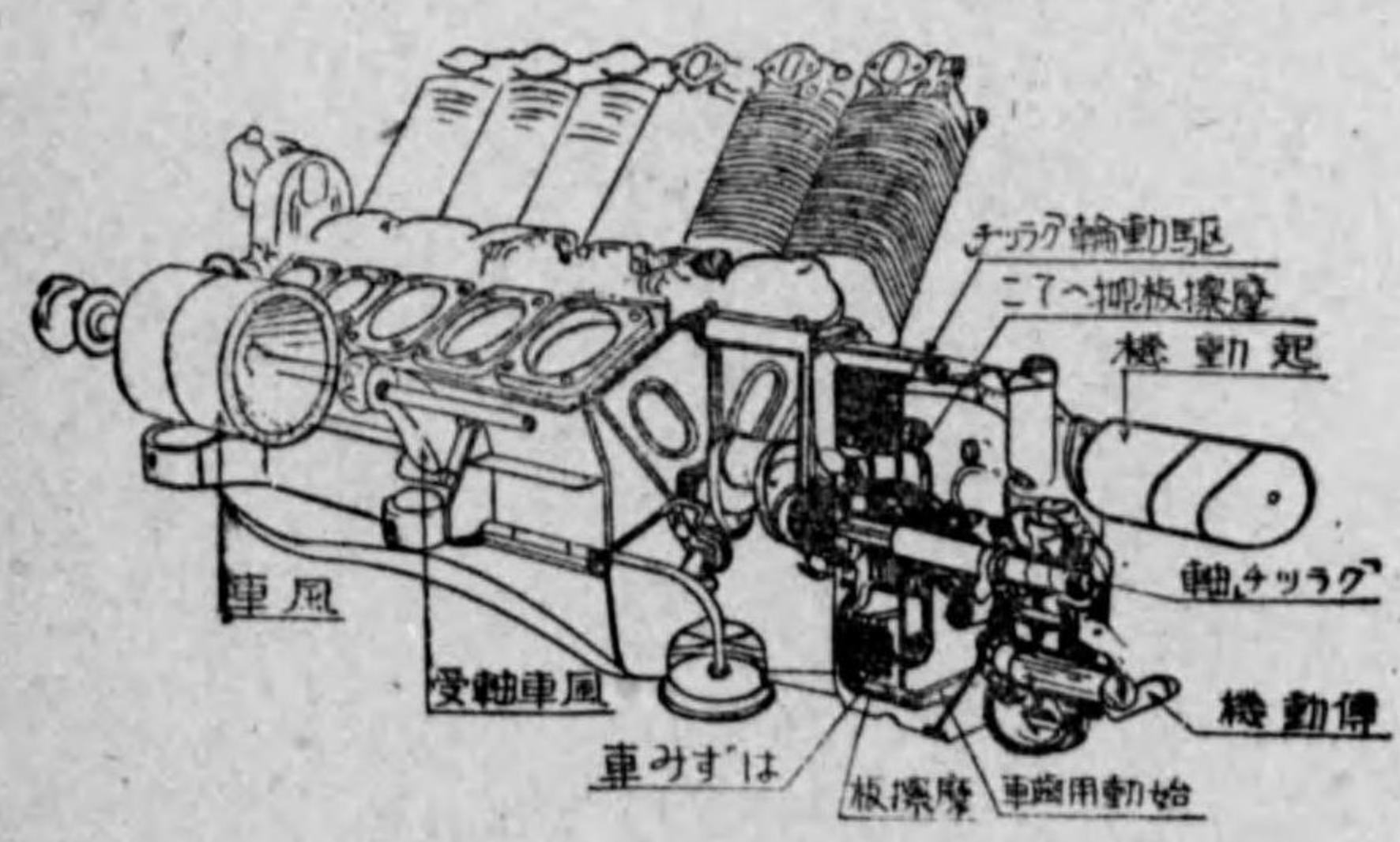
第二款 「シリンダ」

第三百八十九 「シリンダ」ハ「シリンダ」蓋及本體ヨリ成リ上部「クランク」室上面ニ植込マレタル各四箇ノ突抜「ボルト」ニヨリ「シリンダ」蓋ノ上部ニ於テ特殊「ナット」ヲ固定シ上部「クランク」室ニ固定セラル

「シリンダ」蓋ハ「アルミニウム」合金製ニシテ内面ハ平面ヲナシアルミ青銅製ノ吸排氣弁坐各二箇ヲ裝嵌シ其ノ上部ニハ弁誘導筒ヲ挿込ミ吸氣弁用一箇ハ弁回轉駐止ノタメノ圓形「キー」ヲ裝スル缺切部ヲ有ス上面ニハ噴射弁取附「ボルト」吸排氣弁ばね受ヲ取附ク

「シリンダ」本體ハ「ニッケルクロム」鑄鐵製ニシテ外周ニハ横壁ヲ有シ下部ハ上部「クランク」室ニ嵌リ鈔ニヨリ支ヘラル

圖八十二百二第

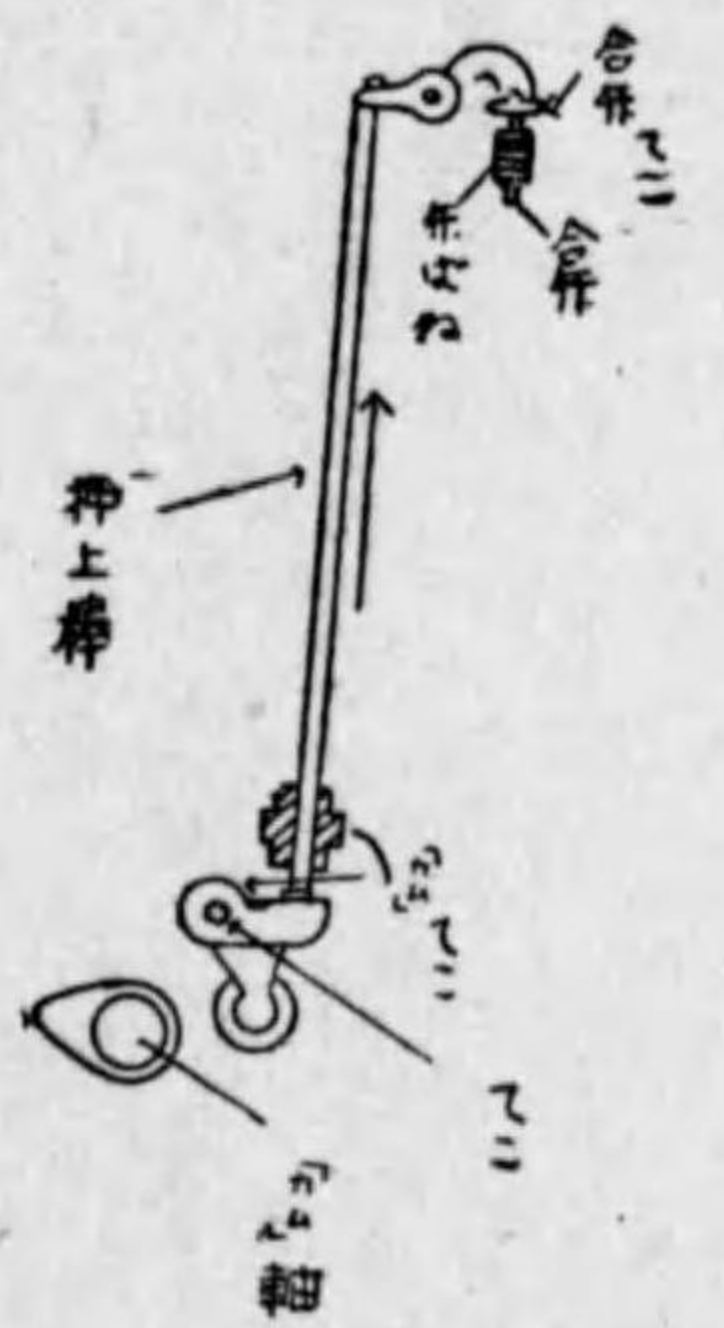


構造機能並ニ取扱 九七式中戦車

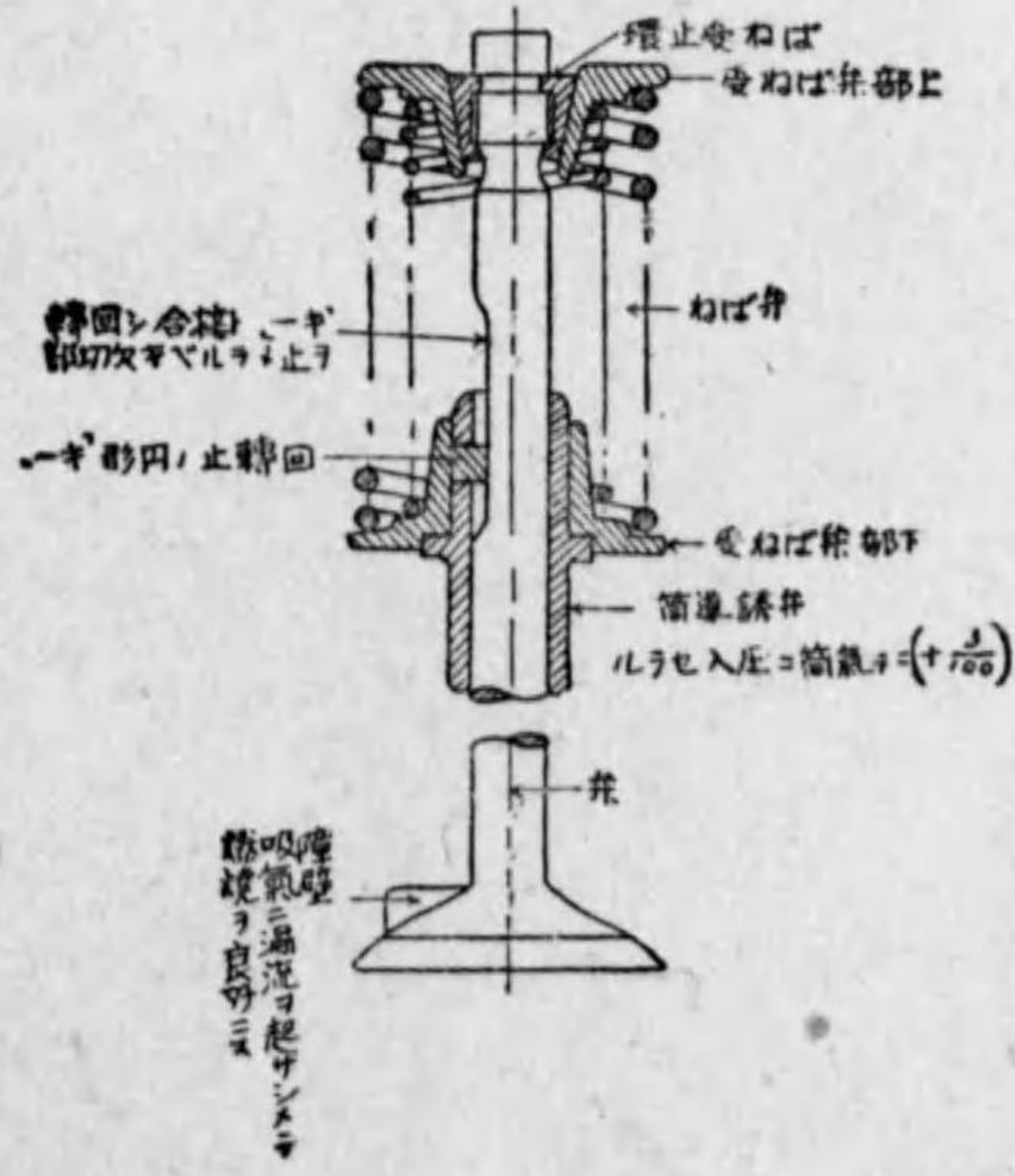
第三款 弁及驅動裝置

第三百九十 本裝置ハ「カム」軸、「カム」にてこ、押上棒、弁てこ、ばね受、排氣弁等ヨリナリ其ノ驅動要領ヲ示セバ第
二百二十九圖ノ如シ

圖九十二百二第



圖十三百二第



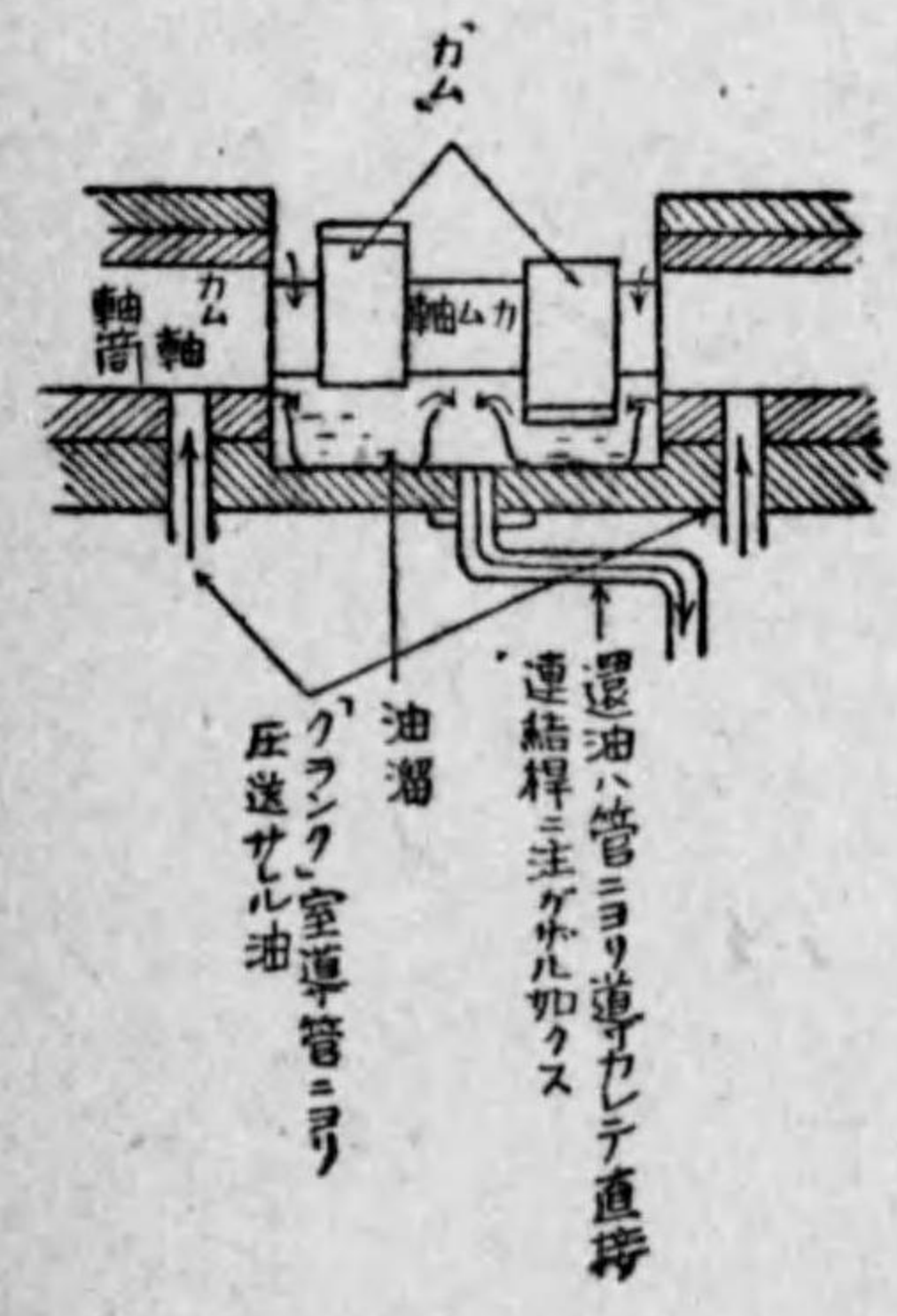
第四款 吸排氣弁

第三百九十一 吸排氣弁ハ「シリンドラ」ニ對シ各二箇ヲ裝セラレ排氣弁及吸氣弁ノ一箇ハ普通型ニシテ他ノ吸氣弁ハ

特種ノ形狀ヲナシ吸氣ニ過狀ヲ與フル如クセラレアリ其ノ構造ヲ示セバ第二百三十圖ノ如シ弁坐ノ傾斜ハ各四五度ニシテ弁ノ徑ハ吸氣四三耗、排氣三九耗ナリ
弁桿徑ハ一〇耗ニシテ頭部ハ燒入ヲナシ其ノ衰損ヲ防止ス
第三百九十二 弁てこハ押上棒ノ運動ヲ弁ニ傳フルモノトス排氣弁ハ押上棒ノ反對側ニアルヲ以テてこハ長短二箇ヨリナル

第三百九十三 「カム」ハ同一「カム」ヲ以テ左右相對スル二箇ノ「シリンドラ」ノ吸(排)氣弁ヲ操作スルモノニシテ吸(排)氣弁用カム各々六箇ヲ附シタル一本ノ「カム」軸ヲ用フ
排氣弁用「カム」ニハ之ト一體ニ減壓「カム」ヲ附シ「カム」軸齒車ノ反對側ニハ「スプライン」ヲ有シ燃料噴射「ポンプ」接手ヲ取附ク

圖一十三百二第



圖二十三百二第



構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

「カム」ノ給油ハ上部「クランク」室給油主管ヨリ「カム」軸受ニ至リタル油ガ漏レ「カム」下方ノ油溜ニ溜リ之ニ依リ行
ハル油溜ヨリ溢レタルモノハ還油孔ヨリ「クランク」室ニ降下スル
モノトス其ノ要項第二百三十一圖ノ如シ

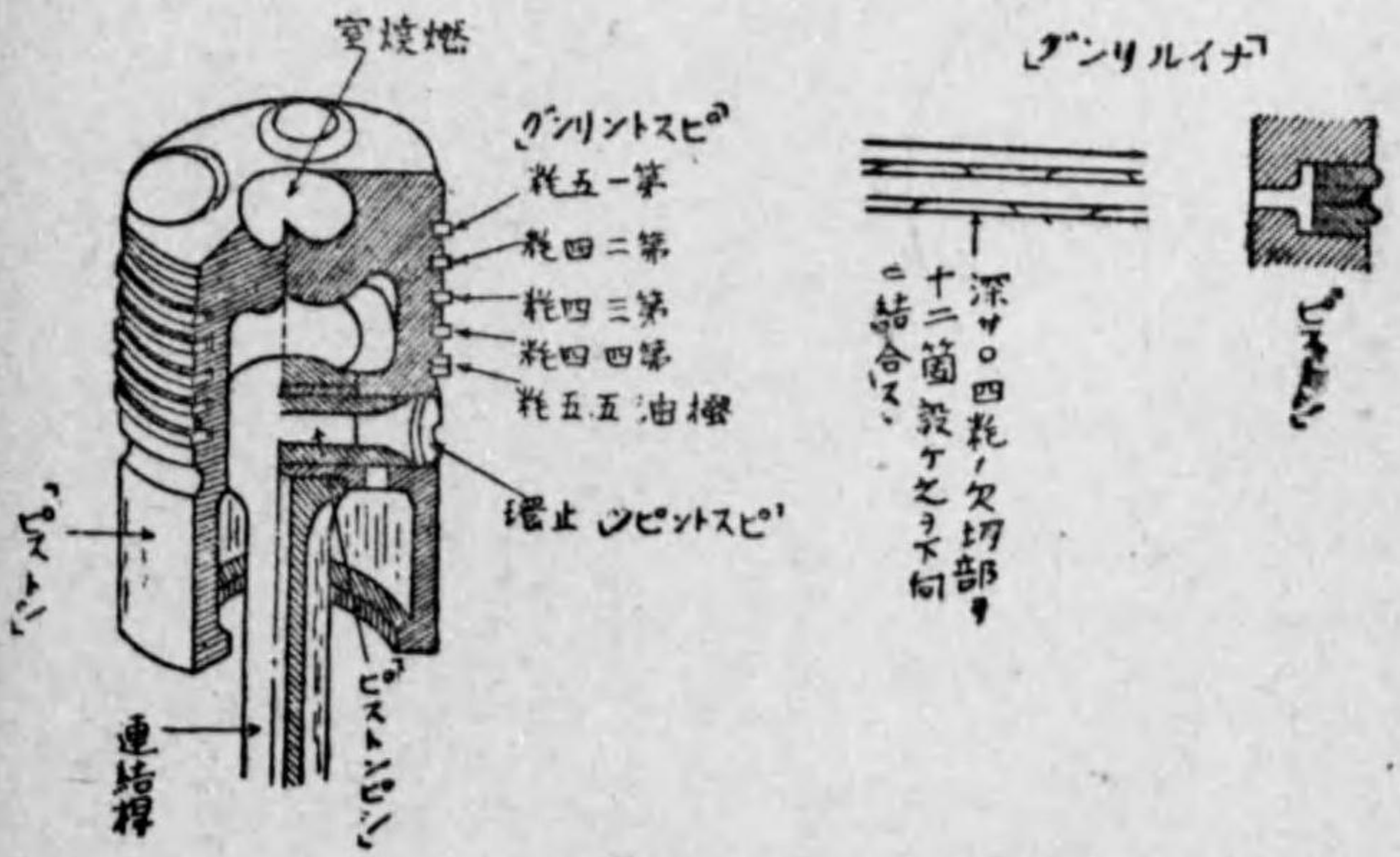
第三百九十四 弁開閉時期ハ第二百三十二圖ノ如シ

第五款 「ピストン」及「ピ
ストンピン」

第三百九十五 「ピストン」ハ「アルミニウム」合金製ニシテ上部ニ四
箇ノ「ピストンリング」ト一箇ノ「オイルリング」トヲ備フ其ノ頂部
ハ燃燒室ヲ形成ス

第三百九十六 「ピストンピン」ハ自動車鋼第七種製ニシテ全浮遊式
ナリ其ノ構造ハ第二百三十三圖ニ示ス如シ

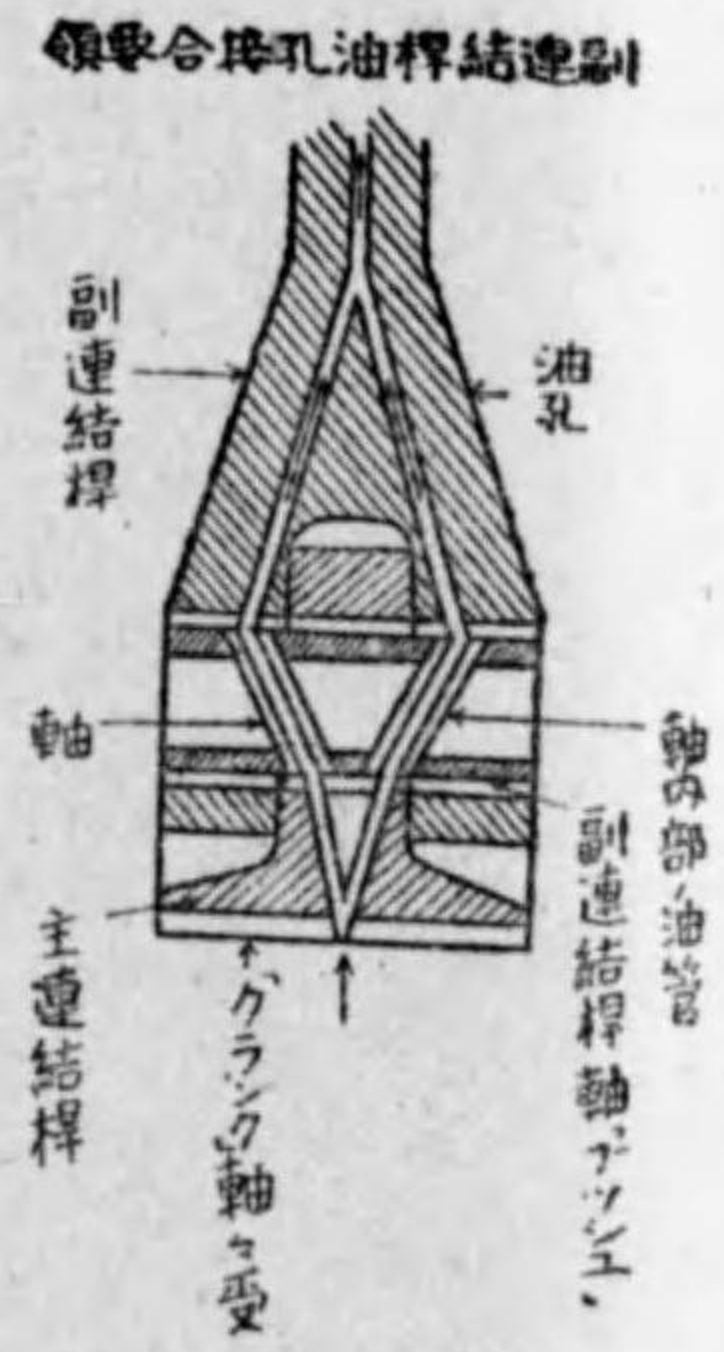
圖三十三百二第



第六款 連結桿

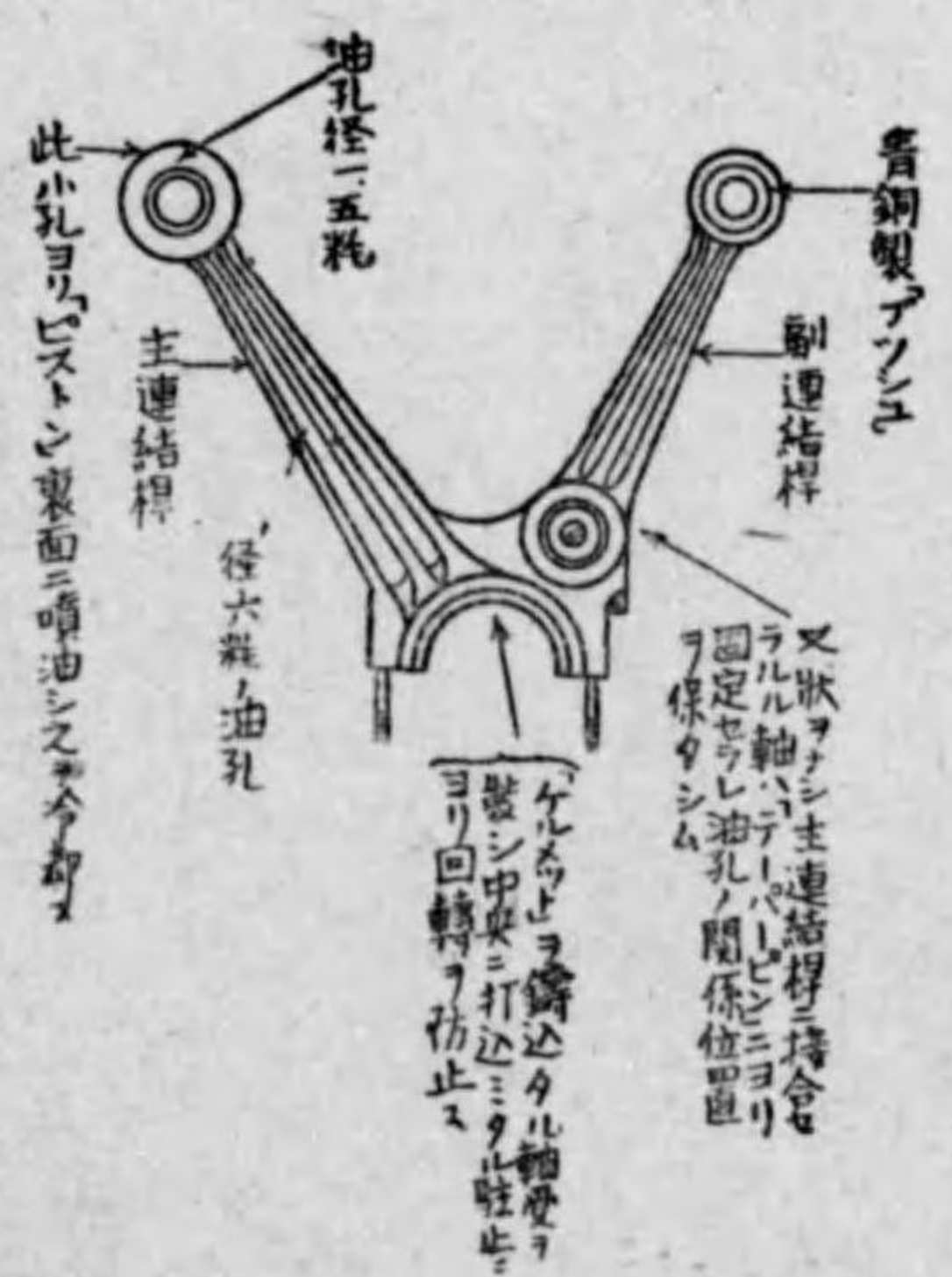
第三百九十七 連結桿ハ主、副、兩連結桿ヨリ成リ其ノ構造ヲ示セ
バ第二百三十四圖ノ如シ

「クランク」軸々受ヨリ連結桿軸受ニ壓入サレタル油ハ一部ハ軸受兩側ニ洩レ飛散油トナリテ「ピストン」及「シリ



- 備考
- 一 各連結桿共自動車鋼第七號ヲ用フ
 - 二 I型断面ナリ
 - 三 小端「ブツシ」及副連結桿軸「ブツシ」ハ何レモ青銅製ナリ

圖四十三百二第



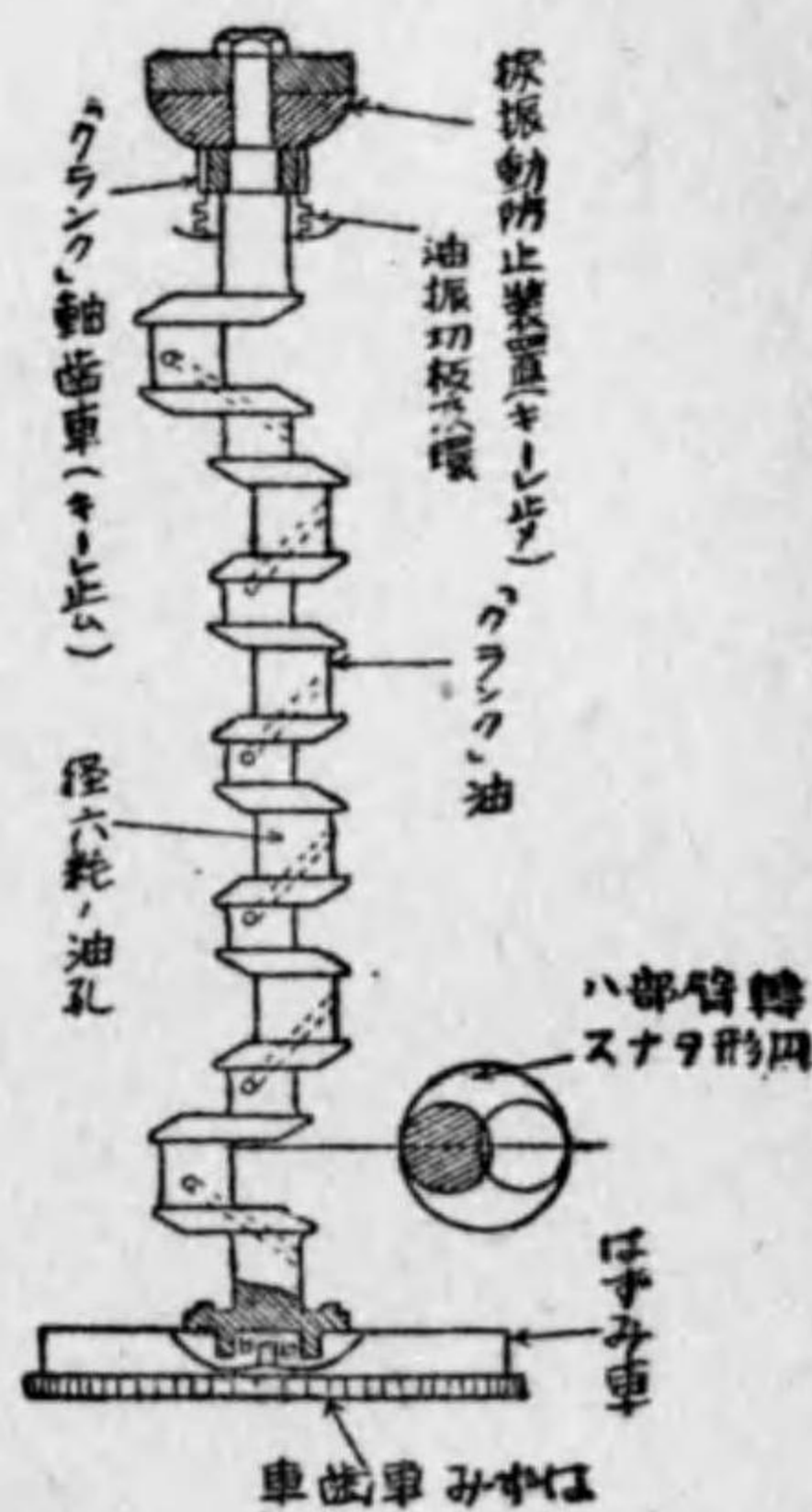
ンダ」壁ヲ潤滑ス一部ハ主連結桿及連結桿ニ分レ各々ノ油孔ヲ通りテ「ピストン」ヲ潤滑ス「ピストンピン」軸受外筒ノ溝ヲ通りテ上部ノ小孔ヨリ噴出サレタル油ハ「ピストン」裏面ニ注ガレ「ピストン」冷却ノ用ヲナス

第七款 「クランク」軸

「クランク」軸ハ自動車鋼第十四種製ニシテ軸受部ハ表面焼入ヲナシ精密ナル研磨仕上ヲ施ス
連結桿軸受部ハ徑七四耗「クランク」軸軸受部ハ徑九〇耗ニシテ「クランク」軸軸受部ヨリ連結桿軸受部ニ徑六耗ノ油孔ヲ穿ツ(第二百三十五圖)

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

圖五十三百二第



第八款 はづみ車

第三百九十八 はづみ車ハ皿状ヲナシ第一「シリンダ」ニ對シテ上死、排開、吸開、噴終ノ文字ヲ刻ス
内周ニハ「クラッチ」摩擦板止用「キー」十六箇ヲ等分ニ銜ニテ固定シ後端ニハ「クラッチ」蓋板ト共ニ起動用輪型齒車
ヲねじ込ミ「ボルト」ニテ取附ク

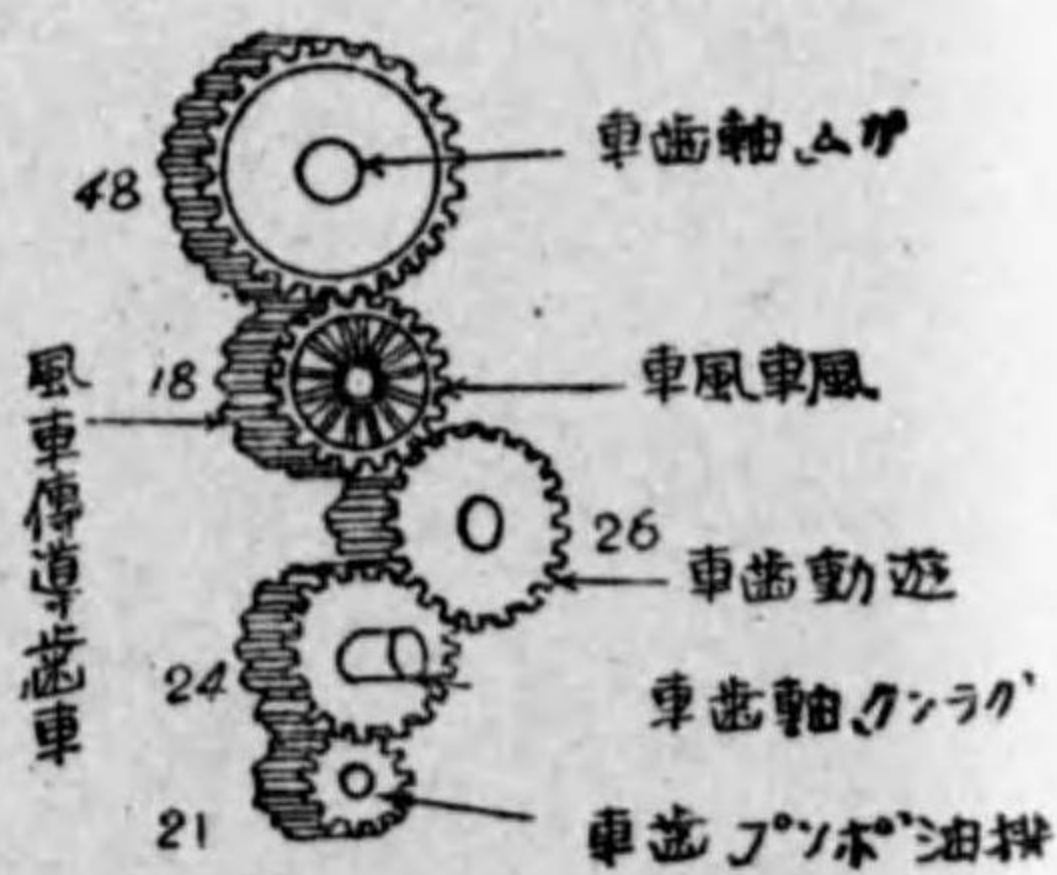
第九款 調時齒車

第三百九十九 「クランク」軸齒車ノ回轉ハ排油「ポンプ」齒車ニ又ハ遊動齒車ヲ經テ風車齒車、「カム」、軸齒車、給油
「ポンプ」齒車等ニ傳ヘラル(第二百三十六圖)
調時齒車ノ潤滑ハ「クランク」室飛散油及油壓調整弁ノ漏油ニヨリ行ハル

第十款 「クランク」室

第四百 「クランク」室ハ上部「クランク」室、下部「クランク」傳動齒
車及主「クラッチ」室ヨリ成ル
下部「クランク」室ハ「アルミニウム」合金製ニシテ上部「クランク」
室ハ鋼板ノ熔接ニヨリ作ラル
上部「クランク」室ノ上面ニハ「カム」軸々受ヲ有シ中央下面ニハ給
油主管ヲ附ス
齒車室側ニハ左右ニ各一箇宛ノ機關吊環ヲ有ス右方兩端部ニハ換
氣吸入管二箇ヲ左方溝型中央部ニハ換氣排出管二箇ヲ取附ク

圖六十三百二第



註 數字ハ齒數トス

第十一款 燃料噴射裝置

第四百一 本裝置ハ燃料噴射「ポンプ」、燃料噴射弁、噴射管及漏油管等ヨリ成ル
一 燃料噴射「ポンプ」
三菱式C一二八〇型ヲ使用シ機關後方はづみ車室上ト「クラッチ」室蓋トニ締付ケラレ「カム」軸後部ヨリ驅動サル其
ノ構造第二百三十七圖ノ如シ
1 噴射量加減裝置

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

第十三款 排氣裝置

第四百三 六「シリンダ」宛一組ヲ有シ構造ヲ示セバ第二百四十六圖ノ如シ

第十四款 始動裝置

第四百四 本裝置ハ「シリンダ」内減壓裝置、起動電動機ヨリ成ル

第四百五 減壓裝置

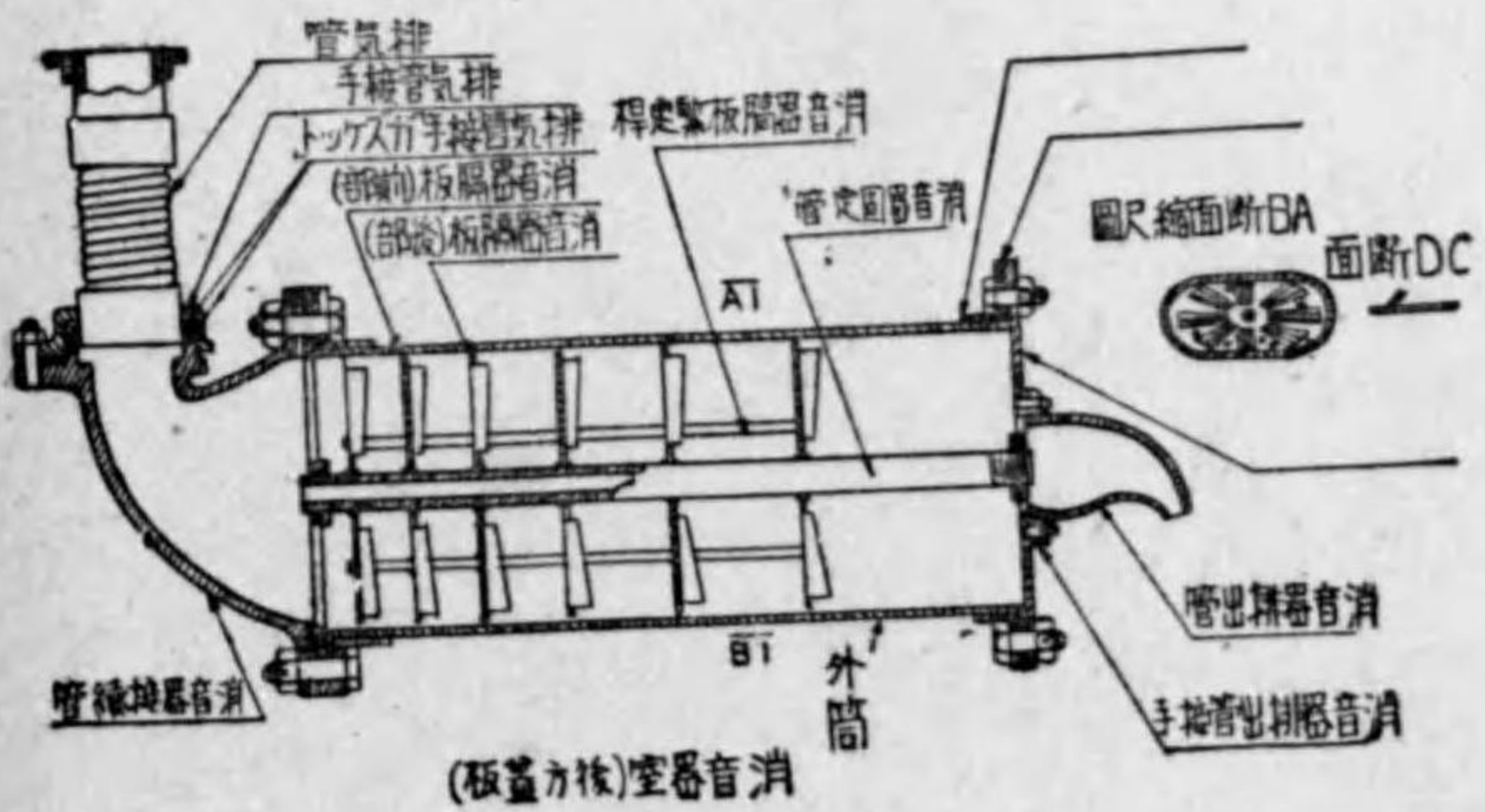
構造機能ハ第二百四十七圖ニ示ス如シ而シテ此ノ操作ハ機關ヲ停止セシムルトキ行ヒ置クモノトス然ラザレバ次ノ起動ニ煩雜ナル操作ヲ要ス

減壓「カム」作動要領ヲ示セバ第二百四十七圖ノ如シ

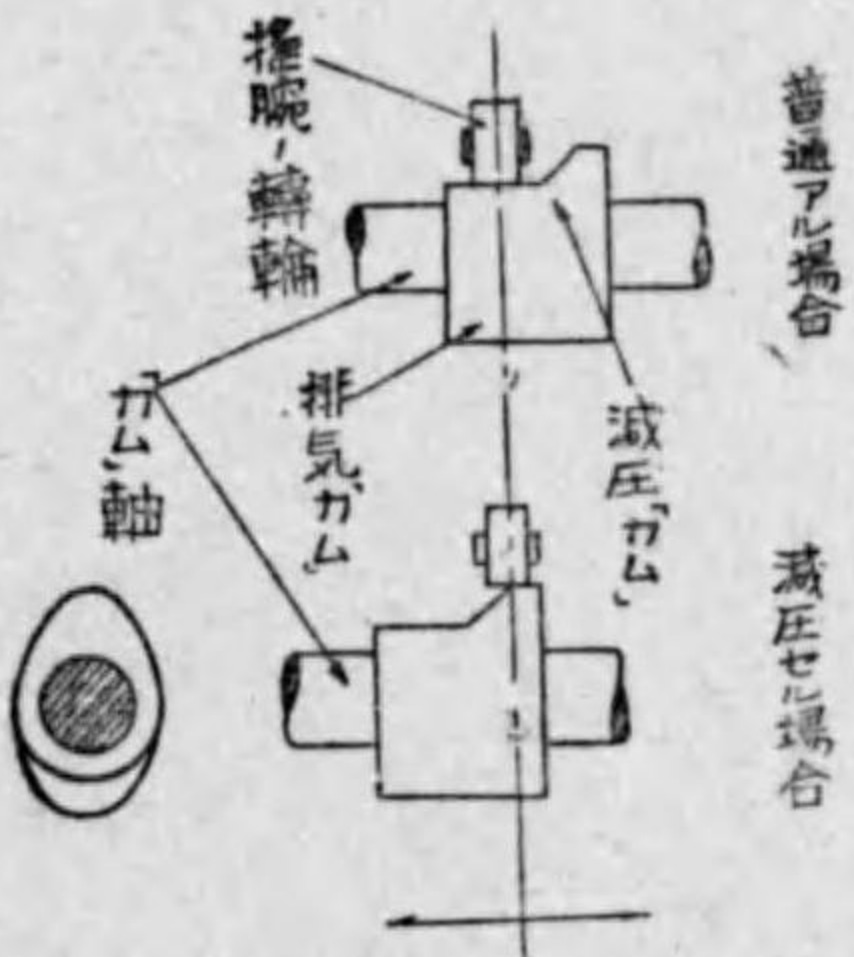
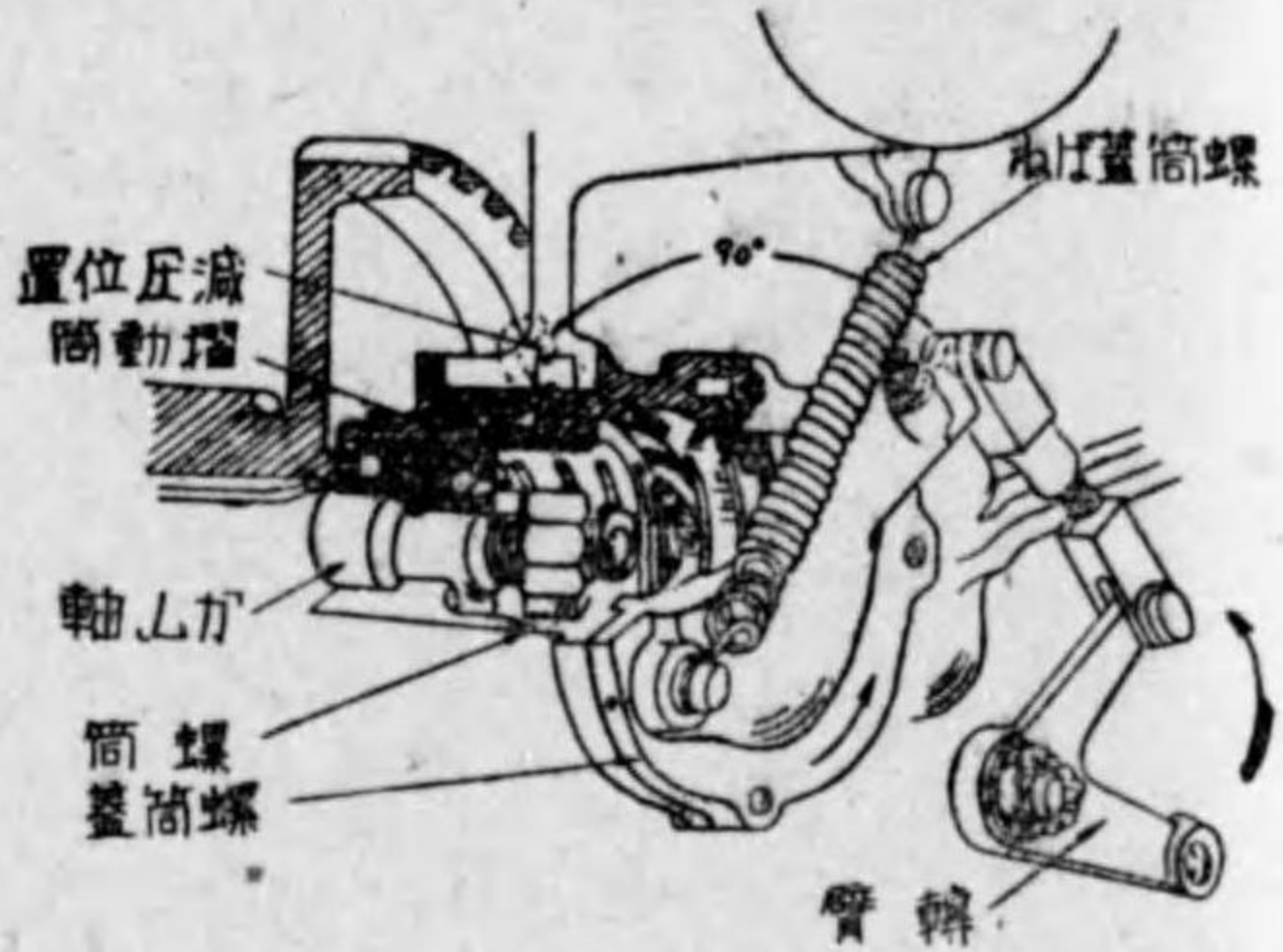
第四百六 電氣起動裝置

電氣起動裝置ノ構造機能ハ第二百四十八圖ニ示ス如シ

圖六十四百二第



圖七十四百二第



轉臂ヲ矢ノ方向ニ動カスコトニヨツテ螺筒蓋ヲ矢ノ方向ニ回ス螺筒蓋ハ回轉ノミ許サレアルニヨリ之ニ螺合(左ねじ)セラレ摺動ノミ許サレ回轉ヲ許サレザル摺動筒ハ圖ニ向ツテ右方ニ前進ス從ツテ之ニ縮付ケラレタル「カム」軸ハ減壓「カム」方押し棒ニ作動スルトコロマデ右方ニ前進ス螺筒及摺動筒ノ結合ハ刻印ヲ附シテ關係位置ヲ示シアリ

第二節 配油裝置

第四百七 滑油槽(容量約五〇立)ハ車體後端ニ配置セラル内部ハ補強竝ニ滑油分離ノタメ三室ニ區分セラレ隔壁ニハ連絡用孔ヲ有ス

左右兩室下面ニハ排油孔ヲ設ケ底板ノ相當孔蓋板ヲ離脱シ排油ス上面中央室ニハ注油筒ヲ取附クル外空氣拔竝ニ吸油管ヲ、左室上面ニハ給油管及冷却器送油管ヲ、右室上面ニハ送油管及計器取附部ヲ有ス

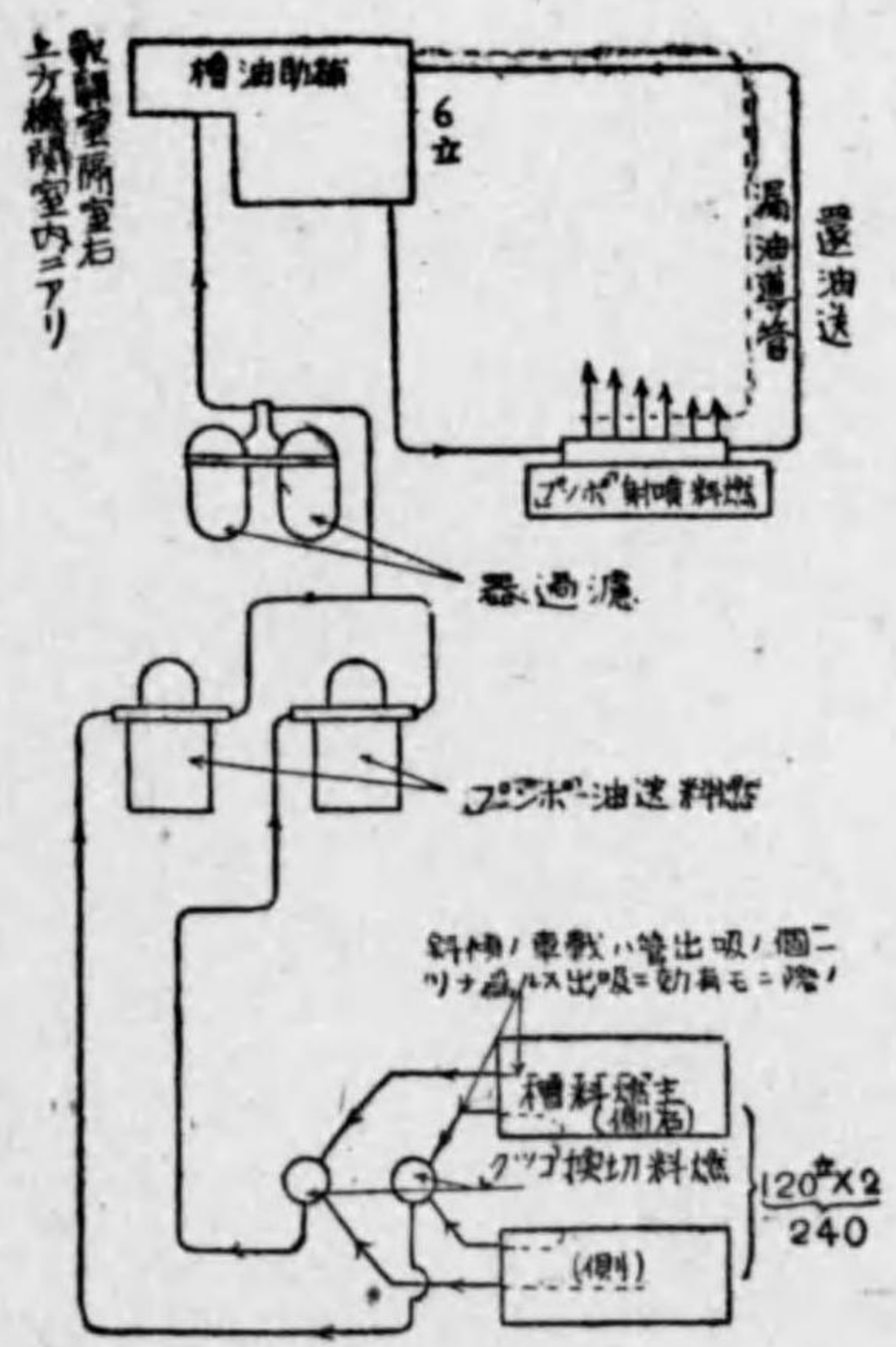
構造機能竝ニ取扱 九七式中戰車

損セシムレバナリ若シ使用後直ニ油冷却器ノ油ヲ油槽ニ返スコトヲ忘却シタル如キ場合ニアリテハ通氣孔塞螺ヲ脱シ油ノ降下ヲ容易ナラシムルモノトス

第三節 燃料装置

第四百十 燃料装置ハ主燃料槽、切换「コック」、燃料送油「ポンプ」、濾過器、補助油槽、各種油管附屬設備ヨリ成ル其ノ系統ヲ示セバ第二百五十一圖ノ如シ

圖一十五百二第



第四百十一 主燃料槽(容量二四〇立)

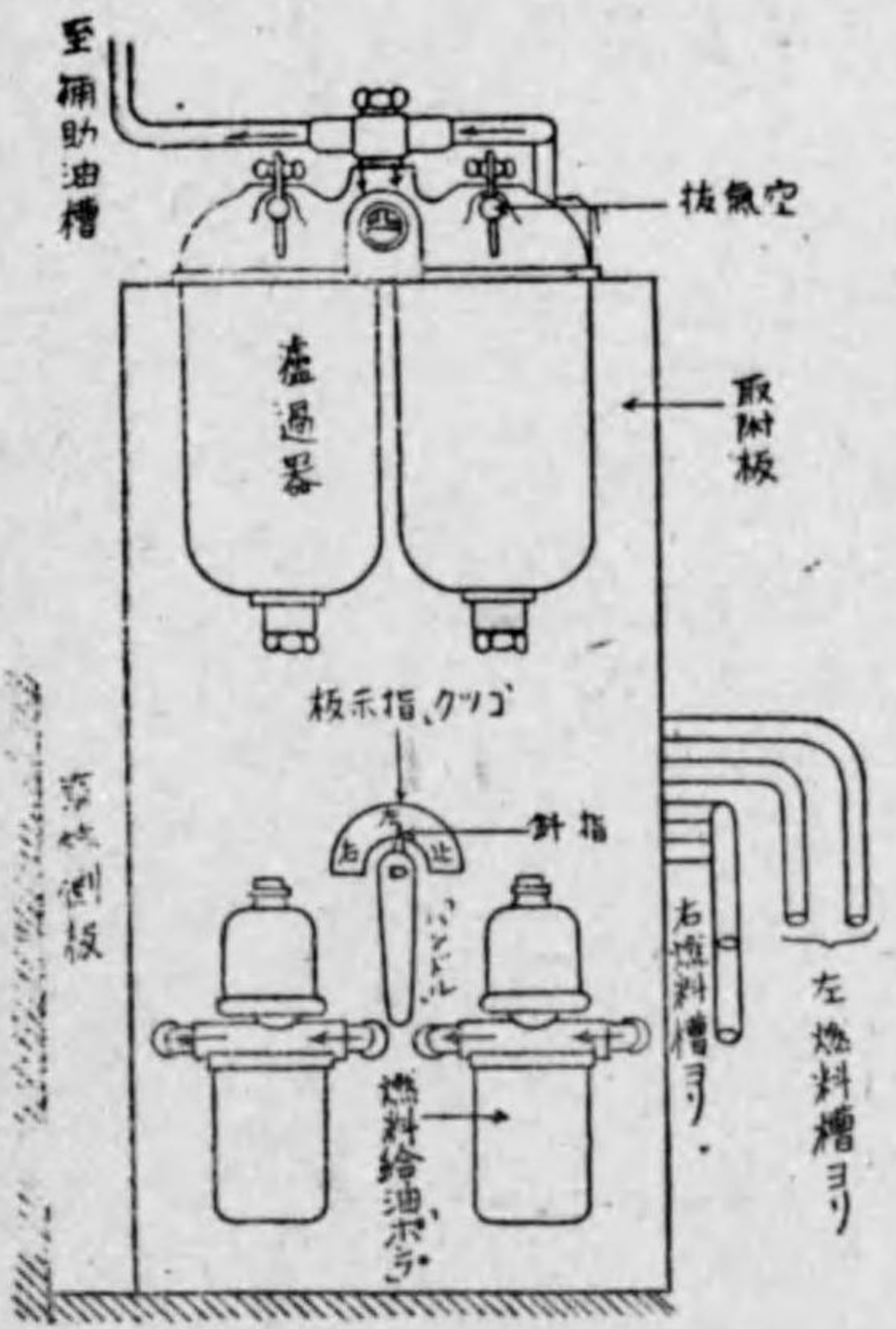
左右同型ニシテ機關支臺兩側ニ位置ス左右共ニ主室、副室ニ區分セラレ兩室ハ前後兩端末近ク夫々一箇ノ通路ヲ有

シ前面ニハ二箇ノ吸出口、後面ニハ二箇ノ排油口ヲ有ス
通氣孔ハ燃料補給ノ際油槽内ノ空氣ヲ排出セシムルモノニシテ満量ノ際流出スルヲ以テ燃料ノ補給ニハ注意ヲ要ス

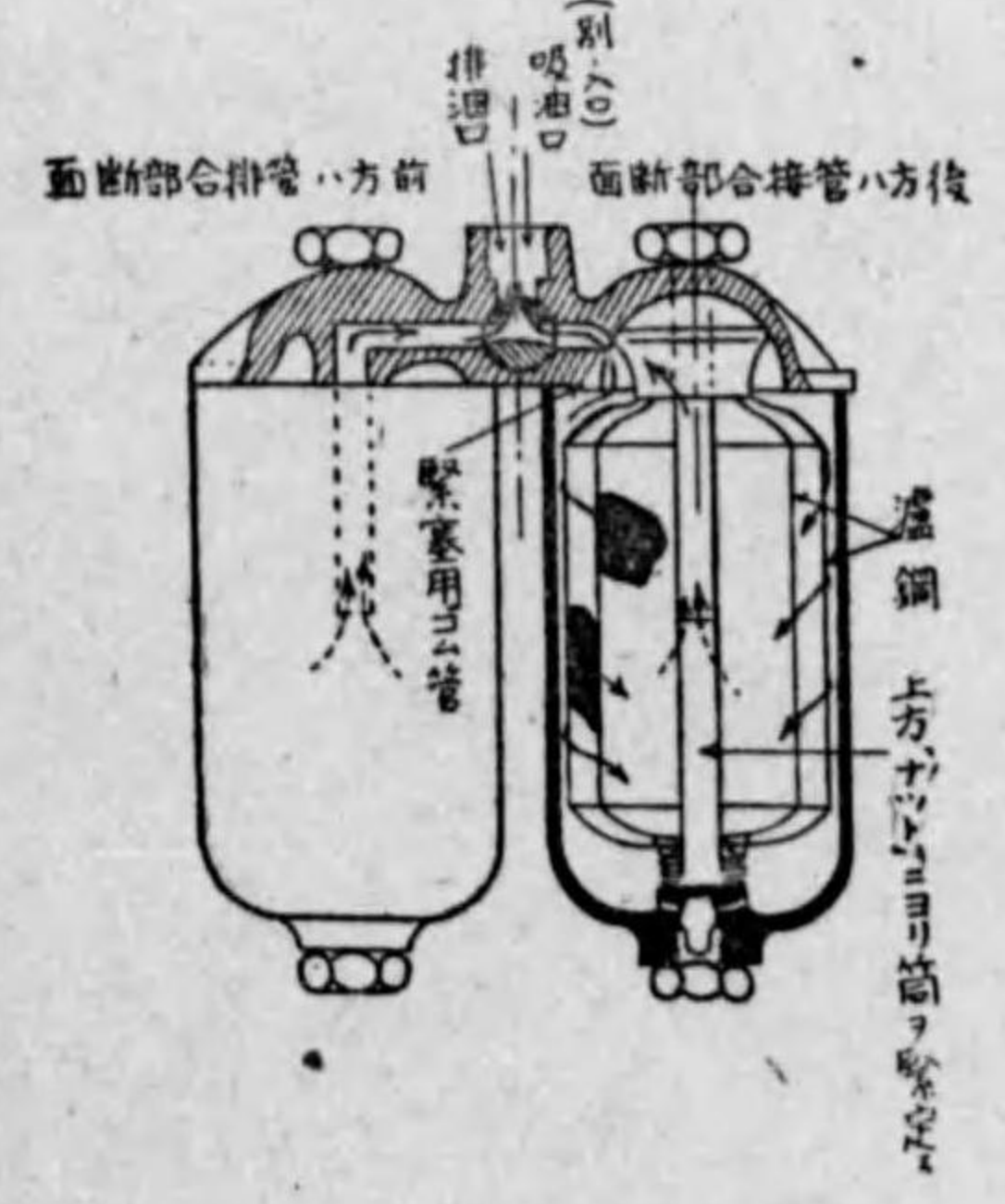
第四百十二 切换「コック」

切换「コック」ハ油槽ヨリ送油「ポンプ」ニ至ル燃料ノ開閉及左右油槽ノ切换ヲ行フモノニシテ第二百五十二圖ニ示ス如ク取附板ニ裝置セラレ戰闘室ヨリ操作ス

圖二十五百二第



三十五百二第



「コック」、體、弁、把手ヨリ成リ體ニハ指示板ヲ附シ「止左右」ノ刻字ニヨリ作動状態ヲ明瞭ナラシム

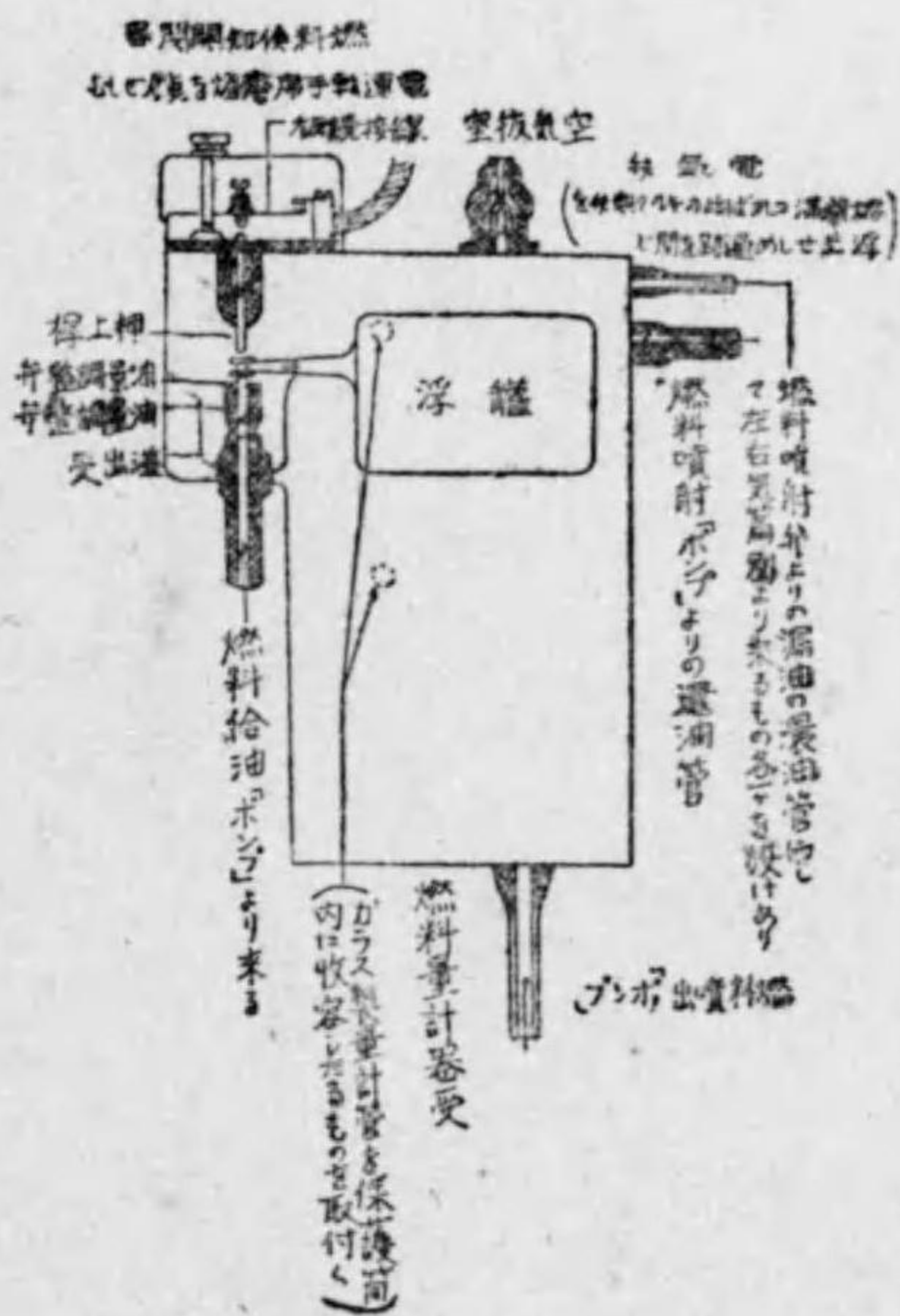
第四百十三 送油「ポンプ」及濾過器

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

送油「ポンプ」及濾過器ハ第二百五十二圖ニ示ス如ク「コック」取附板ニ取附ケラレ「ポンプ」ハ「オートバズル」型、濾過器ハ「ボツシュ」型ニシテ何レモ左右各二ヲ併列ニ作動セシム共ノ構造ハ第二百五十三圖ニ示ス如シ

第四百十四 補助油槽(容量六立)ハ燃料ノ補給ヲ圓滑ナラシメ且ツ燃料供給「ポンプ」ノ作動ヲ制限シ燃料噴射弁ノ溢流ヲ受クル等ノ作用ヲナスモノニシテ戦闘室隔壁ノ右上方機關室内ニ配置セラレ其ノ構造第二百五十四圖ノ如シ

圖四十五百二第

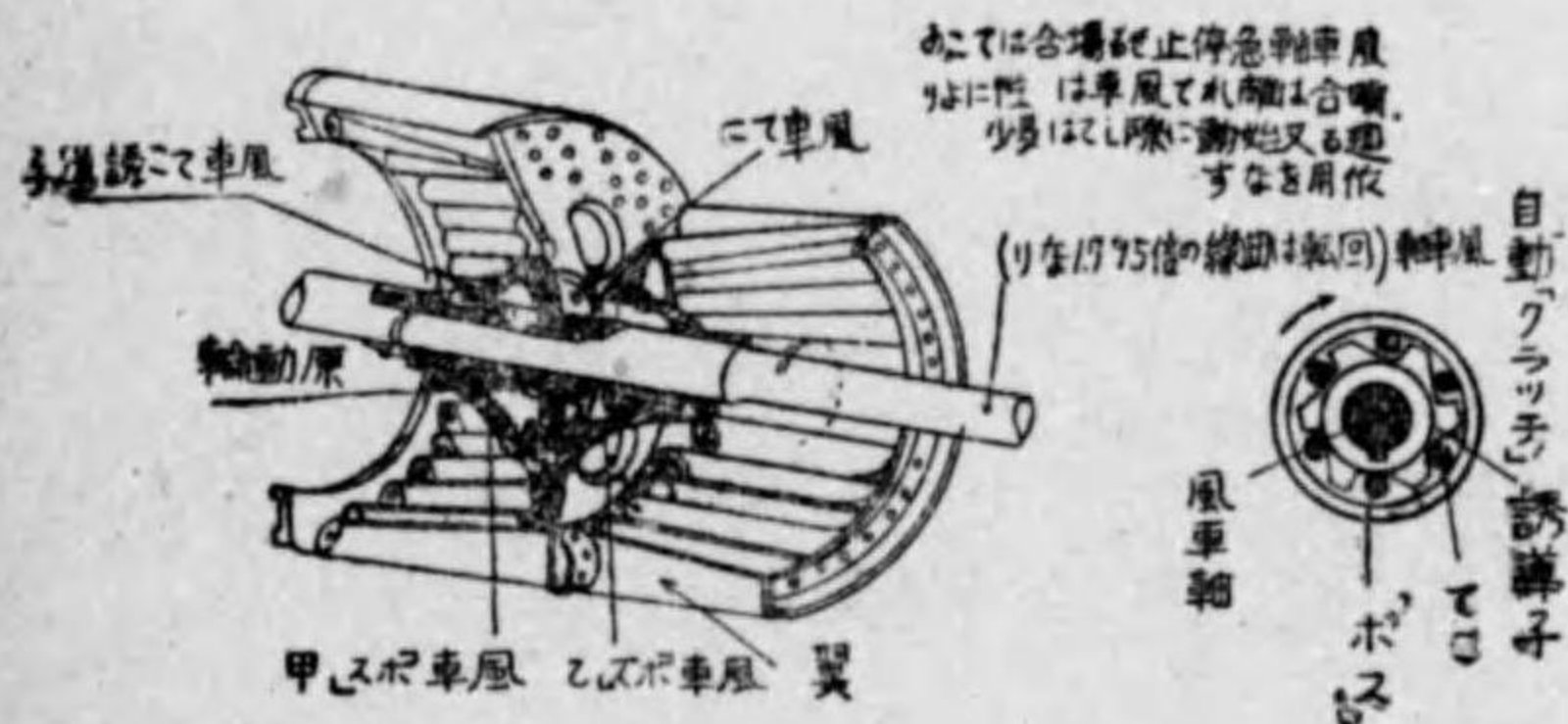


燃料「ポンプ」ヨリ送ラレタル油ノタメ浮罐上昇セバ油量調整弁ハ壓下サレ油ノ供給ハ斷タレ不足スレバ浮罐下降シテ押上桿ニ依リ檢知閉閉器ヲ閉チ燃料ノ不足ヲ操縱手席ノ右側標示燈ヲ點燈スルコトニ依リ知ラシム

第四節 冷却装置

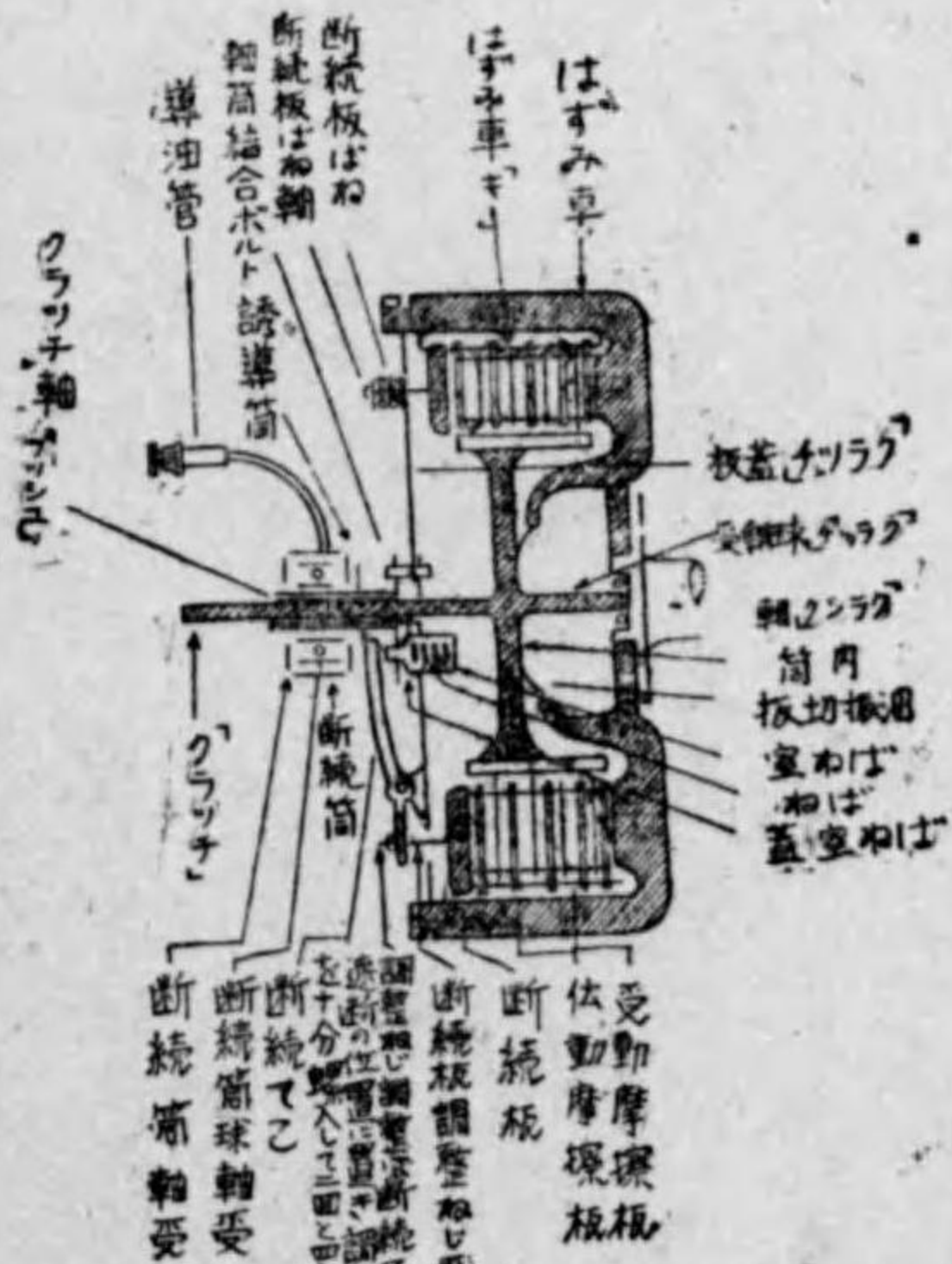
發動機ノ左右ニ各二箇ノ風車ヲ置キ「クランク」軸ヨリ動力ヲ之ニ傳ヘ風車ノ同轉ニヨリテ生ズル風ヲ以テ發動機ノ「シリンダ」及滑油冷却器ヲ冷却シ發動機ノ冷却ヲ行フ風車ノ構造ヲ示セバ第二百五十五圖ノ如シ

圖五十五百二第



構造機能並ニ取扱 九七式中戦車

圖六十五百二第



而シテ風車傳動傘形齒車ノ給油ハ中央及兩側共調時齒車室ノ飛散油ヲ以テシ調時齒車室ヨリ中央傘形齒車室ニ至リ
 左右ニ分レ兩側ノ齒車ヲ給油シ前部風車軸受臂及上部「クランク」室内ノ油管ヲ降りテ下部「クランク」室ニ還ル中部
 及後部軸受部ハ「グリース」ヲ給スル如クナシアリ風車ノ自動「クラッチ」ハ別ニ「グリース」ヲ設ケザルヲ以テ定
 期分解ノ際ハ必ズ「グリース」ヲ補給スルヲ要ス此ノ場合結合ニ當リテハ各部ノ符號ヲ確實ニ合セ關係位置ヲ誤ラザ
 ルコト必要ナリ

第五節 動力傳動裝置

第一款 主「クラッチ」

第四百十五 主「クラッチ」ハ乾燥多板式ニシテ其ノ構造ハ第二百五十七圖ノ如シ

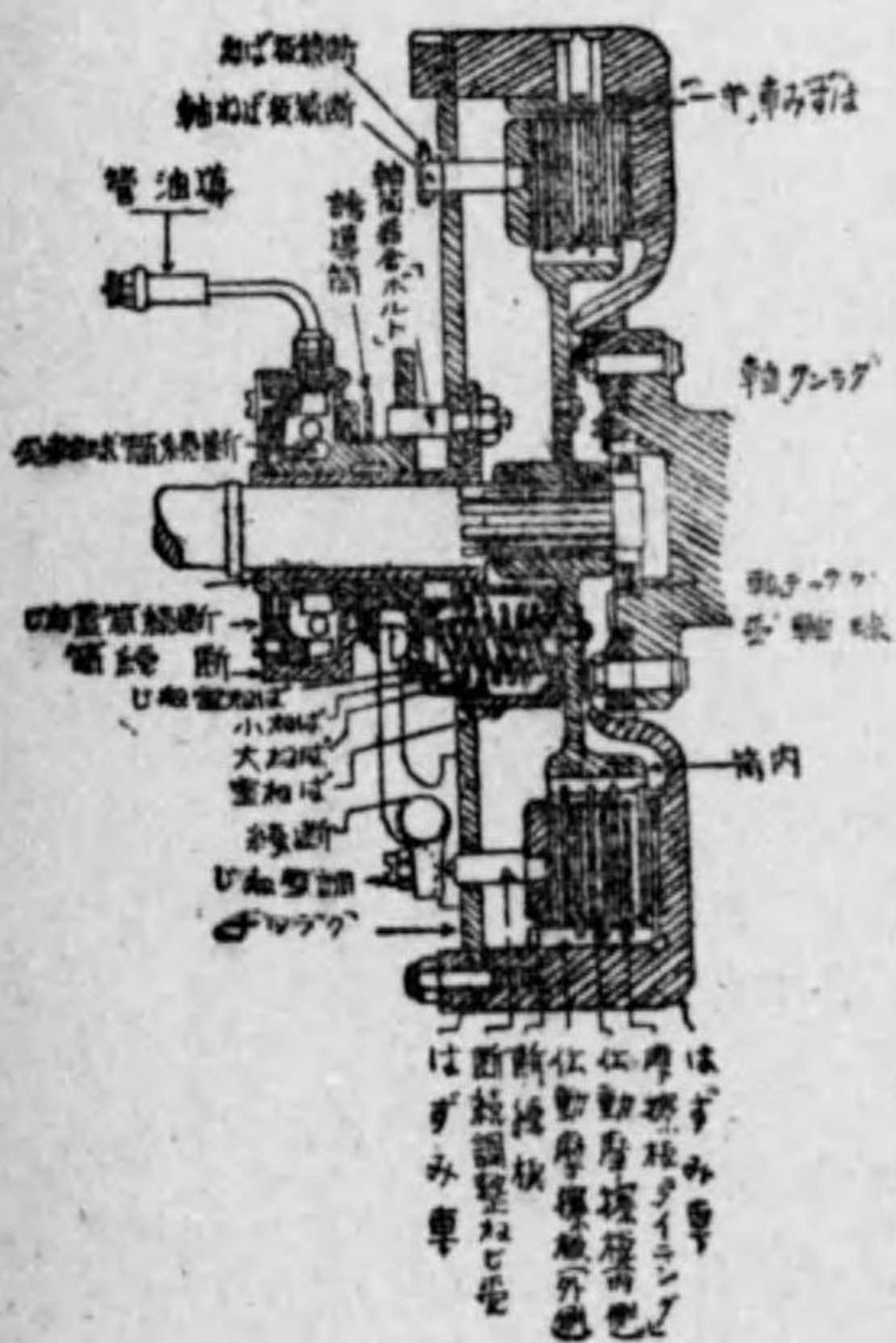
- 一 「クラッチ」軸ハ中心ニ油孔ヲ穿ツ、一端ハはづみ車内ニ設ケラレタル球軸受ニヨリ支持セラレ其ノ前方ハ「ス
 プライン」ヲ刻シ内筒ヲ嵌合ス他端ハ「ナット」ニテ緊定シ其ノ後方ハ「スプライン」ヲ刻シ傳動齒車ヲ嵌合ス齒車
 ノ兩側ハ夫々ころ軸受ニヨリ支持セラレ
- 二 「クラッチ」蓋板ハ外周ヲはづみ車ニ取附ケ前面中央斷續筒誘導部周圍ニハ四箇ノばね室孔ヲ有シばね室ヲ挿入
 ス尙此ノ室ノ各外側ニハ夫々斷續筒ニ坐ヲ有ス内筒ノ外周ニハ内筒用摩擦板ヲ誘導スベキ齒形ヲ有シ中心部ハ
 「スプライン」ニヨリ「クラッチ」軸ニ嵌合セラル又ははづみ車側ニハ油振切板ヲ結合ス
- 三 摩擦板ハ傳動用五枚、受動用四枚ヲ有シ傳動用ハはづみ車ト受動用ハ内筒ト結合ス傳動用摩擦板ノ兩面ニハ
 「アスベスト」板ヲ綴釘ス但シ兩外側ニ枚ノ斷續板側及はづみ車側ニハ「ライニング」ヲ有セズ斷續板ニハ四箇所ニ

調整ねじ受ノ取附孔ヲ有ス

- 四 ばねハばね室内ニ裝シ外筒ニ挿入ス上端ハばね蓋ニヨリ被ハレ斷續筒ヲ介シテテ此ノ一端ニ依リ常ニ壓セラ
 ル斷續筒ノ一端ハ斷續筒ヲ介シテばねニ依リ外方ニ壓セラレ他端ニハ調整ねじヲ裝シ之ニヨリ斷續板調整ねじ
 受ニ接著セラレテテ長四分ノ一ノ部位ヲ支點トシテ蓋板ニ傾著セラル
- 五 斷續筒ハ本體、斷續筒軸受、同框及蓋螺ヨリ成ル、體ノ一端ニハばね室用孔及て嵌合鑄有シ他端ニハ軸受
 框ヲ裝ス、軸受框ノ同轉ハ本體ノ運動ニ伴ハズ外面ニハ斷續筒ノ結合部ヲ有シ内部ハ球軸受ヲ介シテ本體ニ支持
 セラル、框ノ外端ニハ蓋螺ヲ裝ス

第四百十六 本「クラッチ」ノ機能ハ一般ノモノト同様ニ又調整ハ點檢窓ヨリ行フ

圖七十五百二第

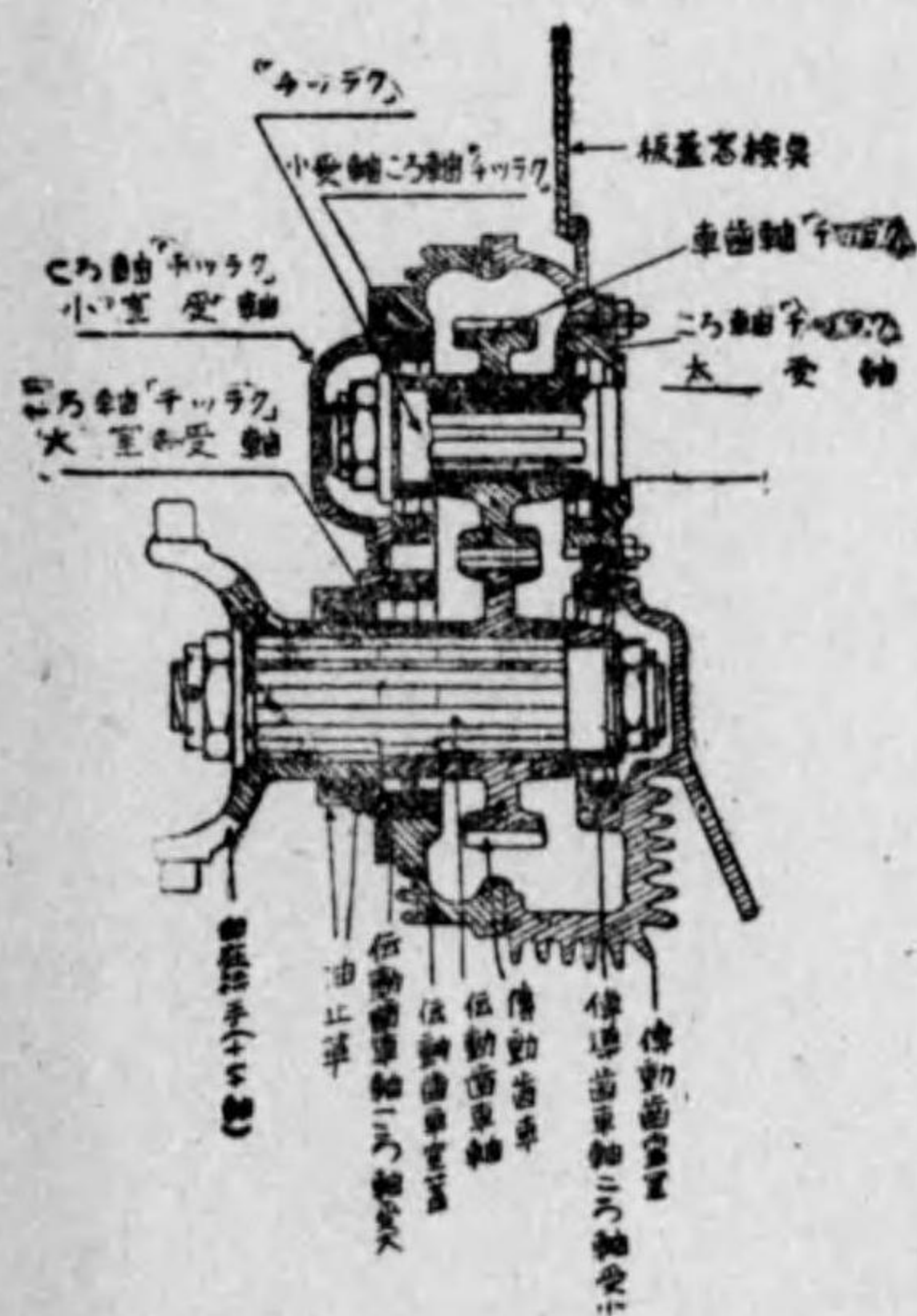


構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

第二款 傳動機

第四百十七 傳動機ノ齒車室内部ニハ軸受ヲ介シテ傳動齒車二箇ヲ收容ス
 右側上部ニハ檢油桿ヲ裝置シ其ノ二箇所ノ刻印ニヨリ油量ノ最大最小限度ヲ示ス、注油ハ檢油孔ヨリ行フ
 傳動齒車ハ「クラッチ」軸齒車及傳動齒車ノ二箇ヲ有ス
 軸末端ニハ注脂器ヲ置キ且ツ慣性起動機ヲ取附クル裝置ヲ設ク軸ノ一端ハ傳動齒車室外ニ突出シ自在接手ヲ結合ス
 構造第二百五十八圖ノ如シ

圖八十五百二第



第三款 推進軸

第四百十八 推進軸ハ前部自在接手、後部自在接手、推進軸ヨリ成リ機關ト變速機トノ位置ノ關係上前方ニ對シ三〇・五耗ノ上傾斜ヲナス、推進軸兩端ハ「スプライン」ニ依リ自在接手ト接合ス

第四款 變速機及橫軸裝置

第四百十九 變速機ハ橫軸裝置ト一體ニ結合サレ車體中央前部ニ取附ケラル、變速齒車室ハ上部及下部ヨリナリ内部ニ各種齒車ヲ收容シ左側ニ推桿室後部ニ副變速てこヲ、前部ニ傘齒車室ヲ設ク尙推桿室後部ニ檢油孔アリ

- 一 主軸ノ後端ハ自在接手ヲ介シテ推進軸ト結合セラレ前部ハころ軸受ヲ介シテ齒車室内中間壁ニ支持セラル
- 二 副軸ノ兩端ハ夫々球軸受ヲ介シテ隔壁軸受ニ支持セラル軸全體ニ互リ「スプライン」ヲ切り副齒車ノ軸上摺動ヲ可能ナラシム
- 三 傳動軸後端ハころ軸受ヲ介シテ常嚙齒車小ニ支持セラレ前部ハ「キー」ニヨリ橫軸驅動齒車ヲ結合ス中間部ハ「スプライン」ヲ切り副變速齒車大ノ摺動ヲ可能ナラシム
- 四 副變速齒車軸後端ハ球軸受ヲ介シテ後方中間側壁ニ前部ハころ軸受ヲ介シテ前方中間側壁ニ支持セラル
- 五 後退齒車軸兩端ハころ軸受ニ支ヘラレ後端ハ軸受支筒ニ、前部ハ後方中間壁ニ支持セラル全長ニ互リ「スプライン」ヲ切り後退齒車ノ摺動ヲ可能ナラシム
- 六 進桿室上面ニハ通氣孔及變速てこ用孔ヲ設ク推桿支筒中最上位ハ第三、第四推桿用、中位ハ第一、第二推桿用、

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

最下位ハ後退推桿用ノモノナリ

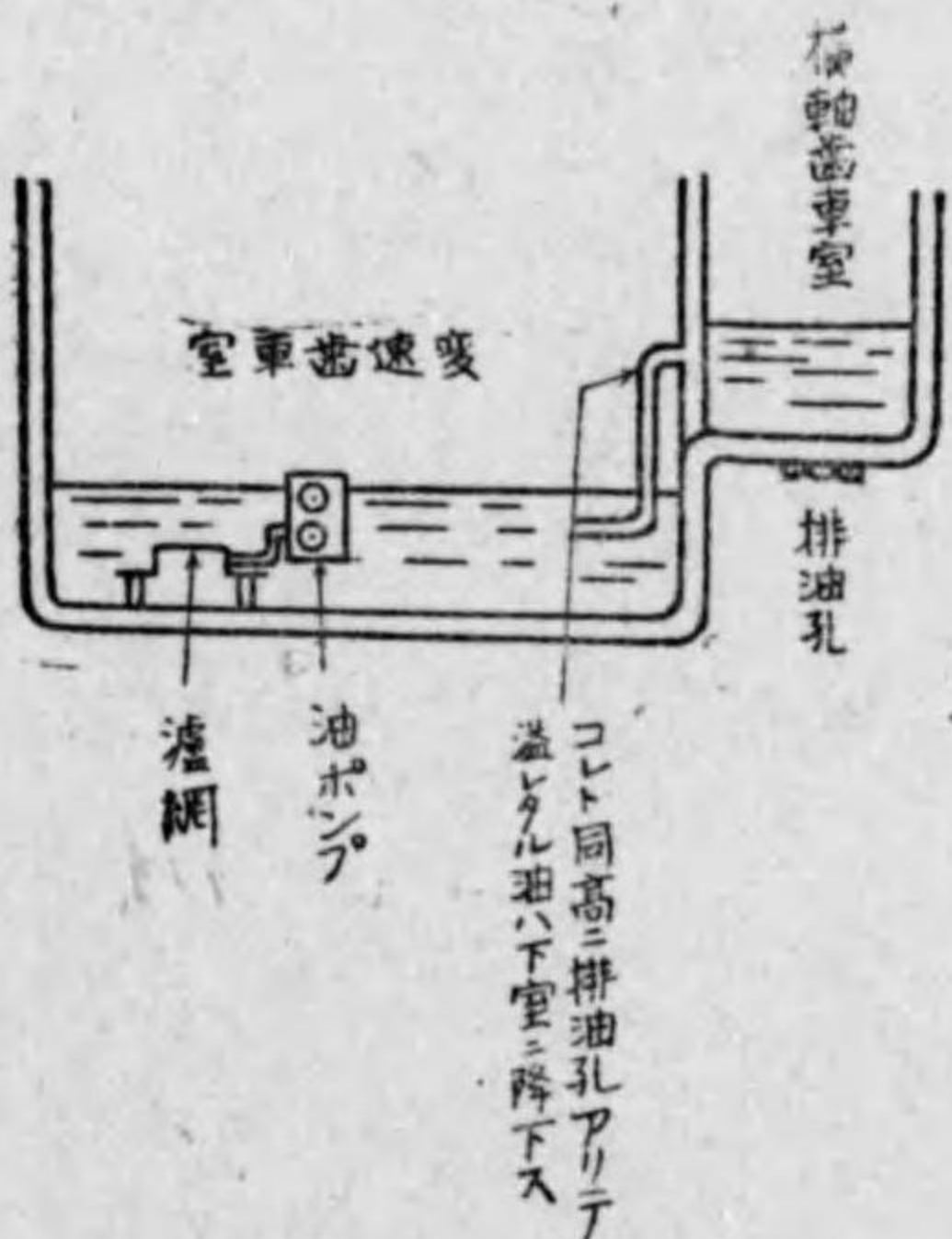
- 七 推桿ハ第一、二速度用、第三、四速度用、後退用ノ三種アリ何レモ推桿支筒ニヨリ支持セラレ中間ニハ轉又ヲ固定シ一端ニハ三箇ノ切缺部ヲ設ケ支筒ニ裝置セル駐止ばね駐止球ニヨリ各位置ニ於ケル推桿固定ノ用ヲナサシム
- 八 轉又ハ各種推桿ニ應ジ一端ハ轉管トノ嵌合部ニ、他端ハ變速齒車トノ嵌合部ニ形成セラレ
- 九 油「ポンプ」ハ下部變速齒車室ノ操縱手席側ニアル「ポンプ」取附板ニ取附ケラレ第一速度主齒車ニヨリ驅動セラレ「ポンプ」主齒車及副齒車ハ油ヲ導油管ヲ經テ橫軸室ニ次デ變速齒車室下部ニアル黃銅製濾過網ヲ通ジテ吸入管ヨリ吸入ス其ノ要領ヲ示セバ第二百五十九圖ノ如シ

本變速機ノ構造要領ハ第二百六十圖ノ如シ
 變速困難ナル場合ハ主「クラッチ」ノ斷續困難ト變速機ノ故障ヲ擧ゲ得ベク前者ニアリテハ調整不良、摩擦板ノ變形、各部連桿類ノ軌リ、止栓ノ脫落、後者ニアリテハ各齒車ノ變形、まくれ、轉又折損、連桿類ノ軌リ等トス
 橫軸齒車室ハ變速齒車室ト同一銅板ヲ以テ製作セラレ速度計取附裝置ヲ附ス内部ニハ減速大齒車ノ一組ヲ收容シ減速比ハ32:25ニシテ尙料計器回轉用「ウォーム」齒車アリ減速用大齒車ハ副變速主軸端ニ「キー」ヲ以テ取附ケラレ橫軸ハ一端ニ傘形齒車ヲ有シ「キー」ニヨリ固定ス

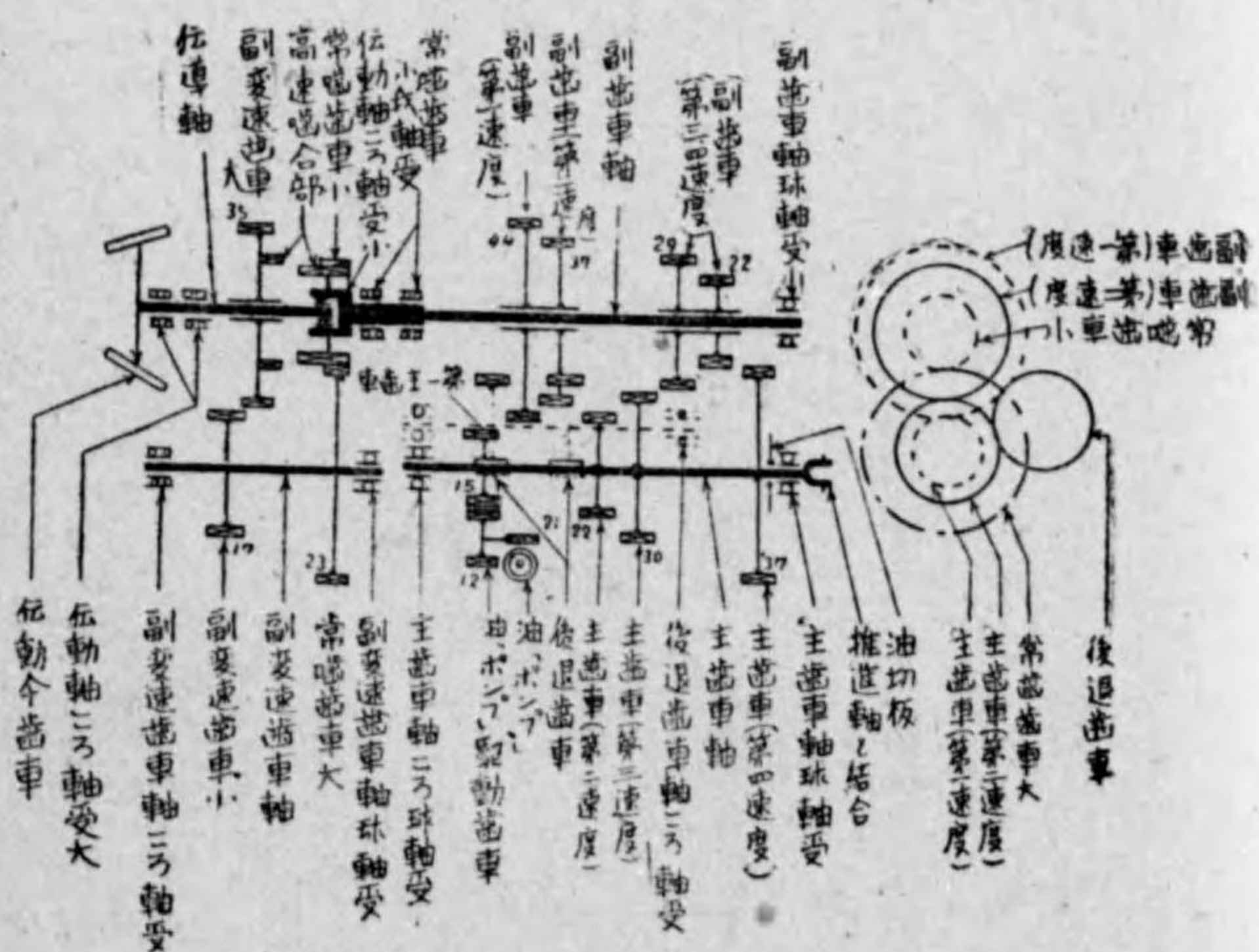
第五款 操向裝置

第四百二十 操向裝置ハ定半徑及信地旋回共ニ可能ニシテ主軸、操向變速機、操向「クラッチブレーキ」、支軸及接手ノ諸部ヨリ成ル第二百六十一圖ニ示ス如シ

圖九十五百二第



圖十六百二第



一 主軸ハ中央ニ速度計用「ウォーム」ヲ刻シ其ノ兩側ハ減速大齒車ノ部位ニシテ「キー」溝ヲ有シ次ニ操向變速機内筒用「スプライン」ヲ次ニ操向「クラッチブレーキ」内筒用「スプライン」ヲ有ス兩端ヨリ操向變速機内筒ノ部位ニ通

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

ト」ニヨリ緊結セラル

九 傳動板ハ主軸及鼓胴ヨリノ動力ヲ支軸ヲ經テ終減速裝置ニ傳フ、楔「ボルト」ニヨリ鼓胴ト又六箇ノ「ボルト」ニヨリ支軸ニ結合セラル又球軸受及内筒ヲ介シテ主軸ニ支持セラル

十 斷續てこハ傳動板ニ銜附セル斷續てこ軸々受ニ軸ヲ有スル如ク取附ケラレ一端ニハ壓ねじヲ有シ他端ニハ誘導板ヲ介シテばね受ニヨリ外方ニ壓セラル支軸ハ其ノ一端ヲ傳動板ニ結合シ他端ニハ支軸接手ヲ結合ス中間部ハ誘導板ヲ滑動セシムベキ「スプライン」ヲ刻ス

十一 誘導板ハ「スプライン」ニヨリ支軸ニ嵌合セラレ一端ハばねニ依リ常ニ壓セラレ他端ハ縱球軸受ヲ介シテ斷續筒ヲ支持ス斷續筒ハ球軸受ヲ介シテ誘導板ニ支持セラル

十二 斷續筒ハ尖端ヲ斷續筒吻合部ニ吻合ス

十三 軸部ハ支軸受ノ内側ニ設ケラレタル軸受ニヨリ支持セラル、後端ハ「カム」トノ結合部ヲナス「カム」ノ他端ハ曳臂ト結合ス、支軸ハてこ軸受、支軸接手ヲ介シテ支軸ノ一端ヲ支持ス、本操向裝置ノ機能左ノ如シ

1 操向變速機「クラッチブレーキ」ヲ作用セシメザル場合

動力ハ主軸ヨリ「クラッチ」内筒ニ傳ハリ摩擦板ヲ介シテ鼓胴傳動板、支軸ヨリ終減速裝置ニ傳ハル

2 操向變速機ノミヲ作用セシメタル場合

操向變速機外筒蓋板ヲ制動スルト同時ニ聯動ハ斷タルヲ以テ應差齒車ノ公轉ハ應差齒車軸軸受及「クラッチ」鼓胴ノ回轉トナリ傳動板支軸ヲ經テ終減速裝置ニ傳ハル而シテ應差齒車ノ公轉ハ主軸ト同回轉ヲナス主齒車ト停止セル外筒齒車ノ間ニ回轉スルヲ以テ約七割ニ減速セラレ六・五八米ノ定半径ヲ以テ旋回ス

3 操向「クラッチブレーキ」ヲ作用セシメタル場合

「クラッチ」鼓胴制動セラルルト共ニ聯動ハ斷タルヲ以テ内筒回轉スルモ鼓胴及傳動板以降ハ回轉セズ此ノ場合操向變速機中應差齒車軸ハ停止スルモ主軸及主齒車ハ回轉スルヲ以テ應差齒車ハ回轉シ從ツテ外筒齒車ヲ回轉セシメ外筒ハ主軸ト反對方向ニ回轉ス

第四百二十一 操向裝置ノ調整法

操向「クラッチ」ノ斷續筒ト支軸受トノ間隙三耗ノトキ斷續筒にてこト「カム」ノ間隙二耗トナル如クナシアルヲ以テ溢リニ變更セザルヲ要ス

一 操向「クラッチ」ノ調整ハ先ヅ「ブレーキ」ヲ十分弛メ斷續筒ト支軸受ノ間ニ厚サ一五耗ノ鐵片ヲ挿入シ斷續てこ壓ねじ緊定ねじヲ弛メ壓ねじヲ螺入シ斷續板ヲ十分壓著セシメタル後三回轉戻シ壓ねじヲ緊定ス此ノ操作ハ六箇ノてこヲ等シク行フモノトス

二 操向「ブレーキ」帯ノ調整ハてこヲ引キ斷續筒ト支軸受ノ間隙一五耗トナリタルトキ十分緊定シアル如ク調整ス

三 操向「クラッチ」ノ調整良好ナルトキハ操縱てこヲ引クトキ先ヅ抵抗ヲ感ジ次ニ極ク僅カノ間抵抗ヲ感ゼズ次ニ再び抵抗ヲ感ズルモノトス
特ニ「ブレーキペダル」ヲ壓下シタル場合ニ兩側ノ「ブレーキ」帯ガ同時ニ緊リ其ノ緊度一樣ナル如クアラシムルコト肝要ナリ

操向困難ナル場合ノ原因ハ調整不良、摩擦板不良、給油不足ニヨル燒附、連桿類ノ「キシリ」又ハ止栓ノ脱落等ナリ

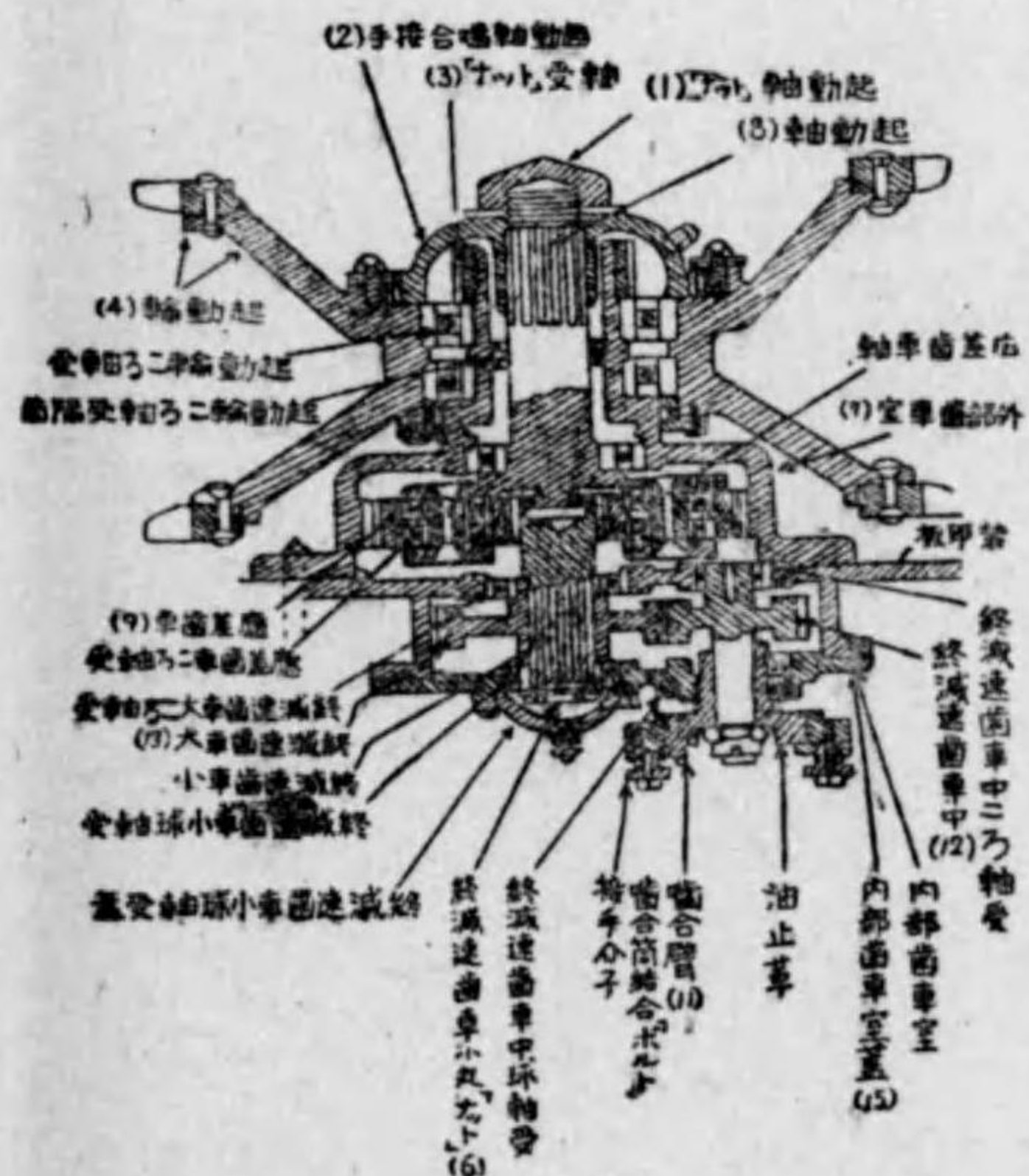
構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

第六款 終減速裝置

第四百二十二 本裝置ハ車輛ノ前端ニ於テ側懸裝甲板ノ内外ニ互リ設ケラレ内部齒車室、起動軸、終減速齒車、嚙合筒等ノ各部ヨリ成リ其ノ構造第二百六十二圖ノ如シ

1 本裝置ノ機能ハ主軸ヨリ支軸ヲ經テ傳ヘラレタル動力ハ嚙合筒ヨリ嚙合臂ニ傳ヘラレ次デ減速各齒車ヲ經テ終減速應差齒車ノ公轉速度ヲ以テ應差齒車ヲ固定セル起動軸ハ回轉セラルベシ此ノ間ニ於ケル減速比ハ約六・三ナリ

圖二十六百二第

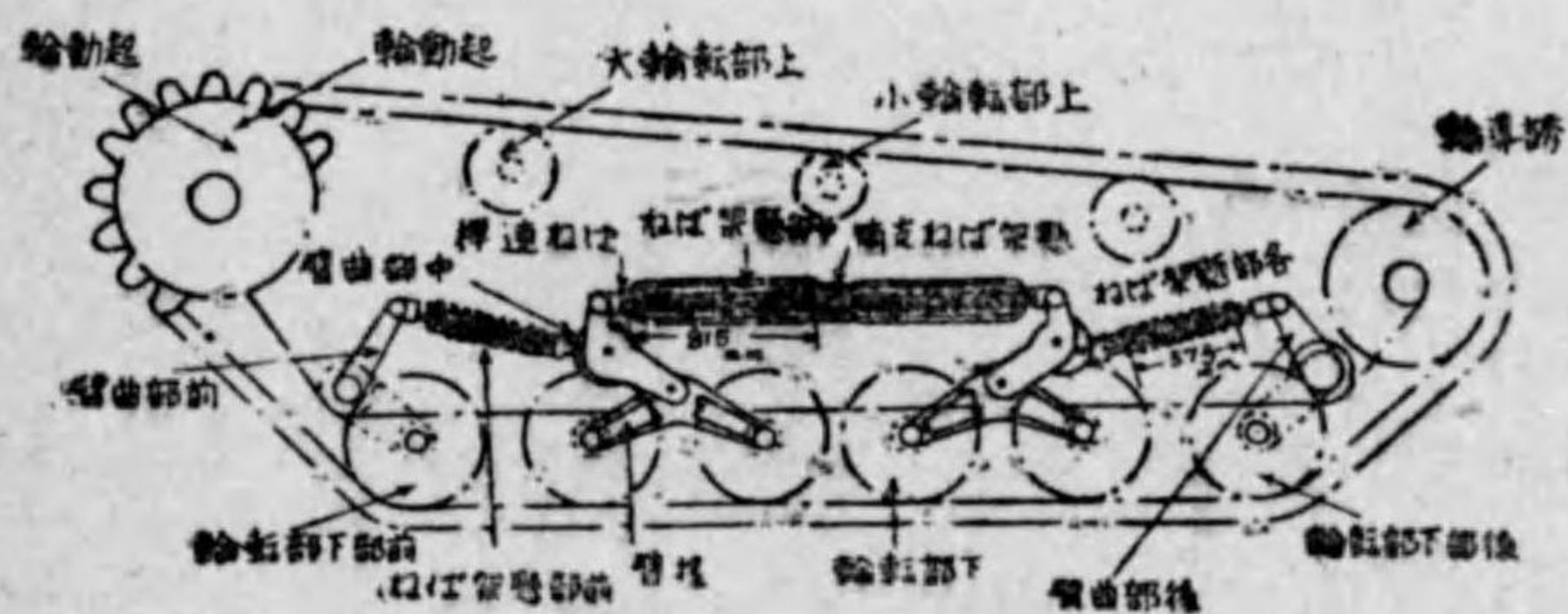


ス示ヲ序順解分ハ字數「ヤピラア」考 備

第四百二十三 懸架裝置ノ構造ヲ示セバ第二百六十三圖ノ如シ

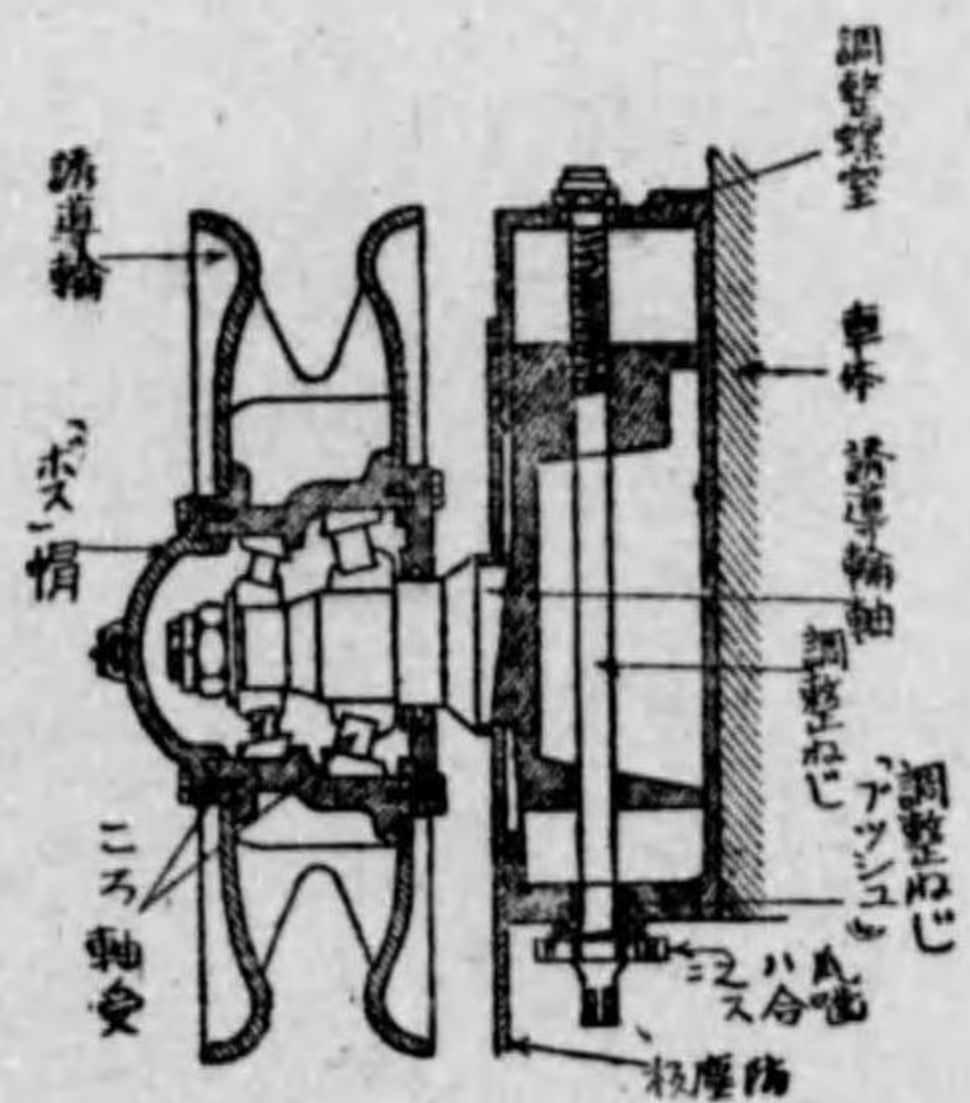
第六節 懸架裝置

圖三十六百二第



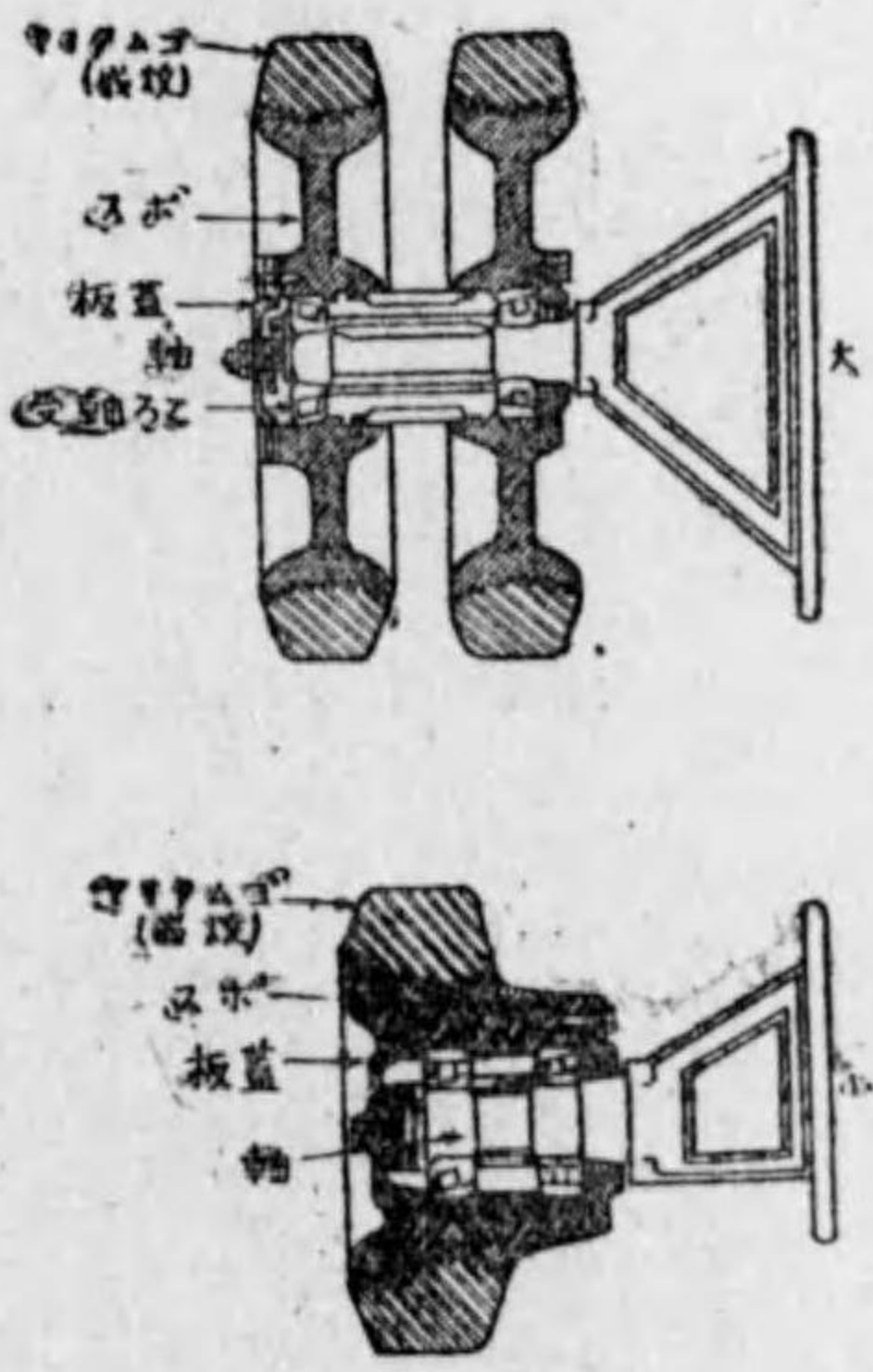
構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

圖四十六百二第

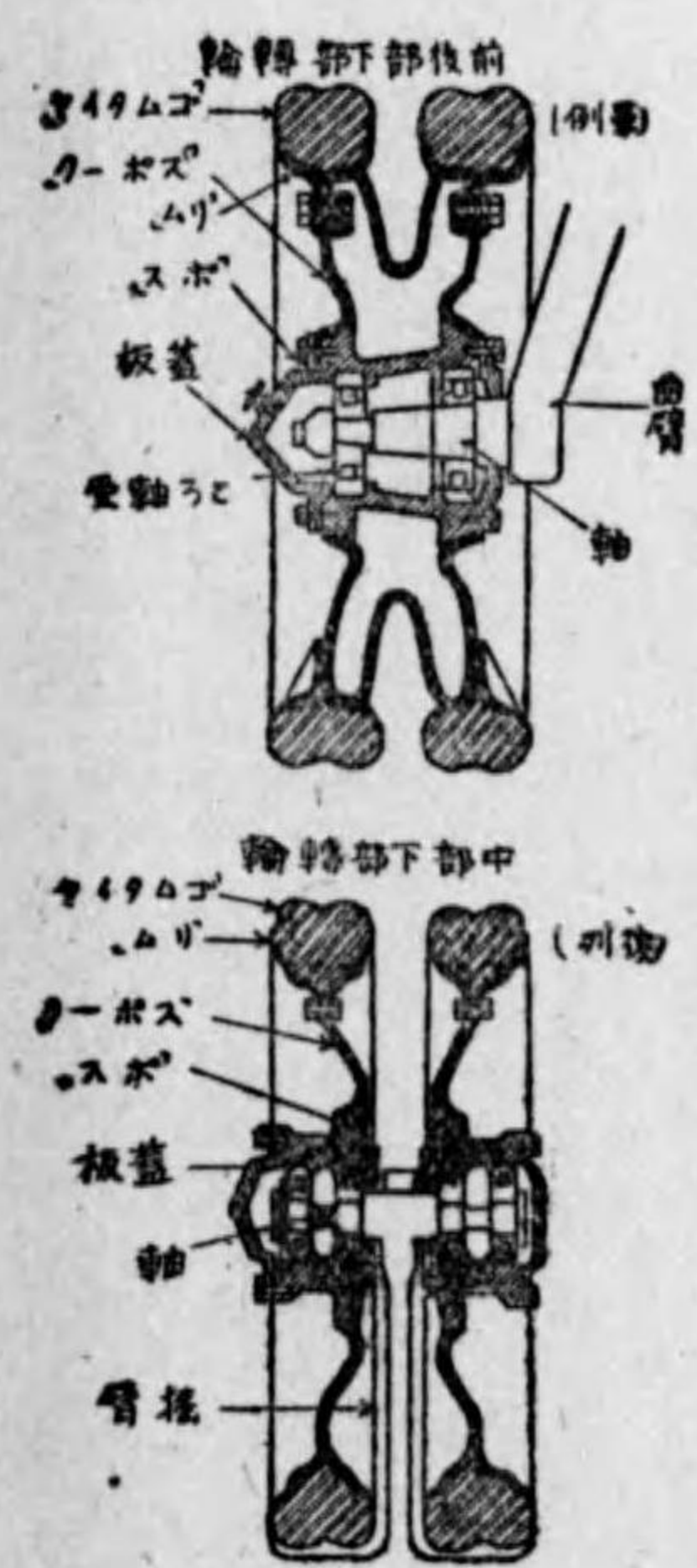


結合ニ當リテハ嚴密ナル調整ヲ實施シアルヲ以テ濫リニ操作セザルヲ要ス
 止ムヲ得ズ分解スル場合ハ連桿調整ねじノ螺入度等ニ印ヲ附シ原状態ニ結合スルコト必要ナリ

圖五十六百二第



圖六十六百二第



尙同圖ニ示シアル各懸架ばね取附長ハ無負荷ノ場合ニ於ケルモノトス

第四百二十四 起動輪ノ構造第二百六十二圖ノ如シ

第四百二十五 誘導輪ノ構造第二百六十四圖ニ示ス如シ

第四百二十六 下部轉輪及上部轉輪ノ構造第二百六十五圖及第二百六十六圖ノ如シ

軌道ノ調整ニ當リテハ調整ねじノ爪ヲ外シ之ヲ回轉シ軸ヲ前後シテ行フ張度ハ上方第一、第二轉輪間ニ於テ軌板ノ垂度六〇耗内外ヲ適度トス

運行間下部轉輪ニハ一様ニ負荷セラルル如ク調整スルヲ要ス若シ過負荷ヲ受ケシモノアルトキハ輪帶加熱スルヲ以テ懸架ばねノ張ヲ調整スルモノトス

第七節 操縱裝置

第四百二十七 操縱裝置ノ構造ヲ示セバ第二百六十七圖及第二百六十八圖ノ如シ

第四百二十八 發動機操縱裝置

運轉坐左側ニ減壓てこアリ右側ニ起動てこ及燃料噴射量調整てこ「ペダル」アリ

第四百二十九 調整てこニハ齒弧及爪アリテ低速回轉ノ最低ヲ制限ス

車輛操縱裝置

一 變速操縱

普通道路運行ノ場合ハ副變速機ヲ高、不整地ノ場合ハ低ヲ用フル如クナシアルモ高速低速ノ交換容易ナルヲ以テ道路ノ形況、不整地ノ状態等ニ於テ適時之ヲ操作シテ機關ニ無理ヲ生ゼシメザルコト肝要ナリ

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

- 一 前照燈(二四「ボルト」主三二燭光、切換用一〇燭光)
車體前方中央ニ一箇ヲ有シ止「ボルト」ヲ弛ムルコトニヨリ隨意ノ方向ニ向ケ又止栓部ニ依リ俯仰セシムルコトヲ得電纜ノ先端ニハ「プラグ」ヲ裝シ「ソケット」ヘノ挿入ノ用ニ供ス
本前照燈ハ使用セザル時ハ操縦席前方ニ設ケラレタル格納箱ニ納メ必要ニ應ジ裝置スルコトヲ得
- 二 探照燈ハ(二四「ボルト」五〇燭光)砲塔上ノ取附孔ニ挿入シ使用スルモノニシテ「プラグ」ニヨリ點滅ス用ヒザル場合ハ前項格納箱ニ收容ス
- 三 點檢燈ハ(二四「ボルト」一〇燭光)探照燈ト同一「ソケット」ニ「プラグ」ヲ挿入シテ點燈セシメ不用ノ際ハ前項格納箱ニ收容ス電纜ハ二〇米ナリ
- 四 室内燈ハ(二四「ボルト」二六燭光)戰闘室右側隔板上ニ有ス
- 五 計器板燈ハ(二四「ボルト」一〇燭光)操縦手前面及左側面ニ各一箇ヲ有ス
- 六 尾燈ハ(二四「ボルト」二〇燭光)車體後板ニ於テ右側車體番號札上ニ取附ケラレタル尾燈室内ニ裝置ス

第四百三十一 開閉器

開閉器ハ主回路開閉器、充電用切換開閉器、電壓計開閉器、室内燈開閉器等ヲ有ス主回路開閉器、電壓計開閉器ハ操縦手席計器板上ニ室内燈開閉器ハ室内燈ノ直上ニ充電用開閉器ハ戰闘室左後方下隅ニ設置ス

第四百三十二 計器

計器ハ電流計、電壓計ニシテ充電電流計ハ操縦席左側計器板上ニ、電壓計ハ右側計器板上ニ設置ス

第四百三十三 充電用發電機及蓄電池

- 一 充電用發電機(二四「ボルト」五〇〇「ワット」)ハ隔壁左下隅ニ設置シ蓋板ヲ脫スルコトニヨリ「リレー」ノ調整點

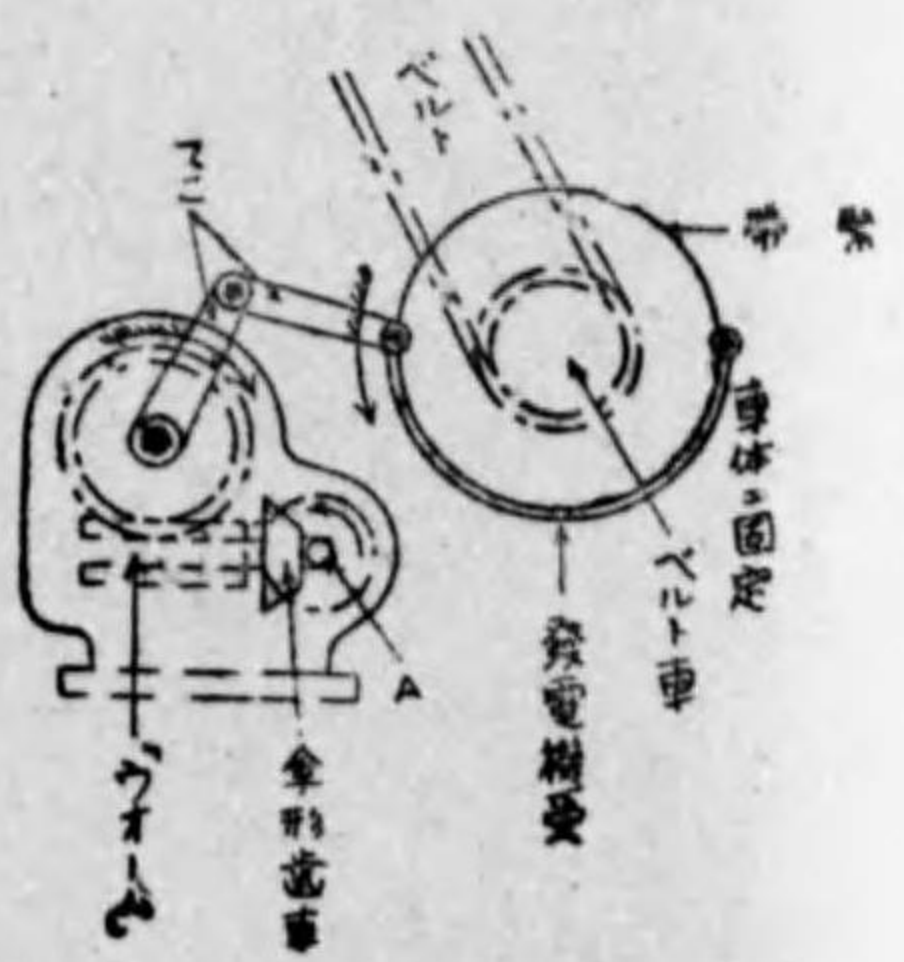
檢ヲ行ヒ又戰闘室ヨリ「ハンドル」ニヨリ簡單ニ「ベルト」ノ調整ヲ行フコトヲ得(第二百六十九圖)

- 二 蓄電池(一一「ボルト」一八〇「アンペア」時)ハ四箇ヲ發動機室内後部ニ設ケタル蓄電池支持臺ニ架載シ内面ニ耐酸塗料ヲ施シタルしほち製蓋板ヲ裝シ緊帶ヲ以テ緊定ス

第四百三十四 附屬品及配線

- 一 計器板ハ操縦手席左右ニ各一箇ヲ有シ左側計器板上ニハ電流計ヲ、右側計器板上ニハ開閉器、電壓計、可熔片室、標示燈ヲ裝ス可熔片室ニハ主回路用四〇「アンペア」一箇、一五「アンペア」六箇ヲ有ス
- 二 警報器ハ右側前端ニ裝置ス
- 三 電線ノ主要ナルモノ左ノ如シ

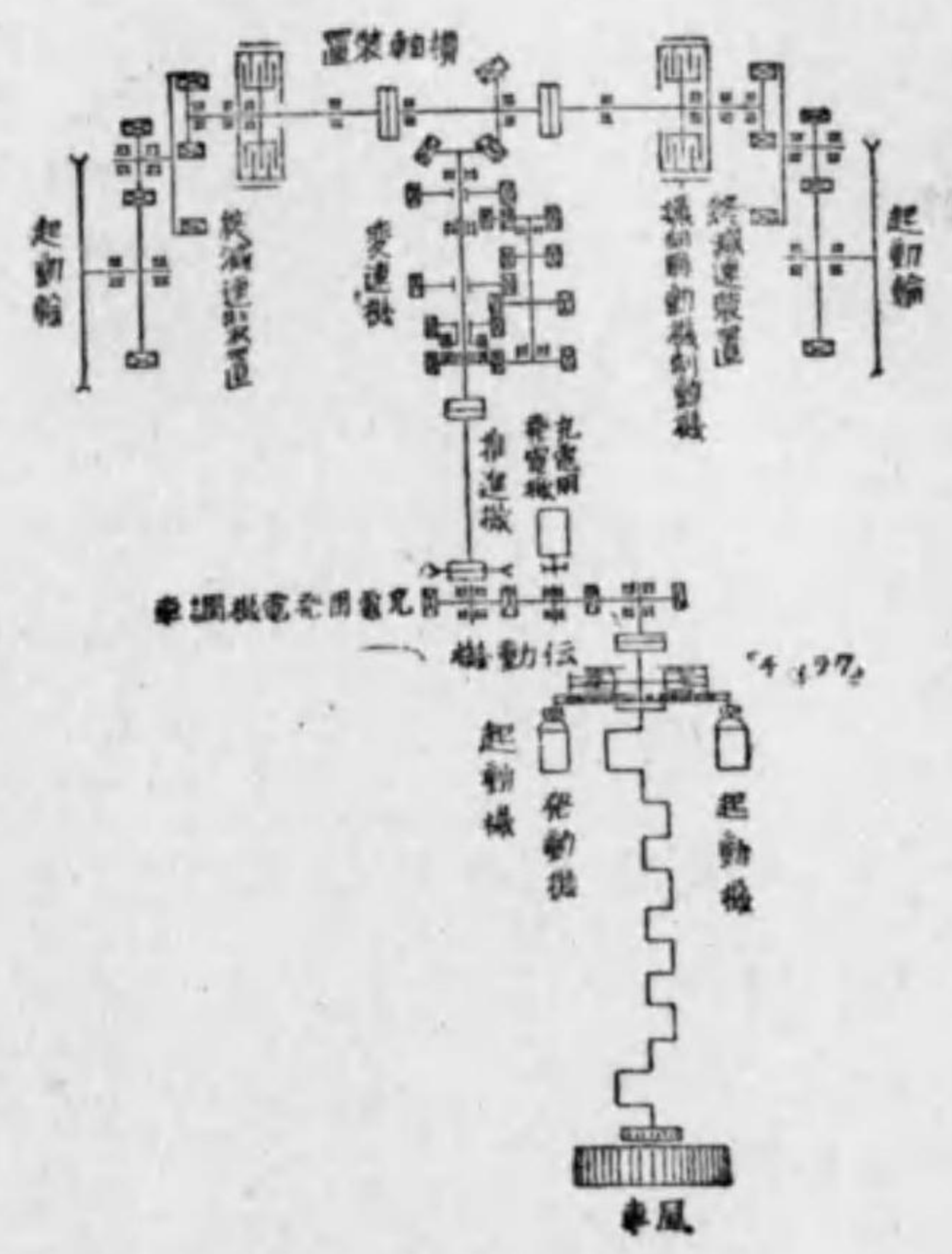
圖九十六百二第



區分	識別	長さ	外徑
主回路用(起動)	黑色塗裝	一一米	二六糎
充電回路用	白色塗裝	一五米	一〇糎
燃料送油「ポンプ」回路用	黄色塗裝	四米	八糎
點燈及一般回路用	赤色塗裝	三三米	六糎
前照燈回路用	赤色塗裝	三米	九・五糎(二芯)
車外信號燈回路用	青色塗裝	六米	一〇糎(三芯)
命令傳達回路用	青色塗裝	一一米	一一糎(二芯)

構造機能並ニ取扱 九七式中戰車

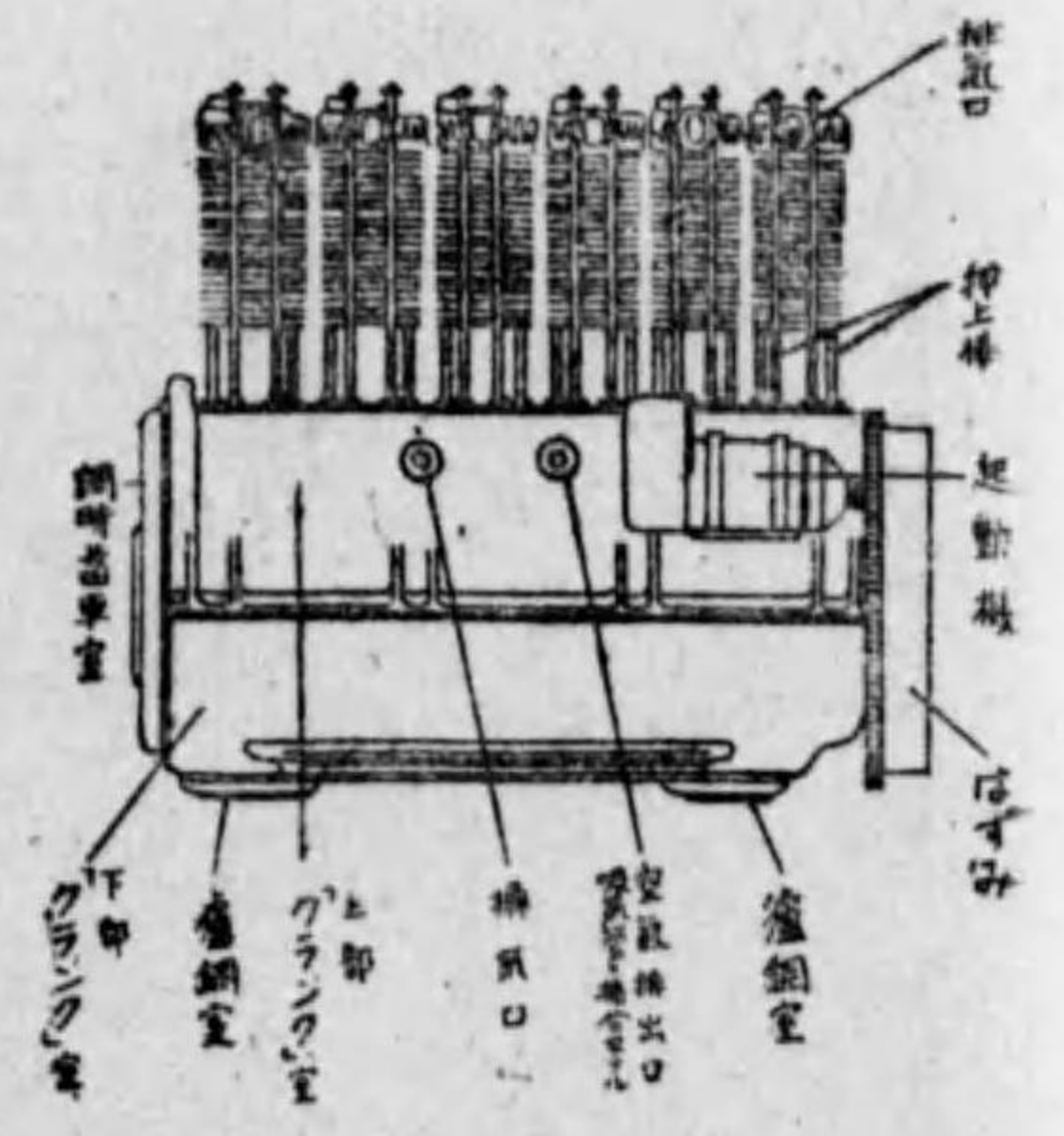
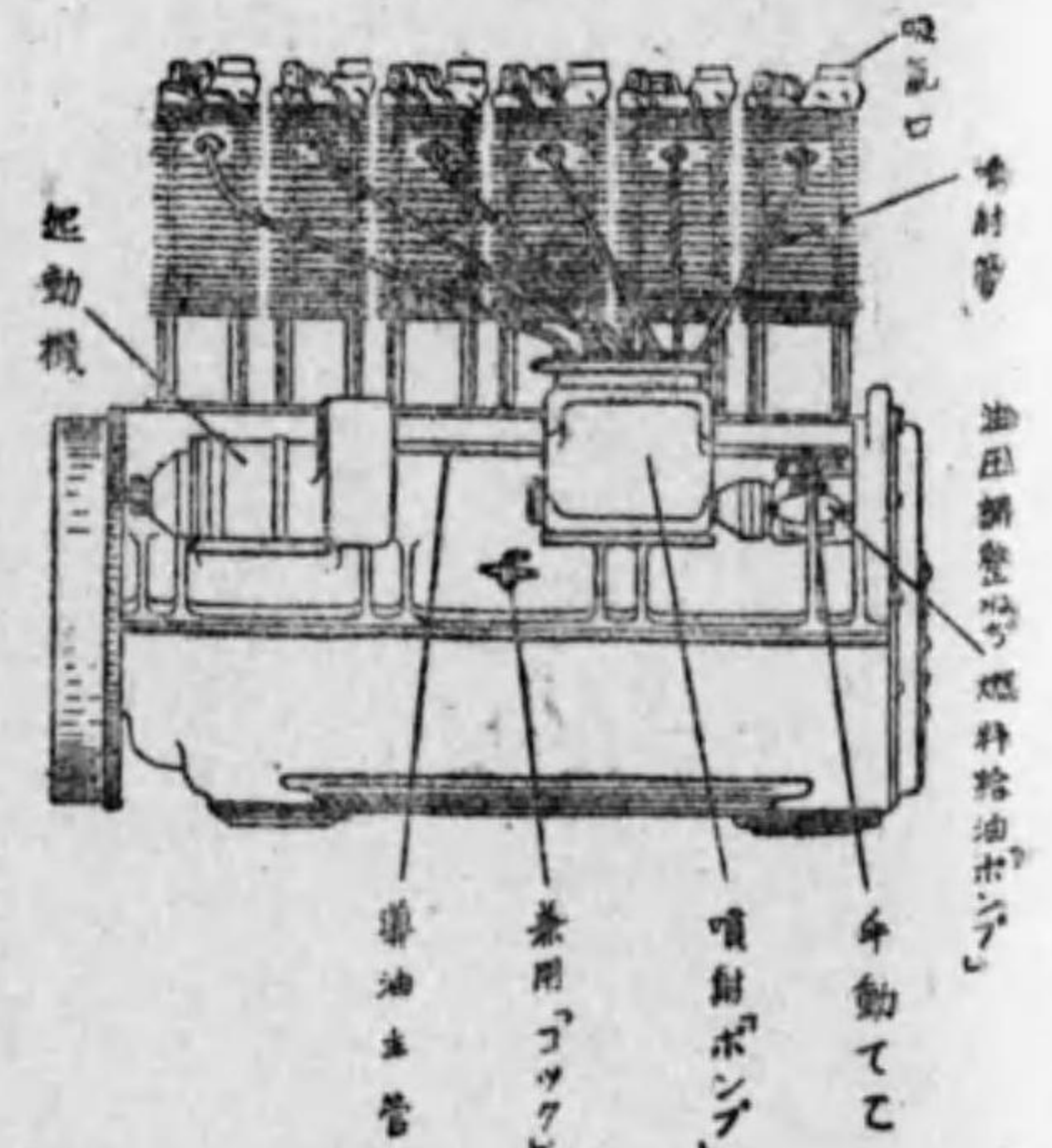
圖三十七百二第



第一節 發動機

第四百三十七 本發動機ノ外觀名稱第二百七十四圖ノ如シ

圖四十七百二第



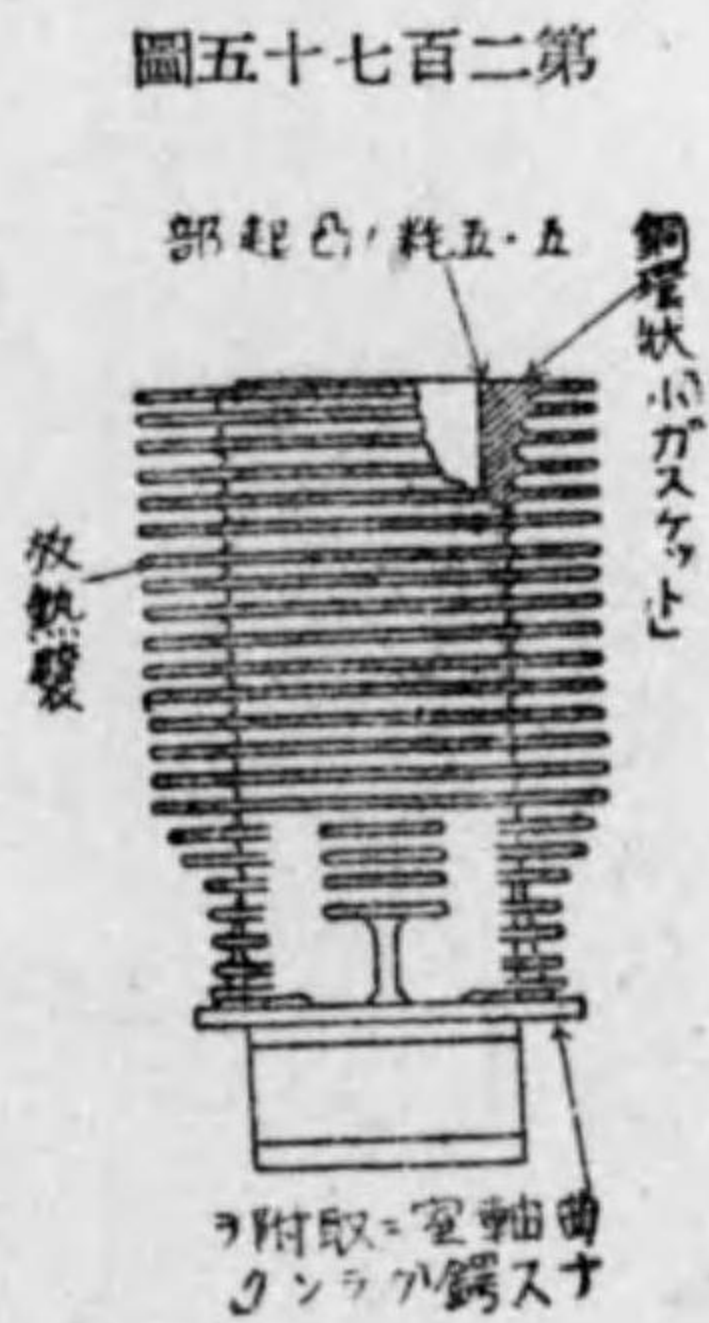
第一款 「シリンダ」

第四百三十八 「シリンダ」ハ「シリンダ」蓋及本體ヨリ成り上部「クランク」室上面ニ四箇ノ「ボルト」ニヨリテ緊定セラ

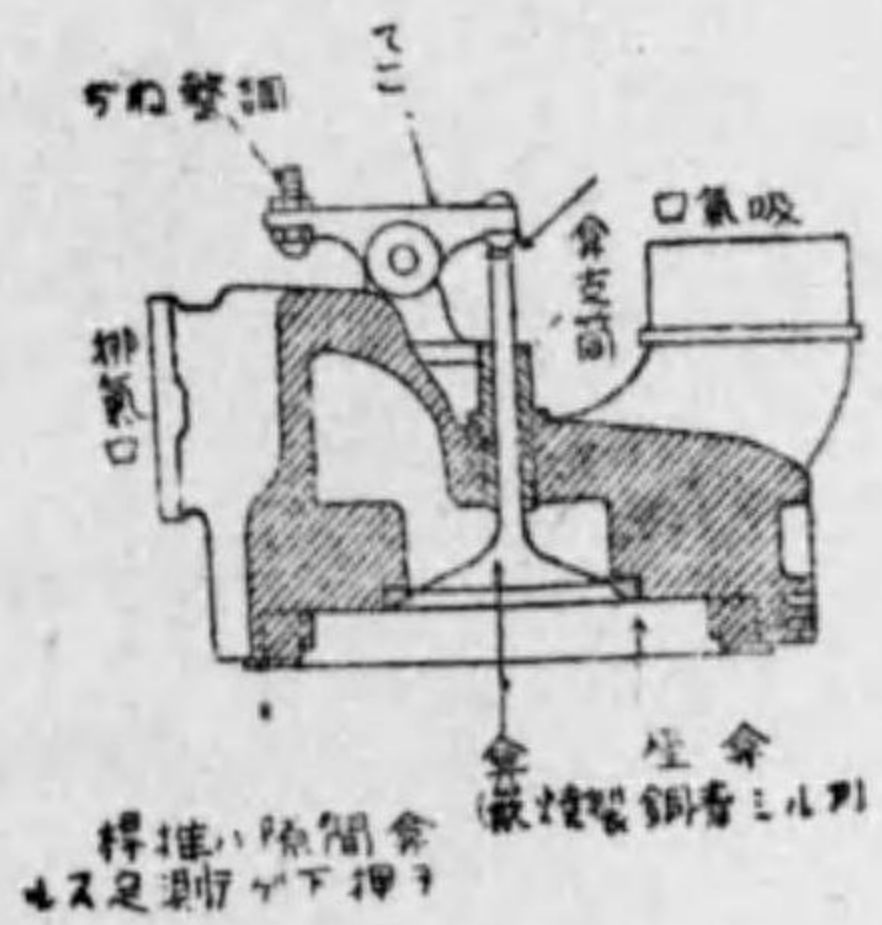
ル
第四百三十九 「シリンダ」本體ハ特殊鑄鐵製ニシテ上部ニ五・五耗ノ凸起部ヲ設ケ其ノ外周ノ凹溝ニ銅製ノ「ガスケット」ヲ装ス下部ニハ鏝ヲ設ケ「クランク」室トノ取附部ヲナス其ノ構造ヲ示セバ第二百七十五圖ノ如シ

構造機能並ニ取扱 九五式艦戰車

第四百四十 「シリンド」蓋ハ「アルミニウム」合金製ニシテ内面ハ平面ヲナシ「アルミ」青銅製ノ吸排氣弁坐ヲ燒嵌シ其ノ上部ニハ弁誘導筒ヲ植込ミ之ニ吸排氣弁ばね受ヲ取附ク
 上向ニ吸入口、横向ニ排氣口ヲ有シ弁及弁てこ、「ノズル」室ヲ裝置ス其ノ構造第二百七十六圖ノ如シ「シリンド」本體及「シリンド」蓋ノ緊定ニアリテハ四本ノ「ボルト」ヲ一様ニ上部ヨリ緊定スルモノトス



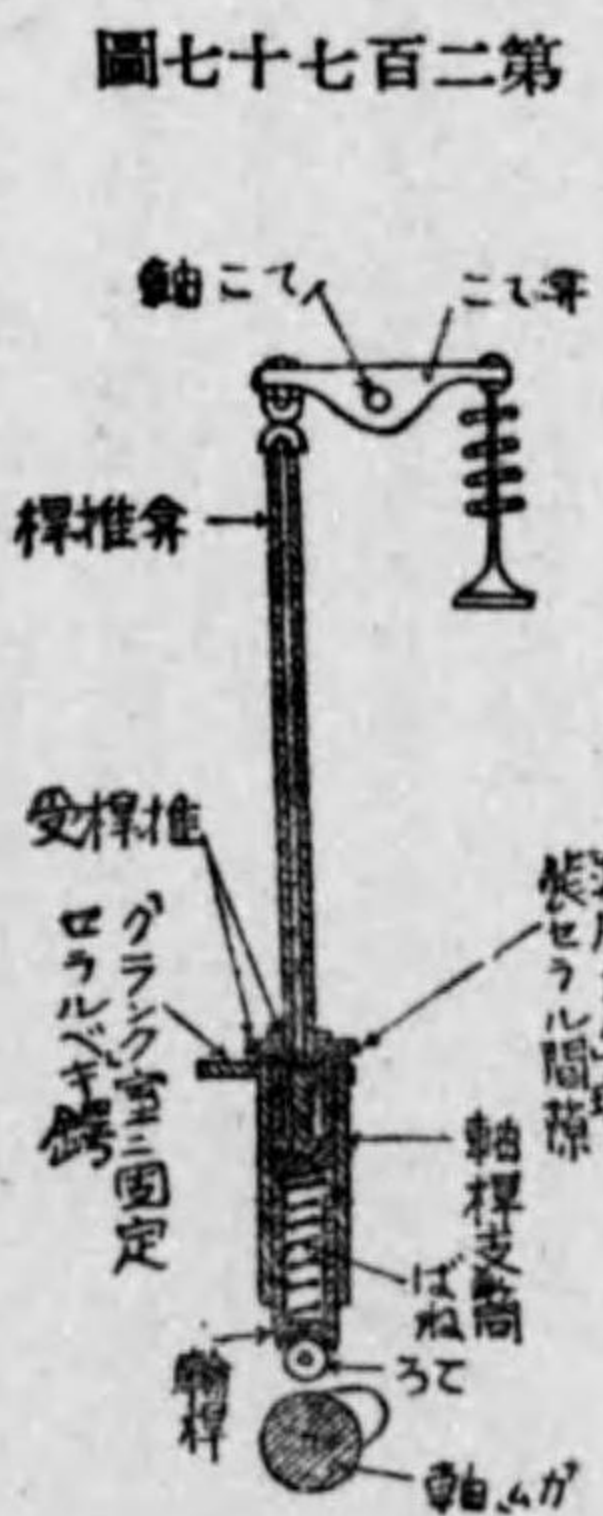
圖五十七百二第



圖六十七百二第

第二款 弁驅動裝置

弁驅動裝置ノ構造ヲ示セバ第二百七十七圖ノ如シ
 一 輪桿支筒上部ニハ鑄ヲ有シ「クランク」室ニ固定ス内側ニ油孔ヲ穿チテ「クランク」室内ノ飛散油ヲ受ケ輪桿ノ潤滑ヲナス排氣弁用輪桿支筒上面ニハ減壓「カム」環ト嵌合スベキ傾斜段部ヲ有ス
 二 「カム」軸ハ前部ニ「カム」軸齒車ヲ「キー」ニヨリ結合シ該齒車「ボス」部ハ前方支軸ヲナシ中部ニ二齒、後端ニ一齒ノ支軸部ヲ有ス「カム」ハ前方ヨリ交互ニ吸氣排氣ノ順序トス「カム」ノ弁開閉時期ヲ示セバ第二百七十八圖ノ如シ



圖七十七百二第



圖八十七百二第



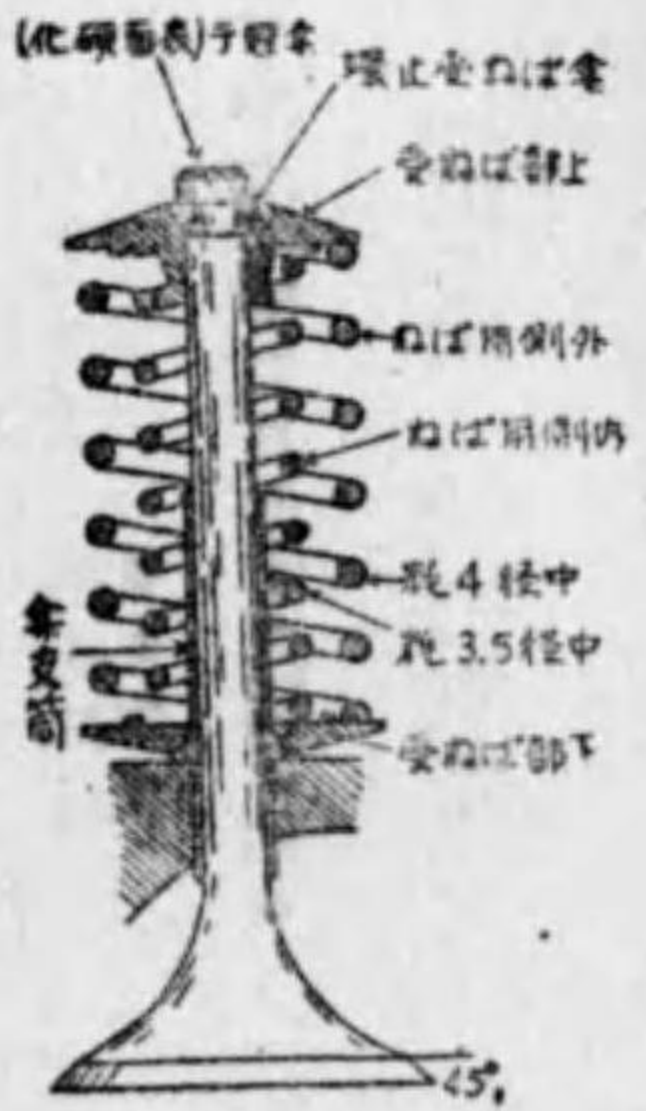
圖九十七百二第

第三款 吸排氣弁

第四百四十一 吸排氣弁共同一材質ヲ用ヒ中徑ハ吸氣弁六八耗、排氣弁六一耗ナリ
 弁ばねハ内外側二箇ヲモツテ一組トシばね大ハ外側用ニシテ右巻、ばね小ハ内側用ニシテ左巻トス
 構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

弁ノ構造竝ニ結合要領ヲ示セバ第二百八十圖ノ如シ

圖十八百二第

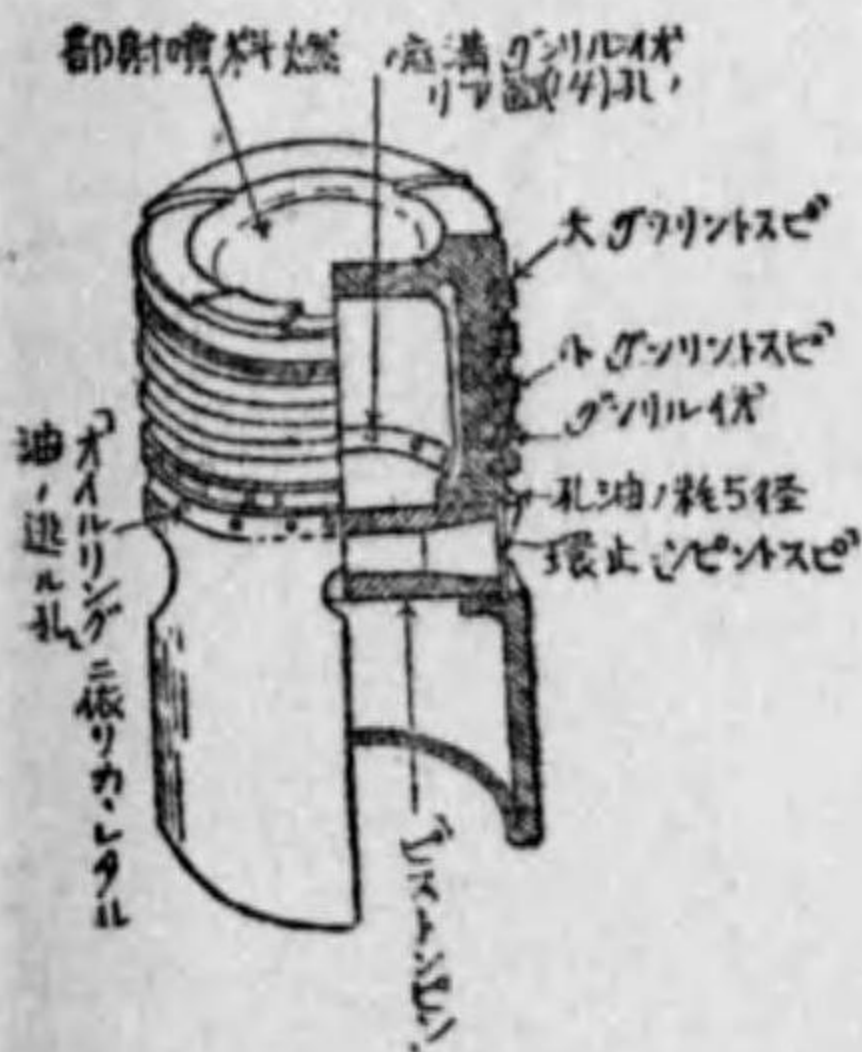


第四款 「ピストン」及「ピストンピン」

第四百四十二 「ピストン」ハ鑄鐵製ニシテ頭部ハ皿狀ヲナシ「シリンダ」蓋ト共ニ燃燒室ヲ形成シ其ノ皿狀中心ハ偏心シアリテ一部ヲ缺切シテ燃料噴射部位トナス而シテ上死點ニ達シタル場合ハ平面部ハ殆下間隙ナキタメ空氣ヲ殆下皿狀ノ部ニ追込ムコトトナル

「ピストンリング」大小三箇及「オイルリング」二箇ヲ備フ大ハ最上部ノモノニシテ幅五耗外側中央ニ幅及深サ共ニ一耗ノ溝ヲ設ケテ潤滑ノ良好、未燃燒ノ燃料ノ「クランク」室内ヘノ浸入ヲ防止ス、次ニ箇ハ幅四耗ニシテ最下部ハ「オイルリング」ニシテ中央ニ幅三

圖一十八百二第



耗深サ一・五耗ノ溝ヲ設ケ溝内ニハ一二箇ノ油孔アリテ撥油ノ目的ヲ達セシム各環ノ切斷部傾斜ハ四五度ニシテ「シリンダ」内ニ於ケル間隙ハ〇・二—〇・三耗程度トシ放置狀態ニ於テ約一〇耗ノ間隙ヲ保ツトキハ略々規定ノ壓力アルモノトス

「ピストン」及「ピストンリング」第二百八十一圖ノ如シ

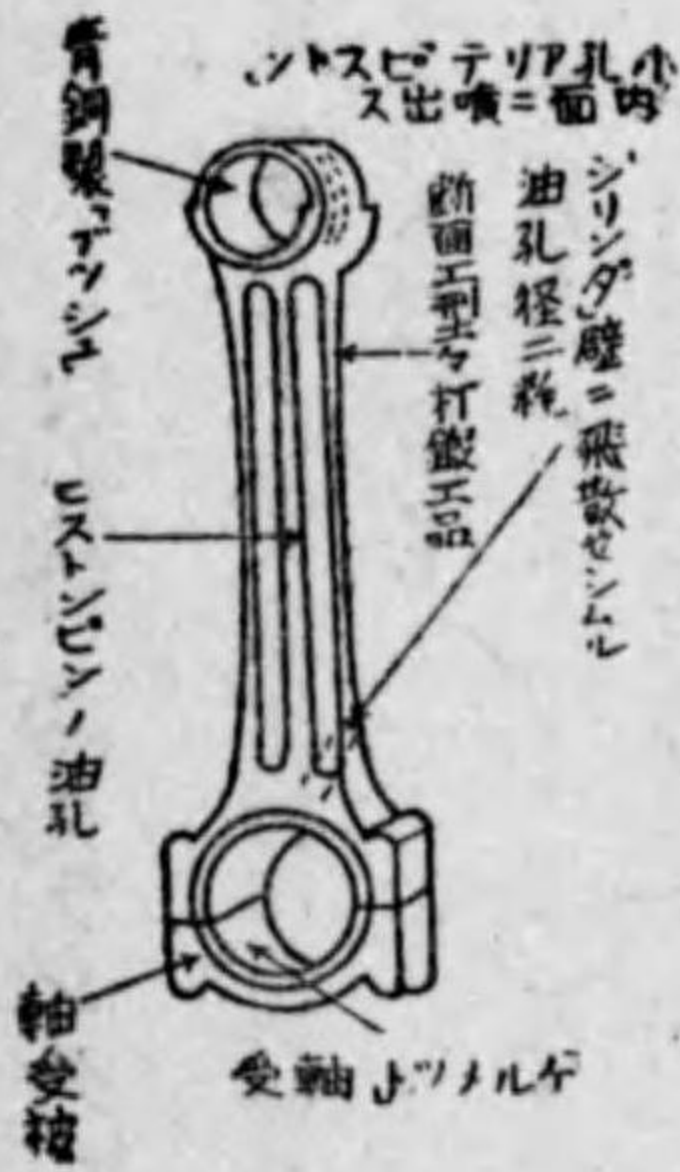
第四百四十三 「ピストンピン」ハ止環ニ依リ脫出ヲ防止ス

第五款 連結桿

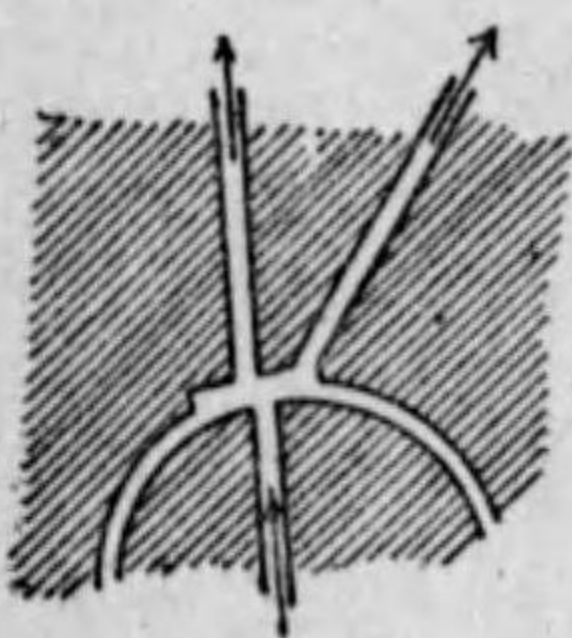
第四百四十四 連結桿ノ構造ヲ示セバ第二百八十二圖ノ如シ而シテ之ガ結合ニ當リテハ「シリンダ」壁散油孔ハ燃料噴射「ポンプ」ノ側ニアラシムモノトス「ブツシ」ノ緊定ハ油ヲ塗リテ結合セル際「クランク」軸ヲ水平ニ置キタルトキ輕ク下方ニ回轉スルヲ適度トシ横方向ニ動カシテ遊隙ヲ感ゼザルヲ可トス

「クランク」軸動軸部ヲ潤滑セシ油ハ一部ハ「シリンダ」壁散油孔ヨリ飛散サレテ「シリンダ」壁ヲ潤滑シ一部ハ導油孔ヨリ「ピストンピン」ニ至リ之ヲ潤滑シ上部ノ小孔ニ至リタルモノハ飛散サレテ「ピストン」内面ヲ冷却ス

圖二十八百二第



構造機能竝ニ取扱 九五式輕戰車



油孔、細部

之等齒車ハ分解結合ニ當リ誤ナカラシムル爲「クランク」軸齒車ト中間齒車大トノ嚙合ニハ(1)、中間齒車小ト「カム」軸齒車トノ嚙合ニハ(2)、中間齒車小ト燃料噴射「ポンプ」齒車トノ嚙合ニハ(3)ノ符號ヲ附シアリ
調時齒車ノ給油ハ「クランク」室内ニ飛散サレタルモノニヨリ行ハル

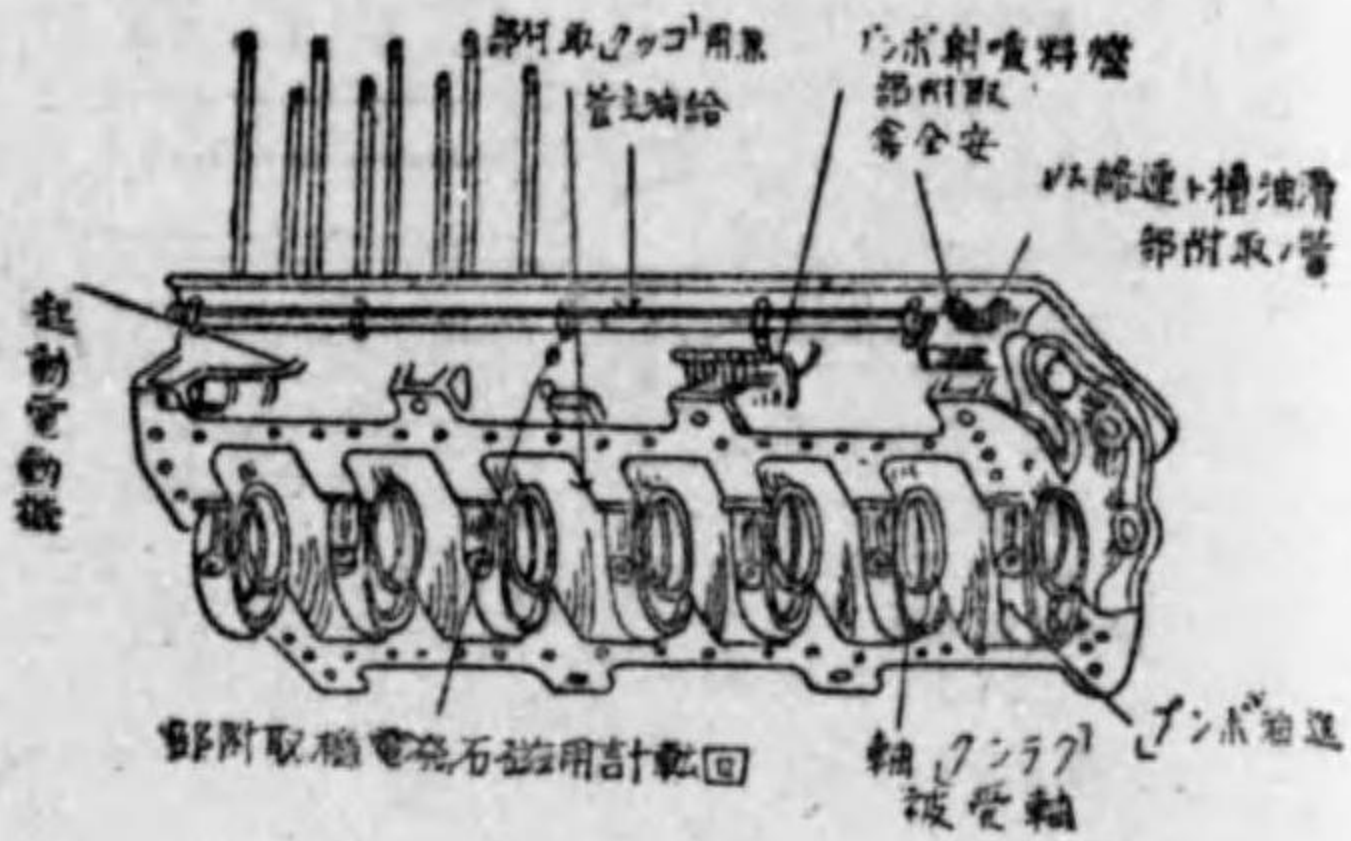
第九款 「クランク」室

第四百四十八 「クランク」室ハ上部「クランク」室、下部「クランク」室、傳動齒車室ヨリ成ル

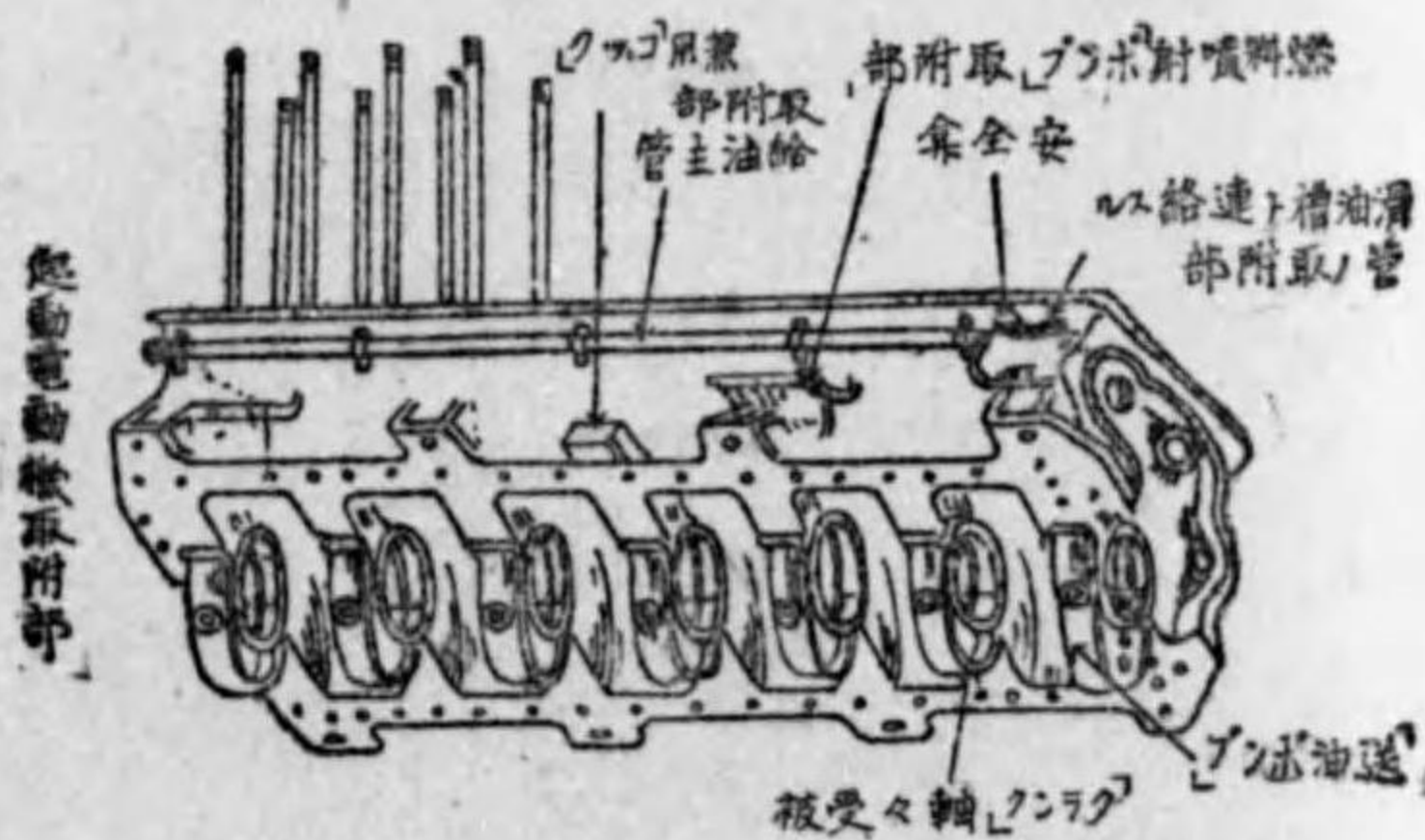
第四百四十九 上部「クランク」室ハ軟鋼板ヲ電氣熔接シテ造ラレ上面ニハ「シリンド」締付「ボルト」、機關懸架用ノ吊環、機關組立時ノ調時ノ爲ノ指針(はづみ車)ノ刻印ト一致セシムヲ設ケ右側面ニハ燃料給油「ポンプ」、燃料噴射「ポンプ」、起動電動機受及回轉計用磁石發電機ノ取附部及配油主管ヲ、左側面ニハ換氣管及空氣排出管、起動電動機受ノ取附部ヲ設ク其ノ要領ハ第二百八十七圖及第二百八十八圖ノ如シ

第四百五十 下部「クランク」室ハ「アルミニウム」合金製ニシテ前部ハ上部「クランク」室ト共ニ調時齒車室ヲナシ下面ニハ前後部各一箇ノ油溜ヲ設ク其ノ要領ハ第二百八十九圖ノ如シ

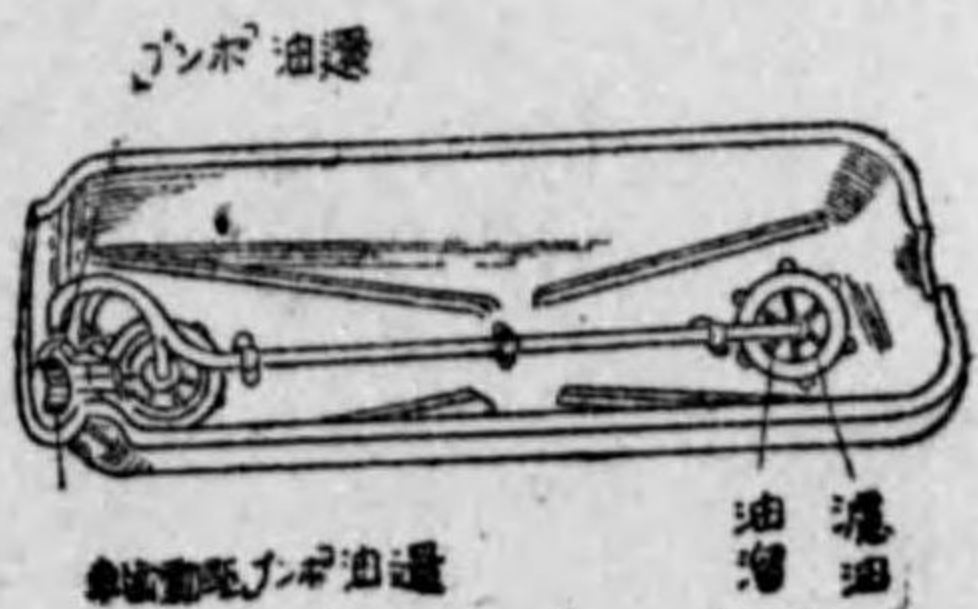
圖七十八百二第



圖八十八百二第



圖九十八百二第



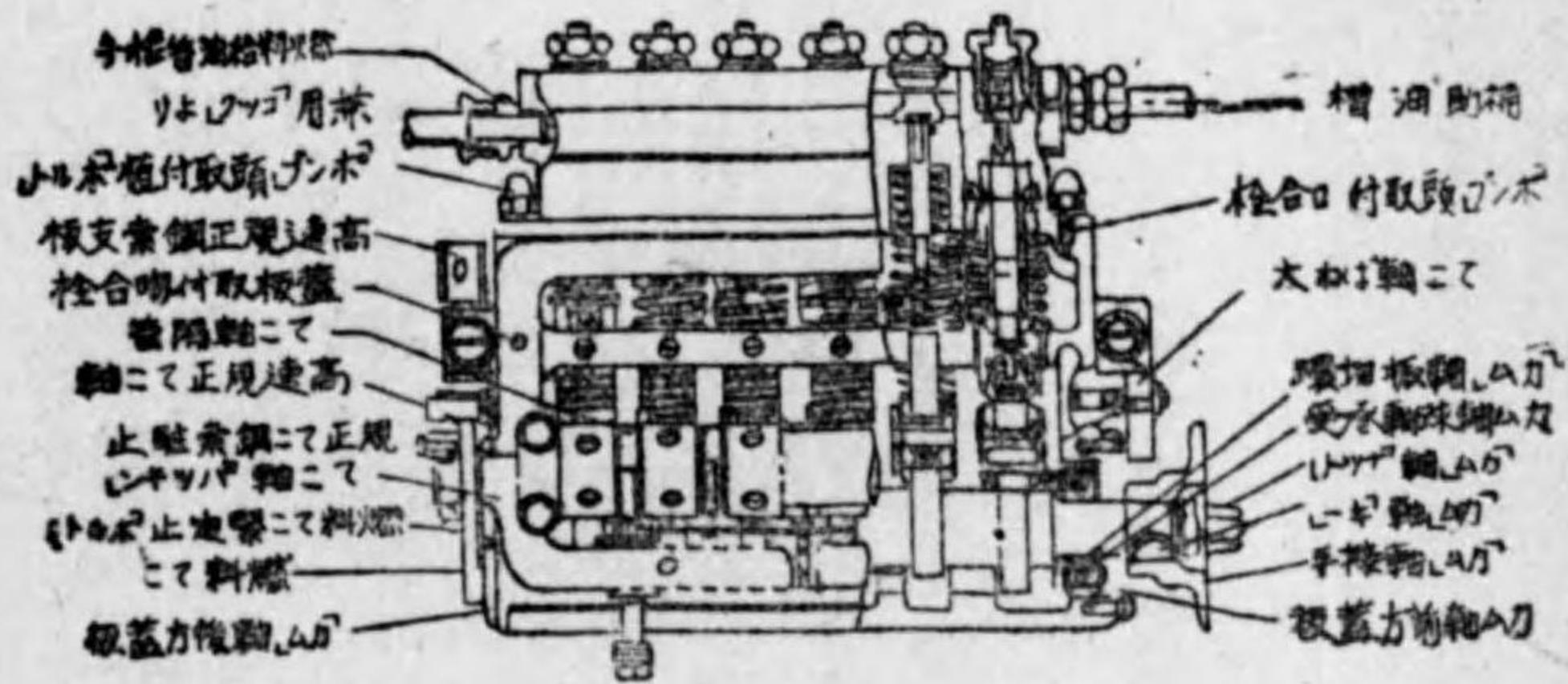
第十款 燃料噴射裝置

第二百五十一 本裝置ハ燃料噴射「ポンプ」、燃料噴射弁、噴射管ヨリ成ル

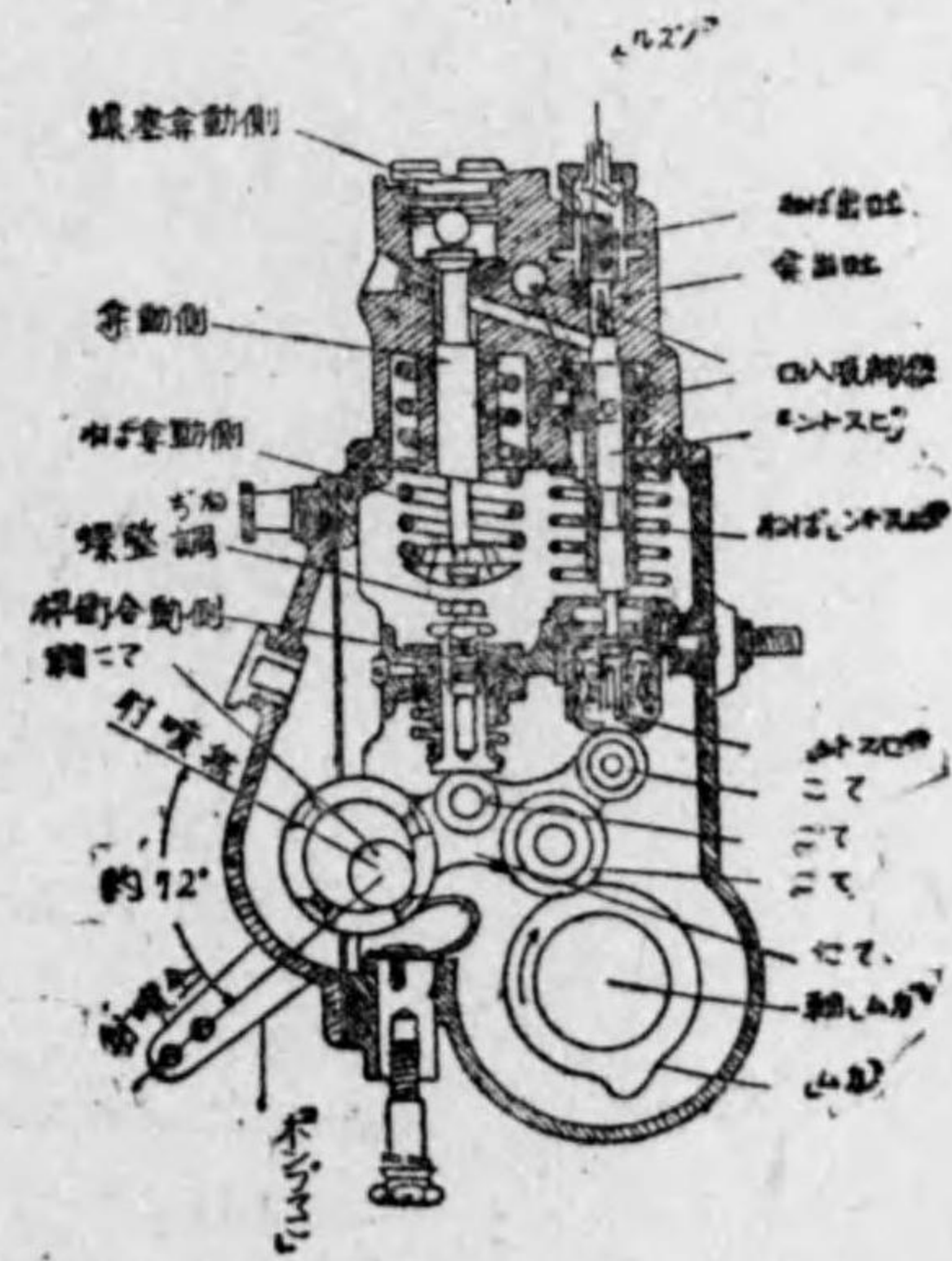
第二百五十二 燃料噴射「ポンプ」

三菱A六九〇R型ヲ使用シ機關右側ノ略、中央上部「クランク」室ニ締付ケラレ其ノ構造ヲ示セバ第二百九十圖及構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

圖十九百二第



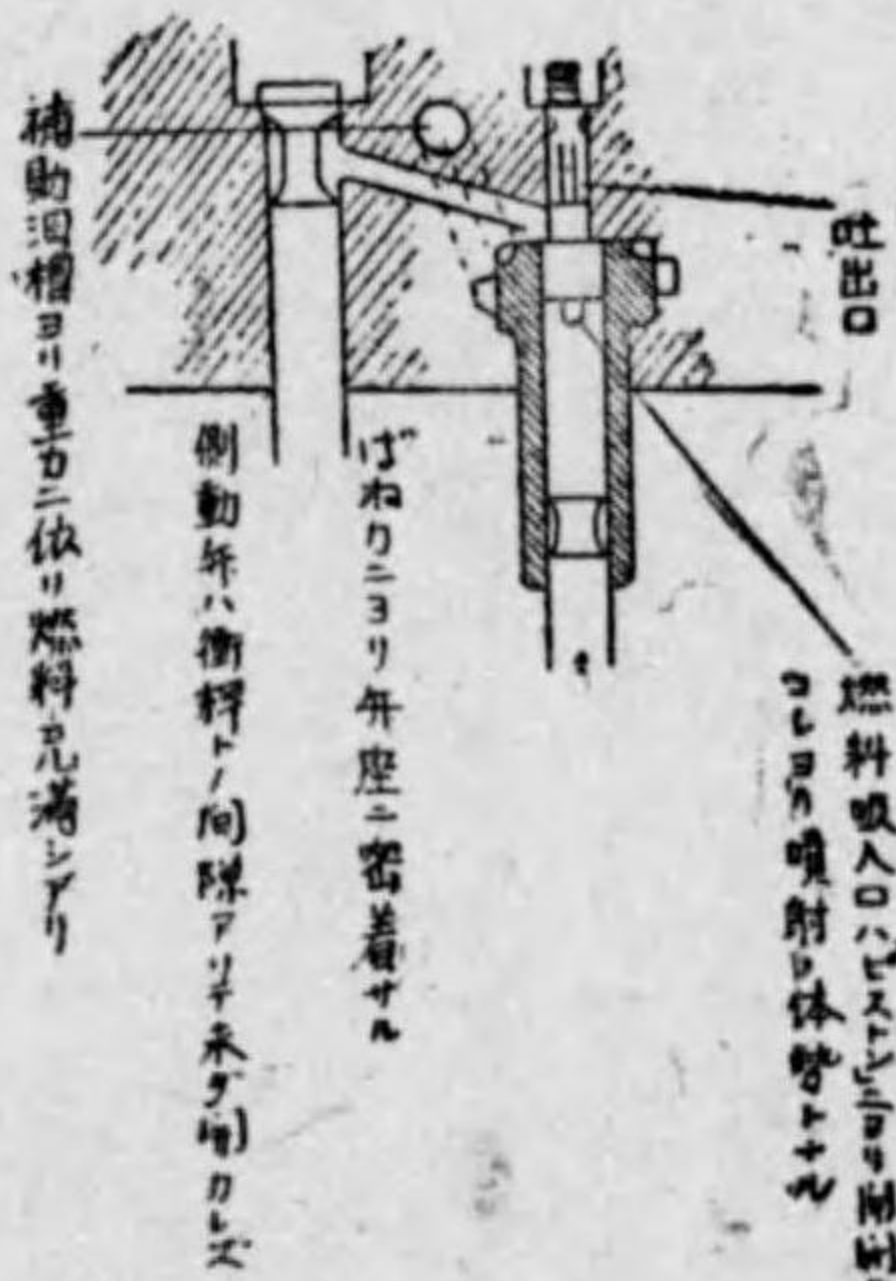
圖一十九百二第



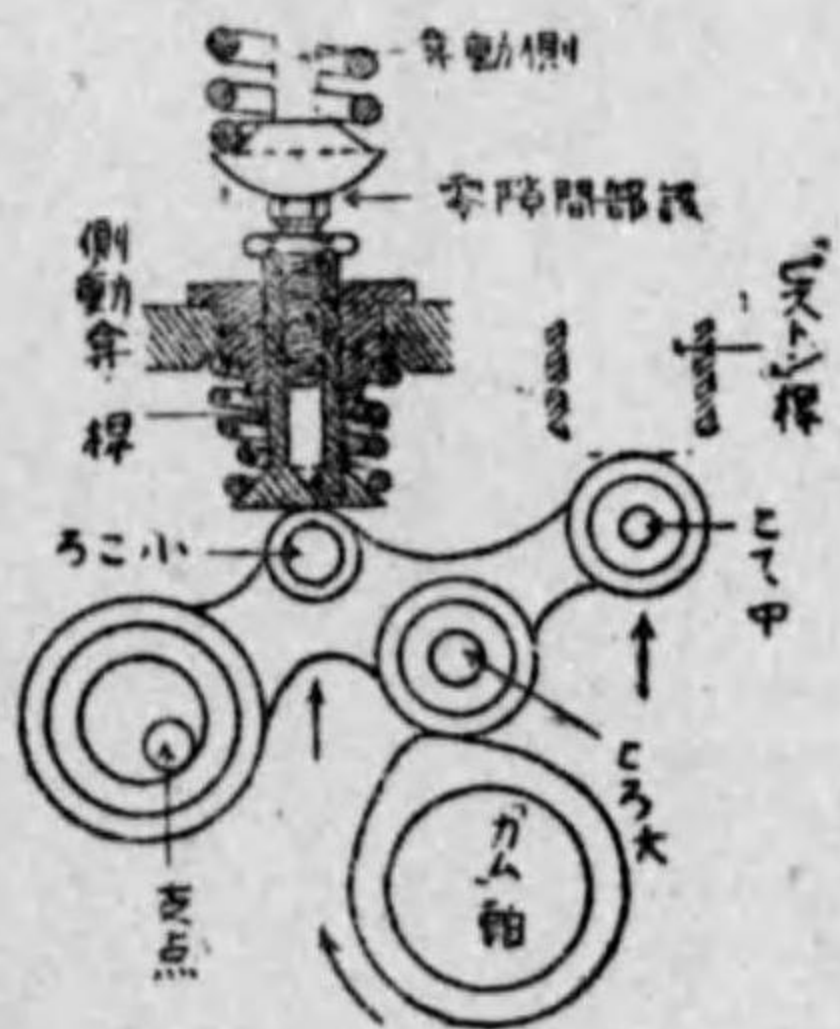
一 第二百九十二圖ハ噴射始メノ状態ヲ示スモノニシテ「ポンプ」上部ニハ補助油槽ヨリ常ニ重力式ニヨリテ燃料ハ充滿サレアリバね力ニ依リ「ピストン」降下スル際其ノ負壓ニ依リ燃料ハ常ニ「ピストン」上方ニ充タサル

「ピストン」ノ上昇ニアタリ吸入口閉塞サレ側動弁ハばね力ニヨリ閉テラレアルヲ以テ壓セラレタル燃料ハ吐出バねヲ壓シテ噴射セラル

圖二十九百二第



圖三十九百二第



二 噴射終

ころ中ハ噴射シツツ上昇スレバころ小モ又共ニ上昇シ側動弁ト側動弁衝桿トノ間隙ハ逐次減少シ第二百九十三圖ノ状態ニ至ル爾後兩ころ上昇スルモ側動弁開キテ高壓燃料ハ側動弁ヲ通りテ排油孔ニ通ズ此ノ場合油壓ハ降下シ吐出弁ハばね力ニヨリ閉塞セラレ燃料噴射ハ停止ス即チ側動弁衝桿ト側動弁ノ間隙零トナリタル場合ガ噴射終リノ位置ナリ

三 噴射量及噴射時期ノ加減

噴射量及噴射時期ノ加減要領ハ第二百九十四圖ニ示ス如クテ軸ヲ矢ノ方向ニ回轉セシムレバ中心ハ偏心シアアルヲ以テ各ころ點線ニ示ス位置ニ移動ス即チころ小ハαダケ降下シ從ツテ噴射終リノ時期ガ遅レ噴射時期ガ長クナ

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

リ噴射量増加ス

此ノ場合各ころハ又左方ニBダケ移動スルヲ以テころ大ハ「カム」ノ回轉方向ニ向ツテO角ダケ移動シ噴射時期ガ進メラル即チテころ下方ニ動カスコトニ依リ噴射量ヲ増シ噴射時期ヲ進メ機關回轉ヲ増加ス

四 無噴射及全噴射

テころ無噴射ノ位置ニアラシムルトキハころ小ハ上昇シアリテ制動弁開隙ハ皆無トナリ燃料ヲ噴射シ始メントスルヤ否ヤ制動弁ヲ開キ排油孔ニ放出セシメ以テ「シリンド」ヘハ噴出セシメズ

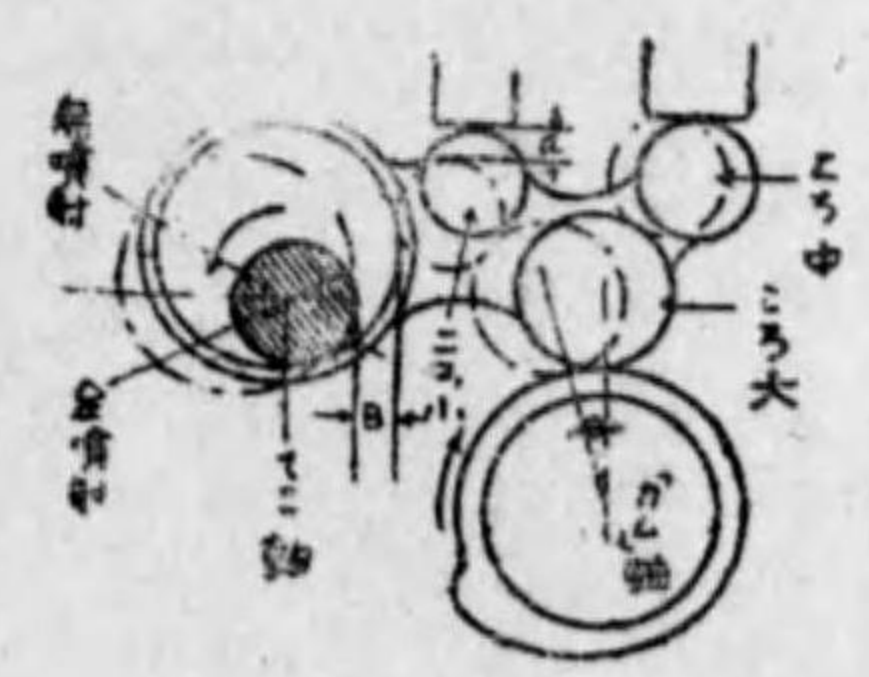
テころ全噴射ノ位置ニアラシムルトキハ側動弁開隙最モ多ク從ツテ噴射量最大ナリ此ノ場合ノ開隙ハ三耗内外ニシテ正確ナル寸法ハ支筒ヲ取附ケタル體ニ刻印シアリ

五 噴射「ポンプ」ノ取扱

噴射「ポンプ」ヲ取外シ結合スルニ當リテハはづみ車外周「噴射終」ノ刻印ヲ第一「シリンド」ノ壓縮行程ヲ求メテ指針ニ合シ噴射「ポンプ」ノ加減テころ無噴射ノ位置ニ置キ第二「シリンド」側動弁ノ開隙概ネ零トシ先ヅ「クランク」室ニ取附ケ次ニ正確ニ側動弁ノ開隙ヲ零トナシ「カム」ノ接手ヲ結合スレバ可ナリ噴射時期ノ變更ハ「カム」軸接手ノ「ボルト」ヲ緩メテ「カム」軸ヲ回轉方向ニ回セバ進ミ反對方向ニ回セバ遅ル而シテ目盛板ノ一目盛ハ「クランク」軸ニ於テ八度ニ相當ス

噴射終リノ調整即チ側動弁ノ開隙ノ變更ハ各「シリンド」ノ噴射量ニ及ボス影響大ナルヲ以テ之ガ操作ハ努メテ避

圖四十九百二第



第四百五十三 噴射管及「ノズル」

クルヲ要スルモ止ムヲ得ザル場合ハ極微量ノ變更ニ止ムルモノトス

噴射管、噴射管接手及「ノズル」ノ構造及結合要領ハ第二百九十五圖ニ示ス如シ

一 噴射管接手ハ内部ニ逆止弁ヲ設ク「ノズル」室ハ「ノズル」ガ「シリンド」内ニ於ケル熱ニヨリ室トノ焼付ヲ防止シ併セテ噴射終期ニ於ケル油滴ヲ速カニ飛散セシメ「ノズル」ノ堵塞ヲ防止スル爲メ内部ニ空隙ヲ設ケ又「ノズル」孔ノ正シキ位置ヲ保タシムル爲メ駐子ノ入ル溝ヲ有ス

二 「ノズル」ハ開放型ニシテ「ノズル」孔ノ角度ハ周角四五度俯角

一七度トシ孔徑ハ〇・二八耗トス而シテ之ガ結合ニ當リ「ノズル」室ノ溝ト「ノズル」ノ駐子トヲ合シ關係位置ヲ違ハザルコト肝要ナリ

三 「ノズル」閉塞ノ疑アル時ハ之ヲ點檢スベシ分解ニ當リテハ屬品ノ分解工具ヲ使用シ不適合ナル工具ニ依リ變形等ヲ防止スルコト肝要ナリ

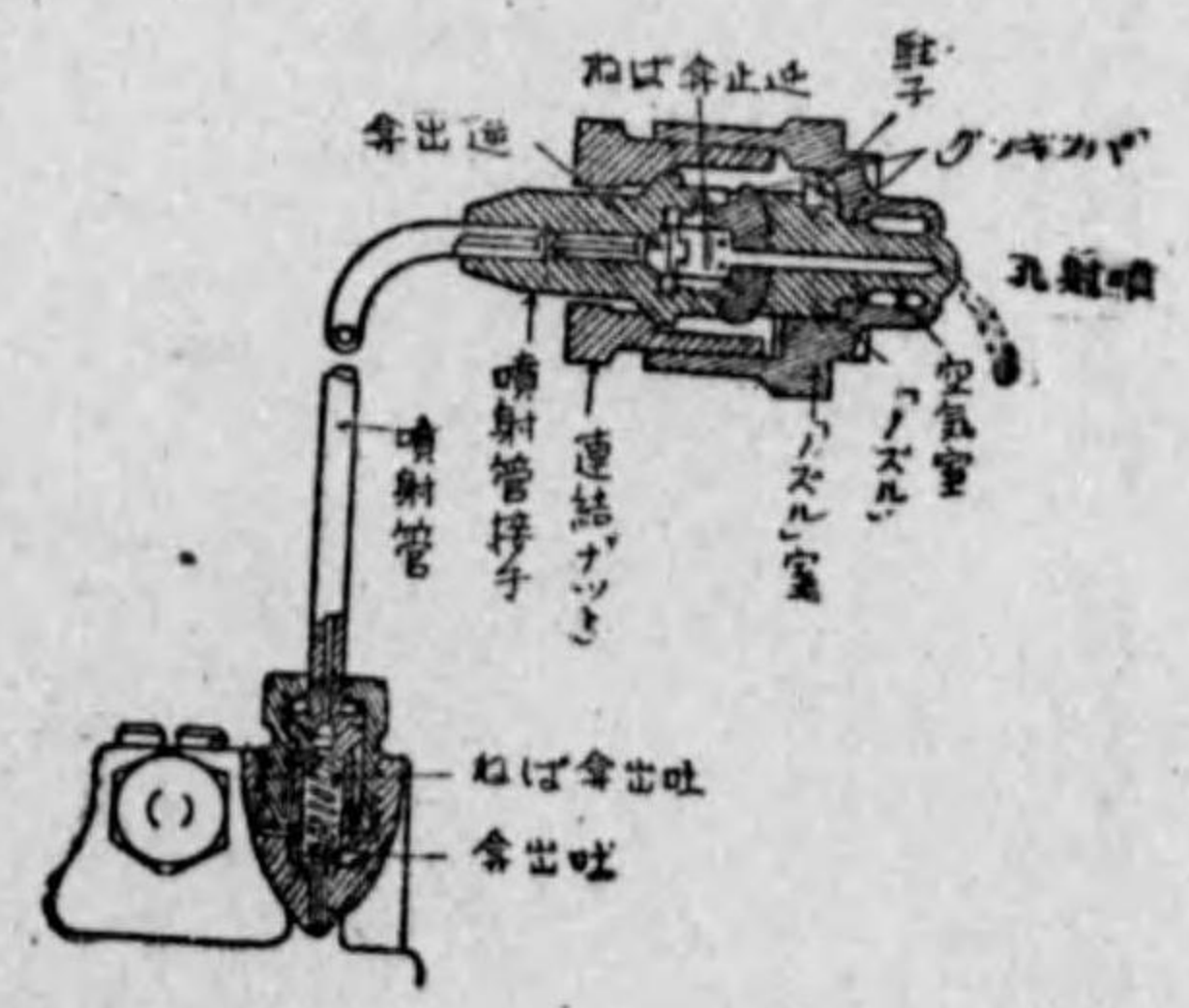
「ノズル」及接手等ハ丁寧ニ取扱ヒ接合部及摺全面ニ疵ヲ附ケ氣密ヲ害スルコトナキニ注意スルヲ要ス

噴射孔ノ手入ニ當リテハ硬質ノ大ナル針金ヲ使用シ噴口直徑ヲ擴大スルガ如キコトナキニ注意スベシ

堵塞シタル「ノズル」ハ掃除針ヲ用ヒテ充填物ヲ排除スルモノトス然ル後「ポンプ」ヲ用ヒテ細孔内ヲ洗滌スルト同

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

圖五十九百二第

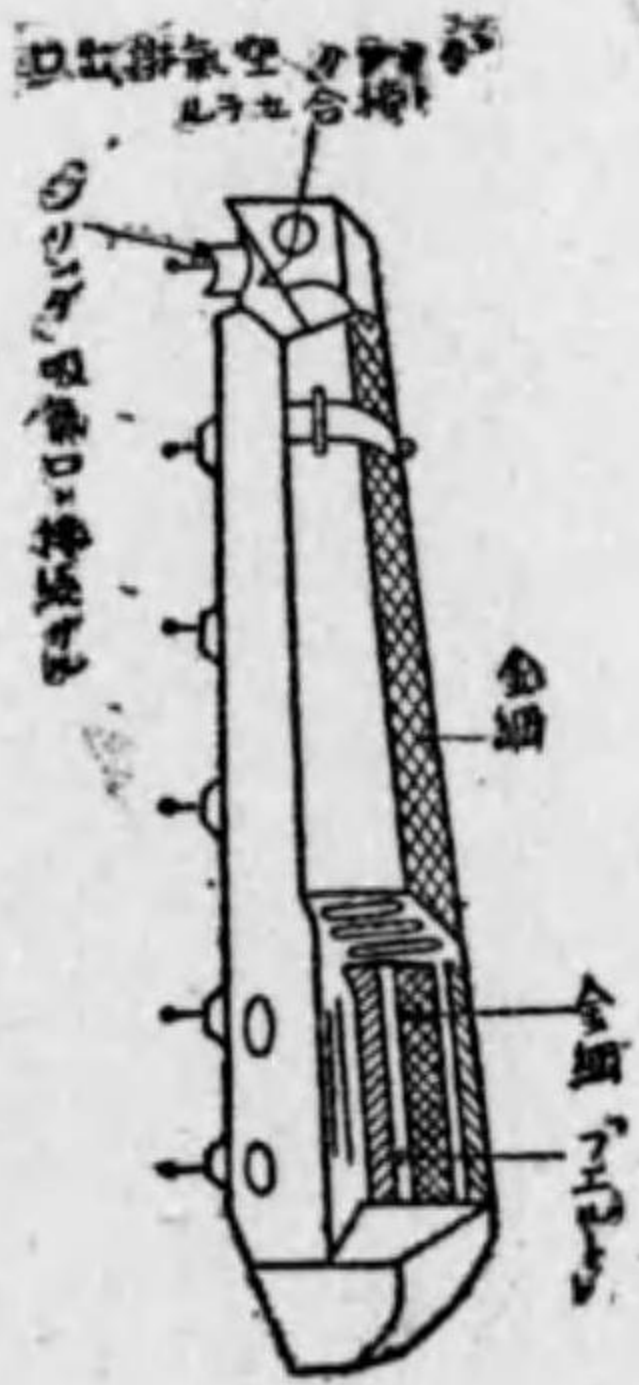


時ニ其ノ噴射狀態概ネ左右對稱ナルヤ否ヤヲ檢スベシ

第十一款 吸氣裝置

第四百五十四 吸氣管ハ濾過器ヲ兼ネタルモノト寒中吸入空氣ヲ豫熱セシムルモノトノ二種ヲ有シ内地ニアリテハ四季ヲ通シ濾過器ヲ兼ネタルモノヲ用フ其ノ構造第二百九十六圖ノ如シ

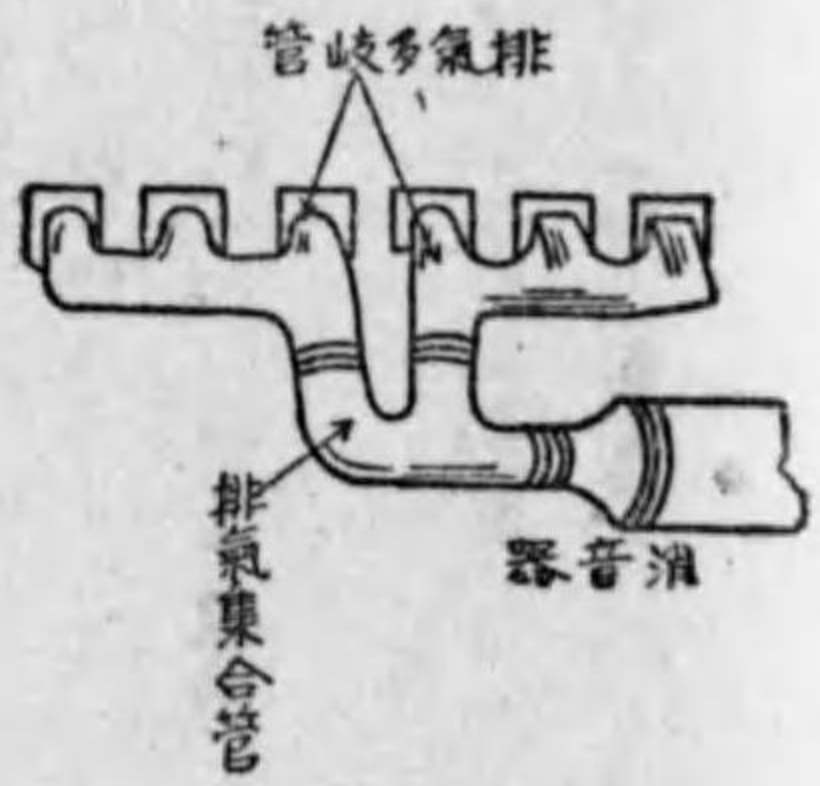
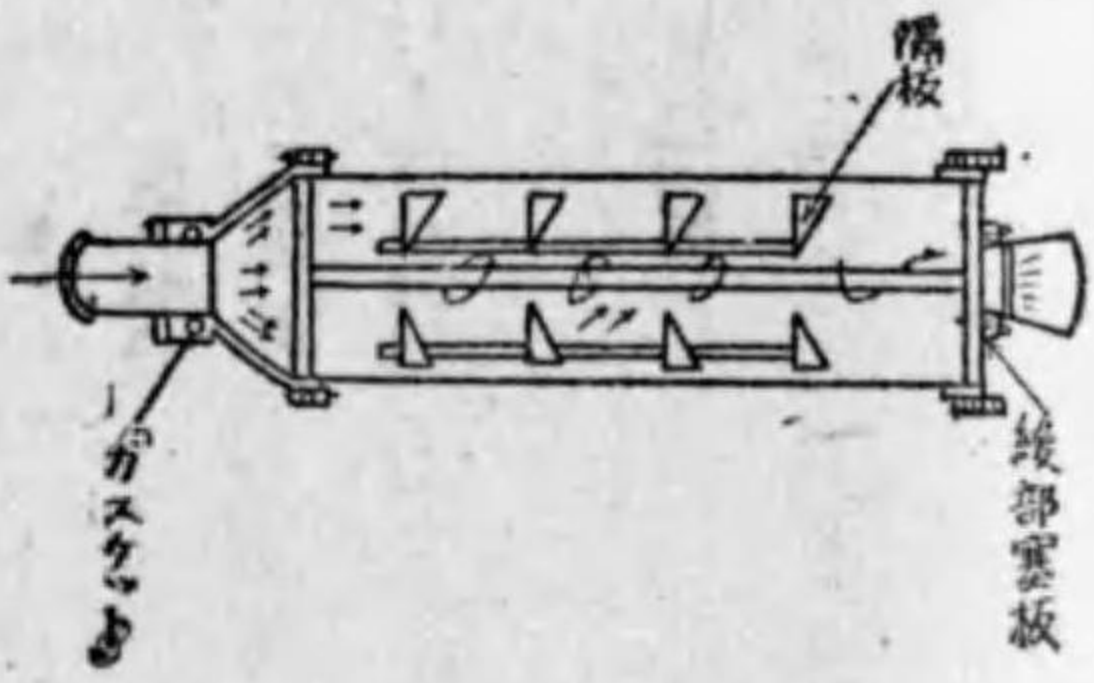
圖六十九百二第



第十二款 排氣裝置

第四百五十五 本裝置ハ排氣多岐管、排氣集合管、消音器等ヨリ成リ夫々軟鋼板製ニシテ其ノ構造要領第二百九十七圖ノ如シ

圖七十九百二第

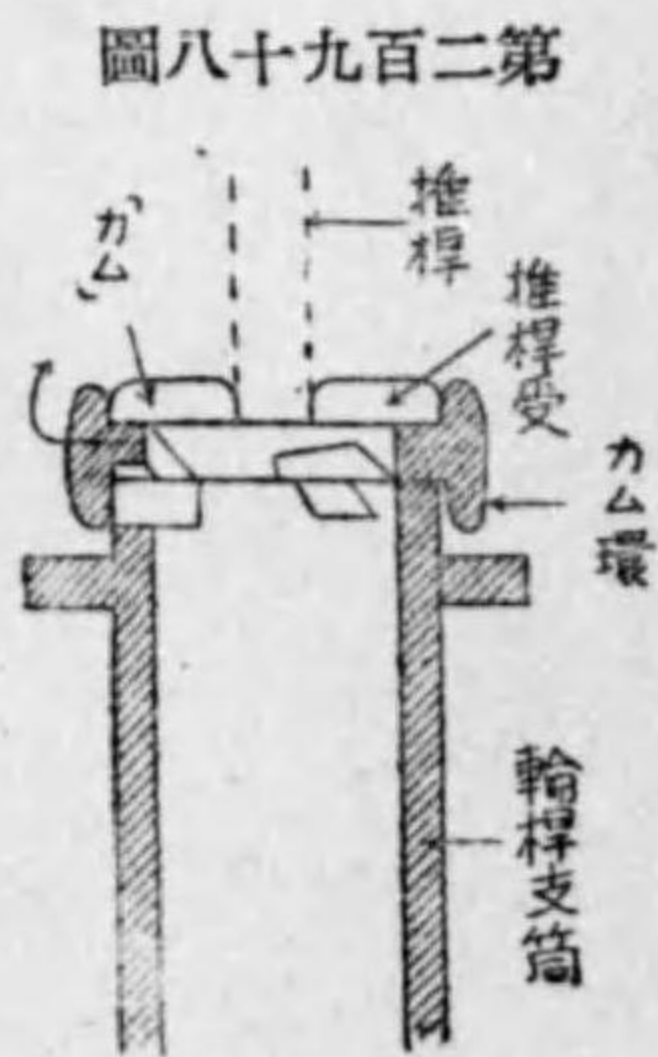


第十三款 起動裝置

第四百五十六 本裝置ハ減壓裝置及電氣起動裝置ヨリ成ル
第四百五十七 減壓裝置

本裝置ハ排氣弁驅動裝置ニ設ケアリテ「カム」環、起動連桿曳桿及轉臂、竝ニテ軸軸受ヨリ成ル
減壓てこヲ後方ニ引キタル場合ハ「カム」環ノ凸部ガ輪桿支筒ノ凸部ニ乘リ上リ推桿受ヲ二耗扛上セシメ減壓ノ目的ヲ達スルモノトス此ノ際ノ作用ハ第二百九十八圖ニ示ス如シ
圖ハ減壓セシ場合ヲ示ス

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車



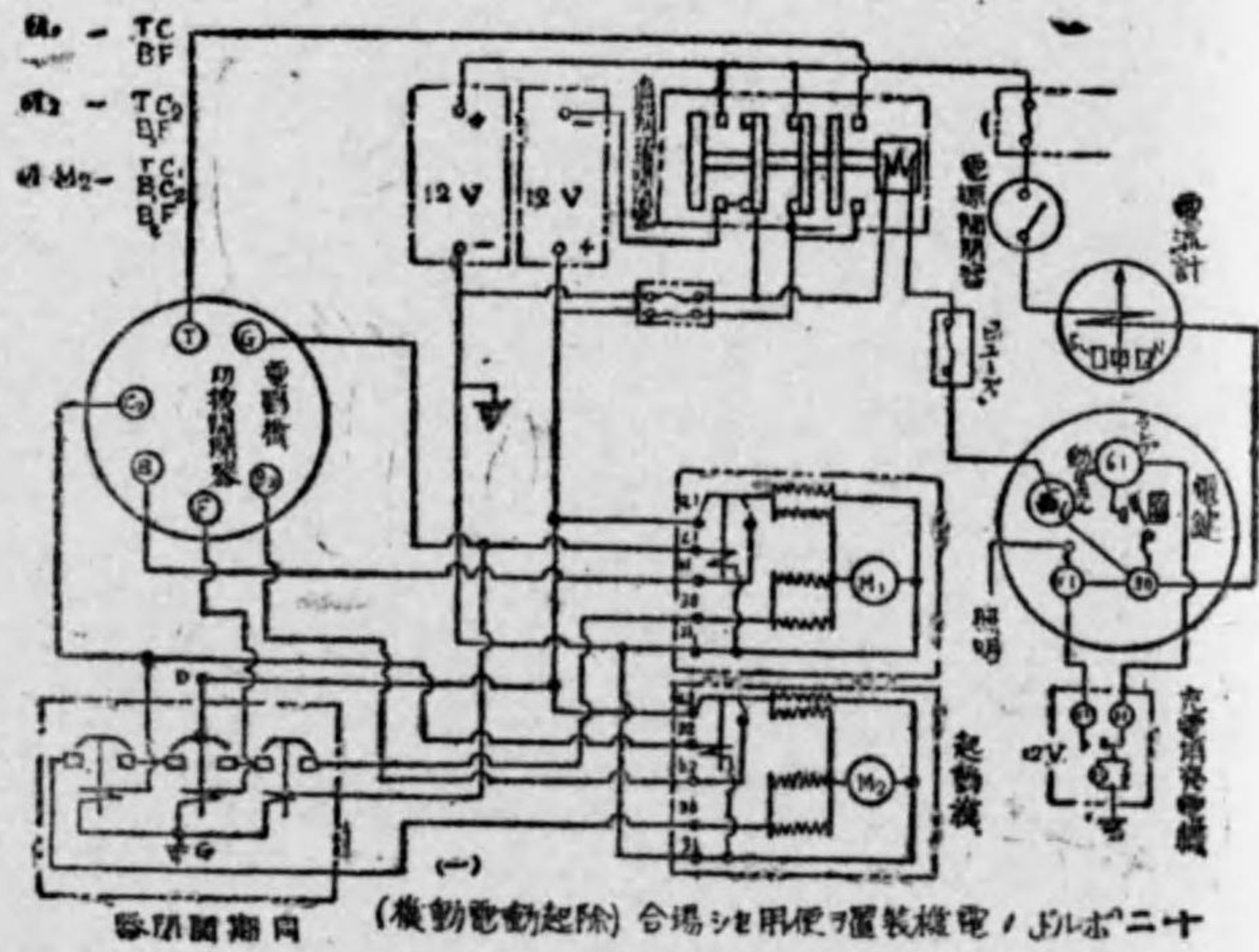
圖八十九百二第

減壓操作ヲ中止スルタメ「カム」環矢ノ方向ニ回轉セバ凸起部ニ乗
 リ上ゲタルハ外レテ「カム」環降下ス第三、四「シリンド」用ハ「カ
 ム」環ノ「カム」ノ幅少ナリ
 次ニテコヲ中央ニシタル場合ハ「カム」環回轉シ第三、四「シリ
 ン」用ノ「カム」環ノ凸部ノ幅少キヲ以テ推桿受降下ス即チ第三、
 四「シリンド」ノミ壓縮ノ状態トナル
 起動ニ際シテハ先ヅテコヲ十分後方ニ引キ機關ニ回轉ヲ與ヘ次ニ中央位置ニ置キ第三四ノ爆發ヲ感ジテ後十分前方
 ニ倒シテ全壓縮ノ位置ニ置クモノトス減壓ノ期間ニ於テハ不燃燒燃料ノ「シリンド」内ニ溜リ又ハ滑油ニ混ズルヲ考
 慮シ成ルベク操作ノ短キヲ可トス

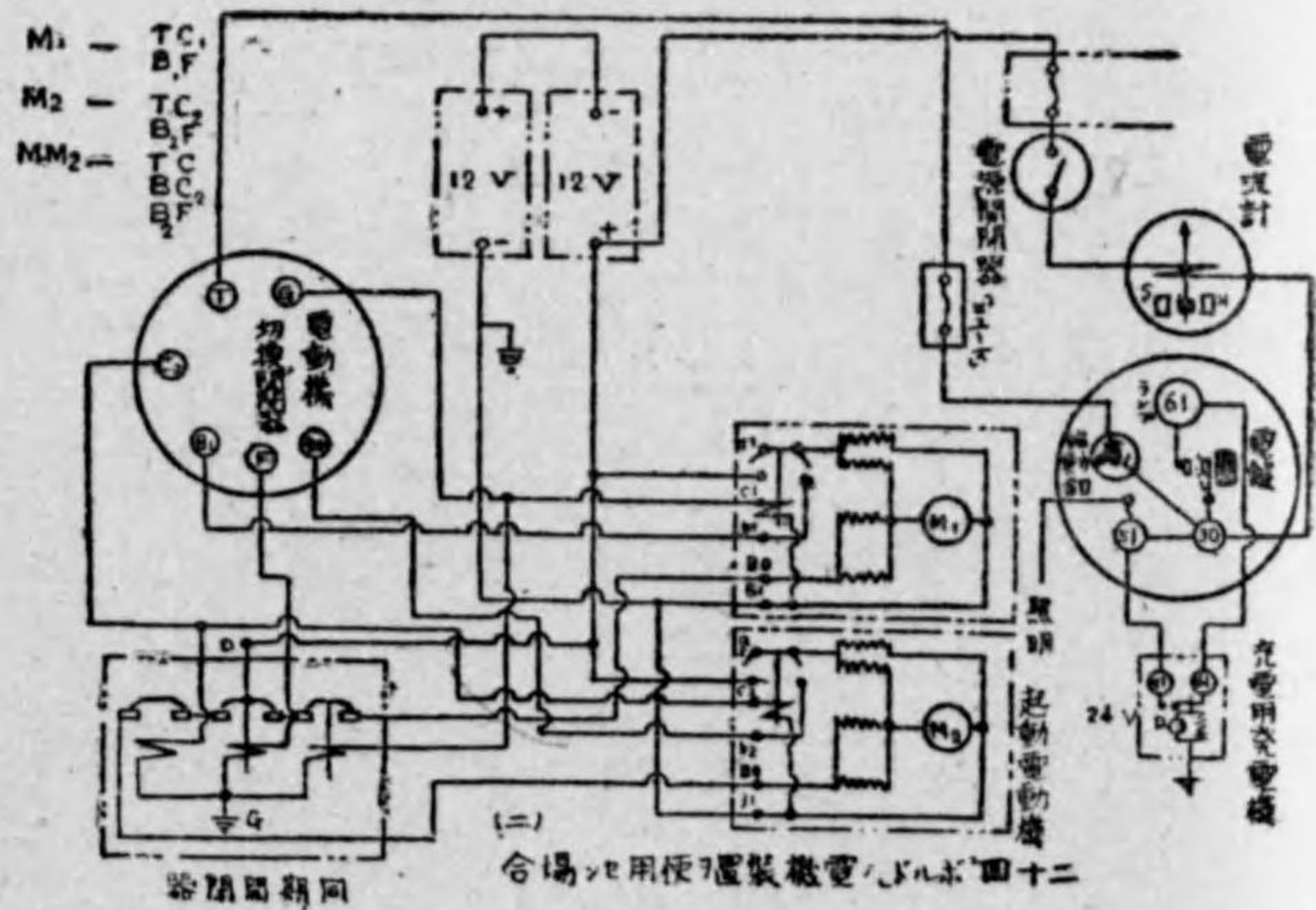
第四百五十八 電気起動装置

- 一 起動用トシテ二四「ボルト」六馬力ノ電動機二箇ヲ使用ス
 其ノ結線要領ヲ示セバ第二百九十九圖及第三百圖ノ如シ而シテ電動機小齒車トはづみ車齒環トノ間隙ハ四―五耗
 ヲ適度トス
 - 二 起動機切換開閉器ハ二箇ノ電動機中所需ノ側ニ切換同期閉閉器ニ依リ回轉セシムルモノトス
 - 三 切換開閉器ハ他ノ電気装置一二「ボルト」ナルニ對シ起動電動機ノミ、二四「ボルト」ナル場合蓄電池ヲ直列トス
 ル爲ニ設ケラレタルモノナリ
- 同期閉閉器ハ所要ノ電動機ヲ回轉セシメ同時ニ二箇ヲ使用スル場合ハ其ノ作用ヲ同一ナラシムルモノナリ

圖九十九百二第



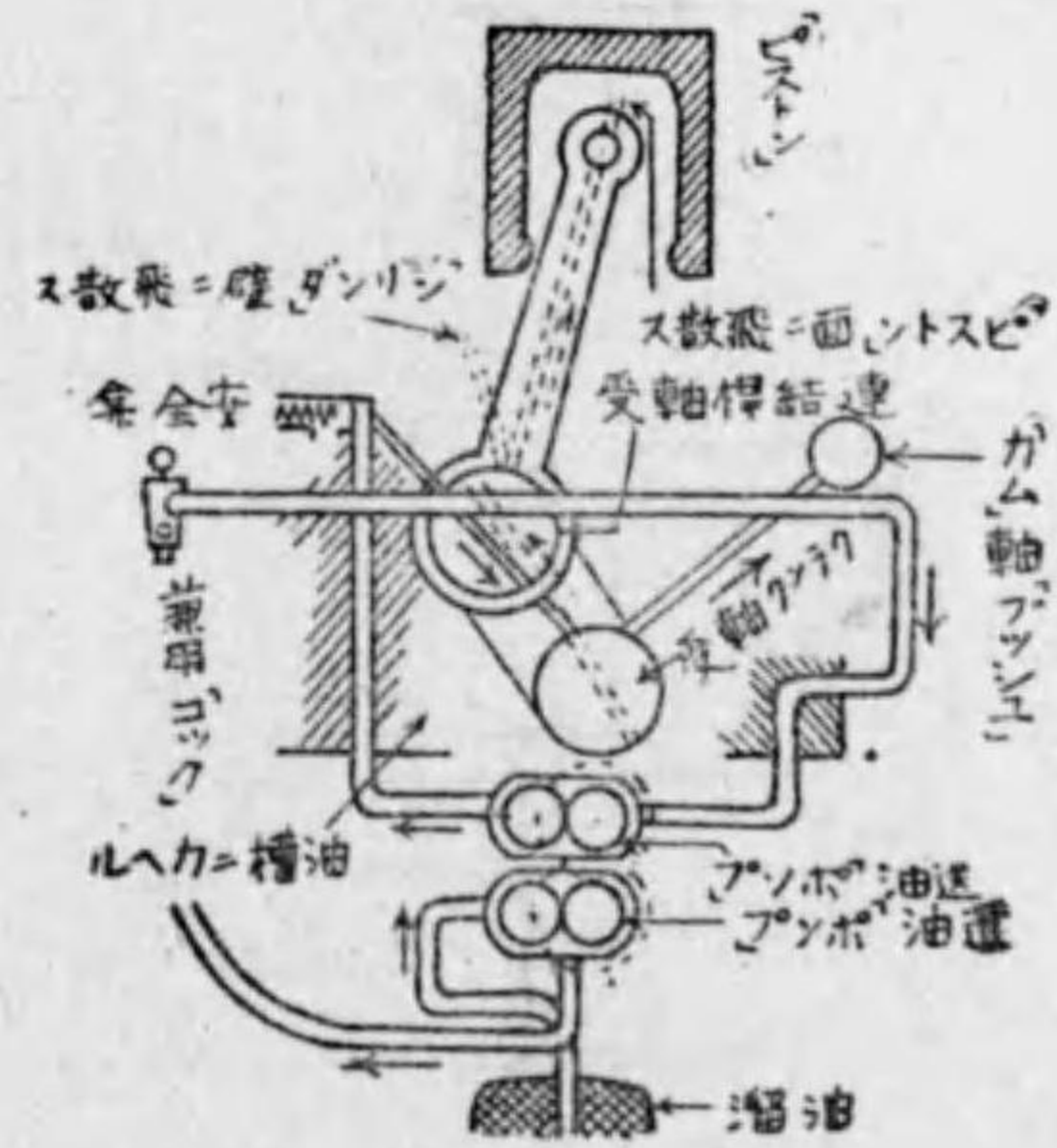
圖百三第



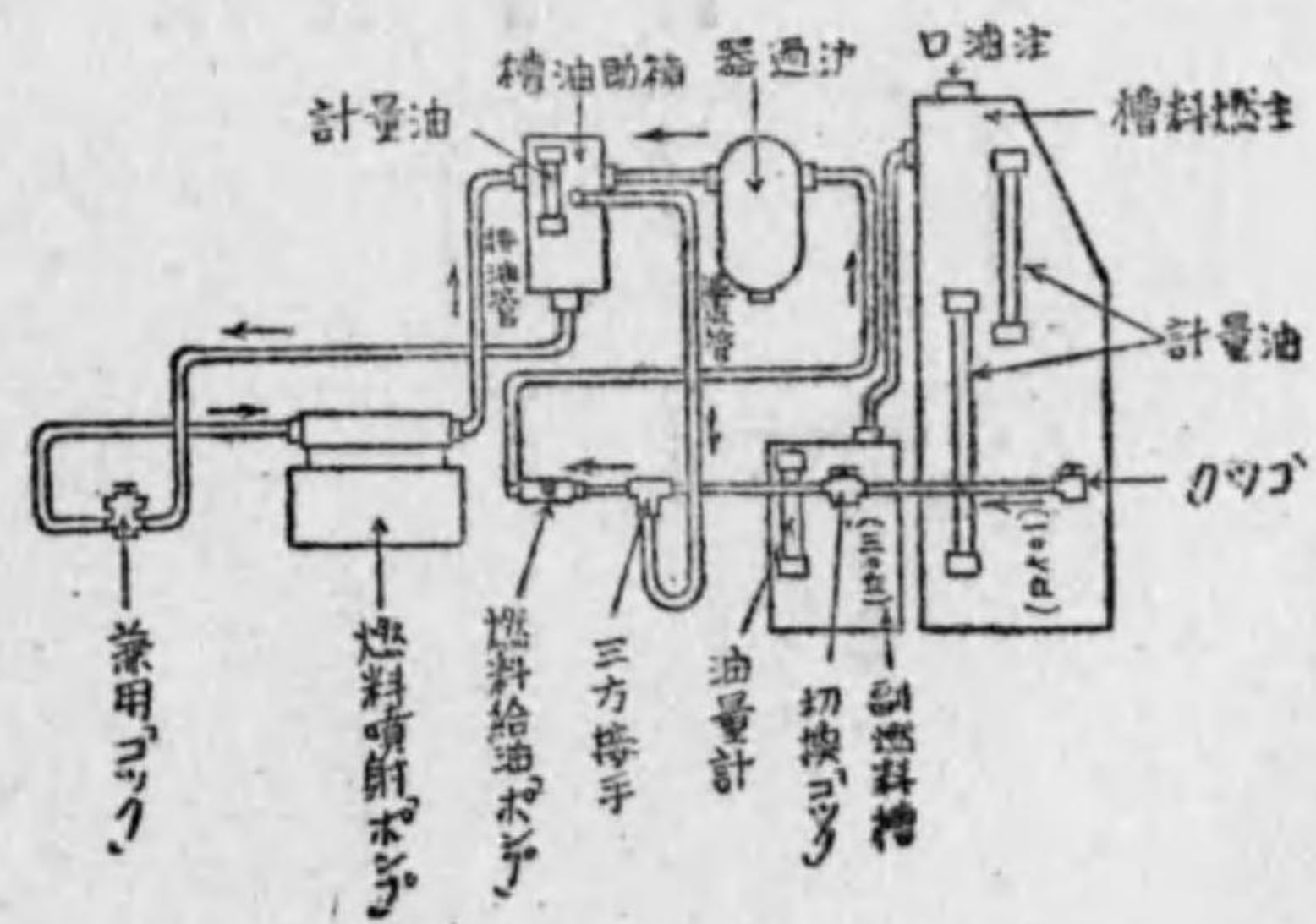
第十四款 潤滑裝置

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

圖一百三第



圖二百三第



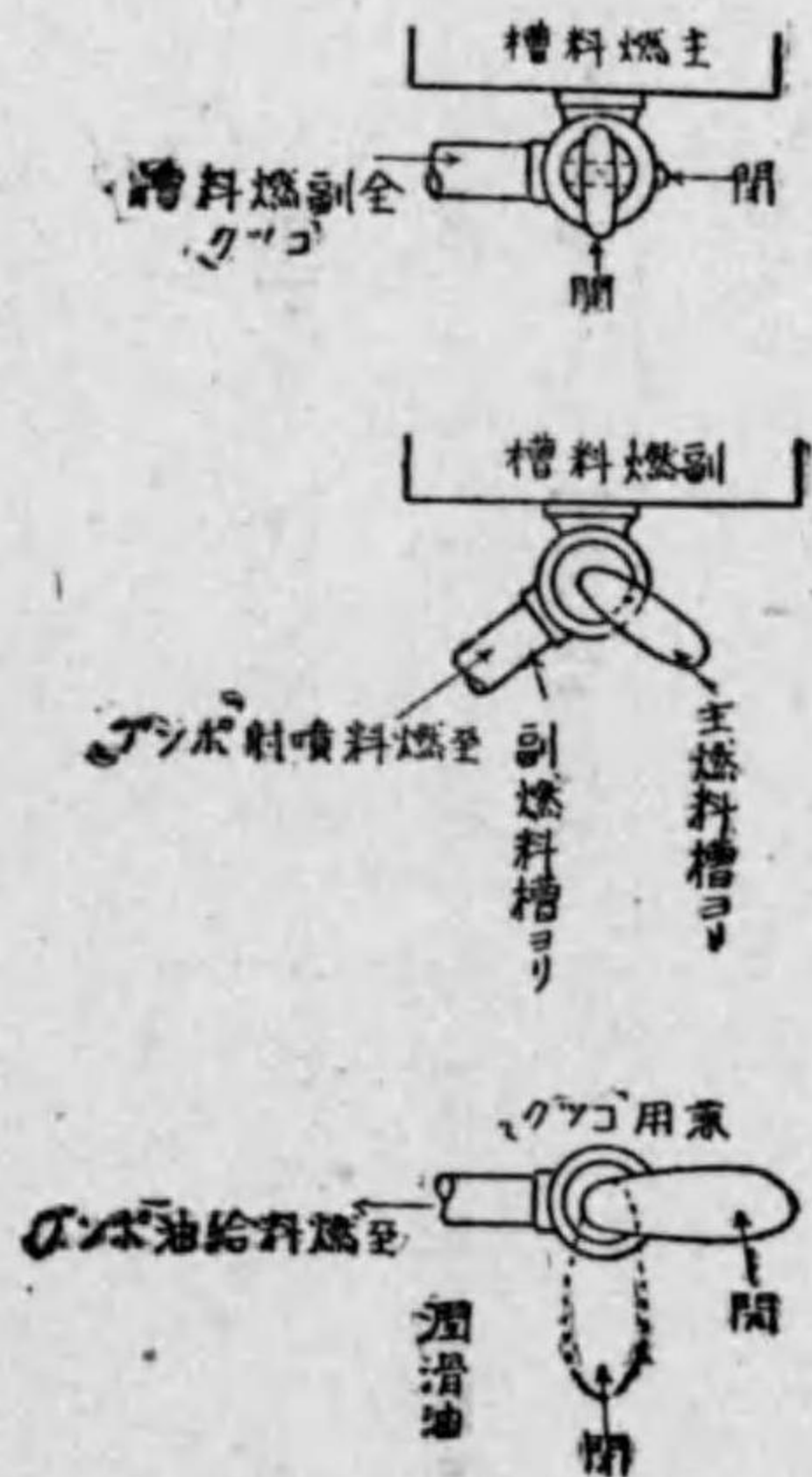
第二節 燃料装置

第四百六十 燃料系統ヲ示セバ第三百二圖ノ如シ

第一款 切换「コック」

第四百六十一 本燃料系統ニハ主燃料切换「コック」、副燃料槽切换「コック」、兼用「コック」ノ三箇ヲ備フ其ノ作用ハ第三百三圖ニ示ス

圖三百三第



第二款 燃料給油「ポンプ」

第四百六十二 燃料給油「ポンプ」ハ噴射「ポンプ」驅動軸ノ「カム」ニ依リ驅動セラル

「ピストン」式ノ「ポンプ」ニシテ其ノ構造ハ第三百四圖及第三百五圖ニ示ス如シ

手動ニ依リ操作スル場合ハ「カム」ガ「ピストン」ヲ押シアラザル位置ニ置キテ操作スルヲ要ス

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

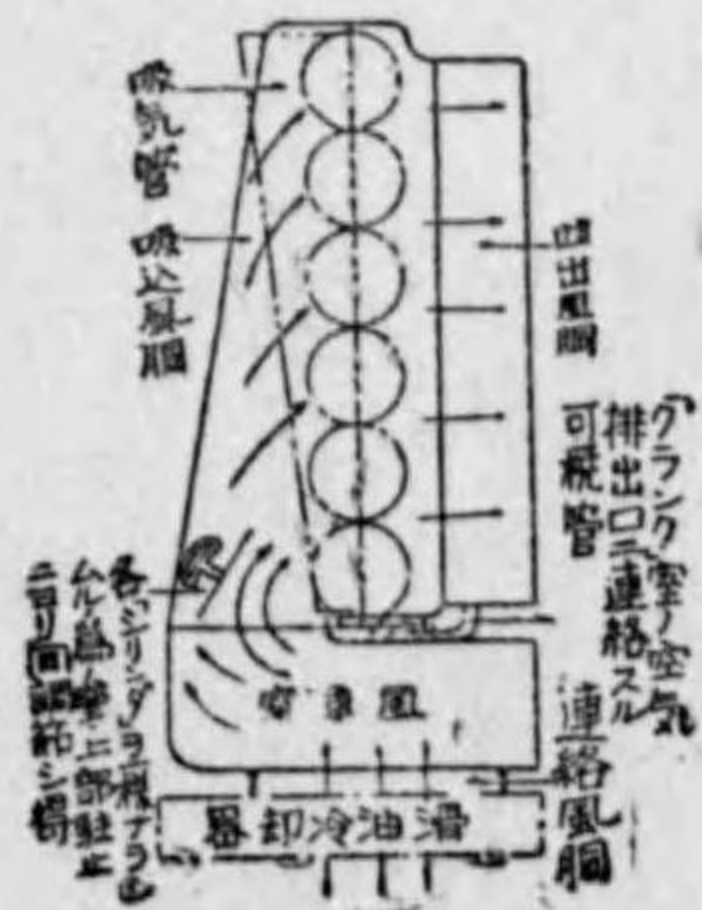
第四百七十 各冷却機構ノ配置、通風要領ヲ示セバ第三百十圖ノ如シ

- 一 風車ハ調時齒車室ニ設ケラレタル風車軸上ニ支持セラレ風車驅動齒車ニ依リ自動「クラッチ」ヲ介シテ「クランク」軸ノ約一・八二倍ニ増速驅動セララル

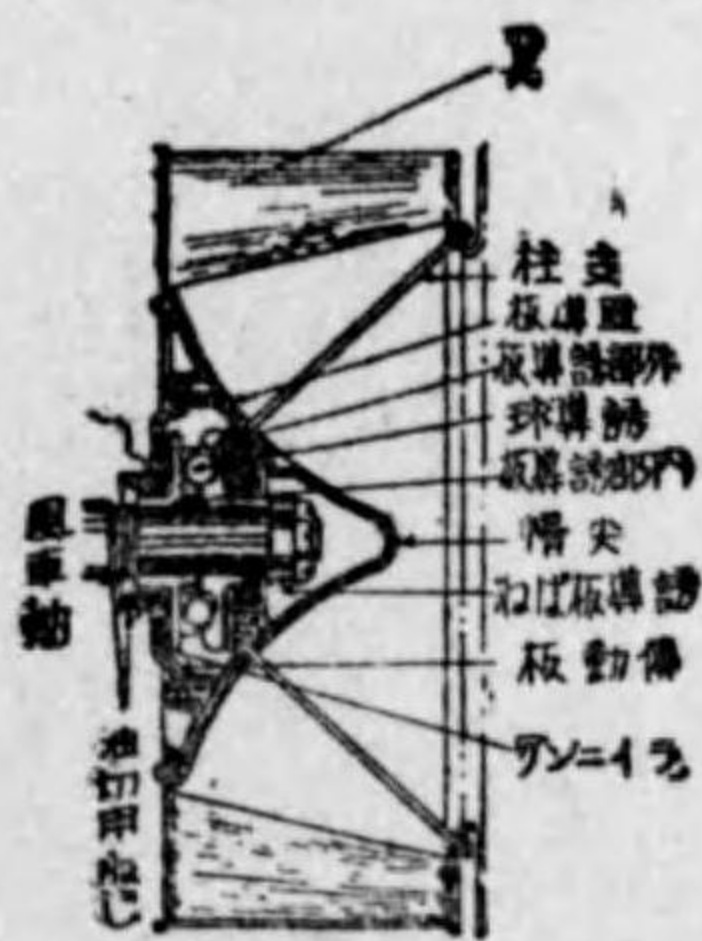
其ノ構造第三百十一圖及第三百十二圖ノ如シ

- 二 自動「クラッチ」ハ機關ノ回轉數急激ニ變化シタル場合ニ伴フ衝擊ヲ吸收セシムルモノニシテ風導板、傳動板、誘導板、誘導

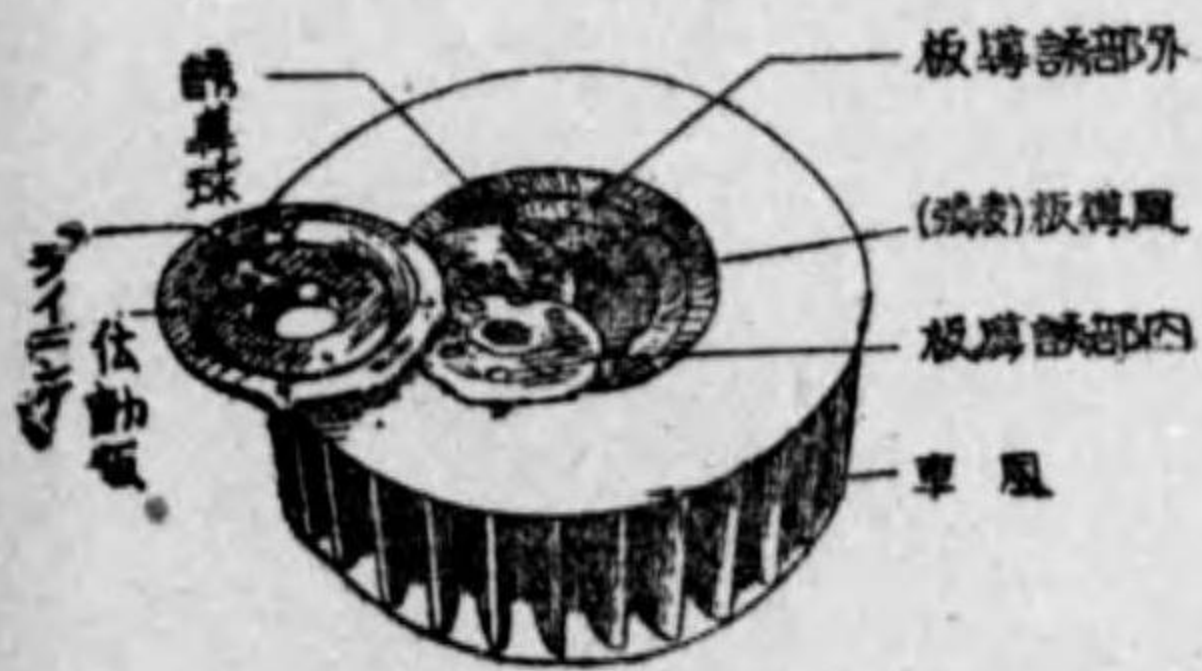
圖十百三第



圖一十百三第



圖二十百三第



球等ヨリ成リ其ノ作用ヲ説明スレバ左ノ如シ

- 三 風導板及傳動板ハ軸筒ヲ介シテ誘導板ニ支持セラレ直接回轉セシメラルコトナク内方ニ何レモ摩擦板用「ライニング」ヲ附ス
- 四 内外誘導板ハ「スプライン」ニ依リ軸ニ嵌合セラレ直接軸ノ回轉ヲ傳導セラル兩誘導板ノ間ニハ誘導球ヲ收容ス
- 五 機關回轉シ風車軸回轉セラルルヤ内外誘導球ハ遠心力ニヨリテ外方ニ開キ外部誘導板ノ球溝ハ圖ニ示ス如ク傾斜シアルヲ以テ兩誘導板ヲ外方ニ開キ傳動板及風導板ニ壓著シ之ニ回轉ヲ傳ヘ風車ヲ回轉セシムルモノトス
- 六 機關回轉低下シ球ノ遠心力ヲ減ズレバ從ツテ誘導板ノ壓著力ヲ減ジ「クラッチ」ハ滑リヲ生ジ尙一層低下スレバ誘導板ばねハ外方誘導板ヲ内方ニ壓シ全然聯動セシメザルニ至ル

第五節 動力傳導裝置

第一款 主「クラッチ」

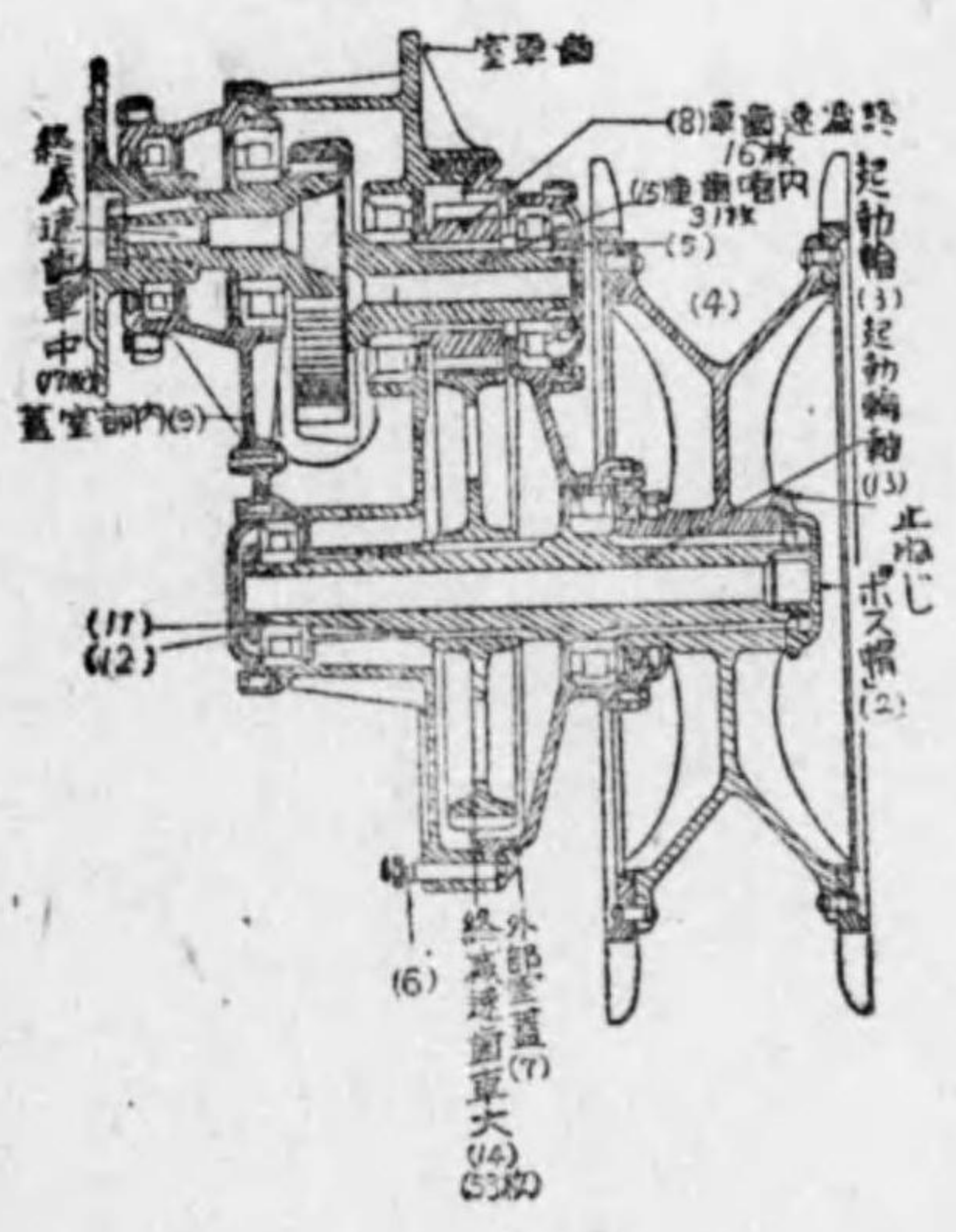
主「クラッチ」ハはづみ車ニ取附ケラレ摩擦板ハ「ライニング」ヲ裝セザル傳動用二枚「ライニング」ヲ裝シタル受動用三枚ヲ有ス又ははづみ車ノ外面ノ一部ハ摩擦板ノ壓著面ヲ形成ス其ノ構造第三百十三圖ノ如シ

孤ヲモツテ旋回シ尚てこヲ引キテ「ブレーキ」シタル場合ハ其ノ側ノ起動輪ハ全然回轉セザルヲモツテ信地旋回ヲナスモノトス

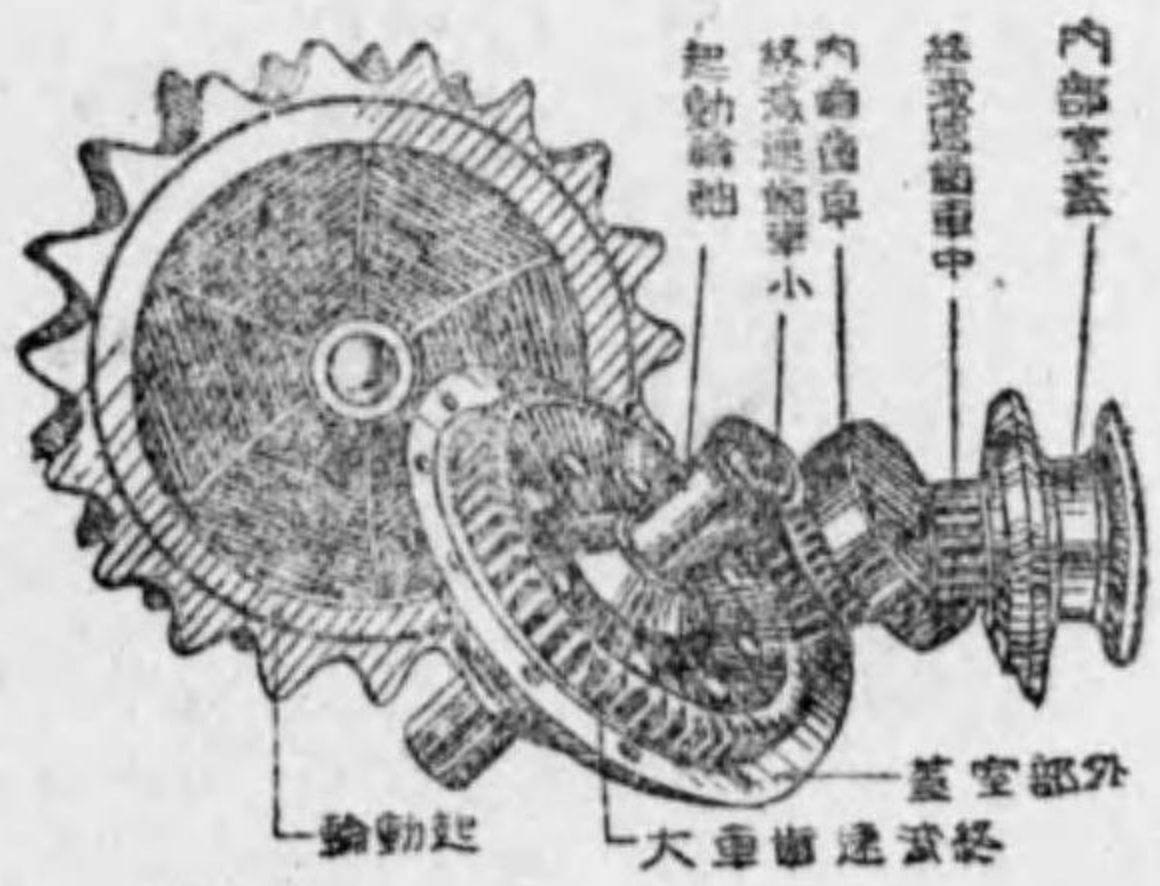
第四百七十五 調整

本操向機ノ調整ハ「ブレーキ」帯ヲ弛メ操向てこヲ十分引キ聯動ヲ斷テタル状態ニ於テ十分ニ且平等ニ調整ねじヲ螺入シ摩擦板ヲ壓著セシメ然ル後三箇ヲ一様ニ二回弛メ緊定スルモノトス
「ブレーキ」帯ノ調整ハ操向てこヲ徐々ニ引キテ斷續てこニ遊隙ヲ生ジテヨリ更ニ約一五種引キタル時十分緊定スル

圖一十二百三第



圖二十二百三第

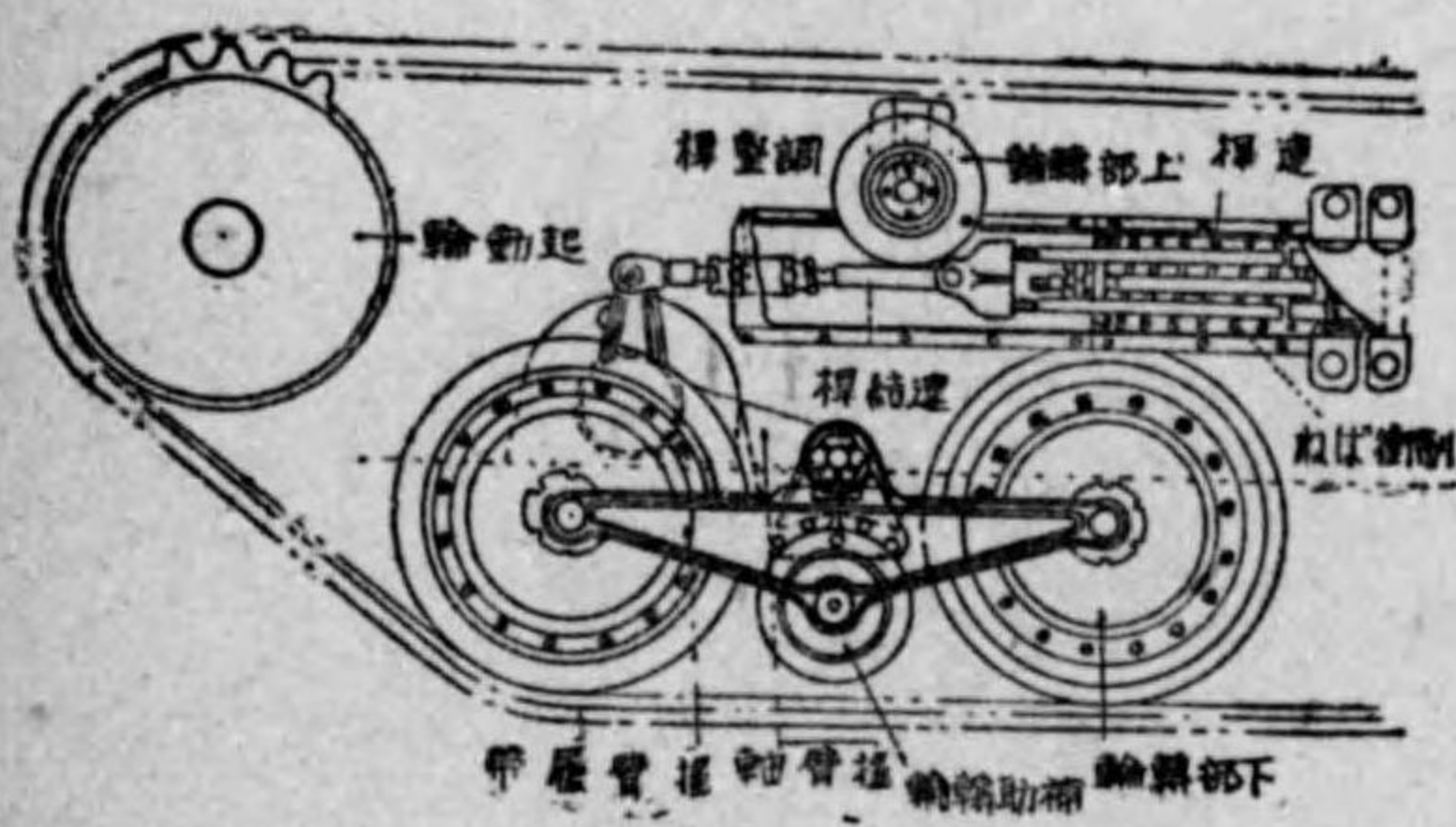


如クナスヲ適度トス

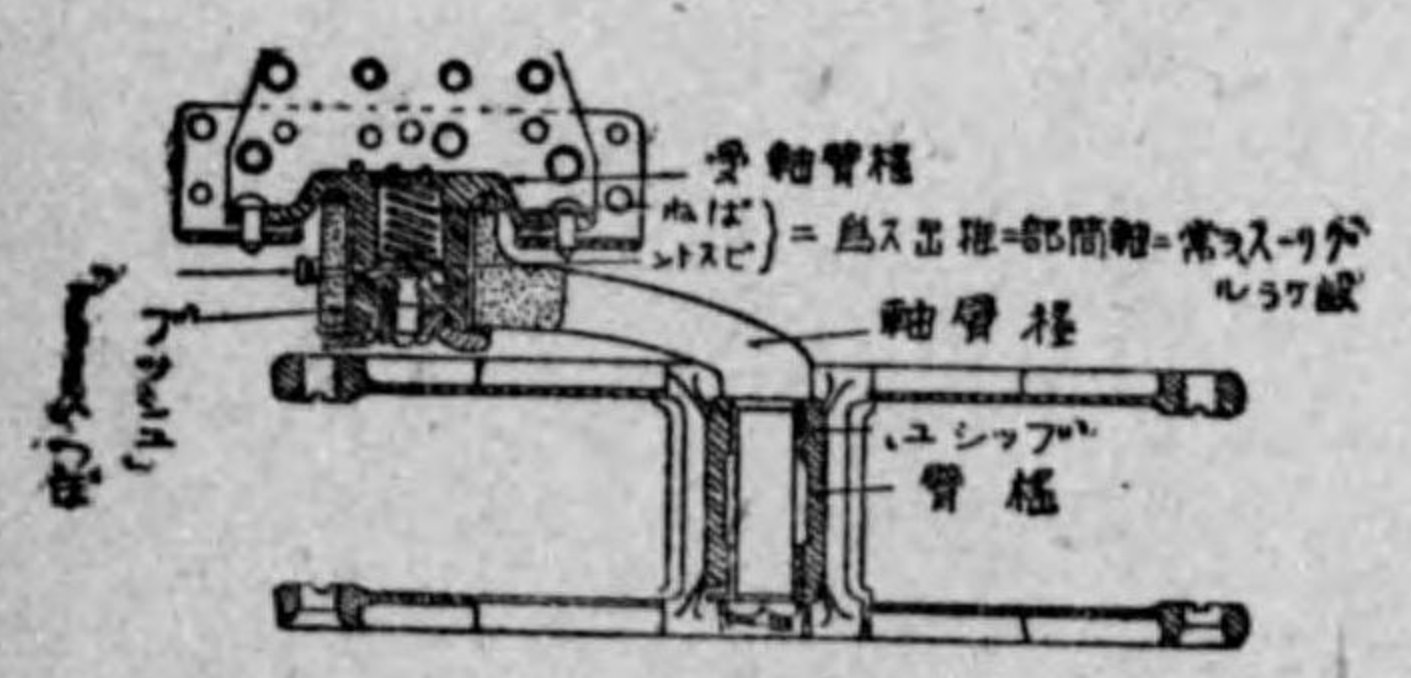
第五款 終減速裝置

第四百七十六 終減速裝置ノ構造ヲ示セバ第三百二十一圖及第三百二十二圖ノ如シ
第三百二十一圖中算用數字ハ分解順序、齒數ヲ示ス、分解順序ノ操作ハ操向「クラッチ」卸下後實施スルモノトス

圖三十二百三第



圖四十二百三第



終減速裝置ニ取扱 九五式輕戰車

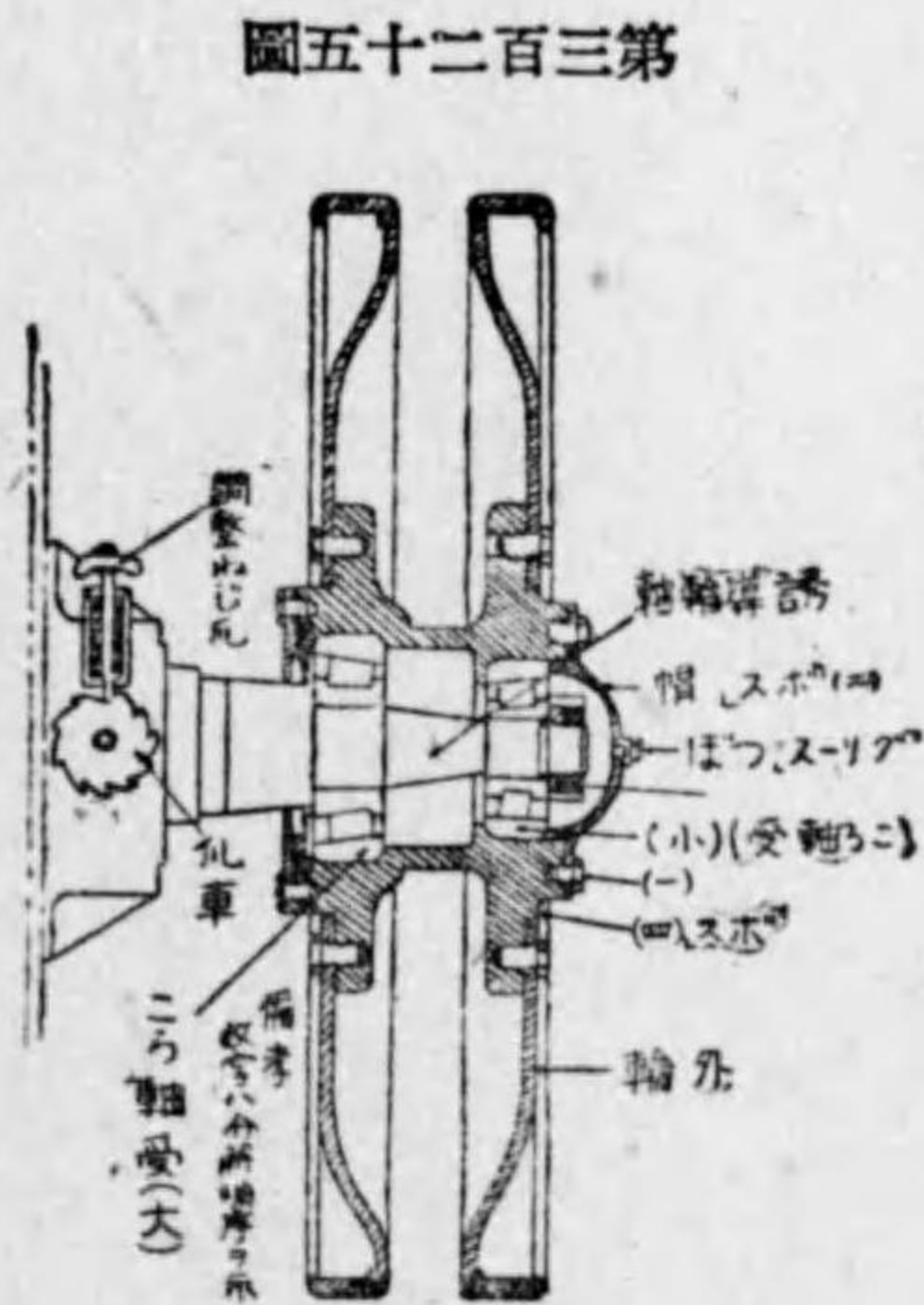
第六節 懸架及無限軌道裝置

第四百七十七 懸架及無限軌道裝置ノ要領ヲ示セバ第三百二十三圖ノ如シ

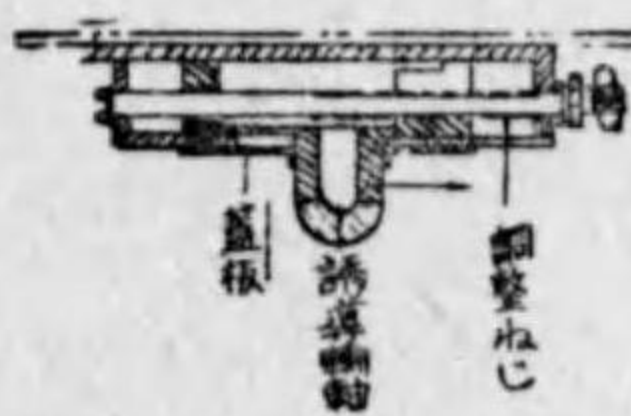
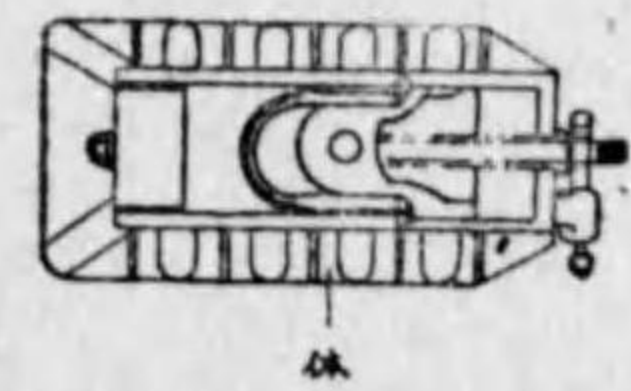
第一款 搖臂及搖臂軸

第四百七十八 搖臂軸受ハ側板ニ銜附セラレ軸筒ヲ介シテ搖臂軸ヲ支持ス其ノ構造第三百二十四圖ノ如シ

第二款 誘導輪



圖五十二百三第



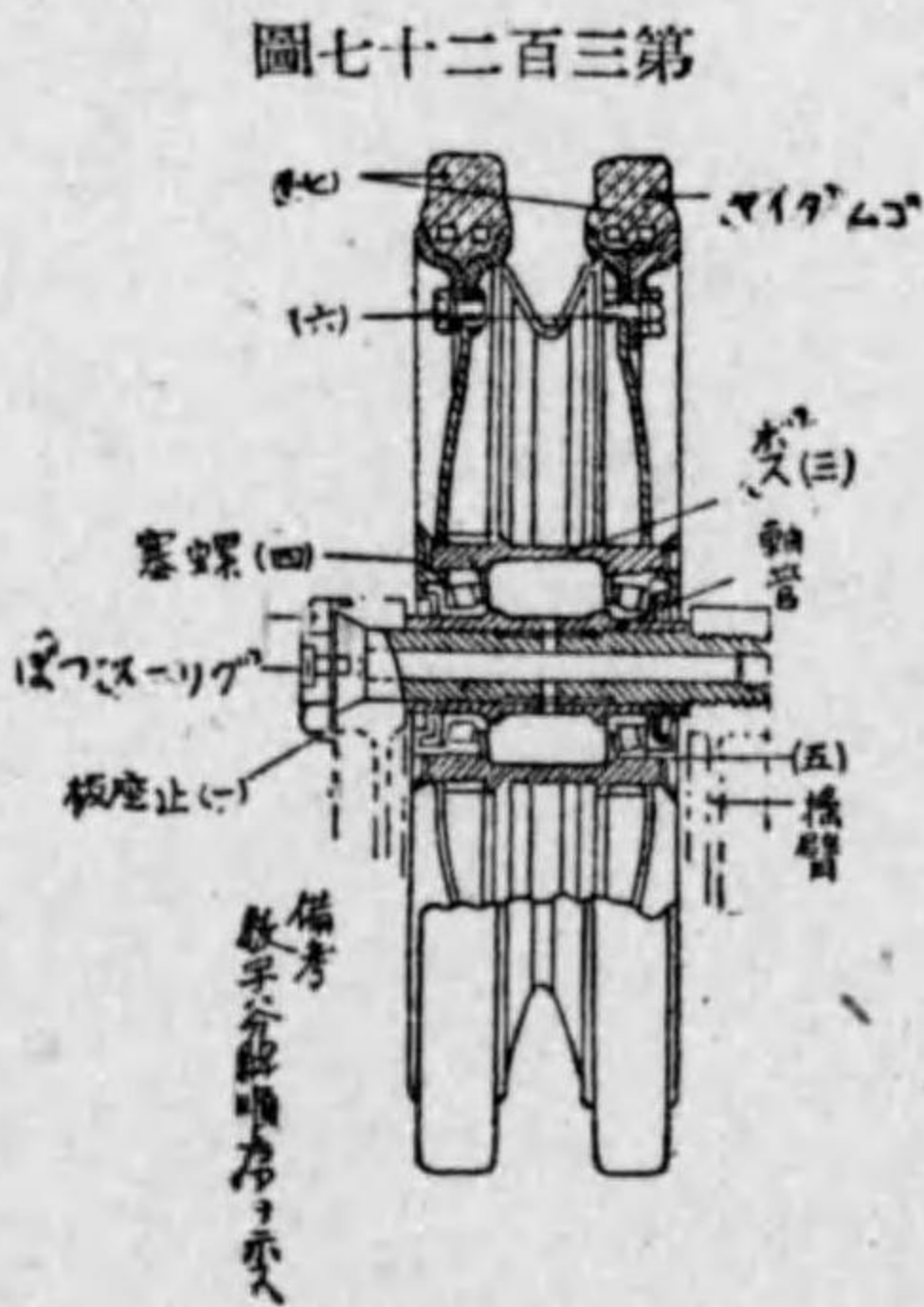
第四百七十九 誘導輪ハ車體後部ニ軌道調整裝置ト共ニ取附ケラレ其ノ構造ハ第三百二十五圖ノ如シ

第四百八十 軌道調整裝置ヲ示セバ第三百二十六圖ノ如シ

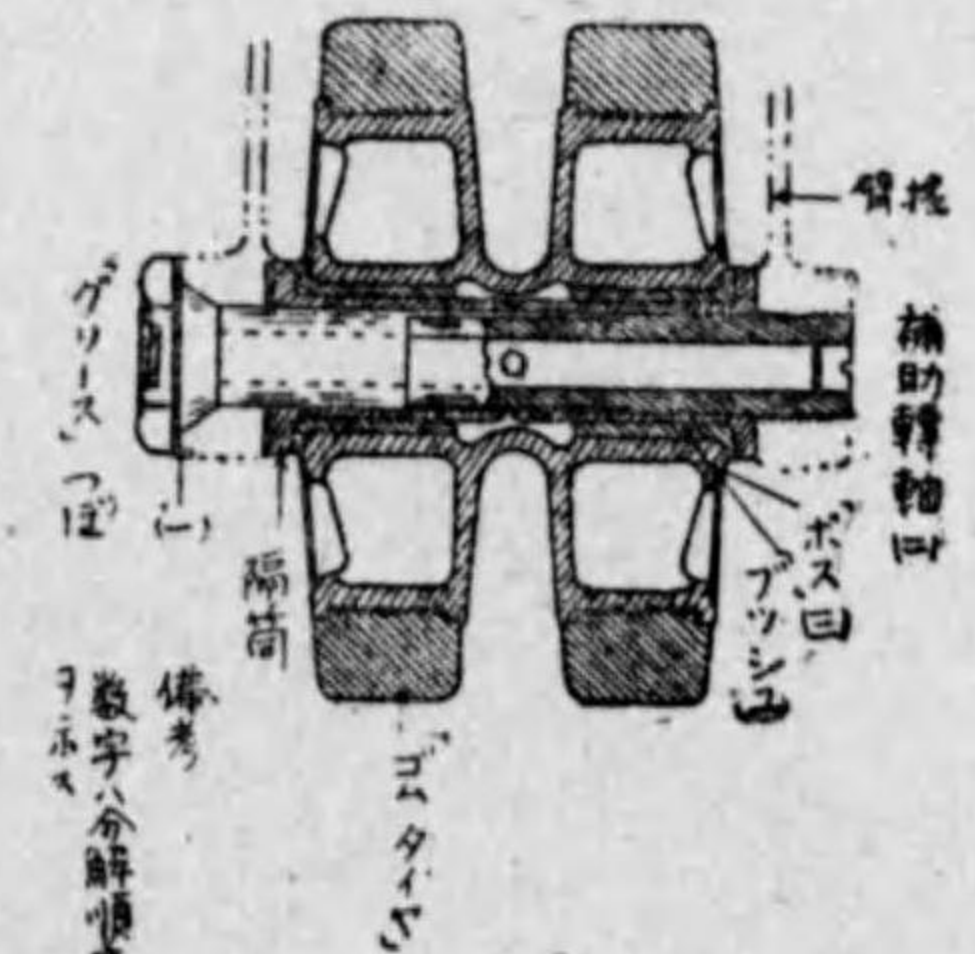
無限軌道ノ張度ハ路面ノ狀況ニヨリテ異ナルモ通常上部轉輪間ニ於テ約五〇耗ノ垂レヲ適度トス

第三款 下部轉輪、補助轉輪、上部轉輪

第四百八十一 下部轉輪ノ構造ヲ示セバ第三百二十七圖ノ如シ



圖七十二百三第



第四百八十二 補助轉輪ハ搖臂中央下部ニ取附ケラレ通常軌板面ヨリ約二〇耗離レアルモ不齊地ニ於テ用ヲナスモノ
トス軸ハ下部轉輪ト同一ノモノヲ用フ其ノ構造ヲ示セバ第三百二十八圖ノ如シ

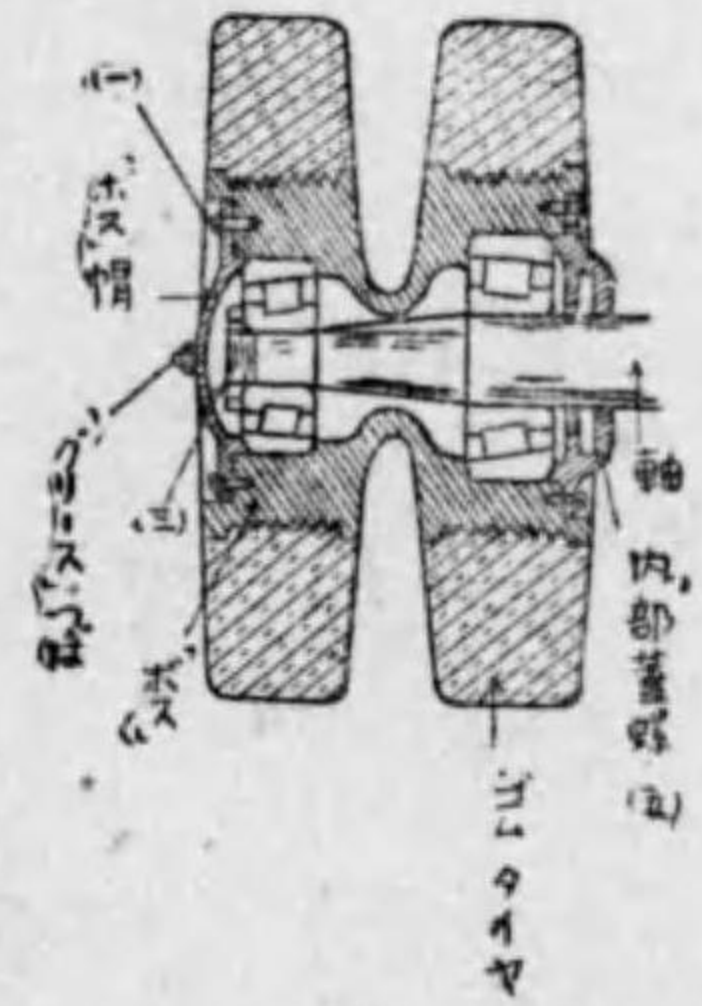
第四百八十三 上部轉輪ノ構造ヲ示セバ第三百二十九圖ノ如シ

第七節 操縱裝置

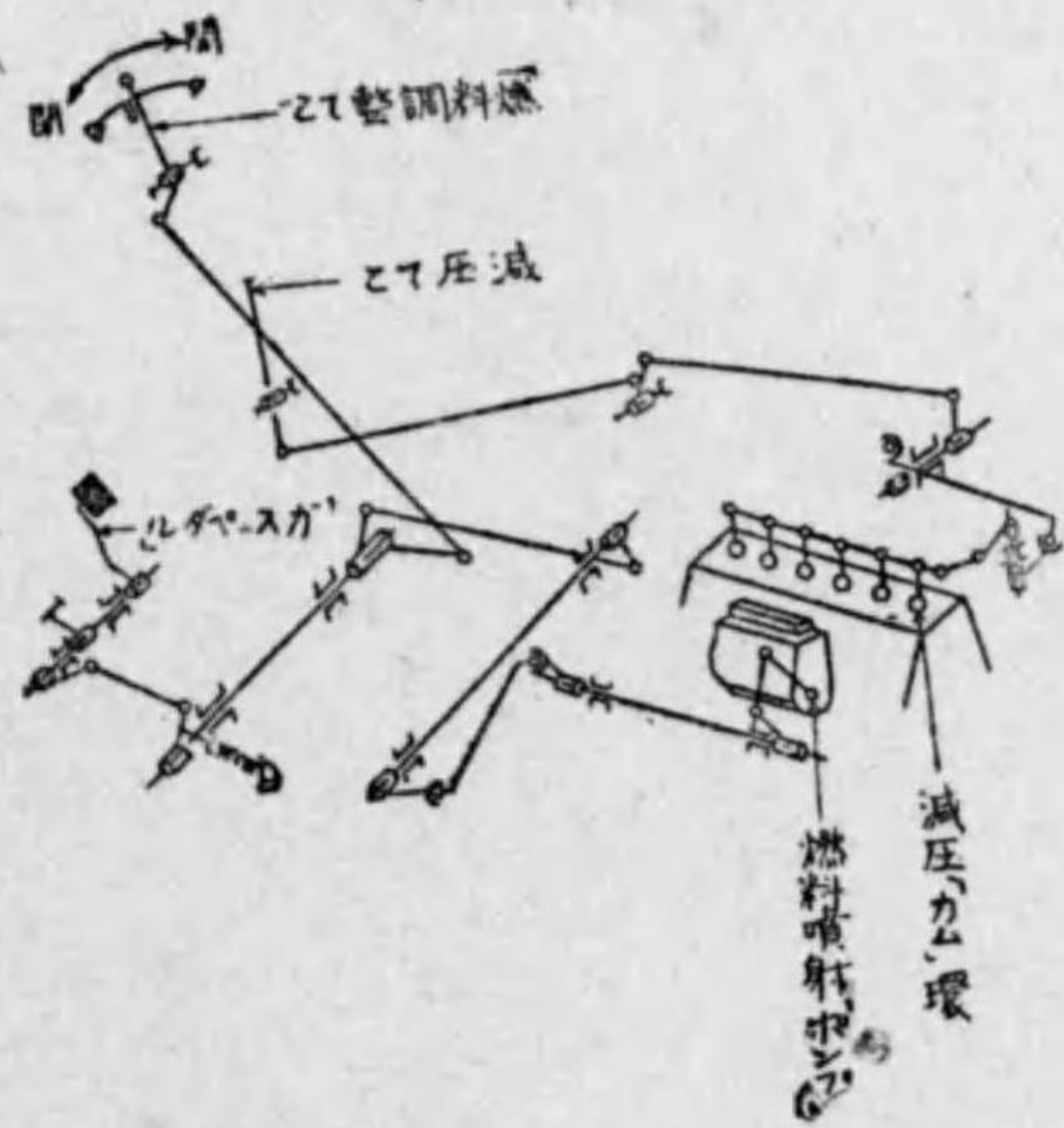
第一款 發動機操縱裝置

第四百八十四 發動機操縱裝置ニハ減壓裝置ト燃料調整裝置トアリ其ノ要領ヲ示セバ第三百三十圖ノ如シ

圖九十二百三第



圖十三百三第

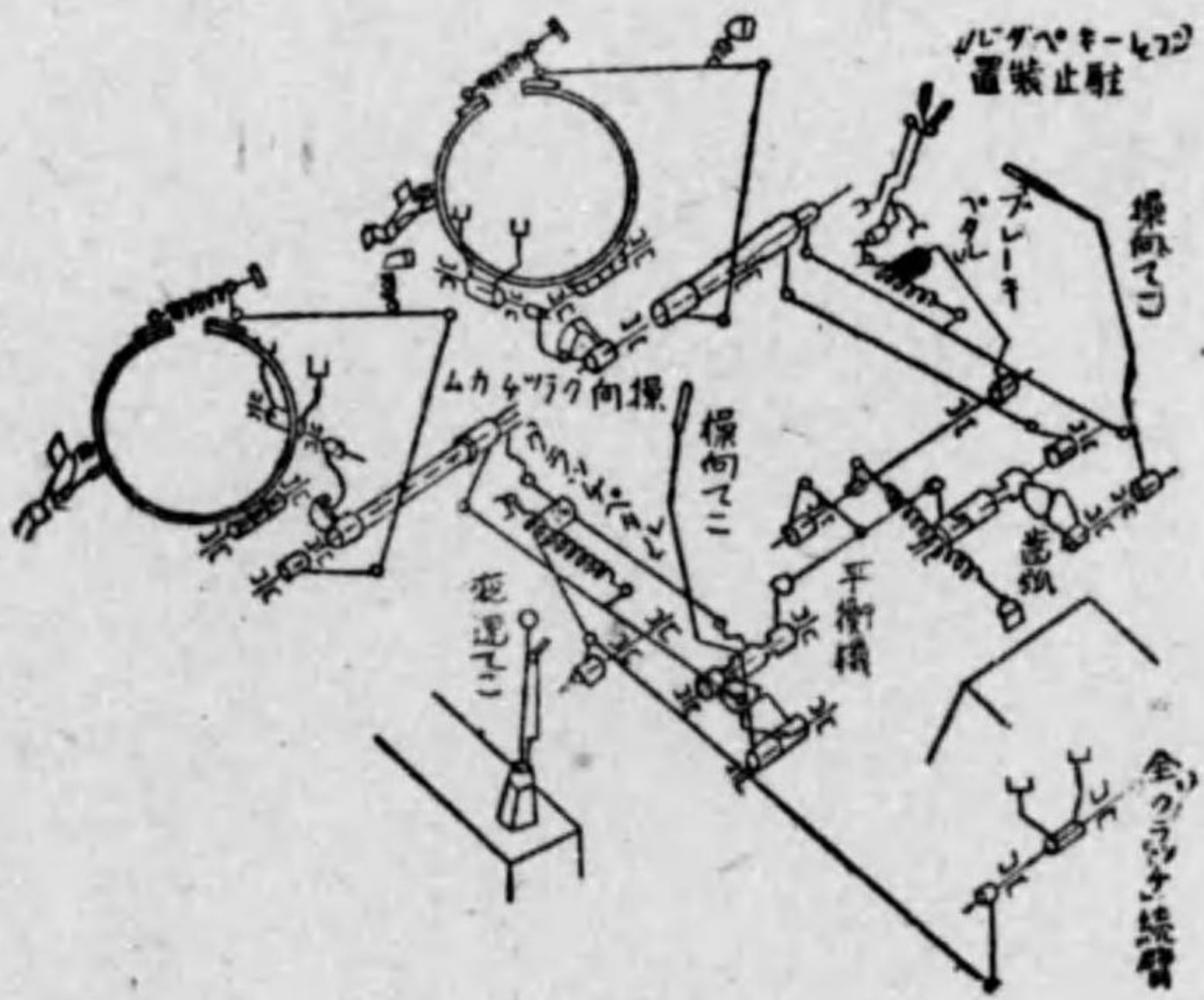


第二款 車輛操縱裝置

第四百八十五 車輛操縱裝置ニハ變速操縱裝置、「クラッチ」操縱裝置、操向操縱裝置、「ブレーキ」操縱裝置等アリ其

ノ要領ヲ示セバ第三百三十一圖ノ如シ

圖一十三百三第

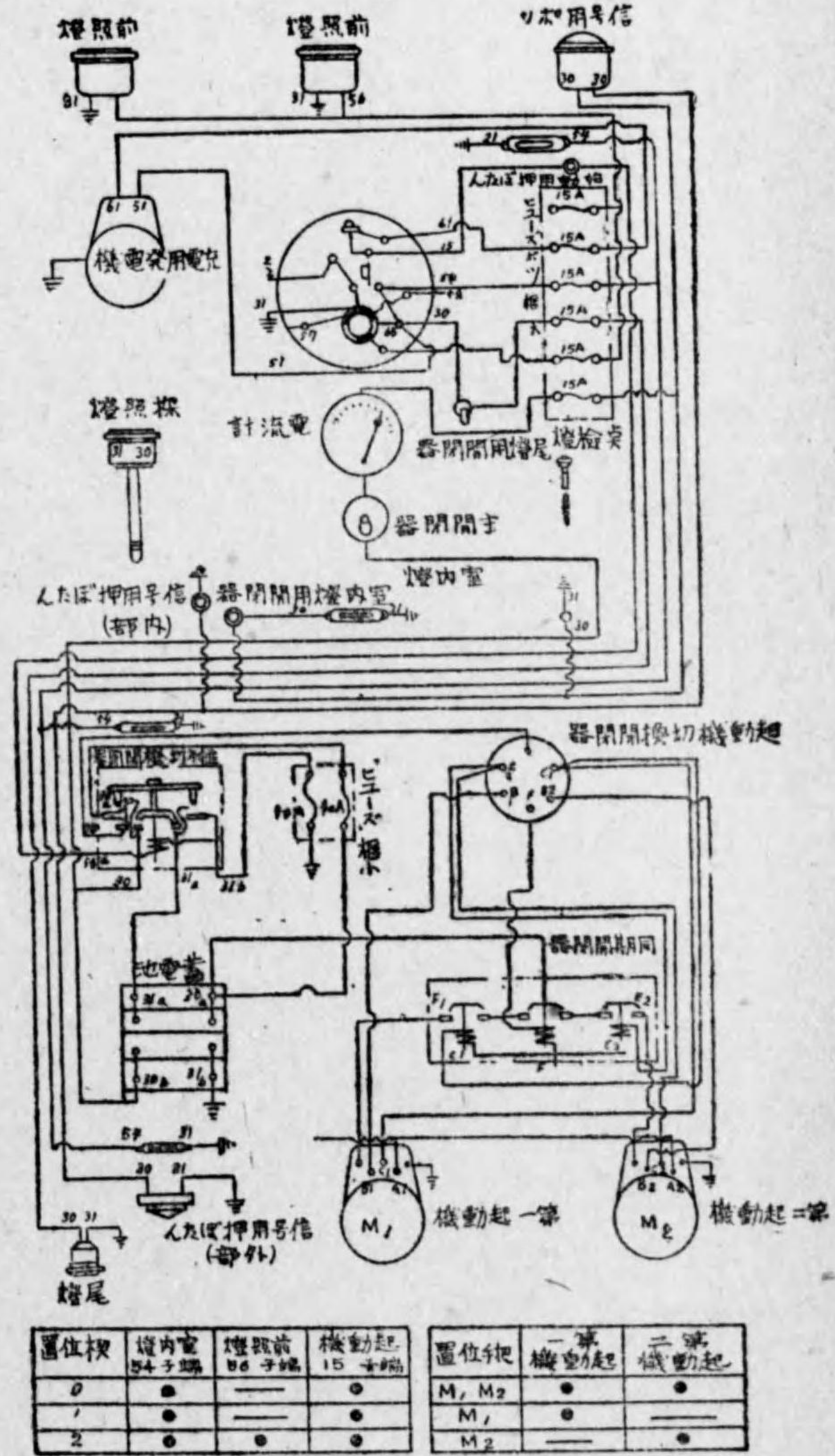


第八節 電氣裝置

第四百八十六 電氣系統結線要領ヲ示セバ第三百三十二圖ノ如シ

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

圖二十三第百三第



第一款 充電用發電機

第四百八十七 充電用發電機ハ傳動機前方底板上ノ發電機支持臺ニ取附ケラレ推進軸自在接手ニ取附ケララル「ベル

ト」車ニヨリ約一・六五倍ニ増速驅動セラル「ベルト」ハV型「ベルト」ヲ用ヒ兩「ベルト」車間ニ一箇ノ轉輪ヲばね壓

第二款 蓄電池

第四百八十八 蓄電池ハ一二「ボルト」二四〇「アンペア」四箇ヲ發動機機室蓄電池支持臺ニ取附ケラル

第三款 電燈

第四百八十九

- 一 前照燈ハ車體前面兩側ニ各一箇ヲ裝シ銅板ニヨリテ包マレ避彈ノタメニ八一八〇度回轉セシムルコトヲ得電球ハ一二「ボルト」二三燭光ヲ使用シ減燭シ得ル復極ノモノトス
- 二 探照燈ハ砲塔上面ノ探照燈受ニ挿入セラル砲塔ニ對シ三六〇度回轉シ得ルモノトシ必要以外ハ取外シ車體側壁ノ托架ニ收容スルモノトス電線末端ノ「ソケット」ハ中央ニ設ケタル接續孔ニ挿入シ點滅スルモノトス
- 三 點檢燈ハ探照燈ト同一托架ニ收容シ使用ノ際モ探照燈ト同一接續孔ヲ使用スルモノトス
- 四 戰闘室內燈ハ中央隔壁ニ取附ケララル附近ニ裝セル開閉器ニヨリ點滅ス
- 五 發動機室內燈ハ前後二箇ヲ裝シ前部ハ發動機計器板ニ取附ケララル後部ハ主燃料管ニ取附ケラル
- 六 計器板燈ハ操縦手前方計器板ニ取附ケ各種計器ヲ照明シ夜間操縦ニ便ナラシム
- 七 尾燈ハ車體後面ニ取附ケタル番號札托板ニ取附ケララル廻轉手席ヨリ點滅シ得ルモノトス

構造機能並ニ取扱 九五式輕戰車

第四款 計器、開閉器、器具

第四百九十

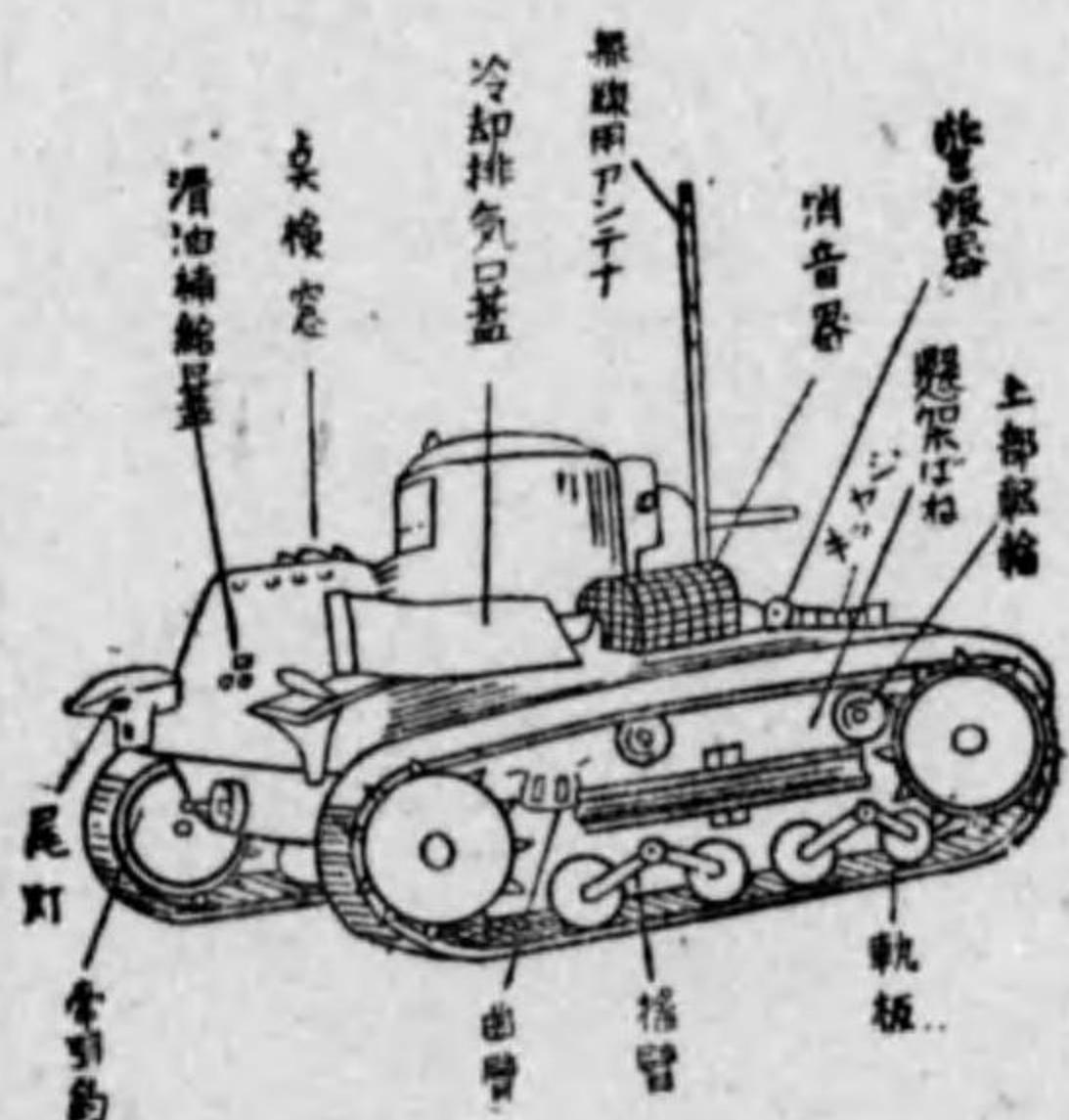
- 一 電流計ハ操縦手席右側電路開閉器上方ニ回轉計ハ操縦手席前方計器板上ニ裝置セラレ回轉計ハ回轉計用磁石發電機ニヨリ電氣的ニ表示セラル
- 二 主開閉器ハ操縦手席右側ニ取附ケラレ蓄電池ト電流計間ニ裝シ内部ニ「ヒューズ」ヲ有ス
- 三 電路開閉器ハ操縦手席右側ニ取附ケラレ電流ノ各所ニ分配及充放電ノ表示等裝置ヲ有ス
- 四 「ヒューズ」匣大ハ操縦手席右側ニ設ケ内部ニ一五「アンペア」「ヒューズ」六箇ヲ收容シ主トシテ照明裝置ノ配線用トス
- 五 「ヒューズ」匣小ハ發動機室中央隔壁ニ取附ケ内部ニ二四〇「アンペア」八〇「アンペア」ノ「ヒューズ」二箇ヲ收容シ起動回路用トス

第十五章 九七式輕裝甲車

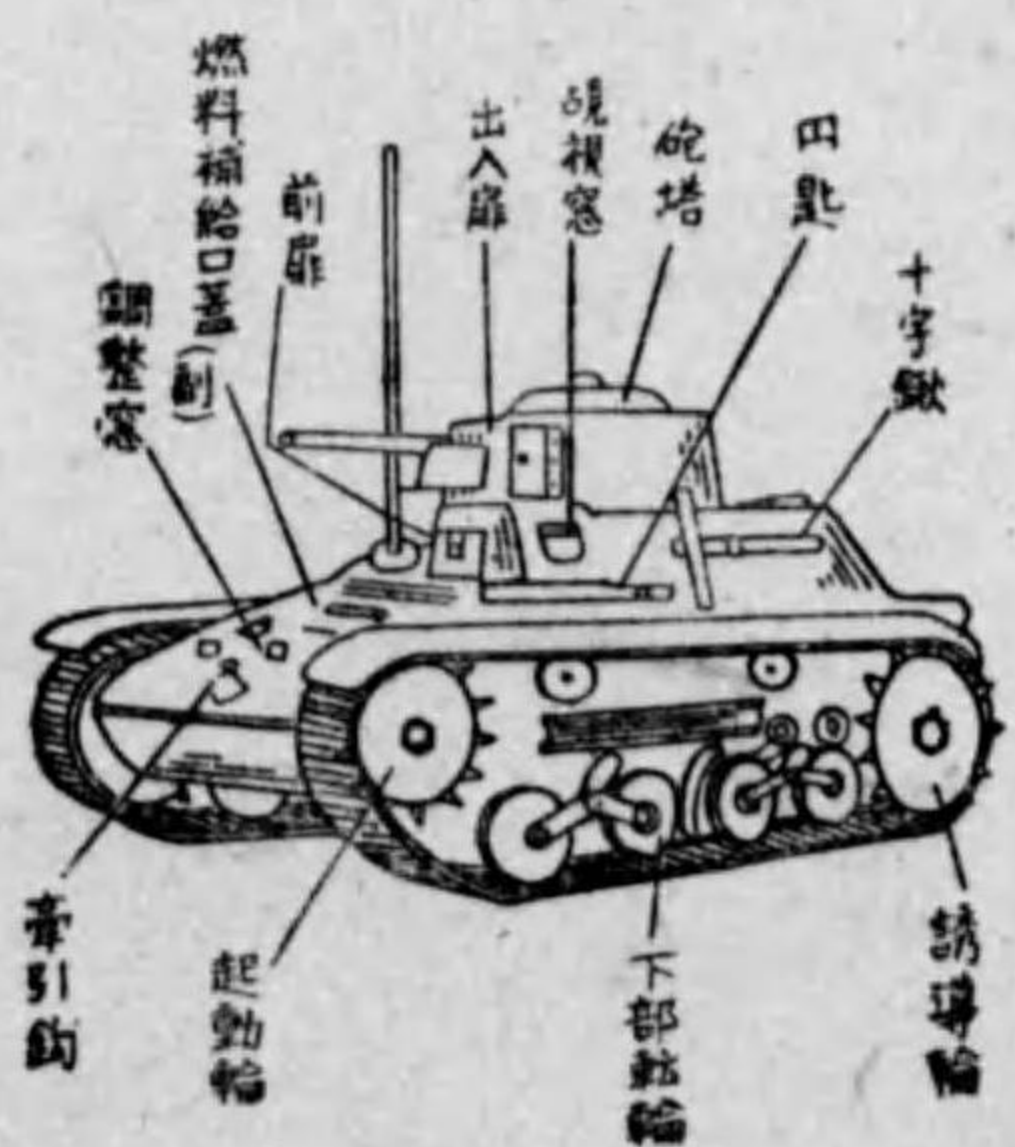
要 則

- 第四百九十一 本輕裝甲車ハ豫燃燒室型「チイゼル」機關ヲ裝シ操向ノタメ操向「クラッチブレーキ」ヲ採用ス
- 第四百九十二 本輕裝甲車ノ外觀名稱並動力傳動要項第三百三十三圖及第三百三十四圖ノ如シ

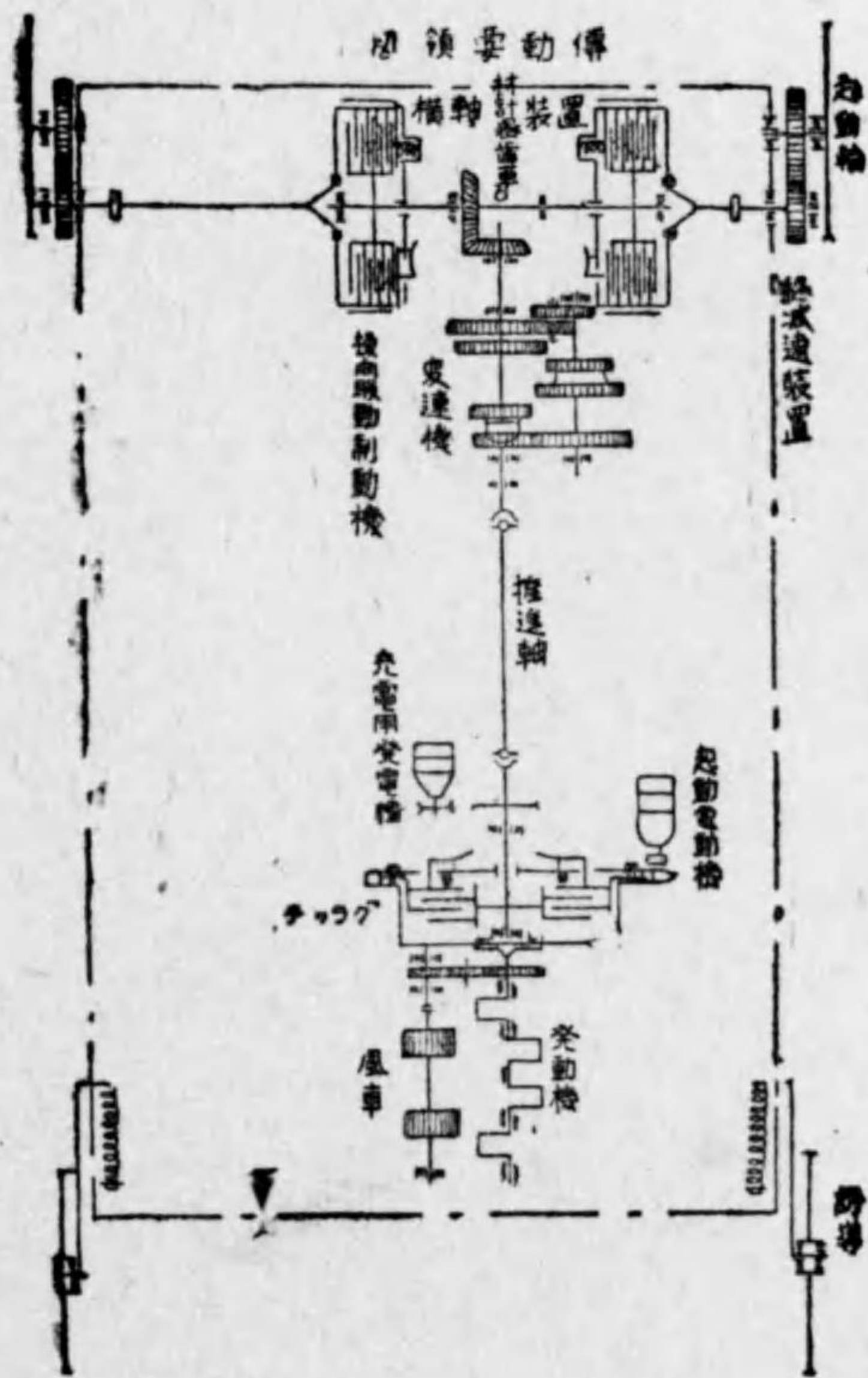
圖三十三百三第



圖四十三百三第



圖五十三百三第

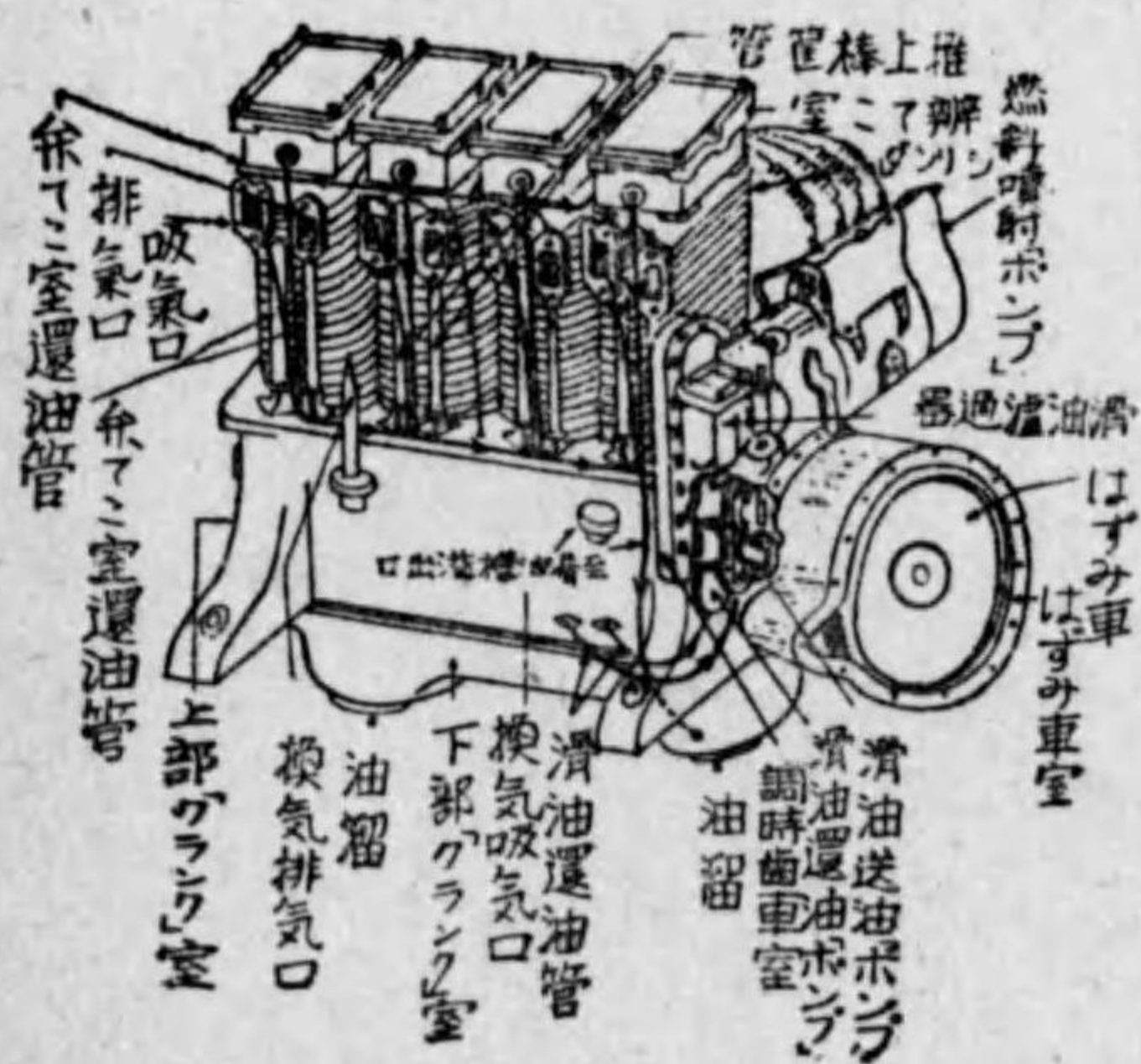


三〇九

第一節 發動機 (第三百三十五、三百三十六圖)
第一款 「シリンダ」

第四百九十三 「シリンダ」ハ「シリンダ」蓋基部ヲ一體ニ鑄造セラレ冷却裝ヲ供フ「ガスケット」ヲ挟ミ四箇ノ「ボルト」ニ依リ「クランク」室ニ固定セラル「シリンダ」蓋内部ハ第三百三十六圖ニ示ス如ク主燃焼室及比較的廣キ通路ニ依リ之ト連絡セル球形豫燃焼室トヲ形成ス

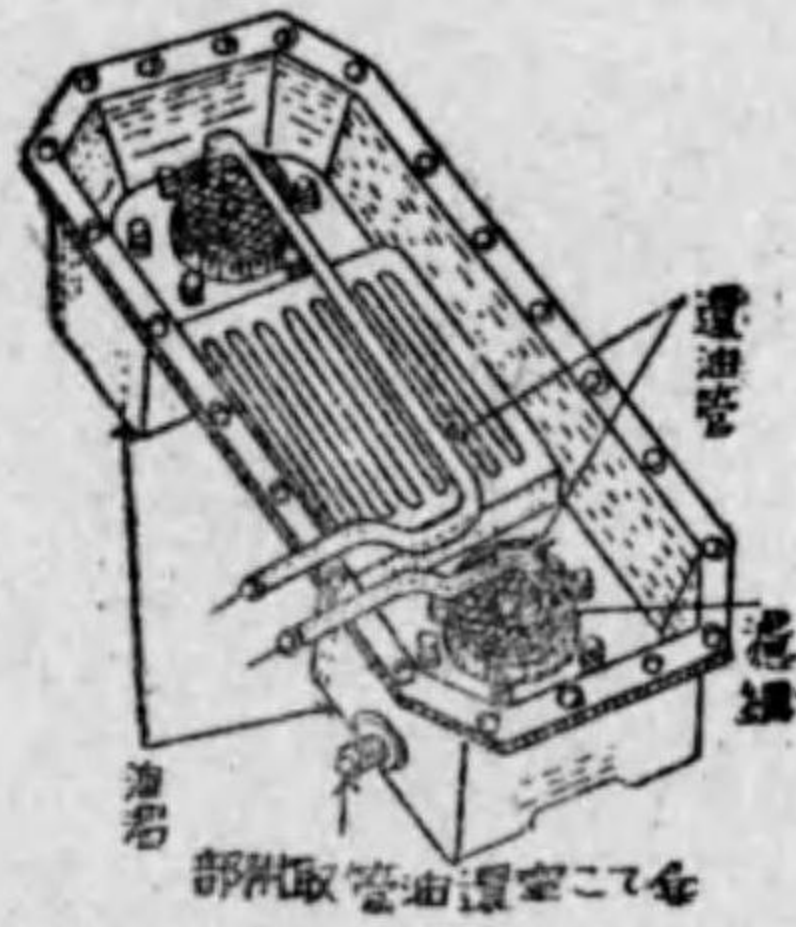
圖六十三百三第



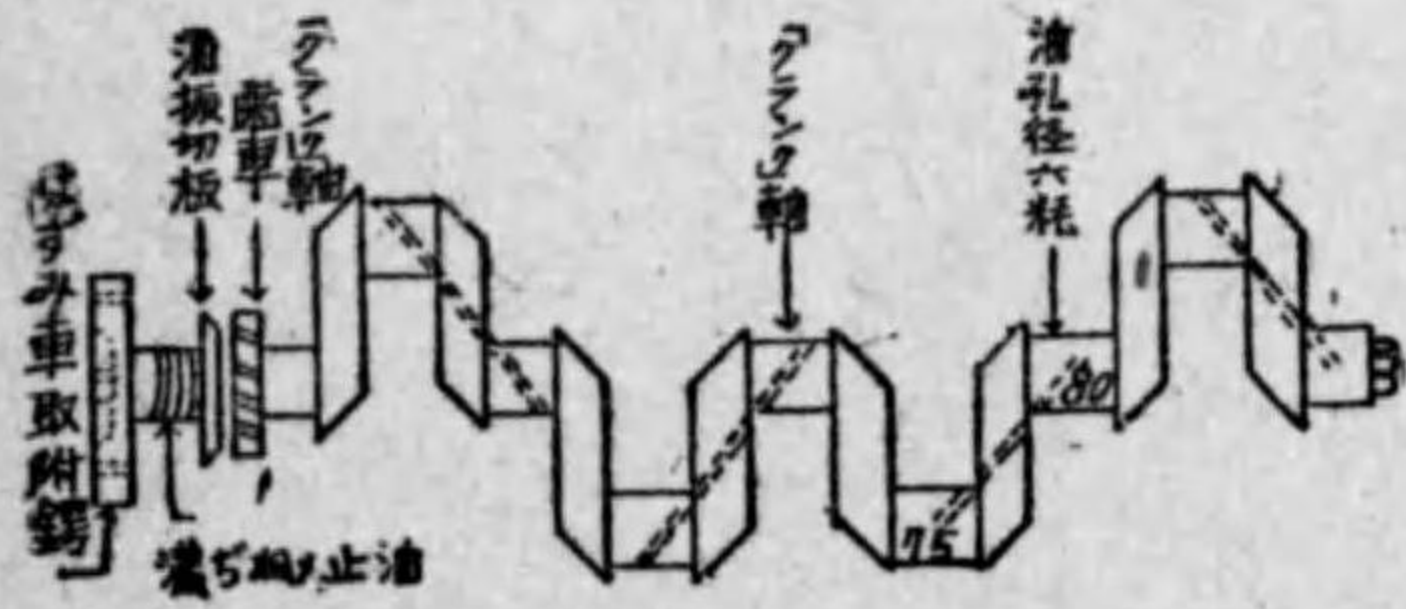
構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

三〇九

圖三十四百三第



圖四十四百三第

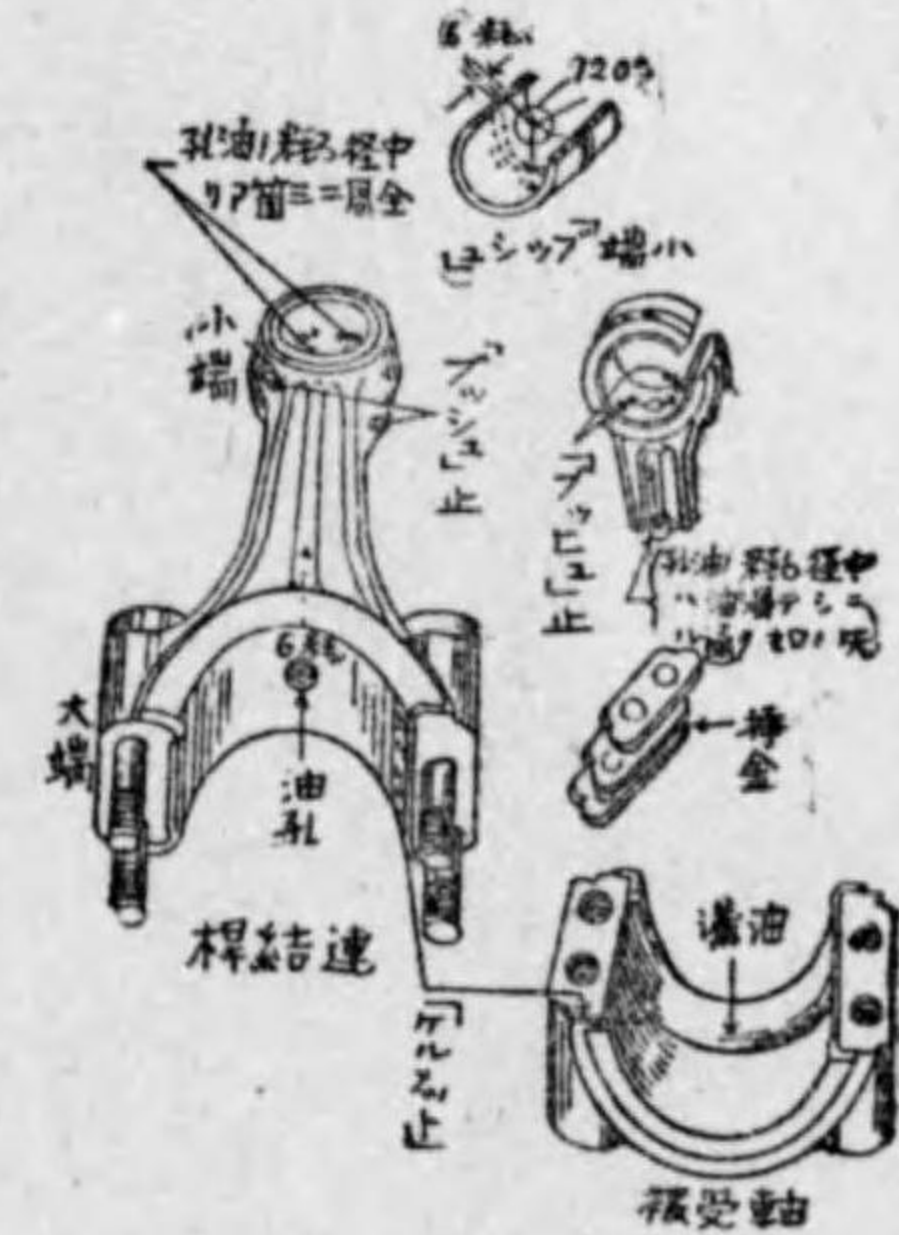


第五百 「クランク」ハ自動車鋼第十四種製ニシテ特殊ナル方法ニ依リ表面焼入ヲナシ研磨仕上ゲヲ施シタルモノニシテ上部「クランク」室ニ「ゲルメット」ヲ鑄込ミタル五箇ノ「クランク」軸々受ニヨリ支持セラレ其ノ前部ニ「クランク」軸齒車ヲ介シはづみ車ヲ固定ス(第三百四十四圖)

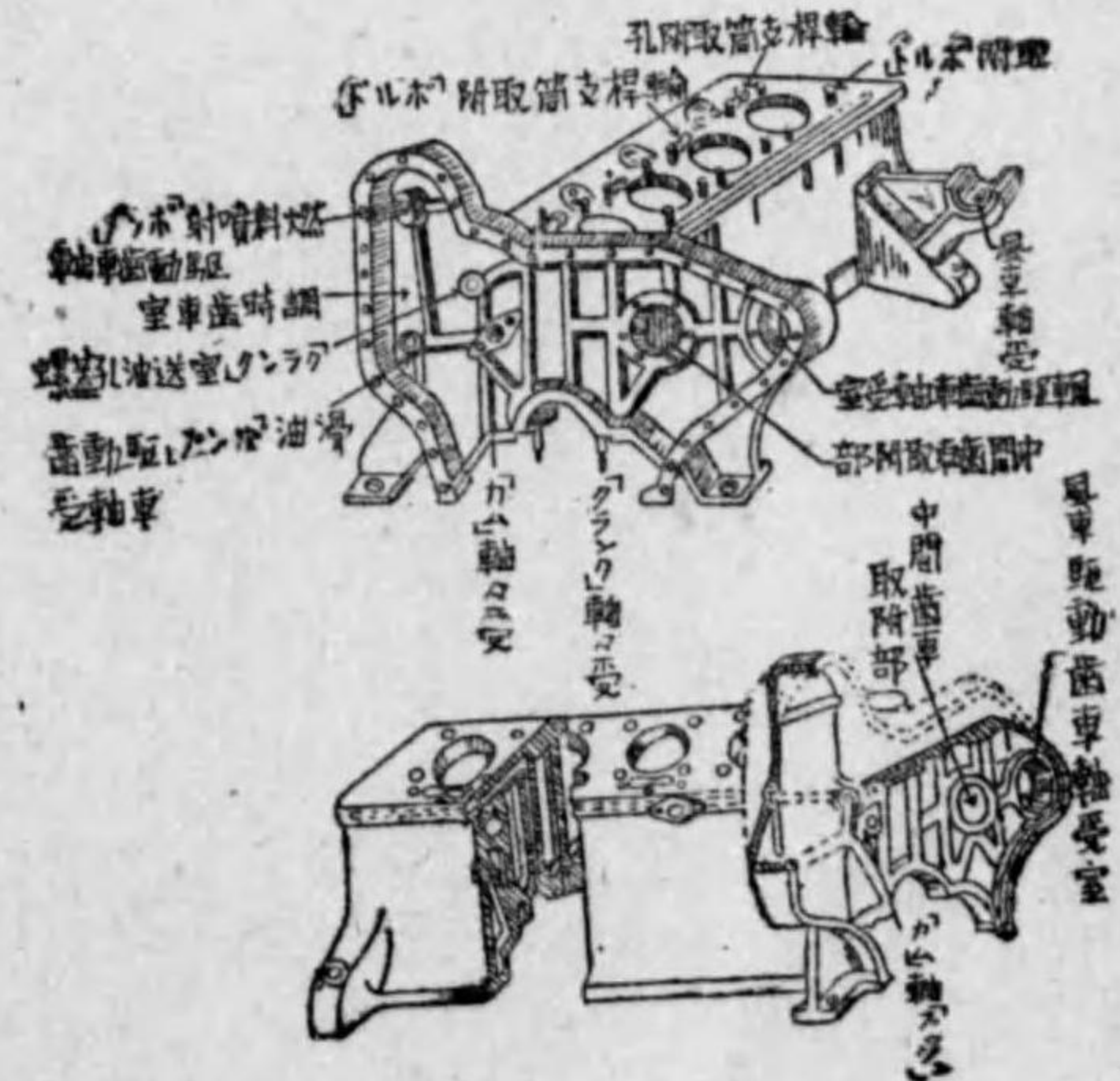
第五款 「クランク」軸

第四百九十九 下部「クランク」室ハ鋼板製ニシテ油溝ヲ形成シ其ノ前後部ニ濾網ヲ設ケ之ニヨリ濾過セラレタル油ヲ汲上「ポンプ」ニヨリ汲上ガ滑油槽ニ送ル(第三百四十三圖)

圖一十四百三第



圖二十四百三第

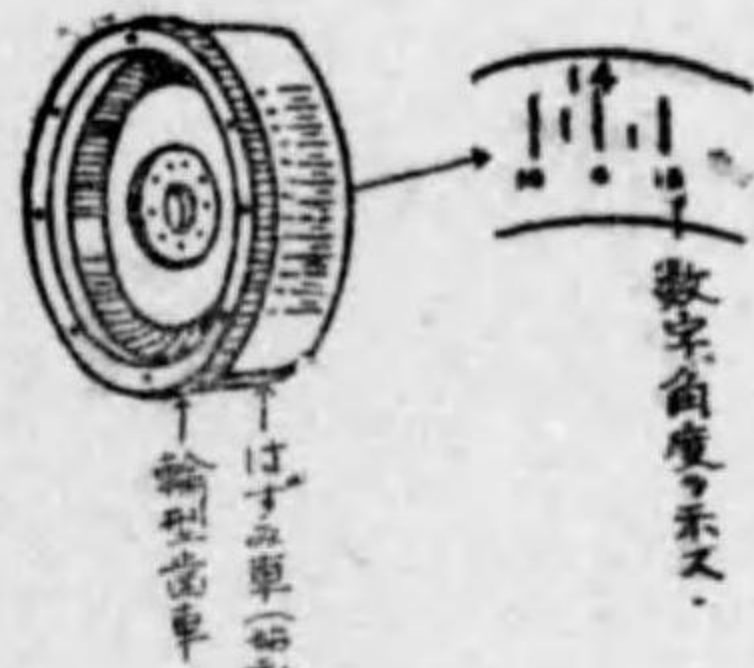


み車ヲ裝著ス右側ニハ圖ノ如ク換氣吸氣口同排氣口各一ヲ裝著シ四點ニテ車體ニ緊定セラル内部ハ「クランク」軸及「カム」軸、支軸受ヲ形成シテ各軸受ヲ嵌合シ前方ヨリ後方ニ滑油壓入孔ヲ貫通シ各部ニ給油ス(第三百四十二圖)

第六款 はづみ車

第五百一 外周ニ起動電動機小齒車ニ嚙合スベキ齒環ヲ嵌装シ内部ニ主クアラワチヲ收ム(第三百四十五圖)

圖五十四百三第

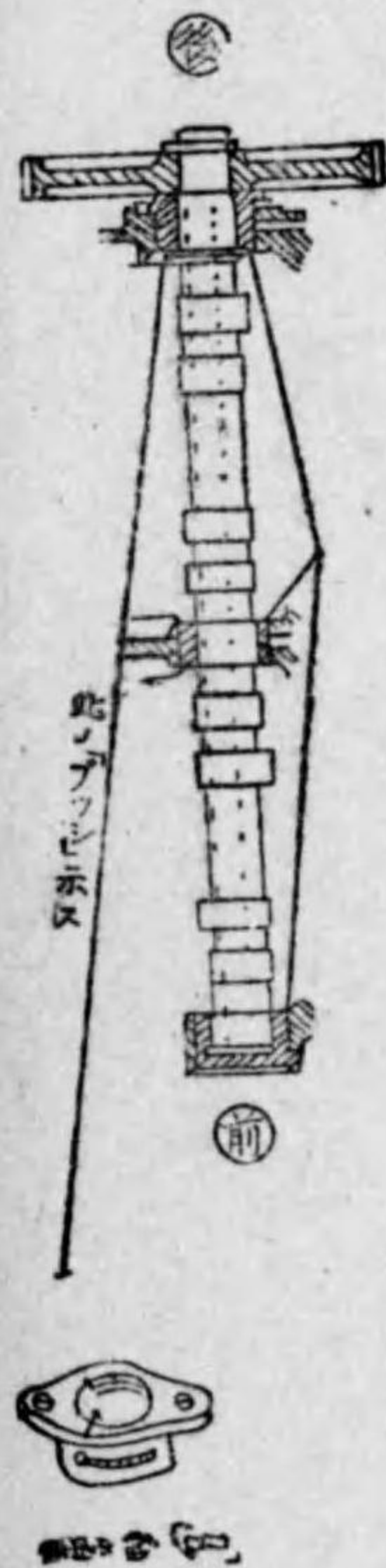


備考

- (一) 圖ノ目盛ノ反對表面上ニモ同様ノ目盛ヲ刻シ0ノ線ニ23ト記ス
- (二) 記號ノ14又ハ23ハ各「シリンダ」「ピストン」ノ上死點ヲ示ス

第七款 「カム」軸

圖六十四百三第



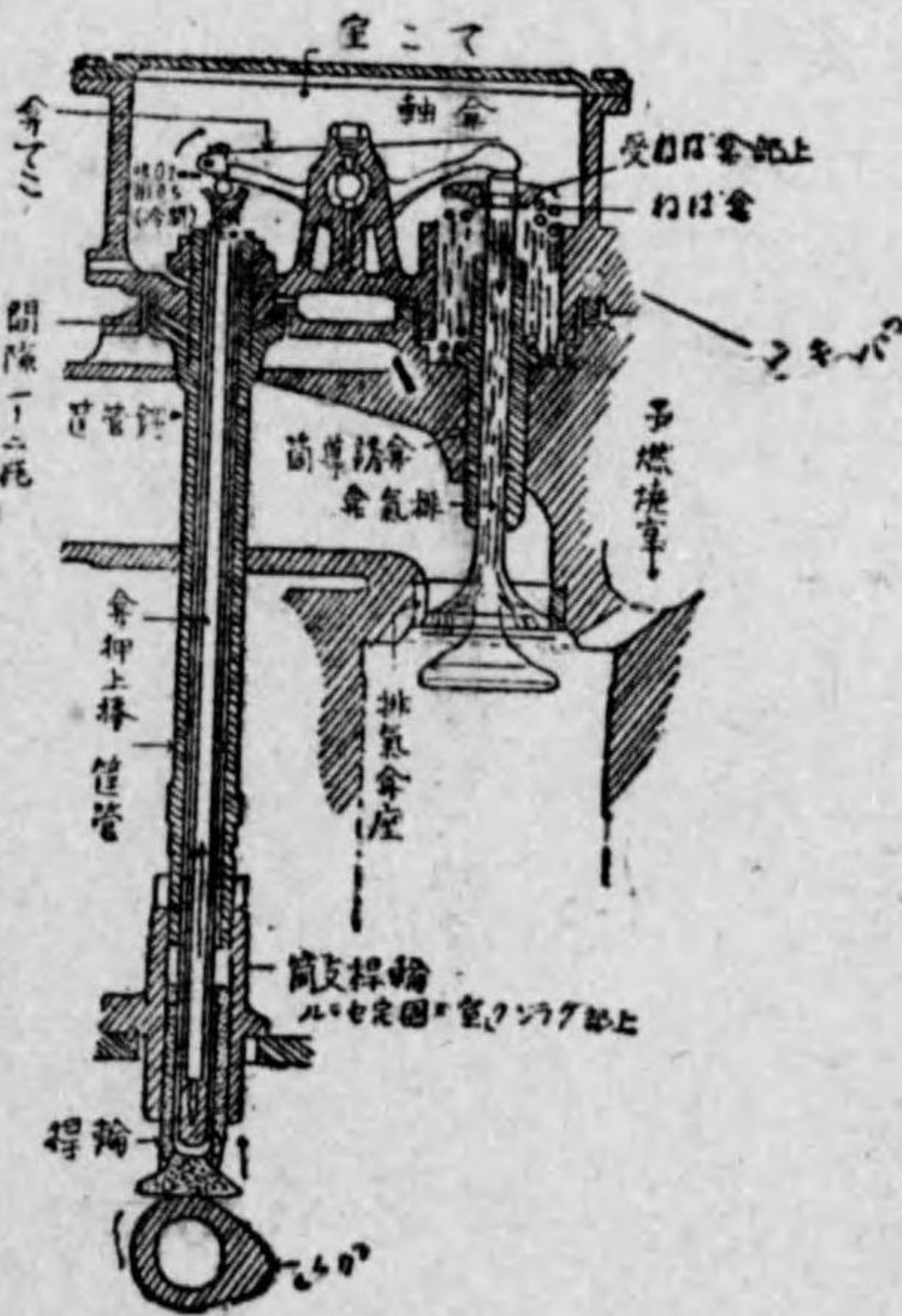
第五百二 「カム」軸ハ一體ニシテ三箇ノ軸受ニヨリ支持セラレ其ノ前端ニ「カム」軸齒車ヲ装ス(第三百四十六圖)

第八款 弁機構

第五百三 吸排氣弁共ニ「シルクローム」鋼製ニシテ排氣弁ニ對シテハ「シリンダ」ニ「アルミニウム」青銅製ノ弁坐ヲ挿入ス弁坐ノ傾斜ハ各四五度ニシテ弁ノ徑ハ吸氣四六耗、排氣四四耗ナリ

弁機構中て運動部ハて室中ニ收容セラレ給油ニヨリ磨損並ニ騒音ヲ防止スルト共ニ塵埃ノ附着ヲ防グ

圖七十四百三第



て室ノ構造ハ圖ニ示ス如クニシテ「シリンダ」蓋ヘノ取附ハ「シリンダ」蓋ニ植込マレタル二箇ノ「ボルト」ト押上棒

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

發動機ノ溫度上昇ニヨル弁間隙ノ變化ハ「シリンド」及外管ノ膨脹ニヨリ自動的ニ調整セラレル(第三百四十七圖)

第五百四 弁間隙及開閉時期ハ溫度上昇狀態ニ於テ左ノ如シ

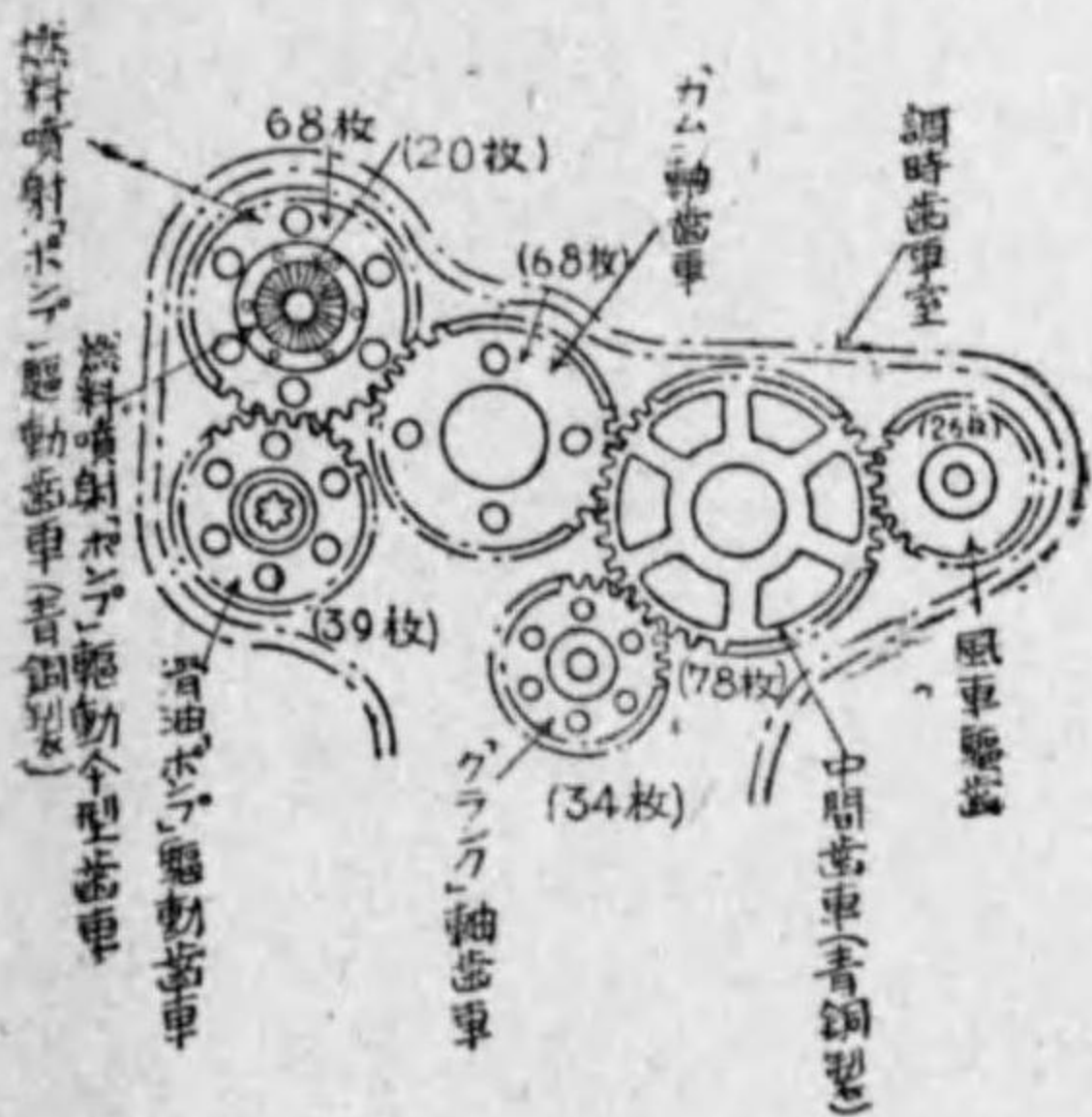
- 一 弁間隙
 - ・二耗
 - ・二五耗
- 二 弁閉閉時期

弁閉閉時期及燃料噴射始メ第三百四十八圖ニ示ス如シ

圖八十四百三第



圖九十四百四第



調時齒車室蓋ニハ燃料噴射「ポンプ」驅動傘型齒車ニ啮合ウ驅動軸ヲ取付クルタメノクリ抜き窓ヲ有ス

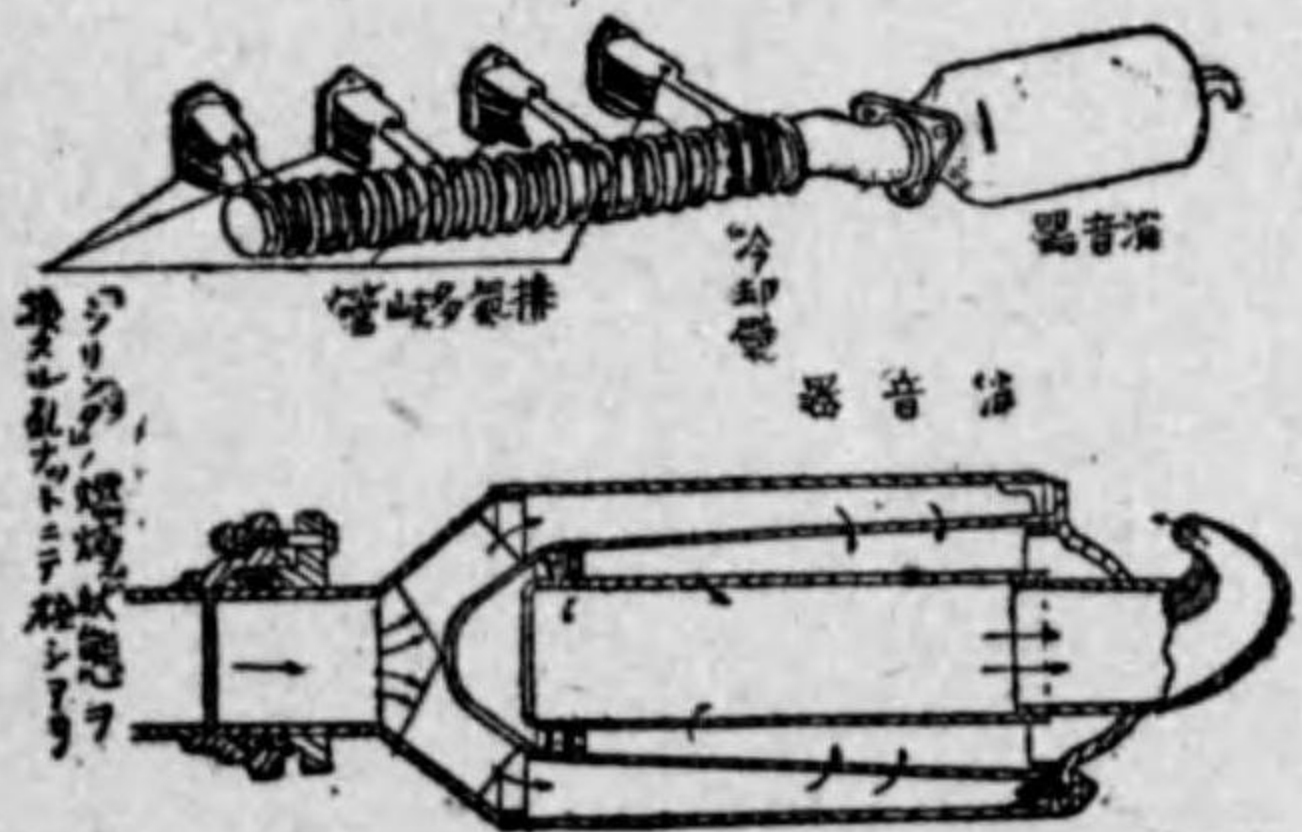
第五百五 弁閉閉ノ要領ハ「クランク」軸齒車ヨリ中間齒車ヲ介シ「カム」軸齒車ニ回轉ヲ傳ヘ「カム」軸ヲ回轉ス而シテ「カム」軸ノ回轉ニ從ヒ推桿ヲ上下シ弁ばねニ抗シテ弁テコヲ搖動シ弁ノ開閉ヲ行フモノナリ第三百四十九圖ハ調時齒車裝置ヲ示スモノニシテ之等齒車ノ組立ニ當リテハ各齒車齒部ニ刻印サレタル合符號ヲ合致セシムルコト肝要ナリ

第九款 吸氣裝置

圖十五百三第



圖一十五百三第



第五百六

吸氣裝置ハ吸氣多岐管及空氣清淨器ヨリ成ル吸氣管ハ「シリンド」上方ニ裝著セラレ其ノ後部ニ空氣清淨器構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

ヲ備フ空氣清淨器ハ内部ニ金屬ヲ充滿シ之ニヨリ吸氣中ノ塵埃ヲ除去ス(第三百五十圖)

第十款 排氣裝置

第五百七 排氣裝置ハ排氣多岐管及消音器ヨリ成ル排氣多岐管ハ冷却風洞内ニ收メラレ之ヨリ泥受上ニ裝著セラレタル消音器ニ連絡ス(第三百五十一圖)

第十一款 冷却裝置

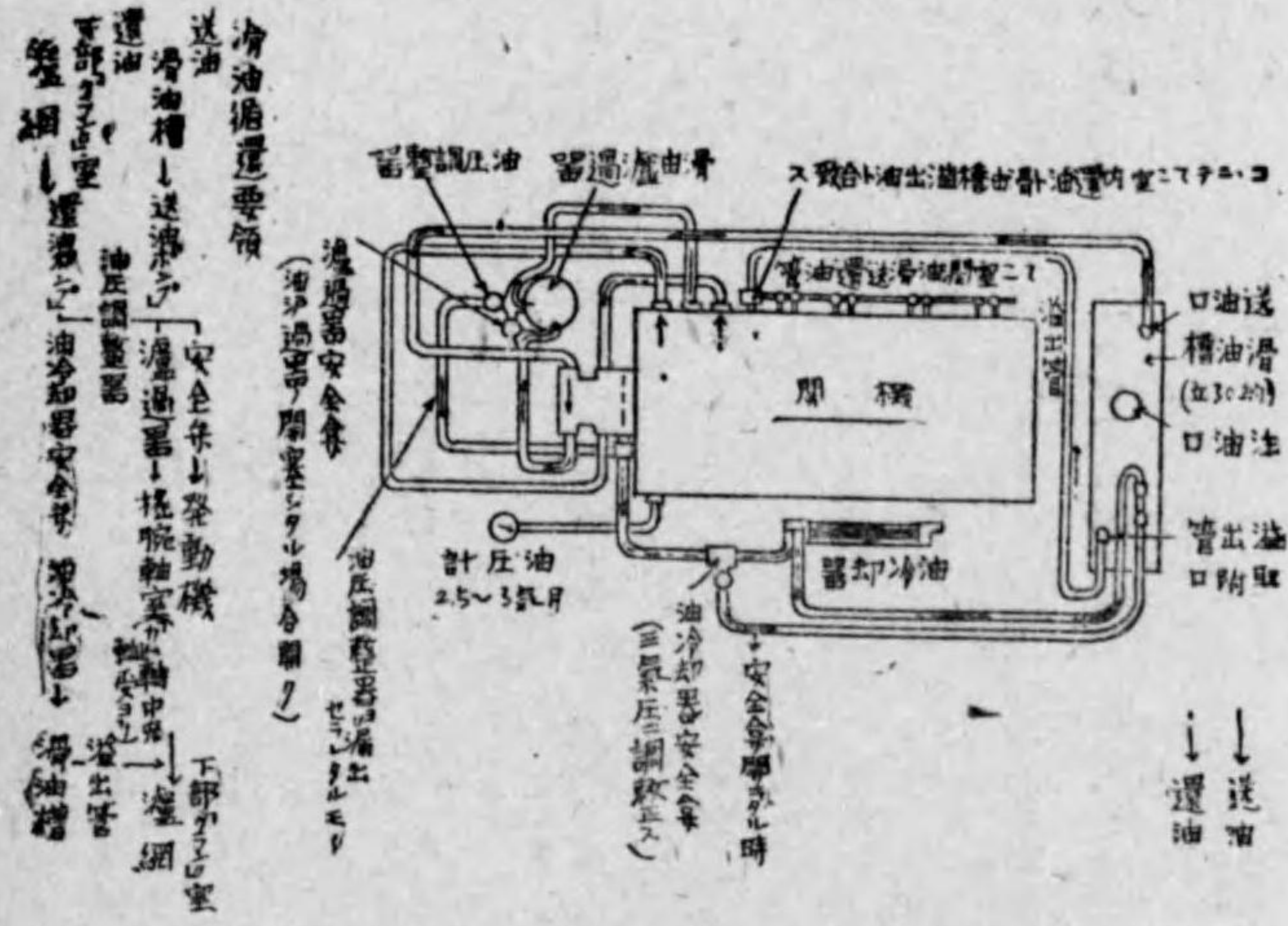
第五百八 冷却裝置ハ壓送式ニシテ風車、同驅動裝置、吸入及排出風洞ヨリ成ル風車ハ「シロツコ」風車ニシテ發動機左側ニ同一軸心上ニ二組裝セラレ調時中間齒車ニ嚙合フ風車驅動齒車ニヨリ回轉セラレ吸入風洞風車二組ヲ包含シ車體上面ニ開孔シ此處ヨリ冷却風ヲ吸入シ各風車ハ二箇ノ「シリンドラ」ヲ冷却ヲ掌リ冷却風ハ「シリンドラ」ヲ冷却セル後排出風洞ニ導カレ車體右側軌道上ニ排出セラル

第二節 配油裝置

第五百九 配油裝置ハ潤滑油循環裝置及冷却裝置ニ分タル滑油ノ循環系統ヲ示セバ第三百五十二圖及第三百五十三圖ノ如ク油壓ハ二・五—三氣壓トス

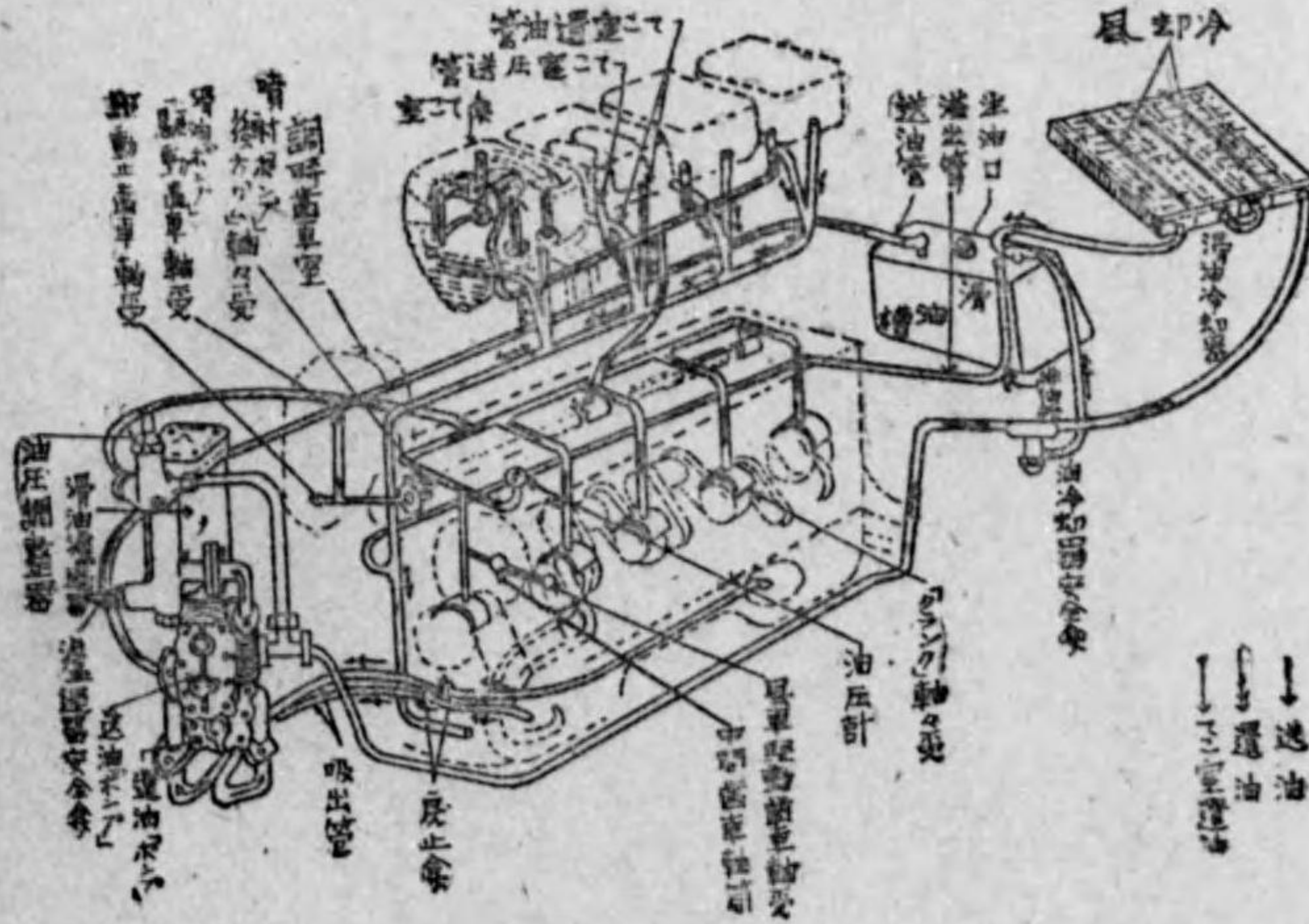
第一款 滑油槽

圖二十五百三第



構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

圖三十五百三第

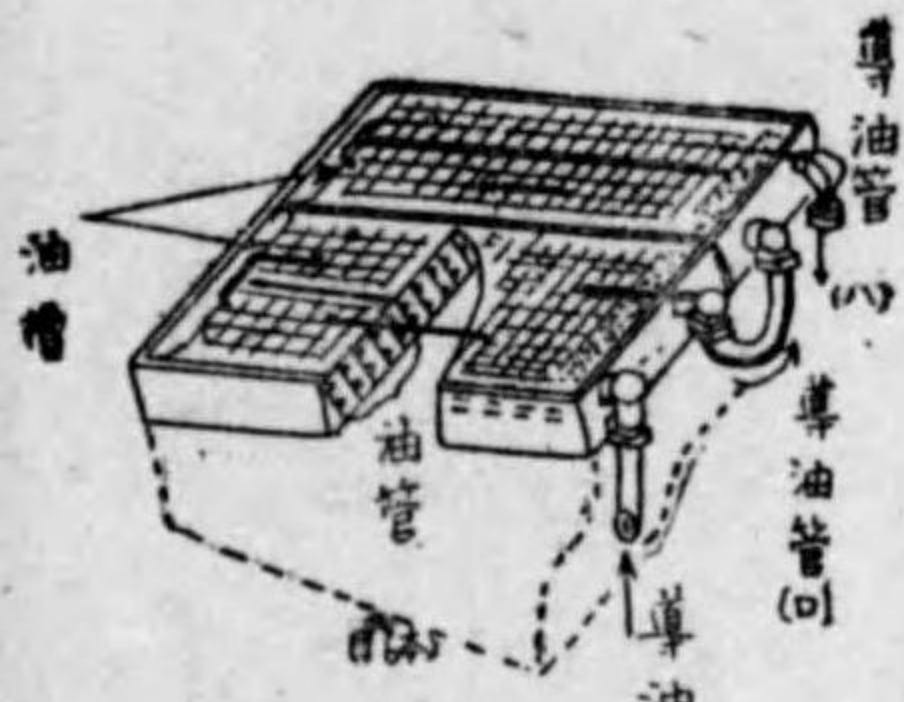


第五百十二 本器ハ第三百五十七圖ノ如ク管狀型ニシテ各十六本ノ油管ヲ有スルモノヲ二箇内部ニ隔壁ヲ有スル油槽ヲ共用セシメタルモノヲ一組トシ之ヲ二箇即チ合計四箇ヲ同體ニ組合シ油導管ニ依リ直列ニ連結サル發動機右側上面ニアル吸氣口鏝窓直下ノ吸氣風胴内ニ裝著セラレ冷却ヲ良好ナラシムル如クシアリ

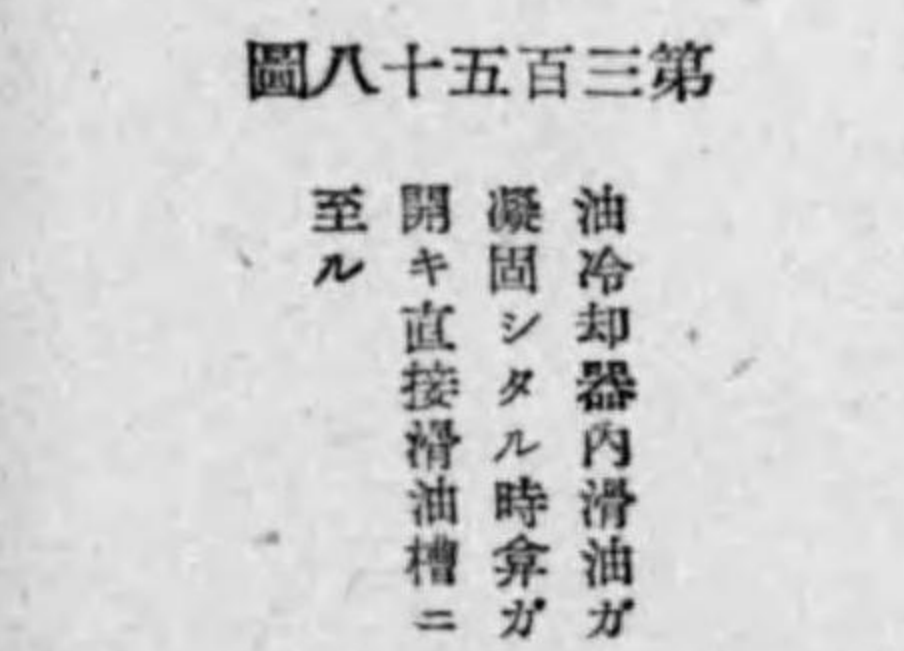
氣溫ノ降下ニヨリテ二箇ノミヲ使用スル場合ハ導油管(イ)(ロ)ヲ離脱シ(イ)ヲ(ロ)ノ右方ニ連結スルモ攝氏零度以上ニ於テハ其ノ要ナシ

第五款 滑油冷却器安全弁

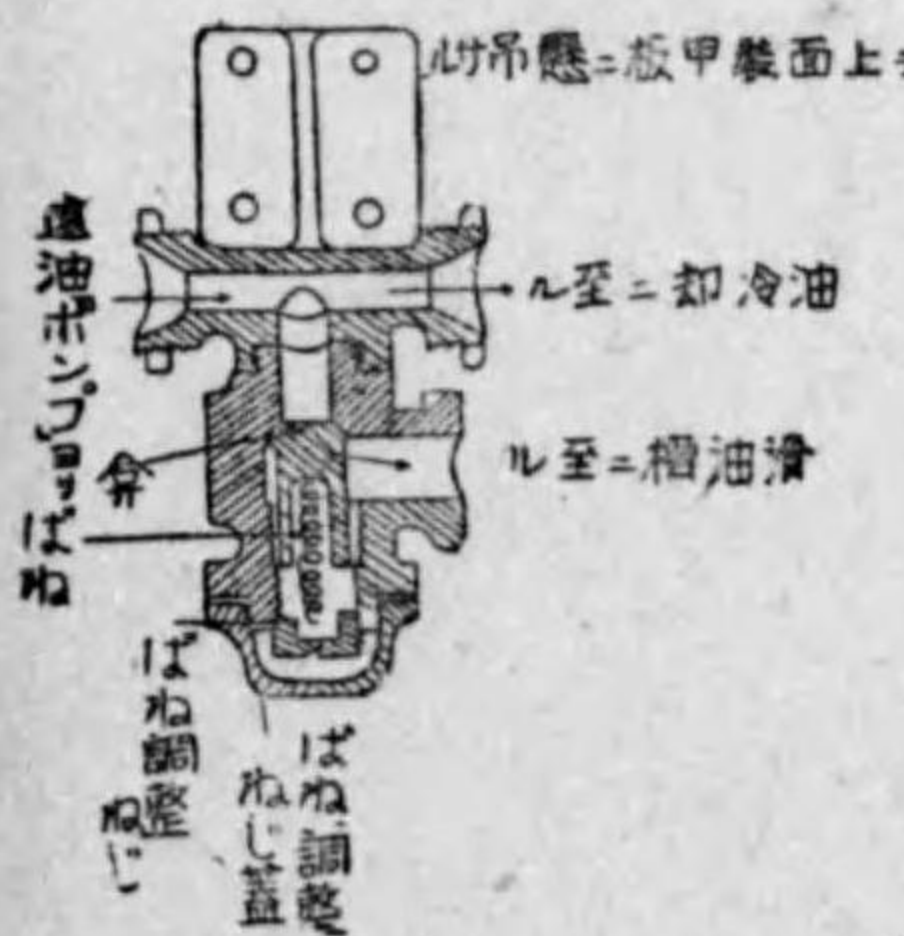
第五百十三 戰闘室ト機關室トノ境界上面裝甲板ニ取附ケラレ滑油冷却器ヲ同器内滑油ノ凝固ニ依ル破損ヨリ防護シ配油系統ノ安全ヲ保證ス壓力三氣壓ニテ開弁スル如クばね壓ヲ調整シアリ(第三百五十八圖)



圖七十五百三第



圖八十五百三第



第三節 燃料裝置

要旨

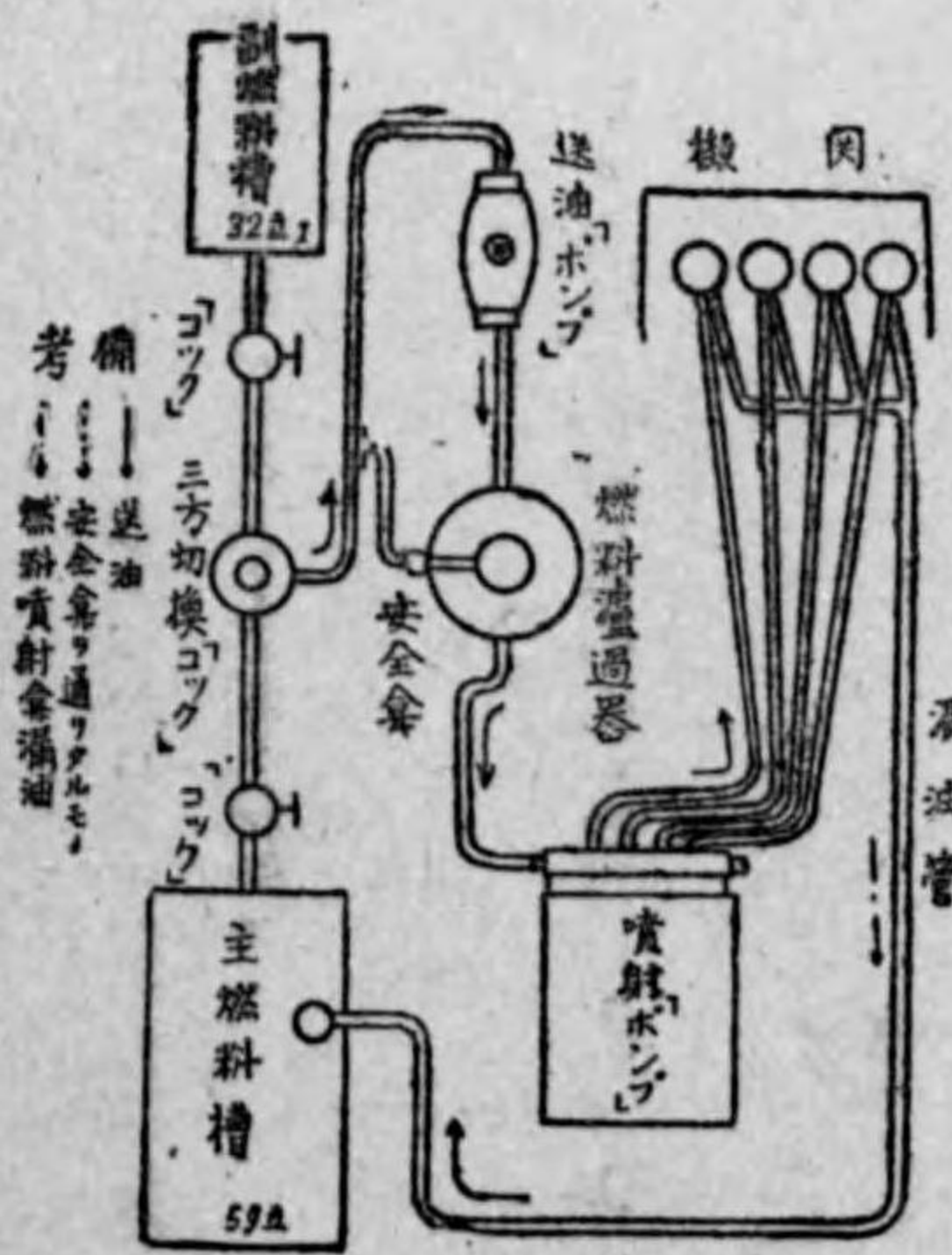
第五百十四 本裝置ハ主燃料槽、副燃料槽、送油「ポンプ」、濾過器、三方切換「コック」、各種油管ヨリ成ル

第一款 燃料系統

第五百十五 燃料槽内ニアル燃料ハ送油管及上管ニ依リ燃料槽ノ下面ニ近ク濾網ヲ通ジテ汲上ゲラル切換「コック」ニ於テ主副燃料槽ノ切換ヲ行フ

- 一 燃料送油「ポンプ」ハ調時齒車ニヨリ驅動セラレ燃料ヲ濾過器ヲ經テ噴射「ポンプ」ニ送入セラル
- 二 濾過器ニハ安全弁ヲ有シ之ガ導管ハ切換「コック」ト送油「ポンプ」ノ中間油管ニ結合セラル
- 三 燃料噴射弁ヨリノ溢流管ニ集合シテ主燃料槽ニ還送セラル燃料槽使用上主燃料槽ノ状態ヲ明瞭ニ知リタル後使用スルノ著意ヲ必要トス
- 四 燃料系統中點檢又ハ作業ヲ要スベキ部位ハ何レモ露出セシメアルカ又ハ隔壁内ニアル部分ハ何レモ點檢ヲ容易ナラシムル如ク窓扉ノ設備ヲ有ス(第三百五十九圖)

圖九十五百三第



構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第二款 主燃料槽

第五百十六 機關室發動機左側臺上ニ緊定帶ニヨリテ取附ケレ容量五九立ナリ上面ニ燃料補給口及噴射弁漏油導管取附口ヲ有シ前面ニハ吸出口下方ニハ排油口各一ヲ有シ屬品中ノ量計器ヲ補給口ヲ挿入シ容量ヲ檢知ス

第三款 副燃料槽

第五百十七 操縦室前方右側裝甲寄り臺上ニ緊定セラレ容量ハ三二立ナリ上面ニ補給口左側面ニ吸出口座面ニ排油口ヲ有ス

第四款 三方切換「コック」及燃料油管

第五百十八 操縦席後方底板上ニ取附ケラレ主、副、止ノ矢印ヲ有シ「コックハンドル」ノ位置ヲ明示シ得

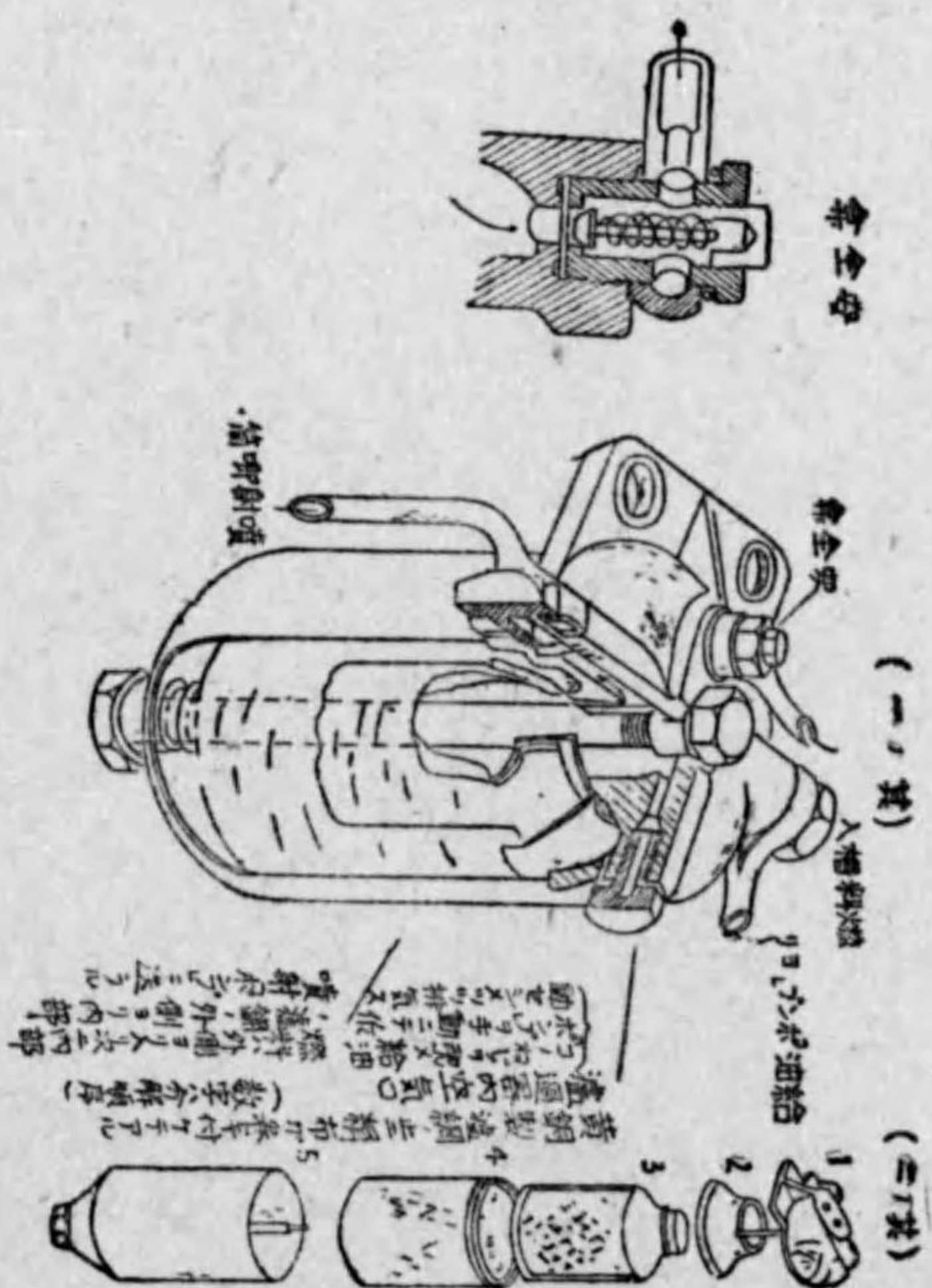
第五百十九 燃料油管ハ燃料送油管及溢油管ヨリ成ル何レモ鋼管ニシテ大部分ハ中徑一〇耗外徑一三耗ヲ有ス管外面ニハ赤色塗裝ヲ行ヒ他種管トノ區分ヲ明瞭ナラシム

第五款 燃料濾過器

第五百二十 操縦席後方底板上ニ取附ケラレタル支持臺上ニ緊定セラレ其ノ構造第三百六十圖ノ如クニシテ二箇ノ眞鍮製濾網ヲ有シ燃料ハ外周ヨリ内周ニ至リ濾過サル内方ノモノハ其ノ上ニ絹布ヲ卷付ケ機能ノ完全ヲ期シアリ本器

内ノ内塞シタル場合ヲ考慮シテ完全弁ヲ附シアリテ濾網外周ニ通ズ
本器ハ適宜分解ノ上清掃スルヲ要ス此ノ際濾網及絹布ヲ破損セシメザル如ク注意ヲ要ス

圖十六百三第



第六款 燃料供給「ポンプ」

第五百二十一 燃料供給「ポンプ」ハ九七式中戰車ニ同シ

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第七款 燃料噴射「ポンプ」

第五百二十二 燃料噴射「ポンプ」ハ「ボツシ」PE4B65C121型ニシテ機關後方調時齒車室蓋上取附臺ニ緊定セラレ其ノ構造ヲ示セバ第三百六十一圖ノ如シ

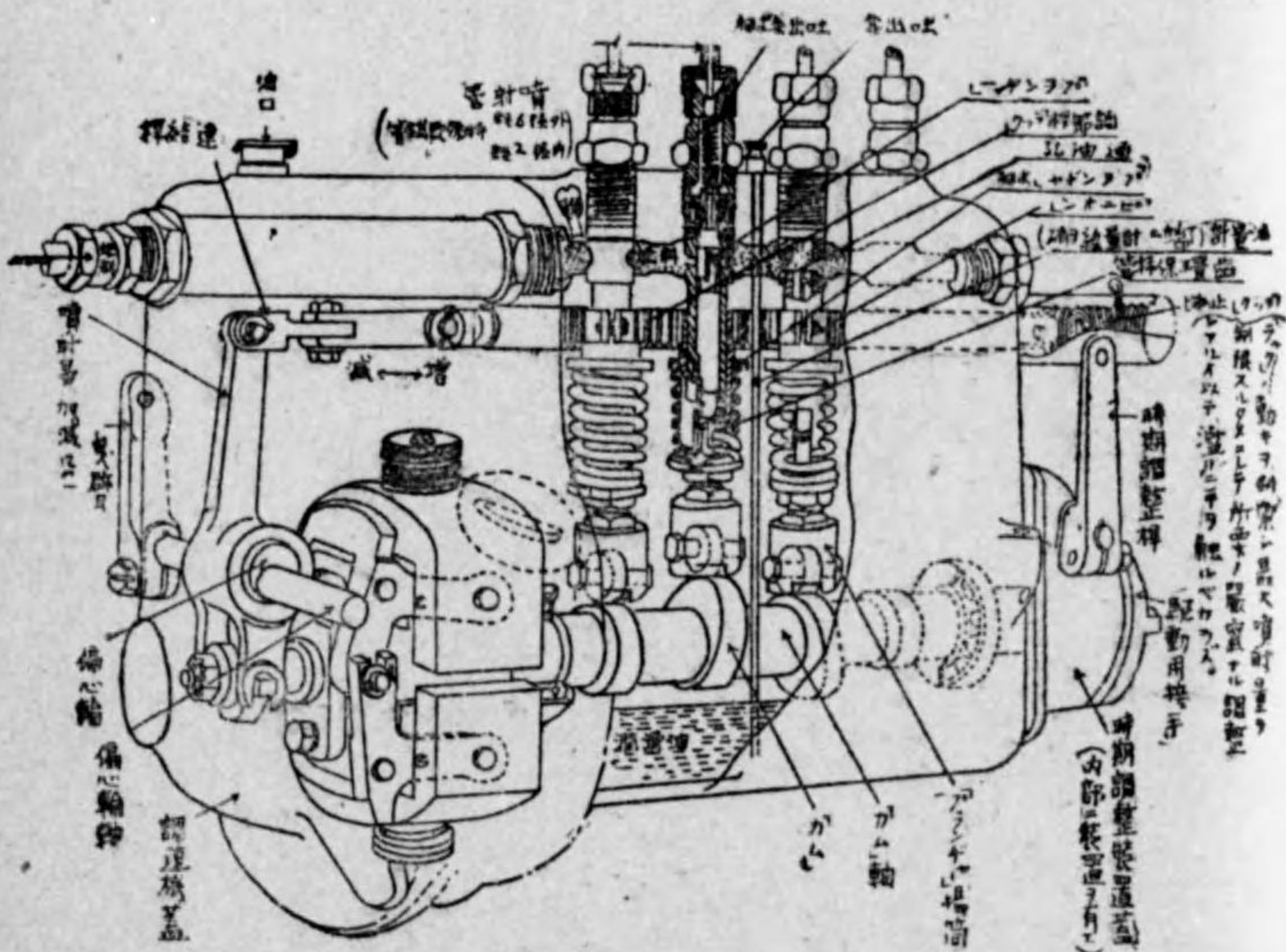
第五百二十三 燃料噴射「ポンプ」カム軸ハ調時齒車室内燃料噴射「ポンプ」驅動傘型齒車軸ニ接手ニテ結合セラレ驅動側ヨリ見テ左方向ニ回回ス

燃料噴射「ポンプ」驅動裝置ノ要領ヲ示セバ第三百六十二圖ノ如シ

第五百二十四 作動要領

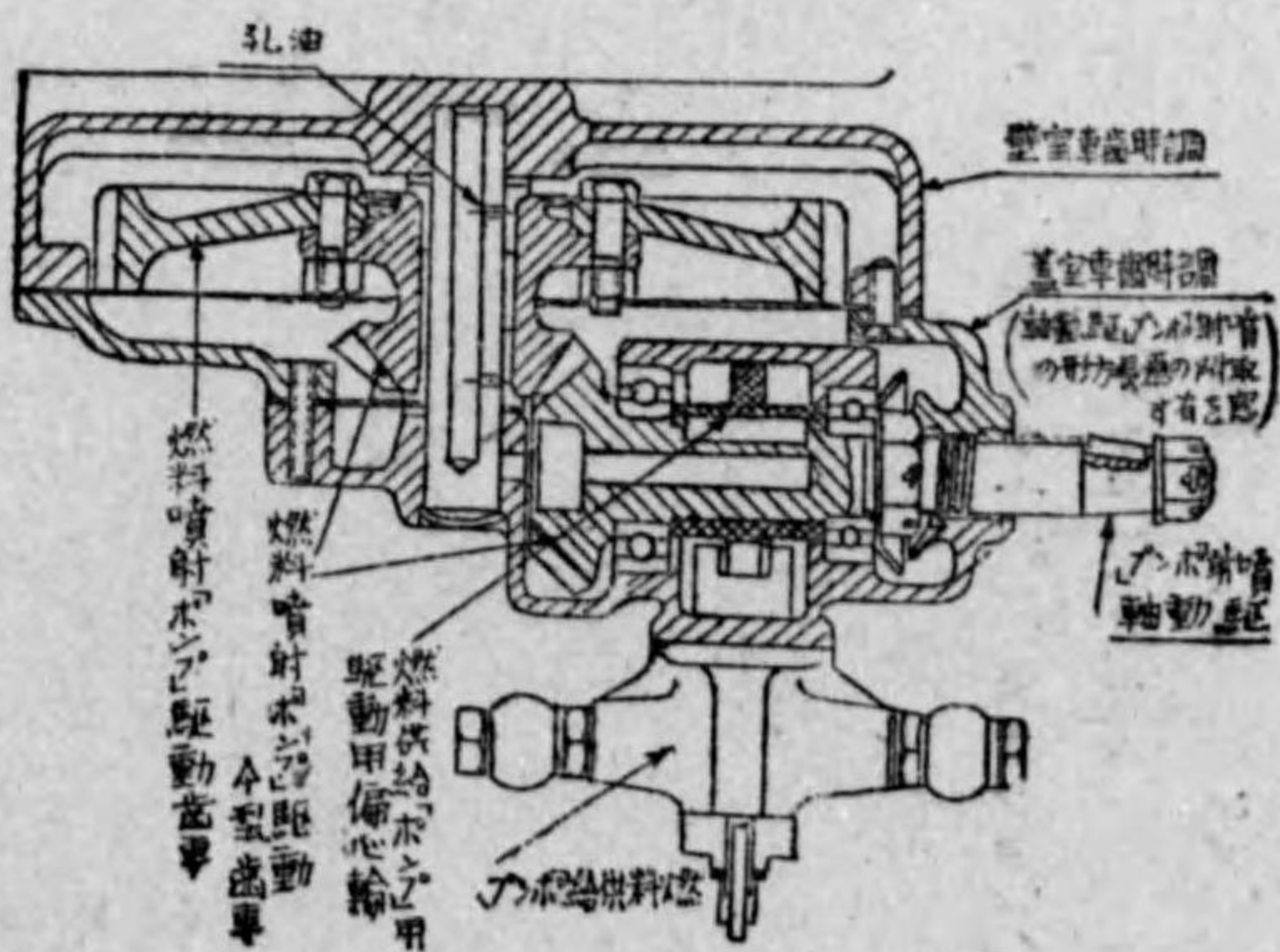
噴射「ポンプ」ノ要部ヲ示セバ第三百六十三圖ノ如シ
 燃料入口ヨリ「プランヂャー」上昇シテ燃料出入口ヲ閉塞スルニ至リタル時ヨリ壓縮セラレ其ノ壓力ガ吐出弁バね壓ニ打勝ツニ至リテ吐出弁開キテ燃料ヲ噴射ス「プランヂャー」尙上昇シ其ノ段部ガ燃料出口ヲ開クニ至リテ壓力急ニ低下シ燃料ハ出口ヨリ出テ噴射ハ中絶ス次ニ「プランヂャー」段部ノ作用ヲ第三百六十四圖ニ依リ説明ス
 一ハ全噴射ノ場合ニ於ケル「プランヂャー」ノ向ト之ガ下部死點ニアルヲ示ス此ノ場合燃料ハ入口ヨリ直ニ出口ニ通ズ「プランヂャー」上昇シ燃料出入口ヲ塞グニ至ラバ前述ノ如ク噴射ヲ始メ「プランヂャー」尙上昇シニ示ス位置ニ至ラバ燃料ハ出口ヨリ逃ゲ噴射ハ中絶ス「ラツク」ヲ動カシテ「ピニオン」ヲ廻ハシ「プランヂャー」ノ向ヲ三ノ如クシタル場合ハ段部ノ燃料出口ヲ塞ギアル時間短キタメ燃料ノ噴射量ハ全噴射ノ場合ニ比シ少ク「プランヂャー」ガ尙廻リヲ五ノ如クナルニ至ラバ「プランヂャー」上昇スルモ其上部ノ燃料ハ常ニ出口ニ通ジアルヲ以テ噴射スルコトナシ

圖一十六百三第

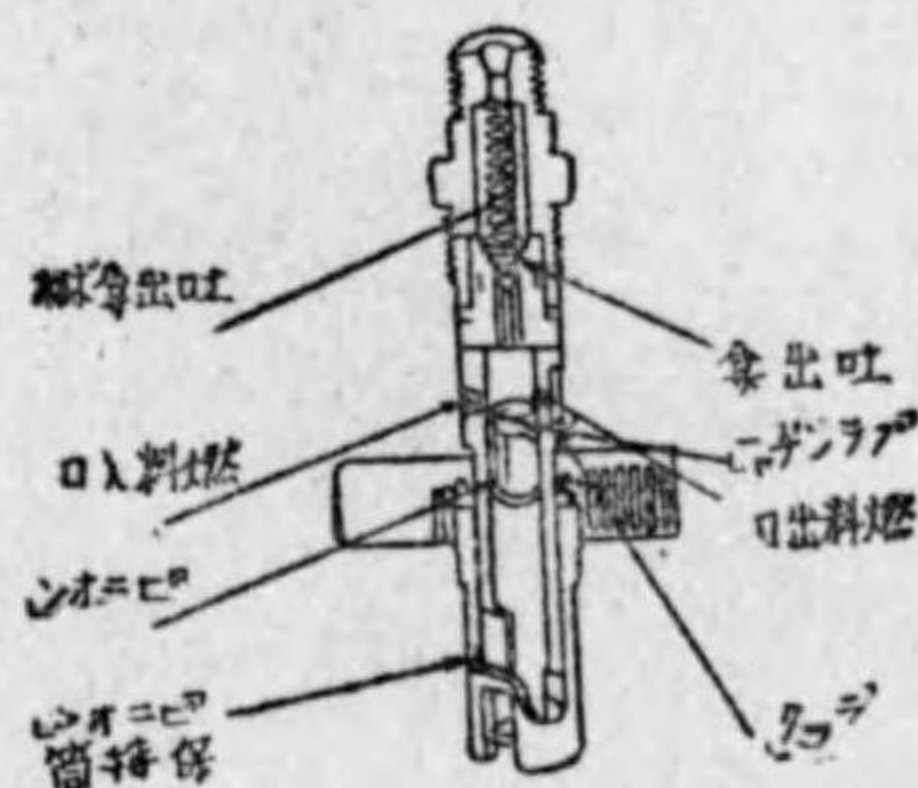


構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

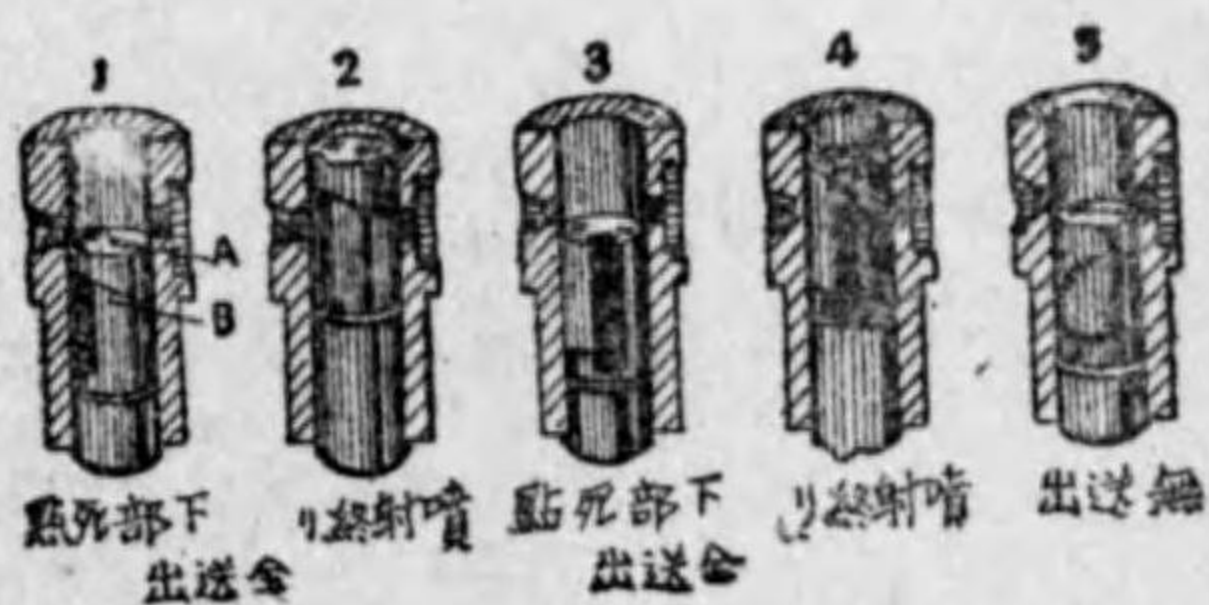
圖二十六百三第



圖三十六百三第



圖四十六百三第



三三〇

第五百二十五 噴射時期調整器

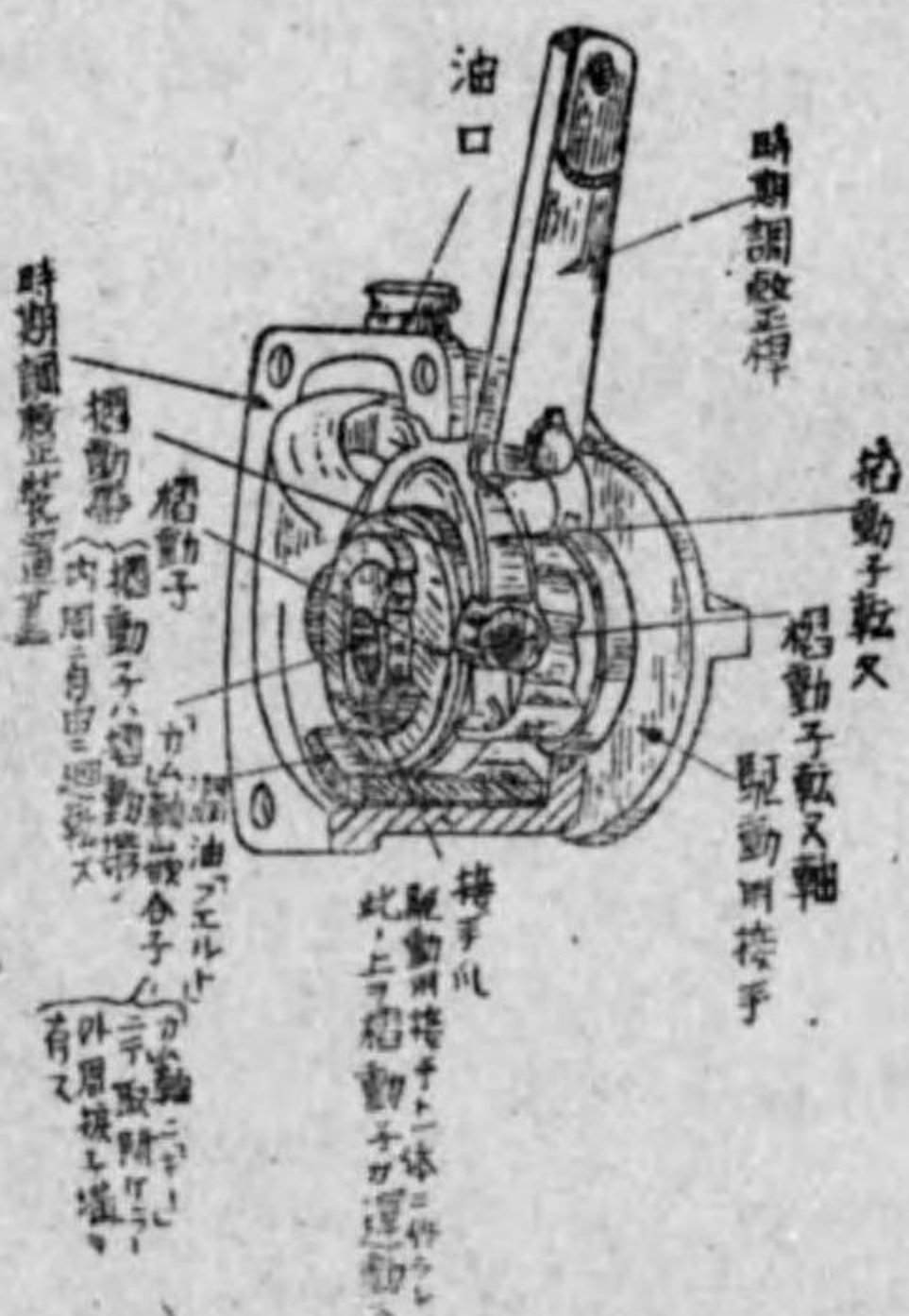
本器ハ第三百六十五圖ニ示スガ如キ構造ニシテ噴射時期調整ノ範圍ハ「カム」軸ニ於テ十二度「クランク」軸位置ニ關係ナク其ノ換溝ノタメ左右ニ回轉ス嵌合子ト「カム」軸トハ「キー」ニテ固定セラレアルガ故ニ「カム」軸ガ回轉シ「カム」ニ依リ「ブランチヤ」ノ突上ゲラルル時期ヲ變化ス即チ本「ポンプ」ニ於テハ調整桿ヲ噴射「ポンプ」側ニ倒セバ噴射時期ハ遅レ外側ニ倒セバ進ム以上ノ如ク燃料ノ噴射時期ハ調整てこニ依リ調整シ其ノ噴射量ハ「ラツタ」及「ピニオン」ニヨリ「ブランチヤ」ヲ廻ハシテ行フモノトス

射量ヲ増加スル如クセラレアリ

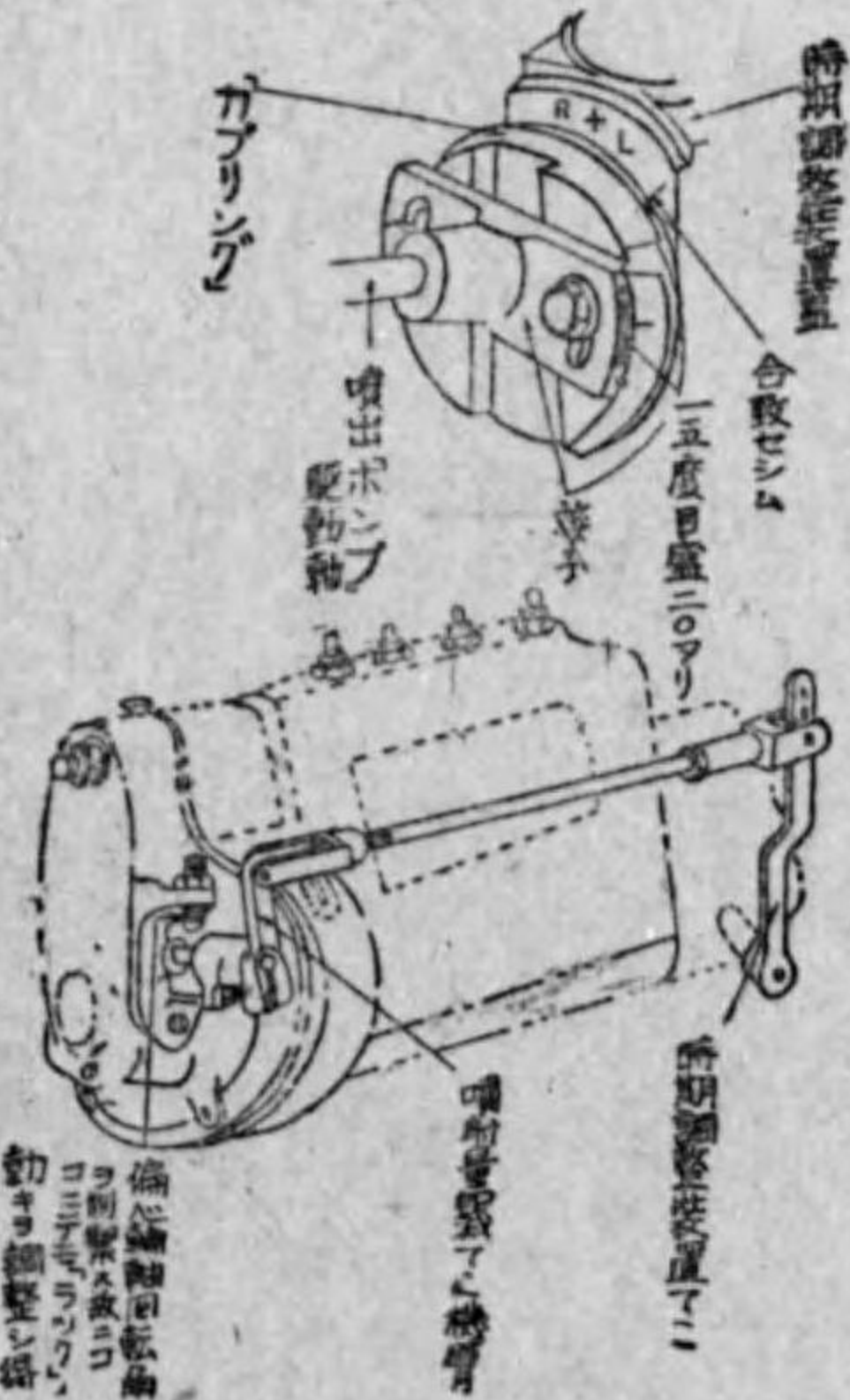
連結ノ要領ハ噴射量加減てこヲ無噴射、時期調整てこ曳桿ヲ遅角ノ位置ニ置キ曳桿ニテ連結スルモノトス 曳桿ハ曳桿「ねじ」ニヨリ長サヲ調整シ得

第五百二十六 調時要領

圖五十六百三第



圖六十六百三第



本發動機ノ調時要領ハ第三百六十六圖ノ如ク先ヅ時期調整桿ヲ進ミ遅レノ中央ニ置キ驅動用接手ヲ動かシテ之ニ刻サレタル符號ト時期調整蓋ニ刻サレタル符號トヲ合致セシム圖ニ示ス如ク驅動方向ノ左右ニ依リテ合符號ヲ異ニス本「ポンプ」ノ驅動ハ左廻リナルヲ以テL側ノ符號ニ合致セシム 此ノ位置ハ時期調整桿ニ最モ近キ「ブランチヤ」ガ將ニ噴射ヲ開始セントスル時ノ「カム」ノ位置ナリ

次ニ發動機ヲ第一、四ノ上死前約三三度ノ位置ニ置キ「カップリング」ヲ挿入シテ燃料噴射「ポンプ」ヲ取附クルモノ

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

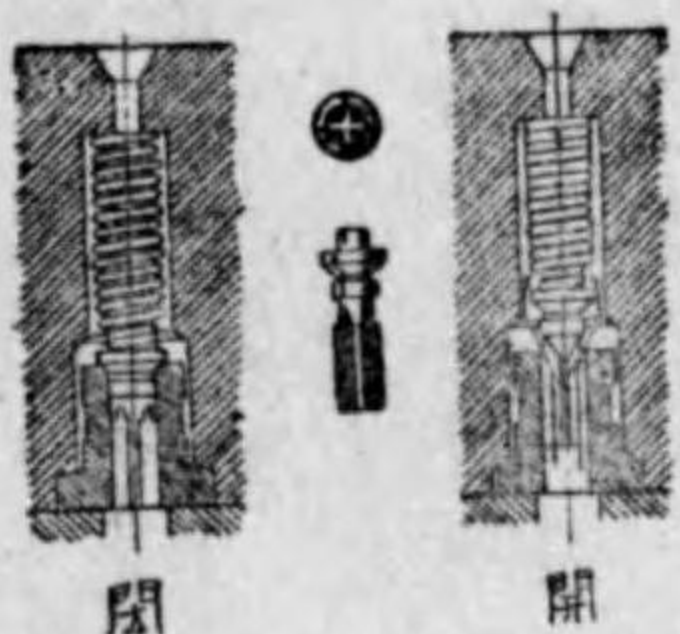
三三一

トス
噴射「ポンプ」驅動軸ニ嵌合セラレタル接手ニハ一・五度ノ目盛（カム）軸ノ回轉角度（二〇ヲ有ス取附ニ當リテハ其ノ中間ノ目盛ニ「カップリング」ノ符號ヲ合致セシメ置キ機關ヲ車載シタル後ノ調子ニヨリ適宜時期ヲ調整スルモノトス

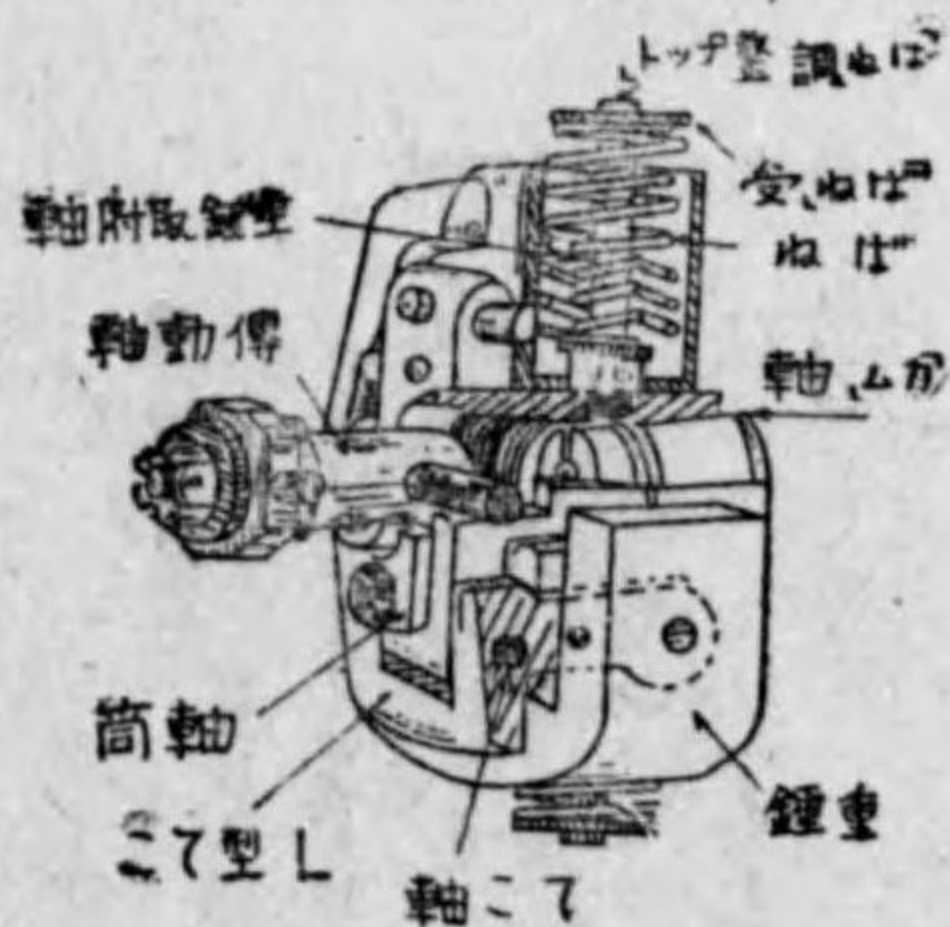
第五百二十七 吐出弁

吐出弁ノ構造ハ第三百六十七圖ニ示ス如キモノニシテ噴射終り後ノ餘滴ヲ防止スルタメノ特殊ノ構造ヲ有ス

圖七十六百三第



圖八十六百三第



同圖左ハ吐出弁閉鎖時右ハ開放時ノ狀態ヲ示ス此ノ弁ハ圖ニテ示ス如ク圓錐弁ノ下方ニ「ピストン」ヲ有シ「ピストン」ノ下方ニハ四箇ノ縱溝ヲ有ス即チ吐出弁閉鎖ニ當リ此ノ「ピストン」ノ容積ダケ吐出時ニ比シ吐出弁上方噴射管ニ互ル内容積ガ増加スルコトトナル此ノ容積ハ噴射管ノ收縮及燃料油ノ膨脹ノタメ管外ニ壓出セラルベキ燃料ノ容

積ト一致セシメアルガ故ニ吐出弁閉鎖ト同時ニ管内ノ壓力ヲ低下シ燃料ノ滴下ガ防止サル

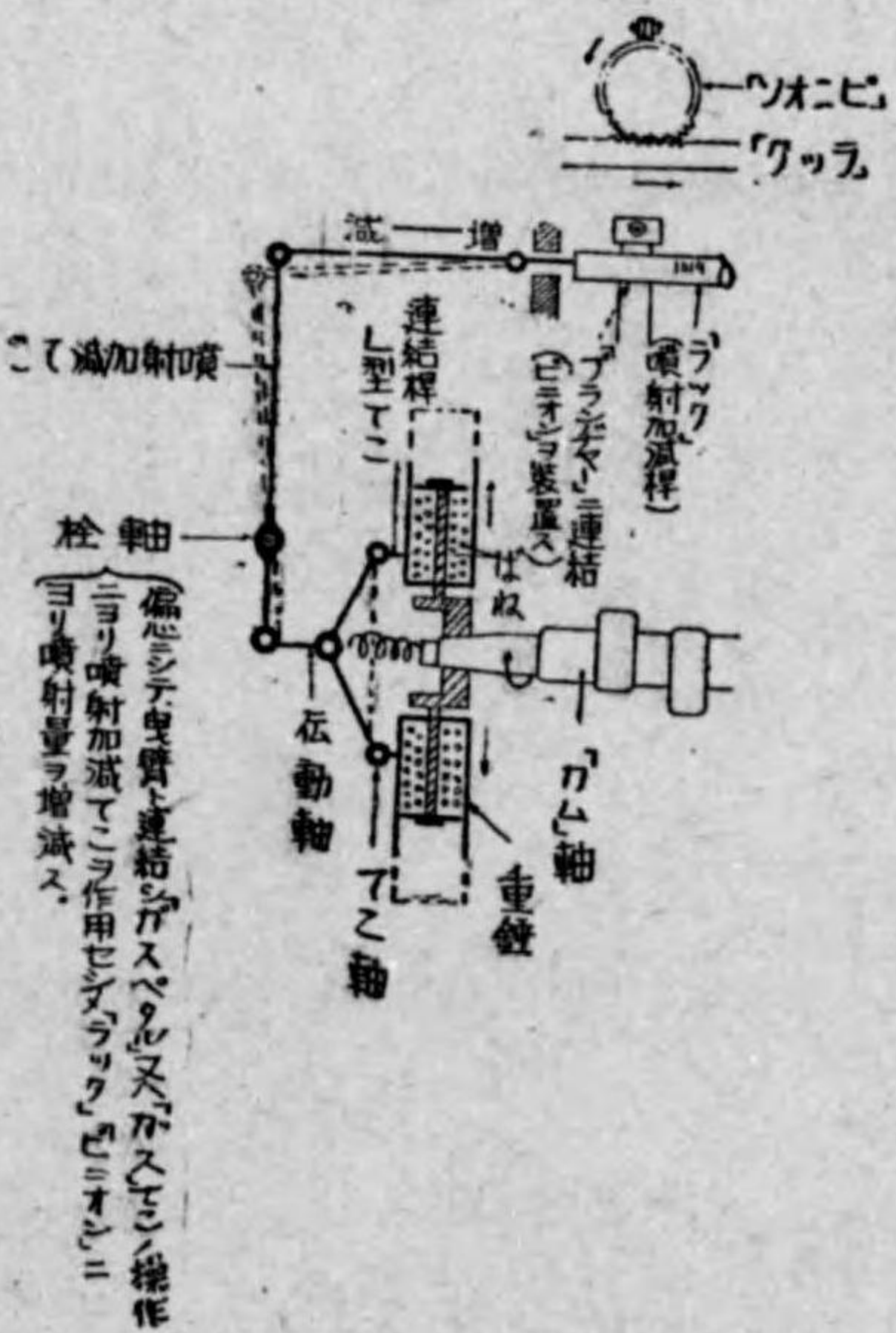
第五百二十八 調速機

本調速機ハ第三百六十八圖ニ示ス如キモノニシテ發動機ノ回轉ヲ最大許容回轉數以上ニ上昇セシメサルト共ニ低速時ニ於テ發動機ノ停止ヲ防止スルタメ或ハ一定限度以上ニ速度降ルトキハ自動的ニ燃料噴射量ヲ増加スルガキ作用ヲナス調速機作用ノ要領ヲ第三百六十九圖ニ示ス

説明

回轉數規定ヨリ増大セバ重錐ハ開キテL型テコニヨリ轉動軸ハ右方ニ引カレ噴射加減テコハ連結桿ニヨリ噴射加減桿ハ左方ニ動キ「プランヂヤー」ヲ回轉セシメテ噴射量ヲ減ジ更ニ又發動機ノ速度ガ一定限度以下ニ減ジルト共ニ調整桿ヲ自動的ニ増ノ方向ニ移動サセル斯クシテ發動機出力噴射「ポンプ」ノ噴射量ヲ常ニ自動的ニ調節ス

圖九十六百三第



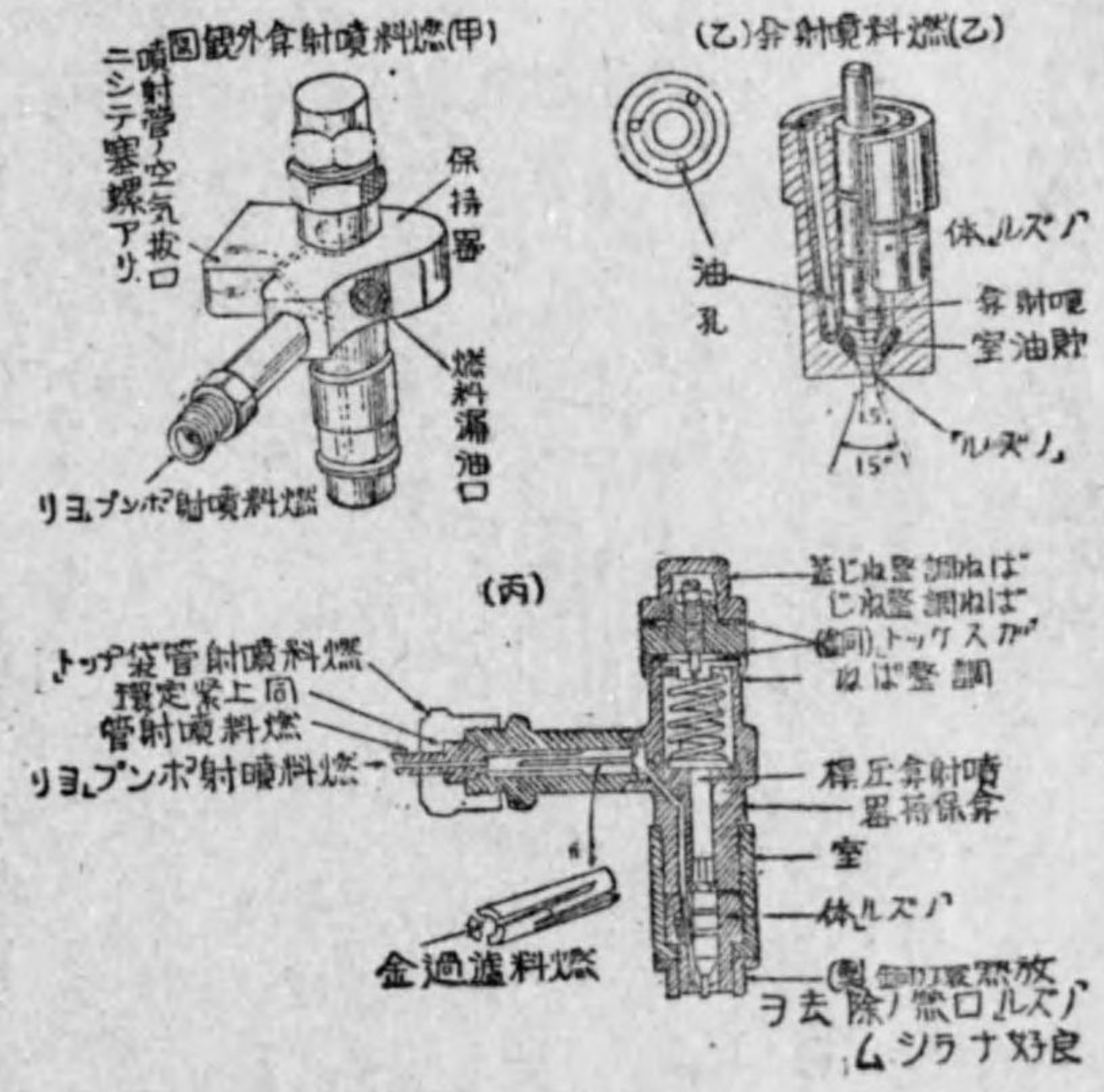
第八款 燃料噴射弁

本噴射弁ハ自動弁ニシテ「ピントル」型（栓狀型）噴射弁及同保持器ヨリ成ル（第三百七十圖）

構造機能並ニ取扱 九七式輕機甲

噴射ポンプヨリ壓送セラレタル燃料ハ燃料濾過金ヲ通り「ノズル」三箇ノ油孔ヨリ「ノズル」上方貯油室ニ至ル噴射

圖十七百三第

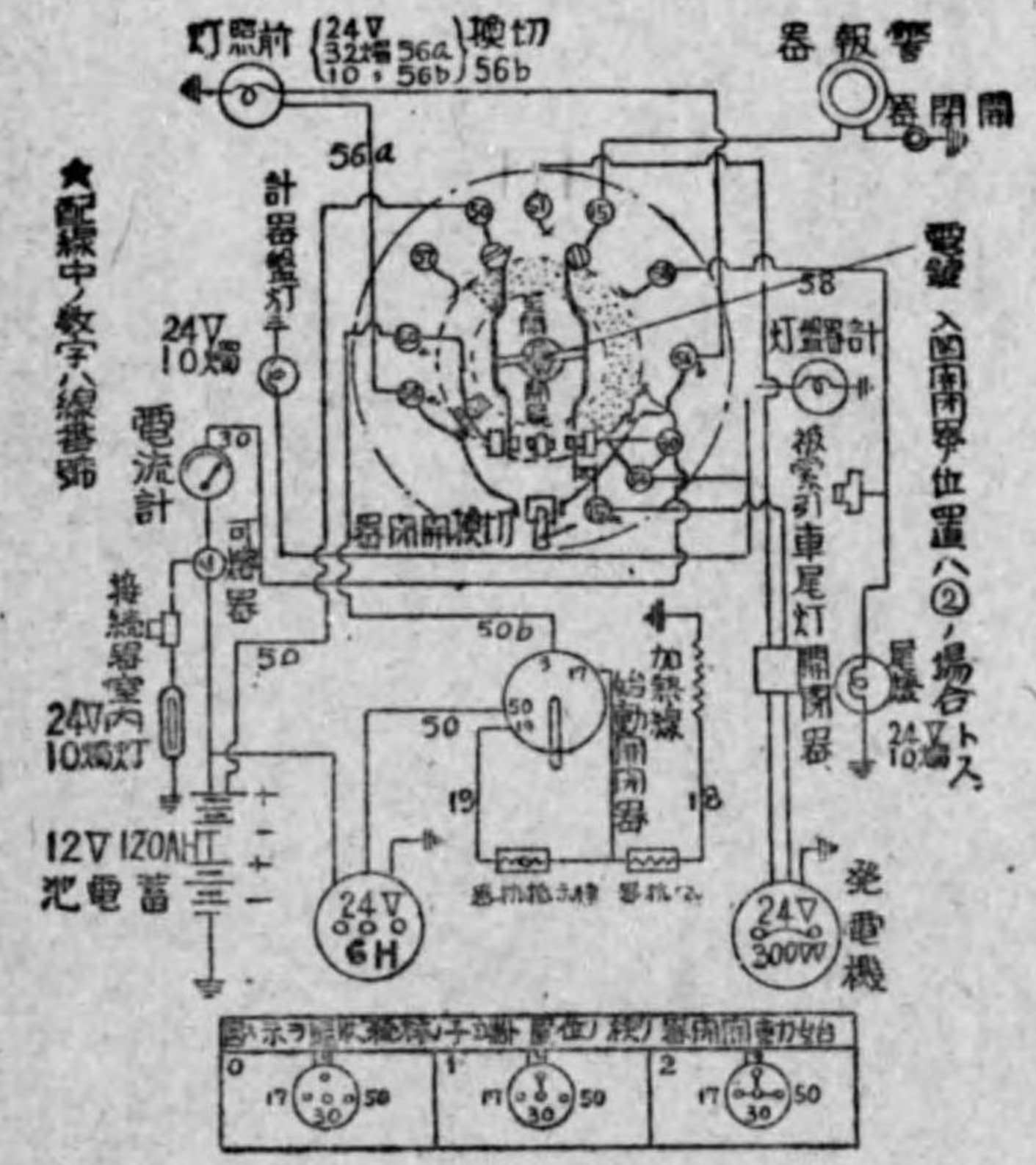


壓ニ達セバ貯油室内燃料ハ調整ばねニ抗シテ「ノズル」ヲ開放シ「シリンドラ」内ニ噴射ス噴射壓ハ約一四〇氣壓ナリ
噴射弁「ノズル」體トヲ極メテ僅カナル遊隙ヨリノ漏油ハ漏油口ヨリ銅管ニ依リテ主燃料槽へ還サル
ばね調整ねジヲ螺入又ハ螺出スルコトニ依リ調整ばねノ強度ヲ變化シ噴射時期並噴射量ノ調整ヲナシ得

第四節 電氣裝置

第五百二十九 本裝置ハ蓄電池、充電裝置、起動裝置、照明裝置、開閉器、計器等ヨリ成リ其ノ結線要領第三百七十
一圖ノ如シ

圖一十七百三第



0ハ開一ハ閉 主開閉器ノ鍵ノ位置ト電流ノ閉閉ヲ示ス		前照燈	尾燈	警報器	リレ	蓄電池	開始	リレ	蓄電池	計室内燈及
端子番號	位置	56a56b	58	15	15a	50	50a	61	33	54
鍵ナシ		—	—	—	—	—	—	—	0	0
0		—	—	0	0	0	0	0	0	0
1		—	0	0	0	0	0	0	0	0
2		—	0	0	0	0	0	0	0	0

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第一款 蓄電池

第五百三十 蓄電池ハ容量ニ「二ボルト」「四〇アンペア」ニ箇ヲ裝置ス

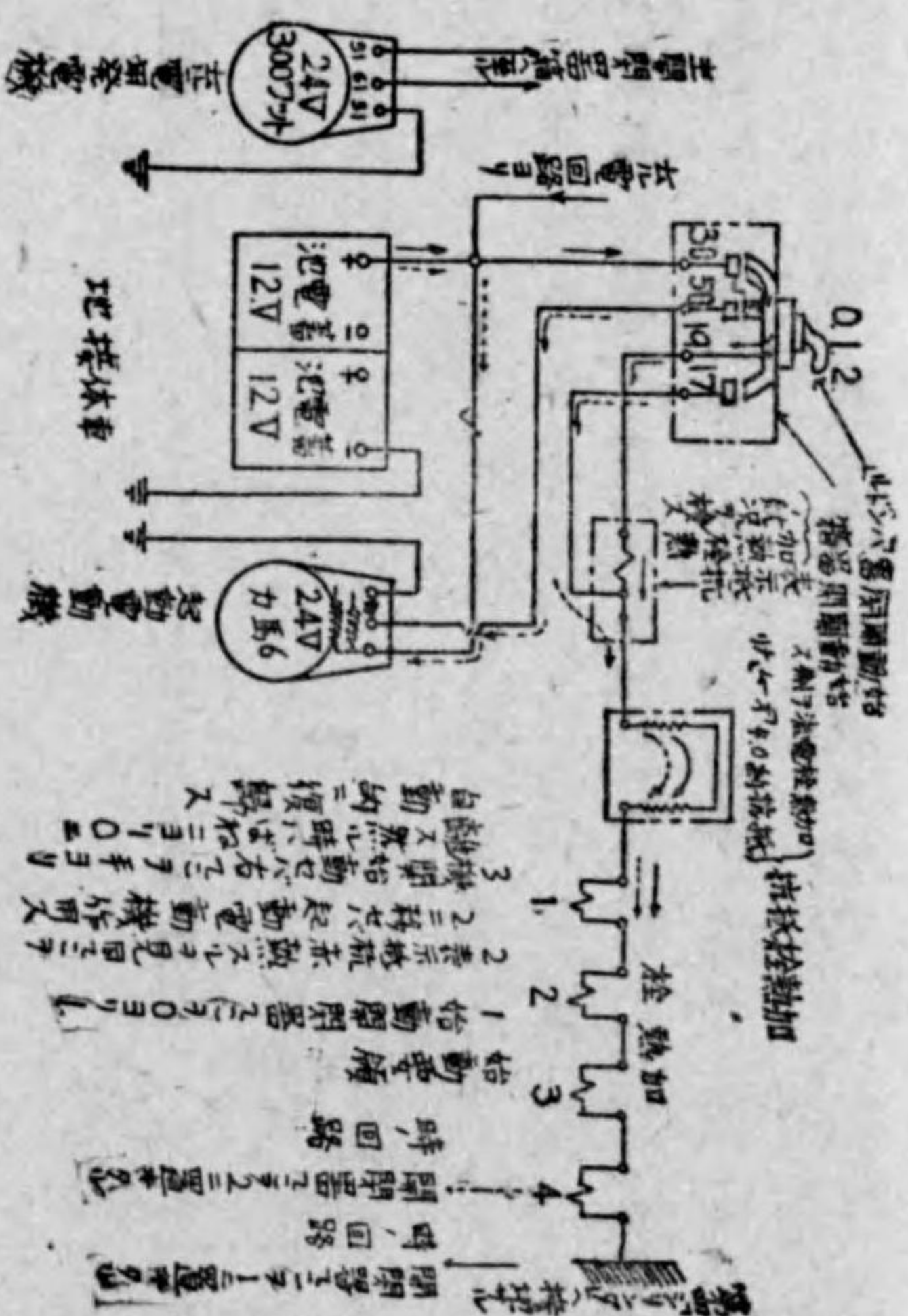
第二款 充電裝置

第五百三十一 充電用發電機ハ二四「ボルト」「三〇〇ワット」ヲ使用シ主「クラッチ」室ノ前方主軸ニ「ベルト」車ヲ裝置シV型「ベルト」ニヨリ驅動セラル

第三款 起動裝置

第五百三十二 起動裝置ノ要領ヲ示セバ第三百七十二圖ノ如シ
起動機ハ容量二四「ボルト」六馬力一箇ヲ使用シはすみ車右側前面ニ取附ケラル加熱栓ハ二極型ニシテ各「シリンダ」直列ニ連結サレ第四「シリンダ」用ノモノハ「シリンダ」體ニ接地サル起動閉器ハ計器板ニ取附ケラレ二段ニ作動シ第一段ニヨリ加熱栓ヲ加熱シ第二段ニヨリ起動回路ヲ閉ツ（第三百七十一圖）

圖二百七十三第



圖三百七十三第



第四款 照明裝置

第五百三十三 本車ニ備ヘラレタル電燈ノ種類及取附位置左ノ如シ

- 前照灯 一 運轉室右側上面板中央
- 室内灯 三 計器板
- 砲塔内 二
- 砲塔内 一

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第五款 電線、開閉器、電流計

第五百三十四 配線ハ單線式ニシテ電線ノ各端末ニハ番號ヲ附シ識別ヲ明瞭ナラシム回路次ノ如シ

充電回路 充電發電機—電流計—「ヒューズ」—蓄電池

始動回路 蓄電池—遮斷開閉器—起動機—始動開閉器—主開閉器—表示抵抗器—抵抗器—加熱栓

—前照燈

—計器板燈

—開閉器—警報器

—開閉器—尾燈

—開閉器—砲塔點燈

第五節 傳導裝置

第五百三十五 傳動裝置ハ發動機ノ回轉力ヲ無限軌道ニ傳動スル裝置ニシテ主「クラッチ」、推進軸、變速機、橫軸裝置、操向「クラッチ」、操向「クラッチブレーキ」、終減速裝置ヨリ成ル

第一款 主「クラッチ」

第五百三十六 主「クラッチ」ハ乾多板式ニシテはずみ車内ニ

收メラレ傳動用摩擦板一枚、受動用摩擦板二枚ヲ有シ其ノ

構造第三百七十四圖ノ如シ

第五百三十七 本「クラッチ」ノ機能ハ常時「クラッチ」ばねニ

依リ斷續板ヲ介シテ傳動受動兩摩擦板ハはずみ車ノ動力傳

動面ニ壓著セラレ動力ヲ傳動スルモノトス「ベダル」ヲ壓下

スレバ斷續筒ハ右方ニ移動シ斷續てこノ内端モ右方ニ移動

ス從ツテ斷續てこ上端ハ調整ねじヲ介シテ斷續板ヲ右方ニ

引キ聯動ヲ斷ツモノトス

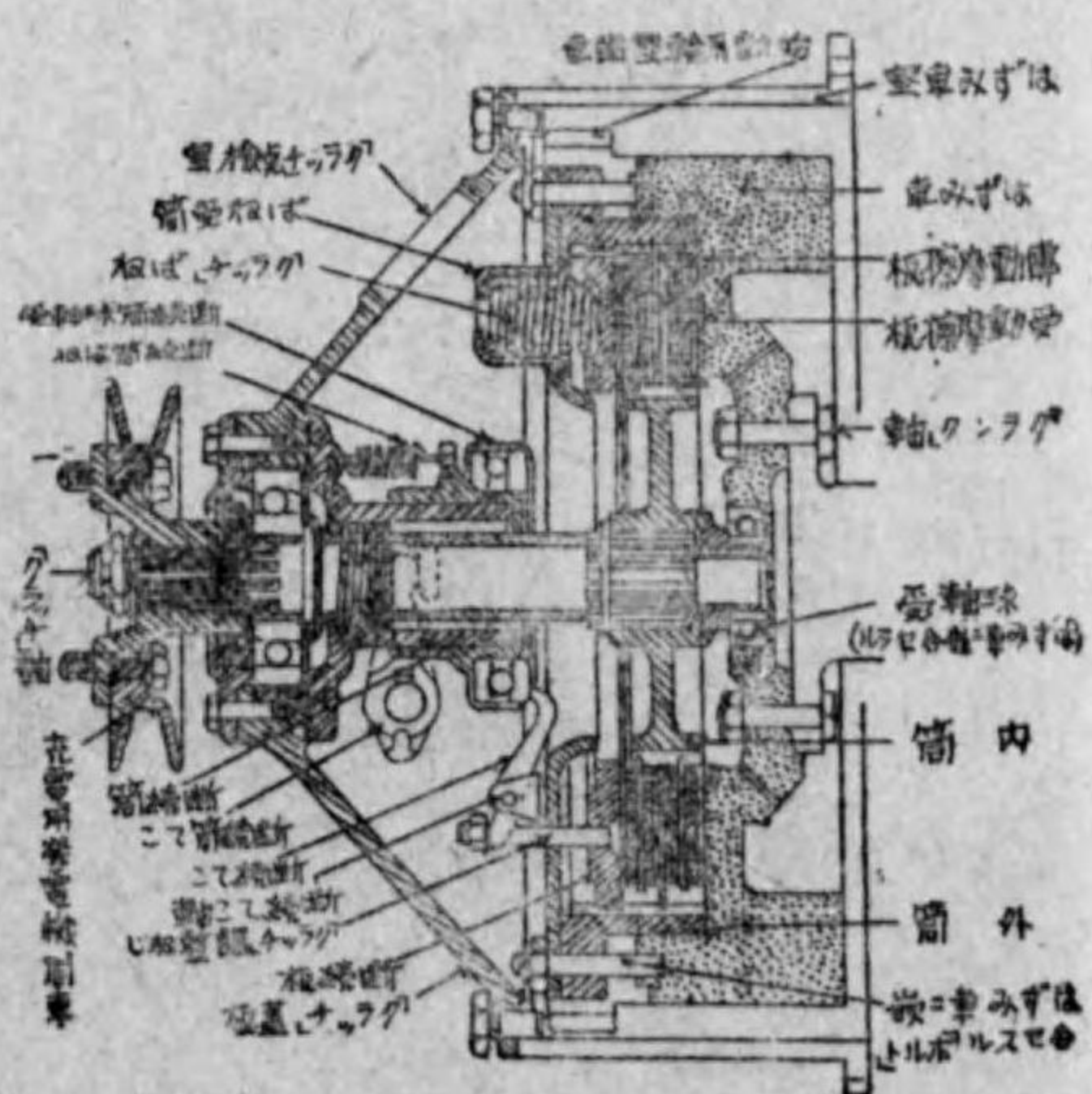
第五百三十八 本「クラッチ」ノ調整ハ「クラッチベダル」ヲ

十分ニ壓下シテ聯動ヲ斷チタル位置ニ置キ調整ねじ「ナツ

ト」ヲ弛メ斷續板ヲ壓著ノ状態ニナシ徐々ニ「ナツト」ヲ緊定シ斷續筒、斷續てこ及「ナツト」ノ三者ノ間ノ遊隙ヲ

除去シタル後調整「ナツト」三箇ヲ一様ニ一回轉半宛螺入スルモノトス（斷續てこト斷續筒トノ間隙ハ約三耗ヲ適當トス）

第三百七十四圖



第二款 推進軸

第五百三十九 主「クラッチ」ト變速機トノ連絡ニ推進軸ヲ裝ス其ノ構造第三百七十五圖ノ如シ

構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第三款 變速機

第五百四十 本變速機ノ各齒車ノ配列及構造ノ要領ヲ示セバ第三百七十六圖ノ如ク又其ノ選擇速度ハ前進四後退一ナリ
後退齒車ハ大小二箇一體トナリテ回轉シ大ガ第一副軸齒車ニ小ガ第一主齒車ニ嚙合スコトニ依リ反對回轉ヲ傳達ス
推桿室ハ變速齒車室ノ左側ニ結合シ内部ニ三箇ノ推桿及轉又ヲ收容ス 左側ノモノハ第一ニ速度用中央ハ第三、四速度用右側ハ後退用ナリ

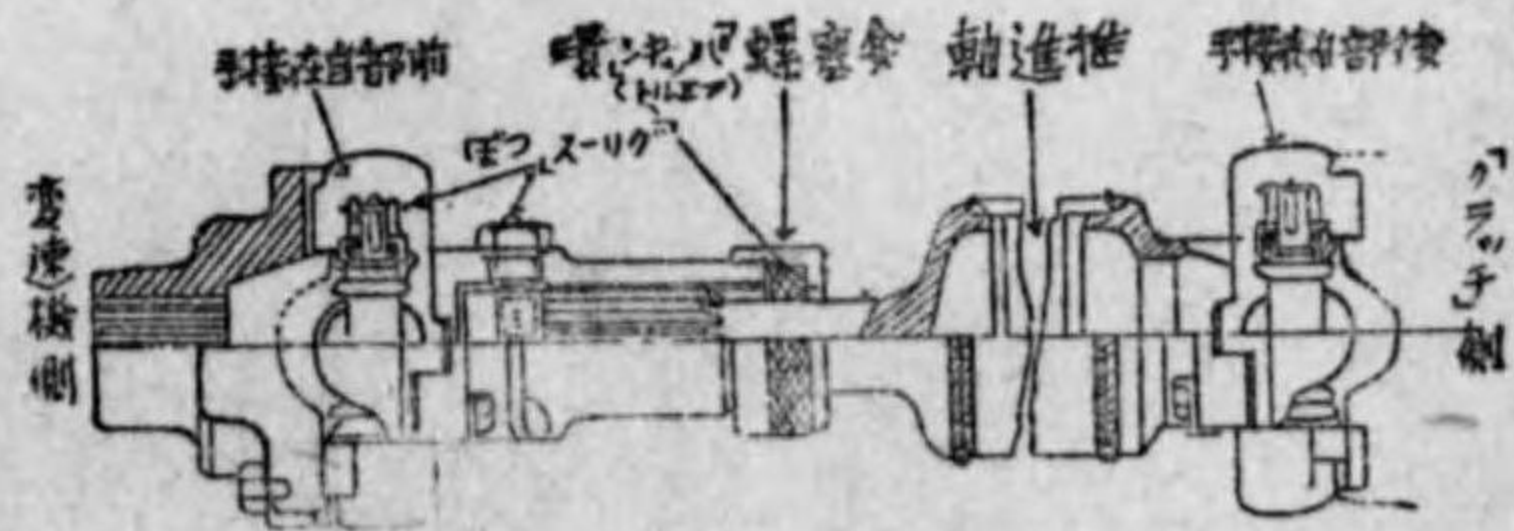
第四款 橫軸裝置

第五百四十一 減速齒車室ハ變速齒車室ト一體ニ製作セラレ内部ニ減速齒車大 小中央橫軸及速度計齒車等ヲ收容ス
變速機ヨリ傳ヘラレタル動力ハ操向「クラッチ」ヲ介シテ左右橫軸ヨリ終減速裝置ニ傳ヘラレ 減速齒車室ハ車體ノ中 央ヨリ右ニ偏シアルヲ以テ左橫軸ハ右側ノモノヨリ長シ橫軸裝置ノ構造ヲ示セバ第三百七十七圖ノ如シ

第五款 操向裝置

第五百四十二 操向裝置ハ操向「クラッチ」及操向「クラッチプレート」ヨリ成ル

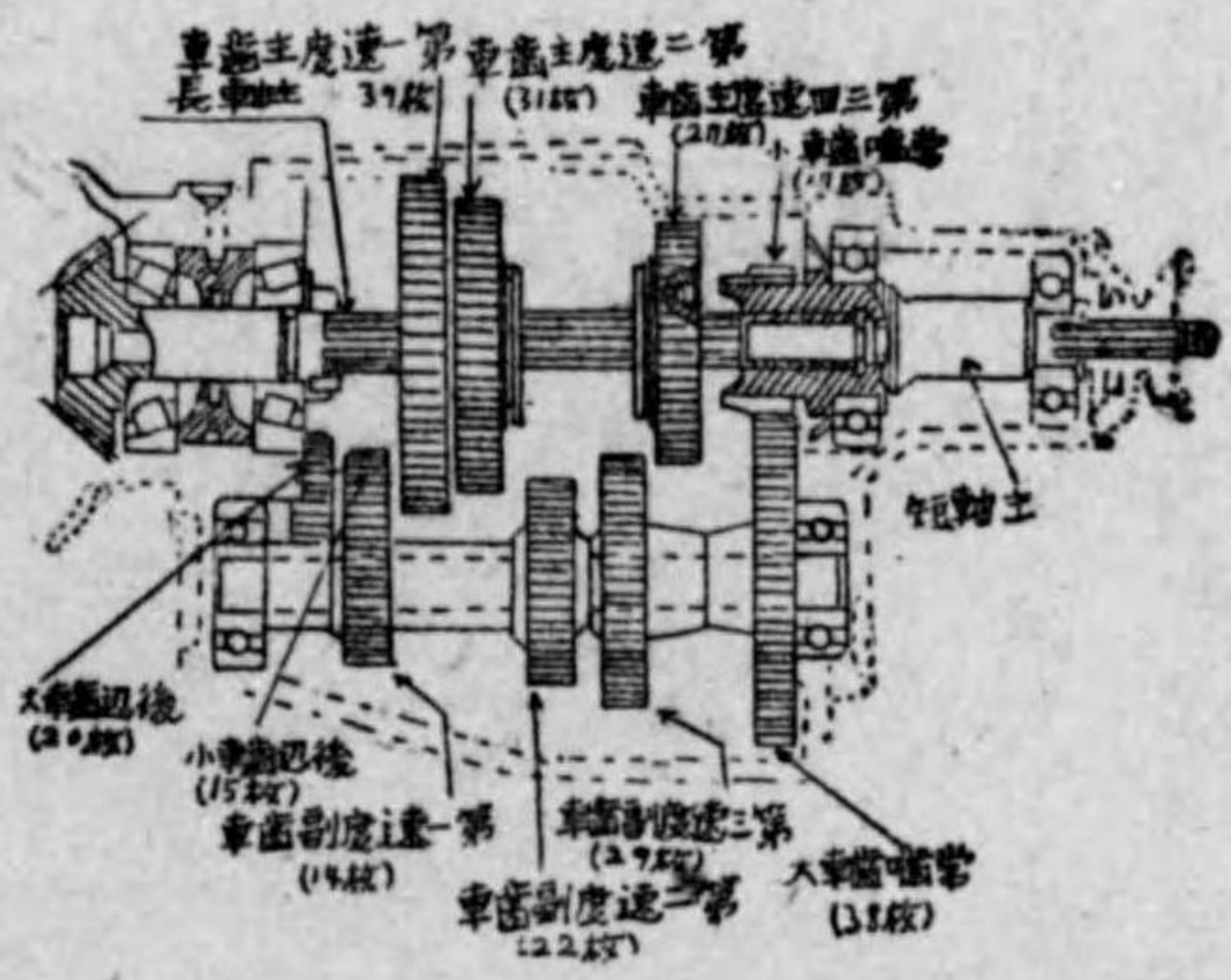
圖五十七百三第



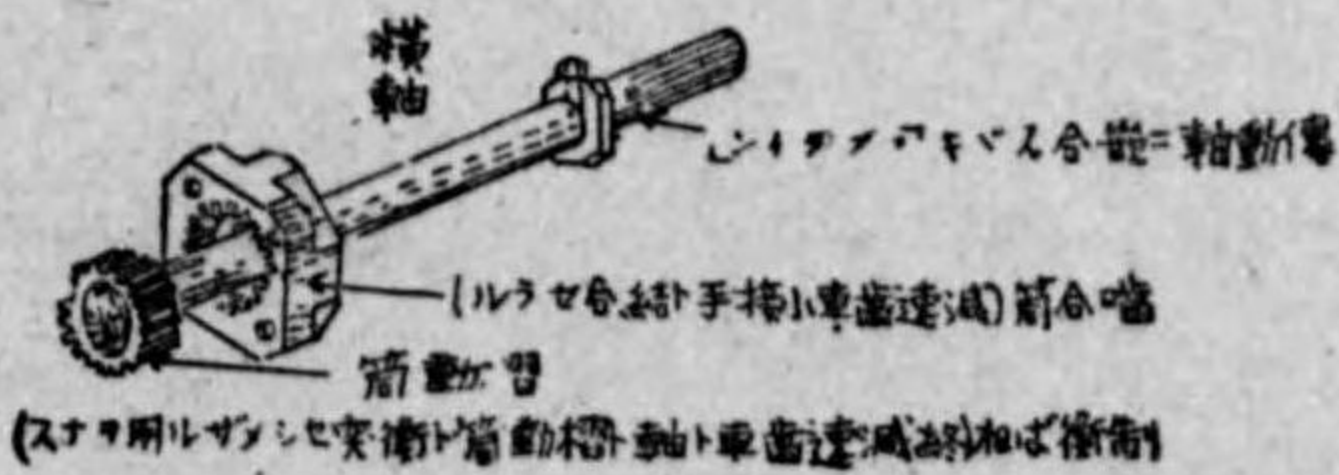
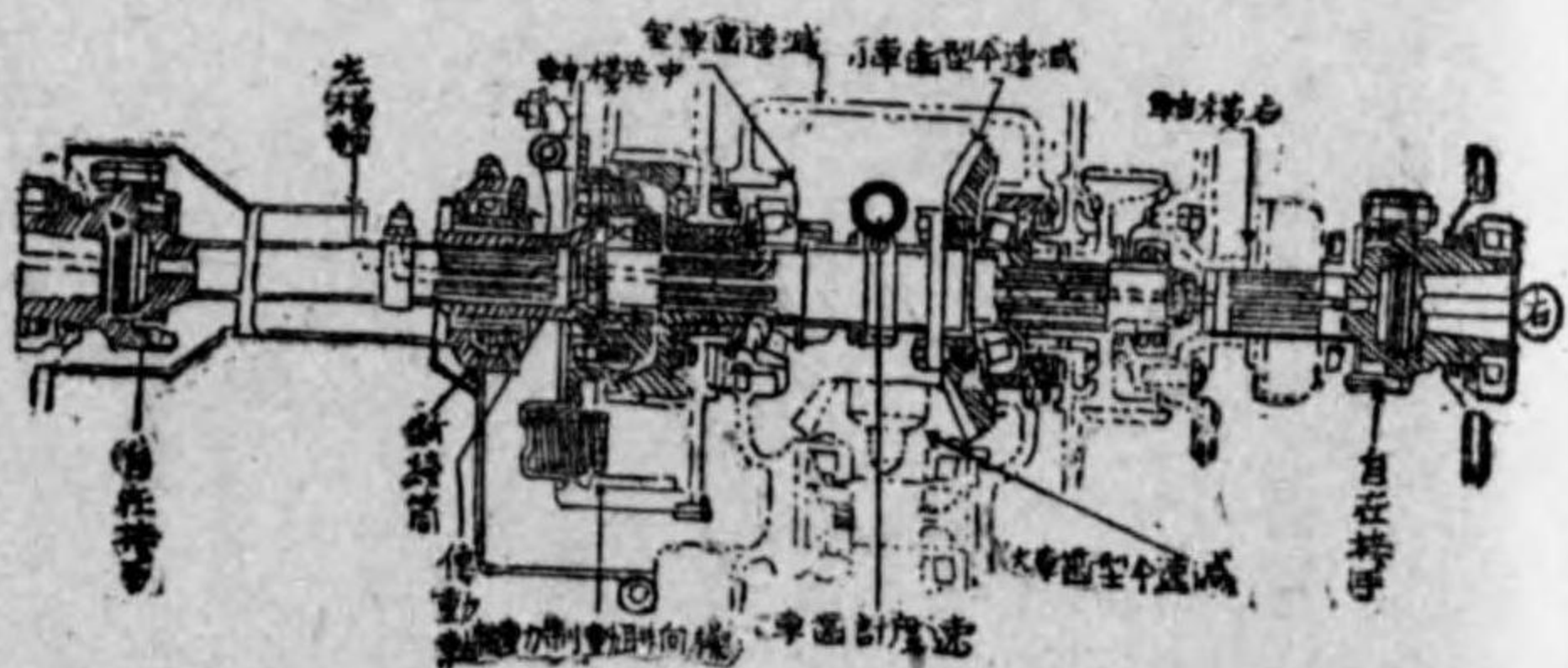
注意 自接在手ノ給脂ニ特ニ注意ス

三四〇

圖六十七百三第



圖七十七百三第



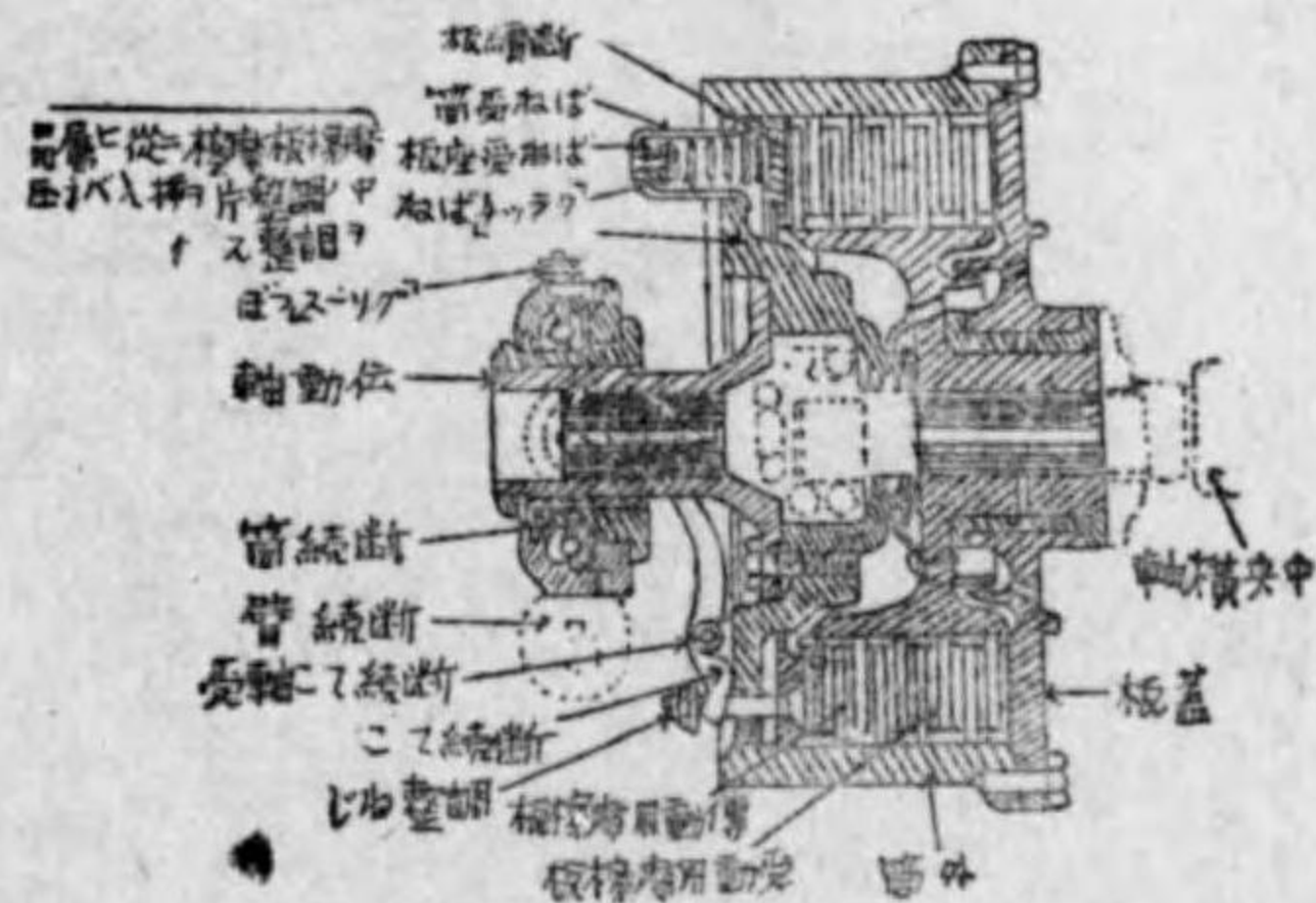
操向「クラッチ」ハ中央橫軸ヨリ「スプライン」ニ依リ操向「クラッチ」内筒ニ連結セラレ内筒、外筒間ニハ五枚ノ「ライニング」ヲ有スル傳動摩擦板、四枚ノ「ライニング」ヲ有セザル受動摩擦板ヲ介在ス 傳動板ニハ六箇ノばね受筒ヲ裝シ「クラッチ」ばねヲ收容シ三箇ノ斷續てこ受ヲ取附ケ斷續てこヲ裝著ス、傳動軸ハ六箇ノ「ボルト」ニ依リ傳動板ニ 構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

三四一

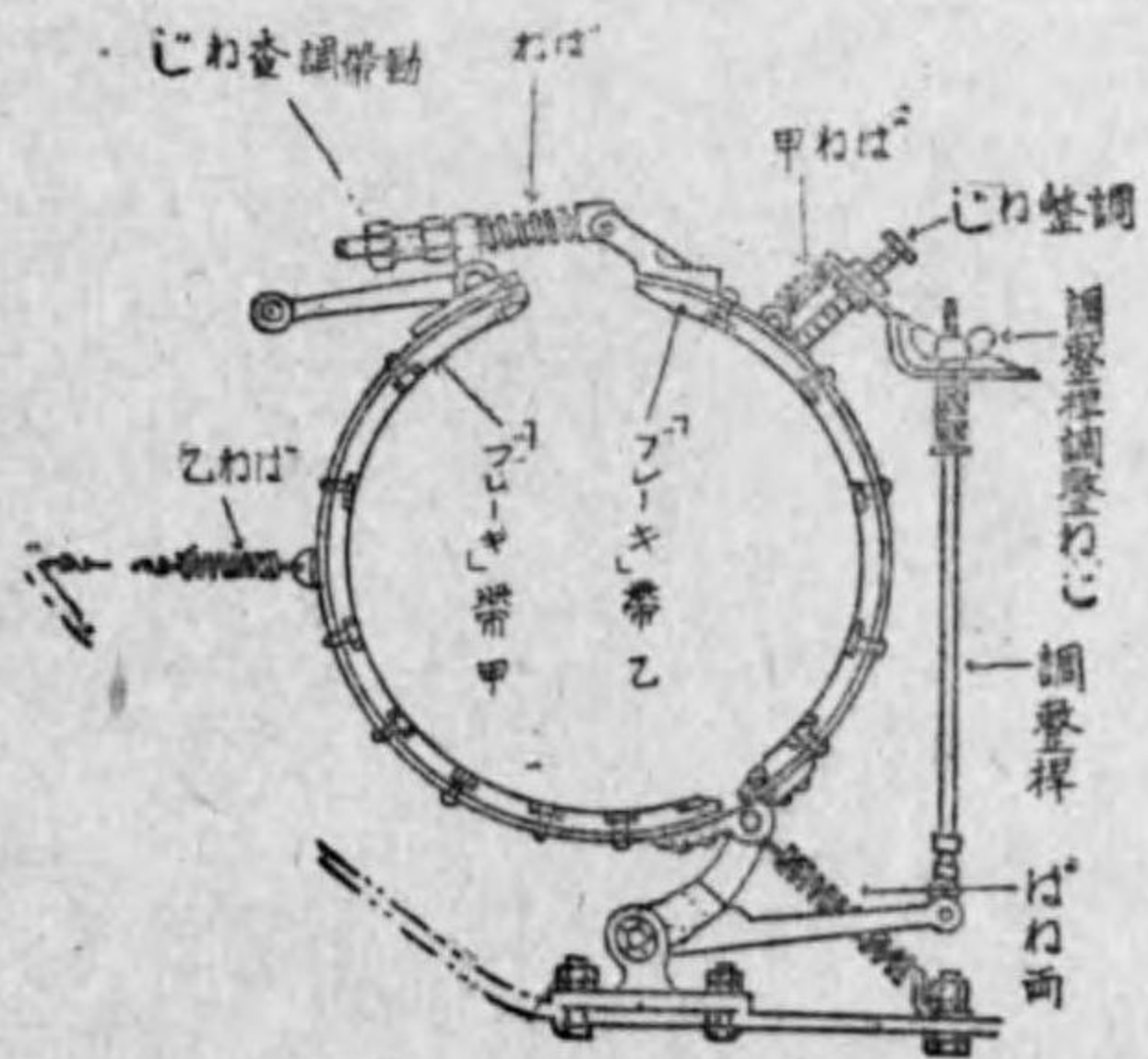
結合セラレ内外ニ「スプライン」ヲ切り内部ニハ横軸ヲ嵌合シ外部ニハ斷續筒ヲ嵌装ス其ノ構造第三百七十八圖ノ如シ

三四二

圖八十七百三第



圖九十七百三第



第五百四十三 操向「クラッチブレーキ」ハ甲乙二枚ノ「ブレーキ」及操向「クラッチ」外筒表面トヨリ成リ主「ブレーキ」ヲ兼ヌ操向機外筒ト「ブレーキ」帯トノ關係ハ調整ねじニヨリ前後ノ調整桿調整ねじニヨリテ底部ノ調整ヲ行ヒ得而シテ「ブレーキ」帯ガ外筒ニ觸レザル如クばね甲乙丙ニ依リテ三方ヨリ常ニ外方ニ引キ付ケラレアリ、緊定ノ調整ハ「ブレーキ」帯調整ねじニ依リ行フモノトシ外筒トノ間隙約一・一五耗ヲ適度トス

調整桿調整ねじニヨル調整ハ結合ノ場合適度ニ調整シアラバ常時ニ於テハ行ハレザルヲ可トス(第三百七十九圖)
第五百四十四 機能

本操向機ノ機能ハ一方ノ聯動ヲ斷テ左右起動輪ノ速比ヲ變ヘテ方向ヲ變換シ或ハ操向「クラッチブレーキ」ノ外筒ヲ制動(此ノ場合其ノ聯動ハ斷タル)シテ信地旋回ヲナスモノトス
「クラッチ」ノ機能ハ常時斷續板ばねニ依リ傳動、受動兩摩擦板ヲ壓著シ動力ハ内筒ヨリ摩擦板ヲ介シテ外筒、傳動板、傳動軸ニ傳達セラルルモ操向てこヲ引キ斷續筒ヲ一方ニ移動スルヤ斷續てこノ作用ニ依リ調整ねじヲ介シテ斷續板ハ反對方側ニ移動シ壓著ヲ解キ動力ノ傳動ヲ斷ツモノトス
操向「クラッチブレーキ」ハ更ニ操向てこヲ引ク事ニ依リテ作用ス

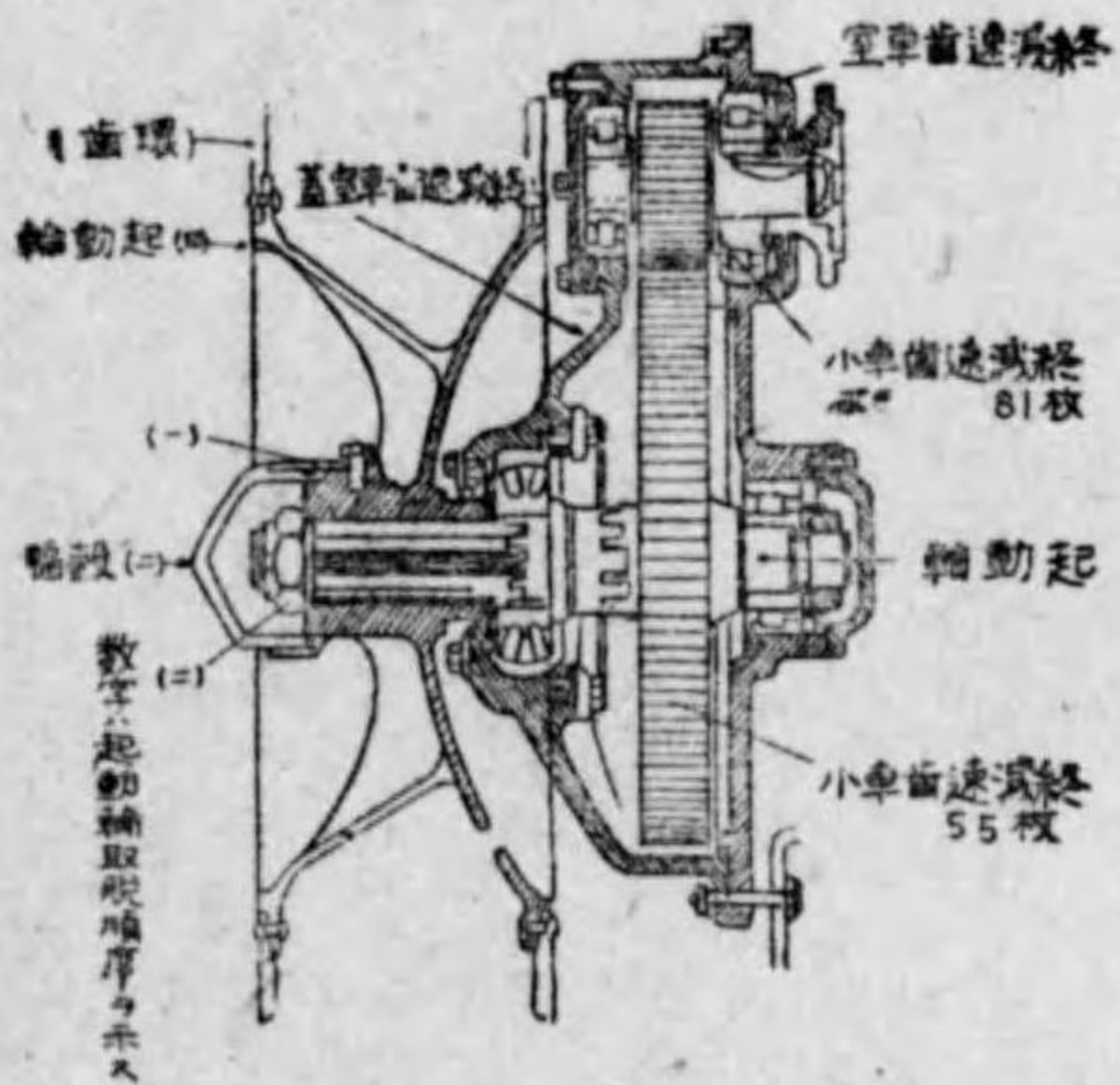
第五百四十五 調整

「クラッチ」ノ調整ハ「ブレーキ」帯ヲ弛メ操向てこヲ十分引キテ聯動ヲ斷テタル位置トシテ調整ねじ「ナット」ヲ弛メ斷續板ヲ壓著ノ位置ニ置キ然ル後斷續てこノ遊隙消滅シテヨリ調整ねじノ三箇ヲ一様ニ二回轉半螺入ス斷續筒ト斷續てこトノ間隙ハ三耗ヲ適當トス
「ブレーキ」帯ノ調整ハ操向てこヲ徐々ニ引キ斷續用「カム」第一段ノ急斜面ヘ起動臂(第六章參照ノコト)ガ將ニ乘リ上ゲテヨリ約一〇種引キタル時十分緊定スル如ク調整スルヲ適度トス
操向「クラッチ」ばね衰損シ滑リヲ生ズルニ至リタル時ハ屬品中ノ調整板ヲばね受坐板間ニ挿入スル事ニ依リばね壓ヲ増加セシム

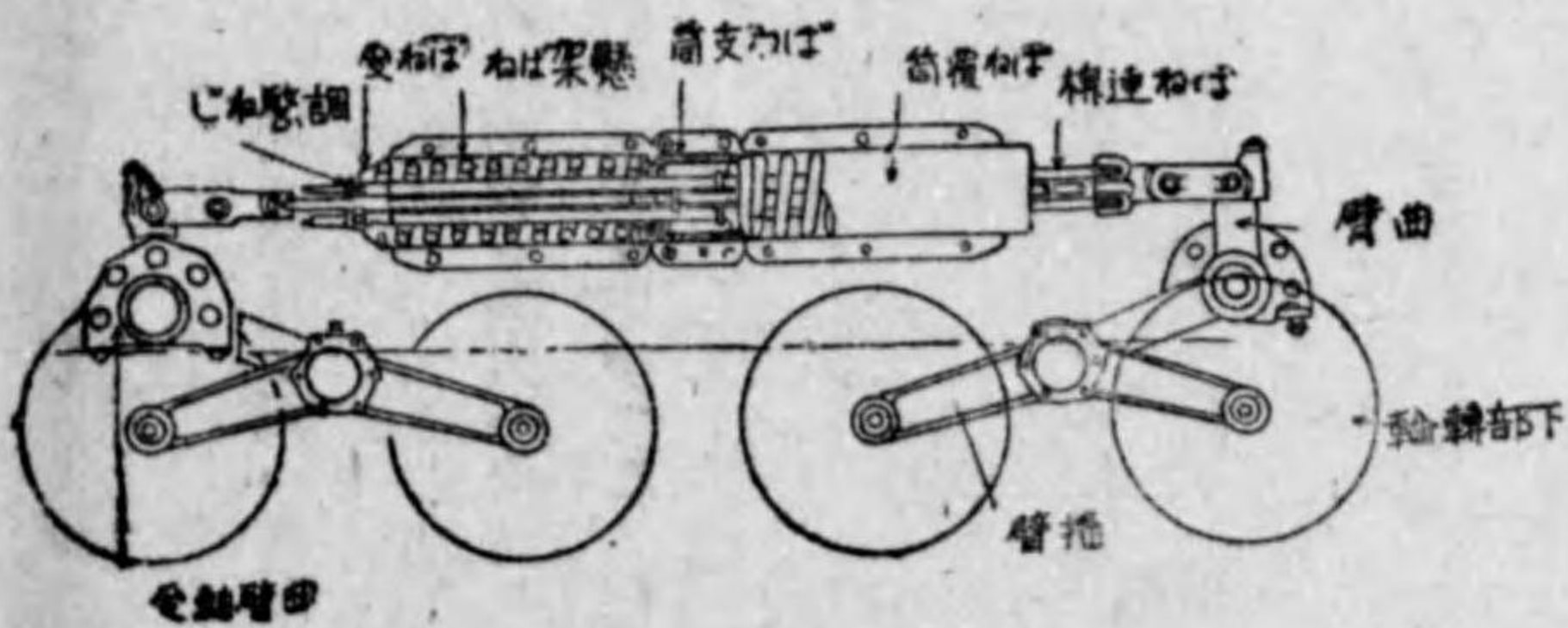
第六款 終減速裝置

第五百四十六 終減速裝置ハ車體最前方兩側板上ニ結合セラレ其ノ構造第三百八十圖ノ如シ

圖十八百三第



圖一十八百三第



第六節 懸架裝置

第五百四十七 懸架ばね及曲臂、搖臂等ノ關係ヲ示セバ第三百八十一圖ノ如シ

本裝置ハ結合ニ當リテ嚴密ナル調整ヲ實施シアルヲ以テ濫リニ操作セザルヲ要ス止ムヲ得ズシテ分解等ヲナシタル場合ハ豫メ附長ヲ崩サザル爲ニ連桿調整ねじノ螺入等ニ印ヲ附シ原状態ニ結合スルコト必要ナリ
無限軌道緊度ハ通常上部轉輪間ニ於テ四〇耗—五〇耗ヲ適度トス

第七節 無限軌道裝置

第五百四十八 無限軌道裝置ハ下部轉輪、上部轉輪、誘導輪及無限軌道ヨリ成ル

第一款 下部轉輪

第五百四十九 下部轉輪ハ複輪ニシテ總數八箇ヲ有シ搖臂ノ兩端ニ各一箇ヲ裝ス「タイヤ」ハ實體「ゴム」ニシテ著脱式ナリ(第三百八十二圖)

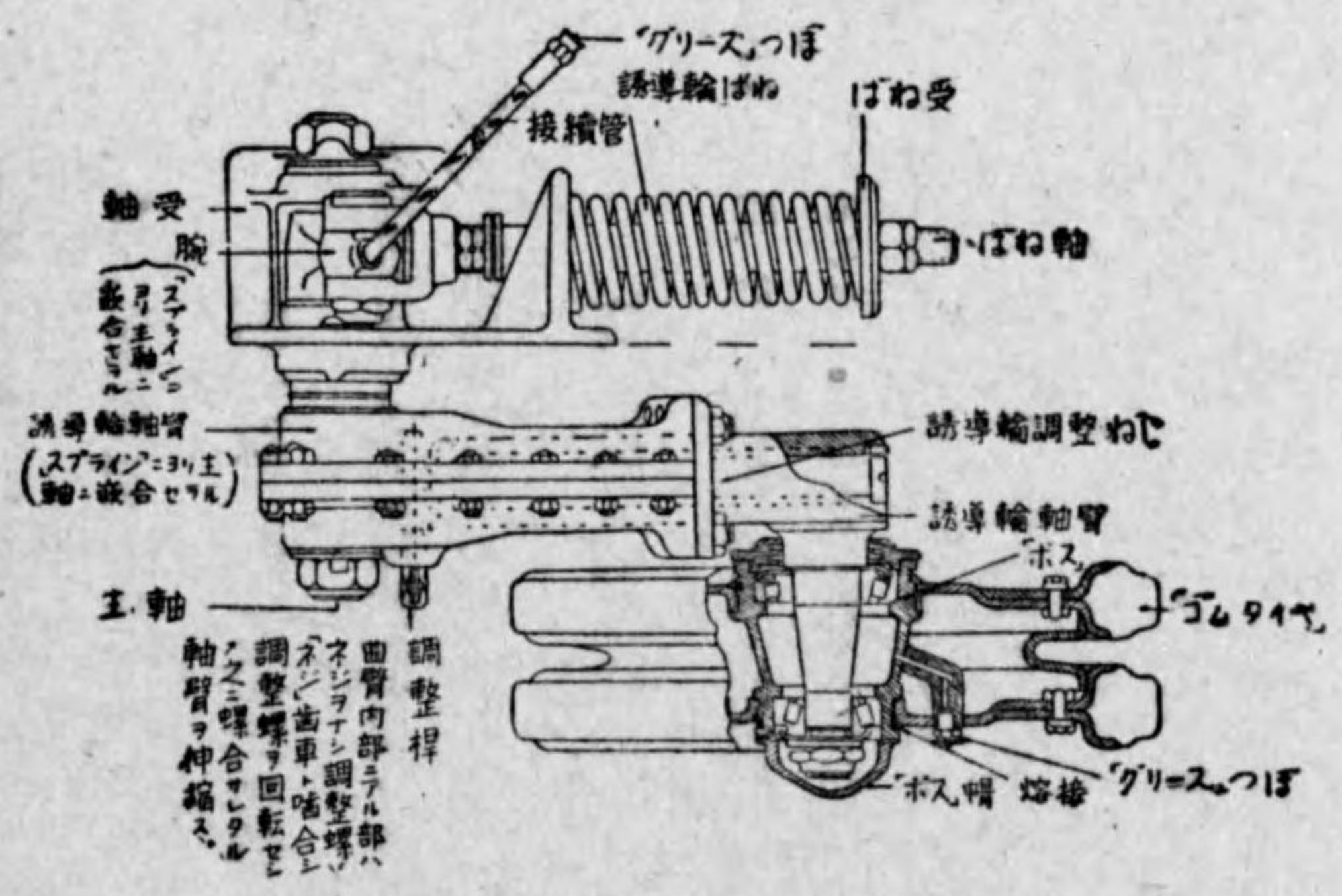
第二款 上部轉輪

第五百五十 上部轉輪モ亦複輪ニシテ總數四箇ヲ有ス「タイヤ」ハ實體「ゴム」ニシテ「ボス」ニ燒嵌メタルモノナリ(第三百八十三圖)

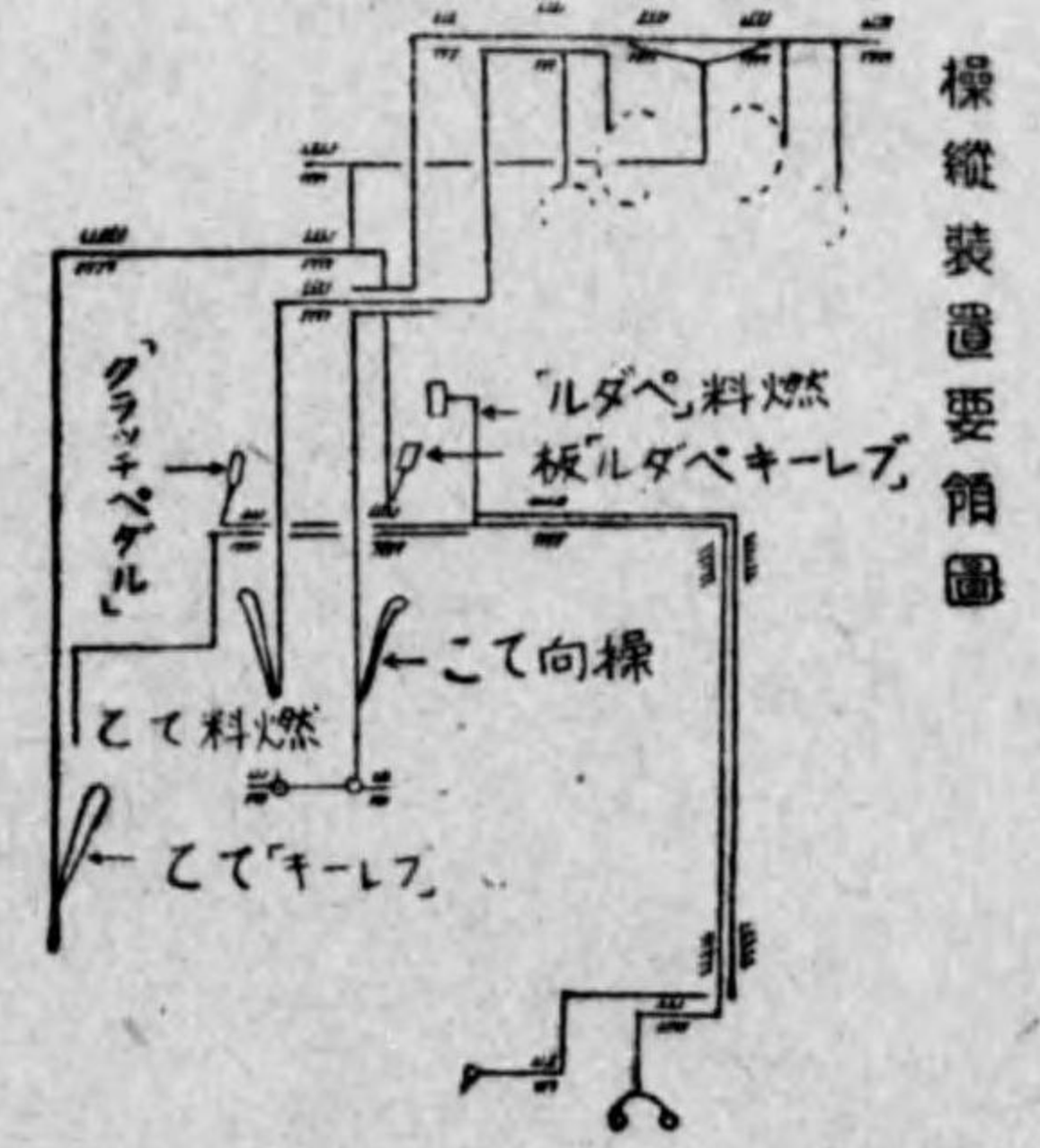
構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

軌板ハ中央誘導式ニシテ特殊鋼製ナリ
構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

圖四十八百三第

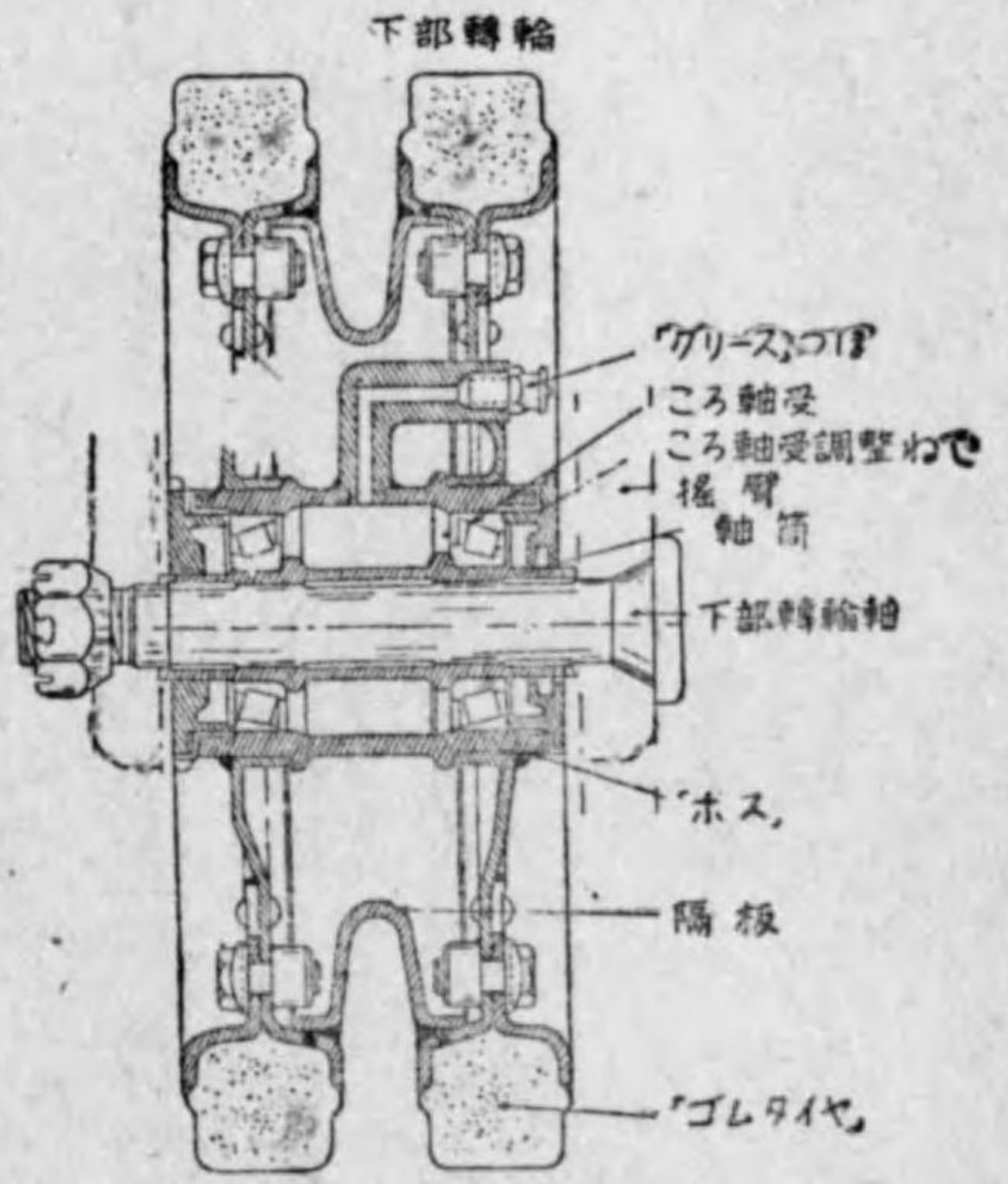


圖五十八百三第

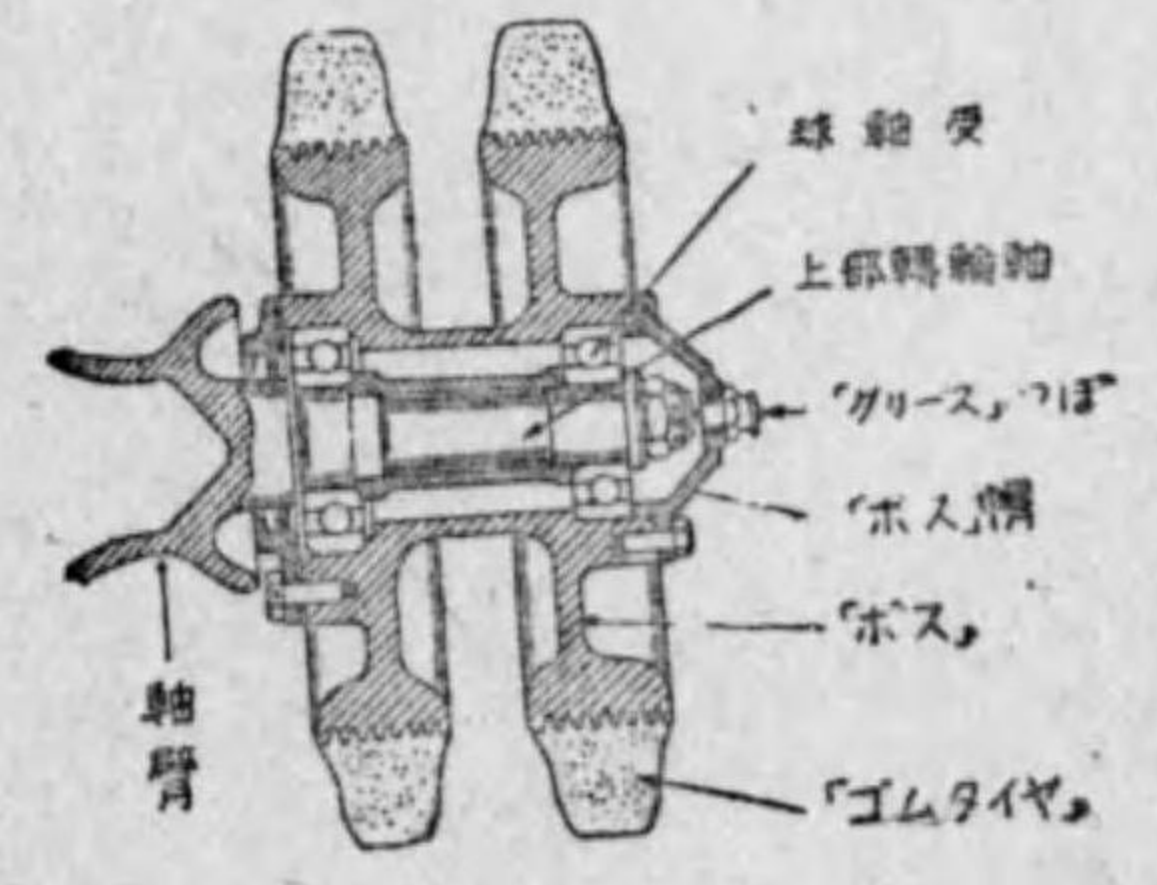


第五百五十二 無限軌道ハ片側ハ九八箇ノ軌板ヲ軸ヲ以テ環状ニ連絡ス

圖二十八百三第



圖三十八百三第



第三款 誘導輪

第五百五十一 誘導輪ハ車體後端ニ裝置セラレ曲臂、主軸、腕ヲ介シテ車體内部ニばねヲ裝置シ制衝作用ヲナシ曲臂ニハ調整桿、「ウォーム」齒車、調整ねじ等ヲ裝シ誘導輪臂ノ伸縮ニヨリ無限軌道ノ張度ヲ加減スル如クナシアリ其ノ構造ヲ示セバ第三百八十四圖ノ如シ

第四款 無限軌道

第八節 操縱裝置

第五百五十三 本裝置ハ發動機操縱裝置及車輛操縱裝置ヨリ成リ全般ノ要領第三百八十五圖ノ如シ

第一款 發動機操縱裝置

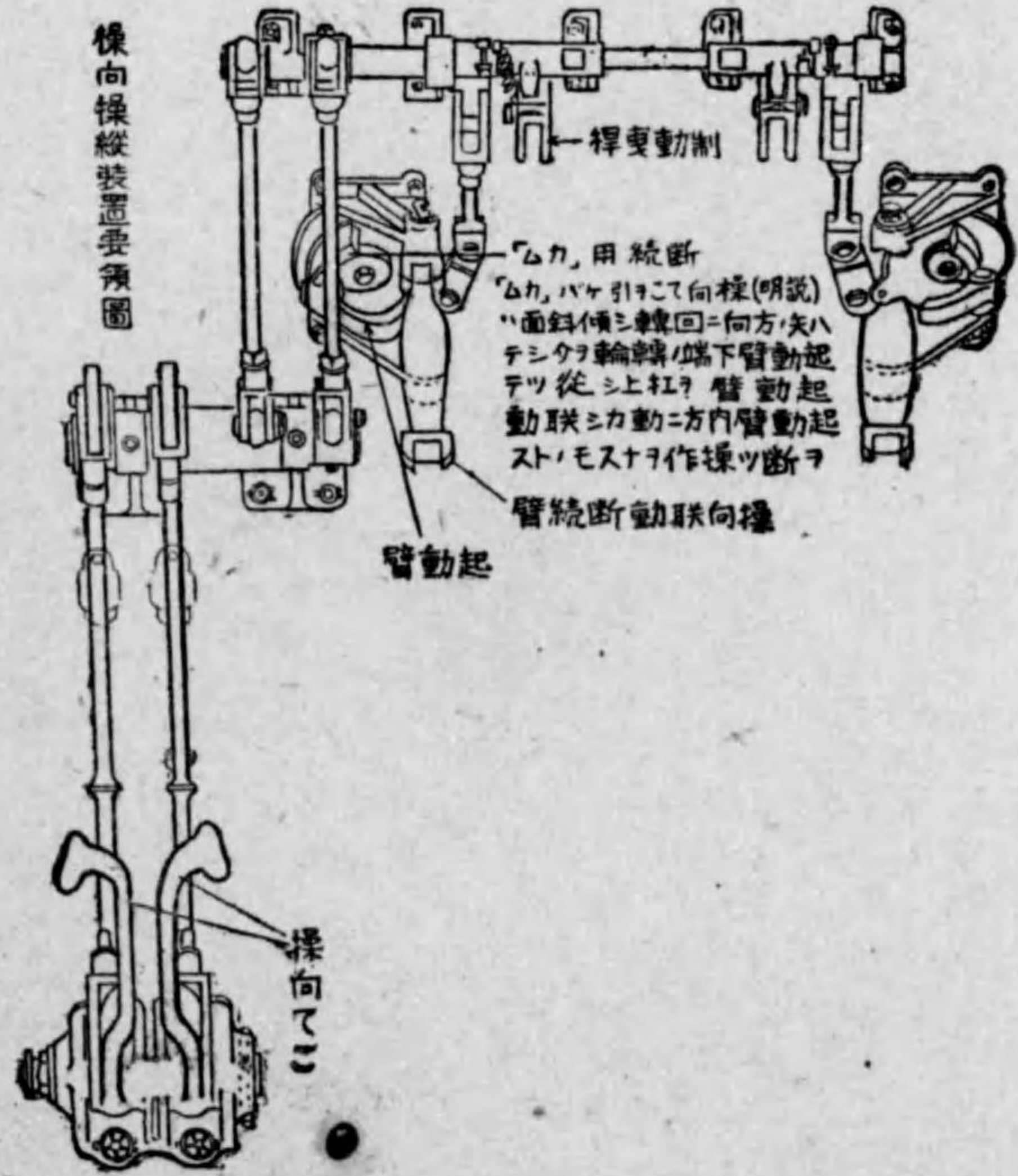
第五百五十四 操縱席左側ニアリテ燃料調整「ペダル」ト燃料調整「ハンドル」トアリ燃料調整「ハンドル」ハ齒弧及駐止ヲ有シ停止並ニ低速回轉ヲ制限スル際ニ使用スルモノトス

第二款 車輛操縱裝置

第五百五十五 聯動、制動、操向、變速ノ諸操縱裝置ヨリナリ聯動ハ「ペダル」ニヨリ制動ハ一系統ヨリ成ルテこ及「ペダル」ニヨリてこニヨリ諸てこヲ介シテ作用セラル

操向ハ操向制動、聯動相關聯セル作用ヲナスモノニシテ其ノ要領ハ第三百八十六圖ニ示ス如ク斷續用「カム」ヲ使用スルコトニヨリ行ハル本「カム」ハ傾斜ガ二段トナリ第一段ハ急傾斜第二段ハ緩傾斜ヲナス即チ第一段急傾斜ニテ聯動ヲ斷チ第二段ノ緩傾斜ニテ制動ヲナスモノニシテ操向てこヲ操作スルニ當リテハ第一段ハ輕ク第二段ハ強ク引ク事ニ依リ摩擦板ノ滑リヲ成ルベク少クシ發熱及摩擦ヲ少カラシムルヲ要ス

圖六十八百三第



構造機能並ニ取扱 九七式輕裝甲車

第十六章 九五式力作機

要 則

第五百五十六 九五式力作機ハ旋回容易ナル臂式起重機ヲ備ヘタル裝軌車輛ニシテ野外ニ於ケル重材料ノ取扱ニ使用スルモノトス其ノ諸元左ノ如シ

九五式力作機主要諸元表

全備重量	全長	全幅	全高	最低地上高	發動機樣式	發動機出力	捲揚臂長	乗員數	最高速度	超壕能力	攀登能力
七・八〇〇 斤	五・六二〇 米	二・〇〇〇 米	二・二八〇 米	〇・三〇〇 米	空冷式豎型四「衝程」六「シリンダ」揮發油機關 六〇馬力（標準回轉數每分一・六〇〇ニ於テ）	四・五〇〇 米	三名	三二・〇五 斤/時	一・五〇〇 米	三分ノ一	

構造機能並ニ取扱 九五式力作

潤滑油消費量	燃料消費量	潤滑油容量	燃料槽容量	捲揚機揚高	標準捲揚機容量	捲揚機捲揚半徑	旋轉半徑
--------	-------	-------	-------	-------	---------	---------	------

信地旋回
 約五〇米/分(發動機回轉數一六〇〇/分ニ對シ)
 四・二〇〇米(最大)
 一・五〇〇呎(旋回半徑三米方向注意)
 (懸品鈎高)約四・〇〇〇米(旋回半徑三米方向注意)
 主燃料油槽一二〇五、補助燃料油槽六〇五
 一二・五六
 一六立/每時(半垣路上)一六籽/時ニ對シ)
 〇・二二五/每時(半垣路上)一六籽/時ニ對シ)

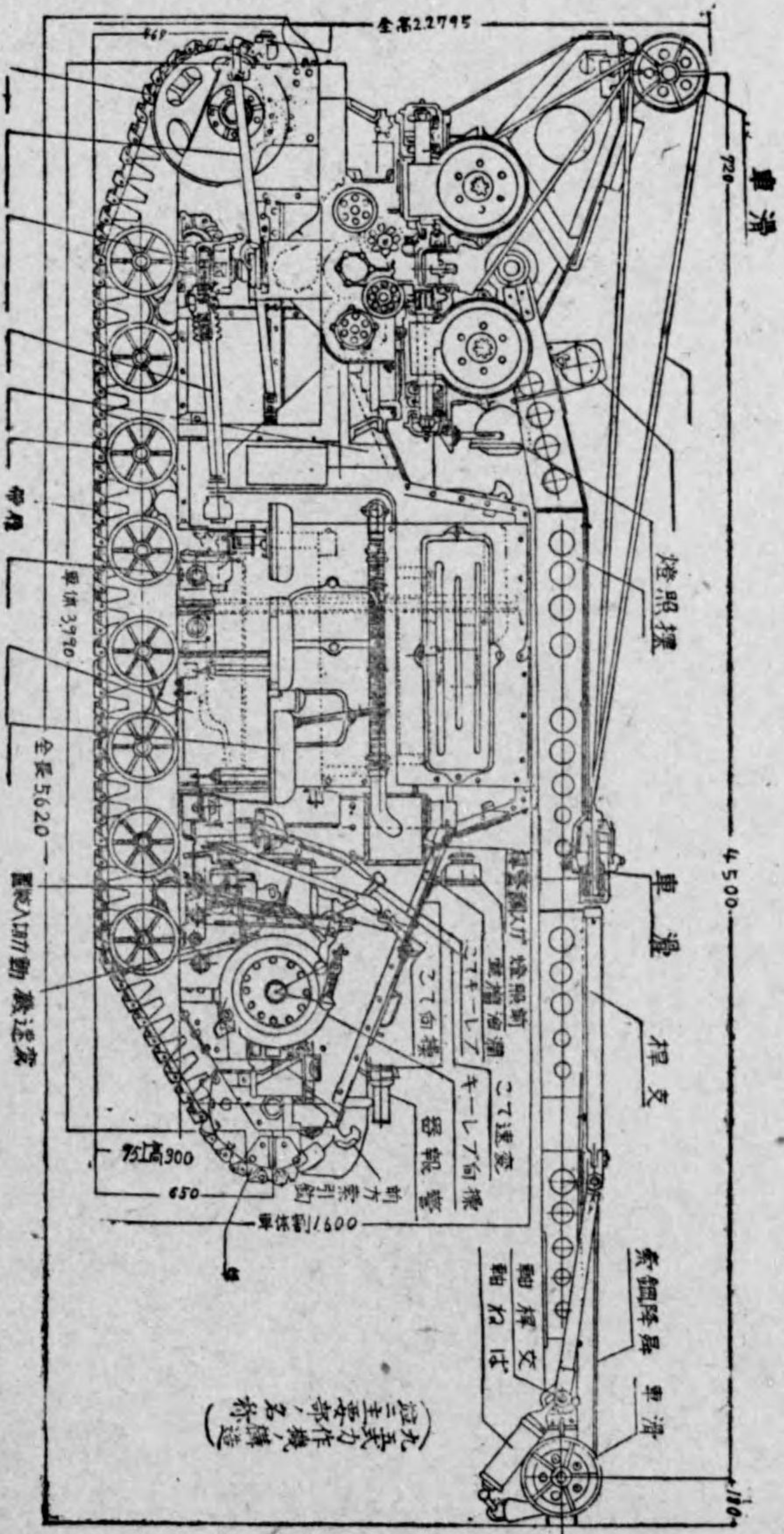
第一節 構造

第五百五十七 九五式力作機ノ構造並ニ主要部ノ名稱第三百八十七圖ノ如シ

第一款 發動機

第五百五十八 發動機ハ空冷式四衝程揮發油機關内ニシテ諸元左ノ如シ

圖七十八百三第



構造機能並ニ取扱 九五式力作機

發動機主要諸元表

「シリンドラ」配列及型式	頭上弁直立式
「シリンドラ」數	六
「シリンドラ」內徑	一〇二耗
行程	一二七耗
壓縮比	五
最大出力	八〇馬力(每分二、四〇〇回轉ニ於テ)
標準出力	六〇馬力(每分一、六〇〇回轉ニ於テ)
燃料消費量	二四立(每時標準出力)
潤滑油消費量	〇・二四立(前ニ同)
全重	約五五〇疋
全長	一、二六一耗
全高	一、〇〇〇耗
全幅	七六〇耗
全氣化器	下向通風式(日本氣化器D一三四型)
點火樣式	磁石發電機六「シリンドラ」用右回轉
起動電動機	一二「ボルト」二、五馬力右回轉
充電電動機	一二「ボルト」一三〇「ワット」右回轉
潤滑油「ポンプ」	強壓油二段齒車式給排油「ポンプ」

燃料「ポンプ」	「ダイヤフラム」式(日本氣化器AC-Z型)
點火順序	一—四—二—六—三—五(風車側ヨリノ順位)
弁開閉時期	吸開 上死點後 一五度 吸閉 下死點後 三〇度 排開 下死點前 三〇度 排閉 上死點後 二〇度

第五百五十九 發動機ノ構造第三百八十八圖ノ如シ

第二款 燃料裝置

第五百六十 燃料裝置ハ主補助燃料油槽、燃料管裝置、燃料「ポンプ」量計尺ヨリ成リ燃料系統第三百八十九圖ノ如シ

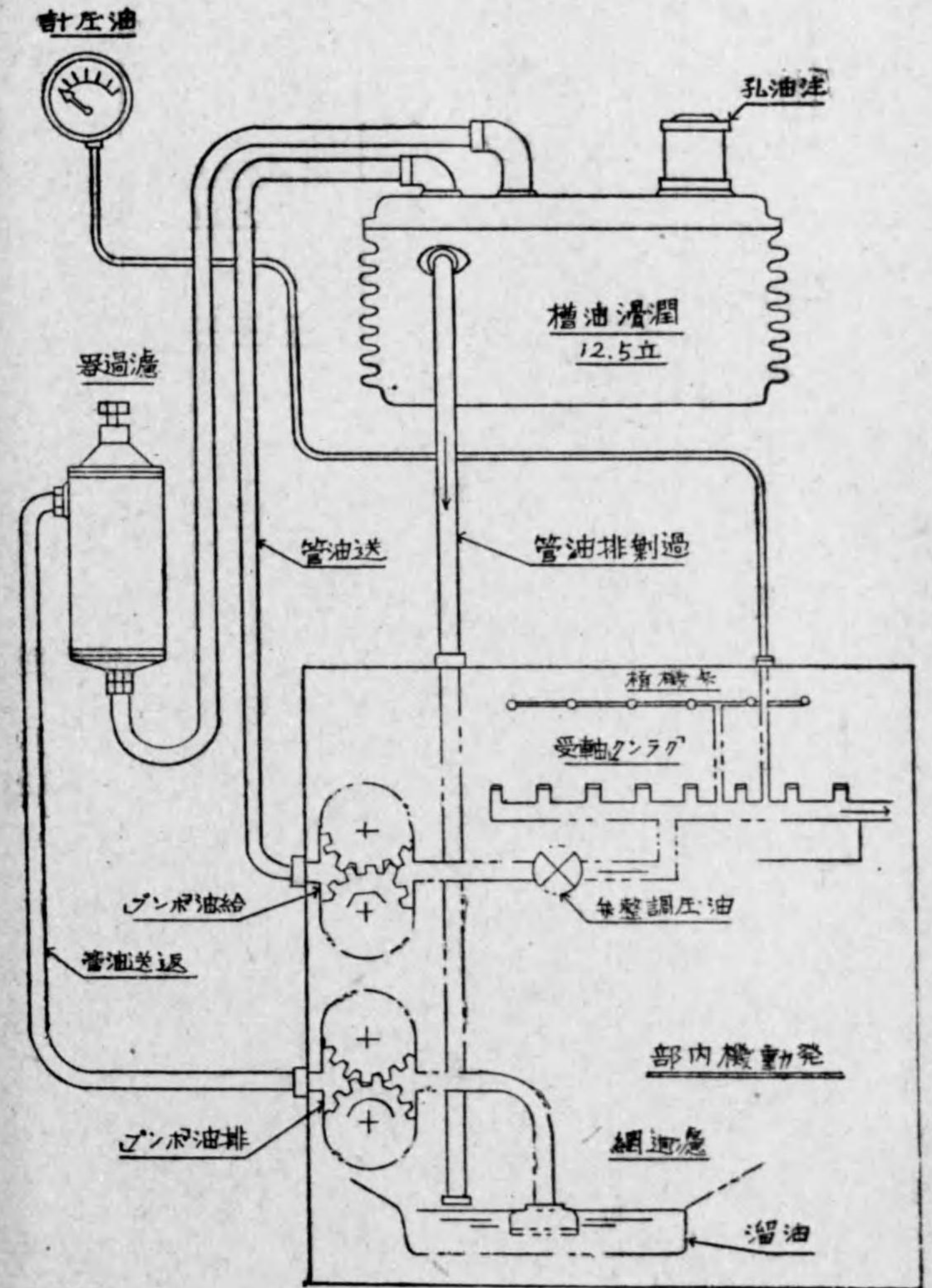
第三款 配油裝置

第五百六十一 配油裝置ハ潤滑油桿、量計尺、濾過器、潤滑油冷却裝置配油管裝置油壓計ヨリ成リ其ノ潤滑油系統第三百九十圖ノ如シ

第四款 電氣裝置

構造機能並ニ取扱 九五式力作機

圖十九百三第



第五百六十二 電氣裝置ハ充電用發電機、蓄電池、電燈裝置、信號裝置、配線裝置、「スイッチ」及電流計等ヨリ成ル
電氣裝置配線要領第三百九十一圖ノ如シ

第五百六十三 信號裝置ハ車内操縦手ト車外起重機操縦手トノ連絡ニ用フルモノニシテ起重機操縦臺上ニ發信器ヲ取
附ケ車内運轉手右側ニ受信機ヲ有シ赤色表示灯ノ點灯ト報知器ノ電鈴ニヨリ信號ヲナス發信器ト受信器トハ回轉盤
下方ニ裝置セル導電管ト接觸手トニ依リ回轉盤ノ旋回ニカカハラズ兩者間ハ接續ス
電氣裝置配線ハ單線式ニシテ電線ノ各端末ニハ番號ヲ附シテ識別ヲ容易ナラシム

第五款 動力傳動裝置

第五四六十四 動力傳動裝置ハ機關回轉力ヲ起動輪ニ傳達スル裝置ニシテ「クラッチ」傳動機、變速機操向「クラッチ」、
終減速裝置ヨリ成ル(第三百九十二圖)

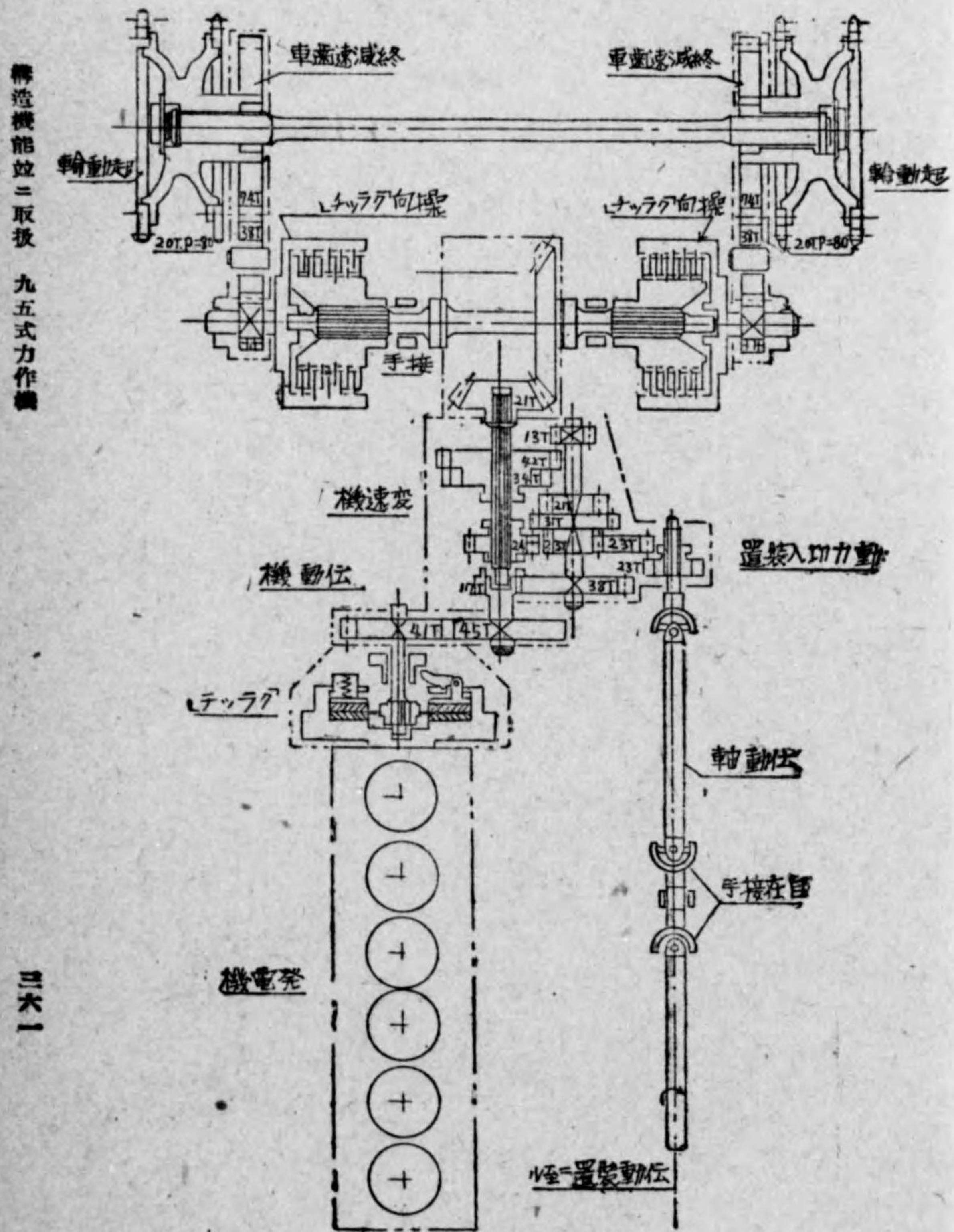
第六款 起重機傳動裝置

第五百六十五 起重機傳動裝置ハ變速機ヨリ回轉力ヲ起重機各裝置ニ傳達スルモノニシテ動力切入裝置、傳動機、正
逆轉機、「クラッチ」、「ブレーキ」、昇降機、捲揚柱俯仰機、回轉盤旋回機等ヨリ成ル(第三百九十三圖)

第七款 起重機用「クラッチ」操縦機及起重機「ブレーキ」操縦機

第五百六十六 起重機「クラッチ」操縦機ハ回轉臺上ニ取附ケラレ昇降機、回轉盤旋回機、捲揚柱俯仰機ノ各「クラッ
機造機能並ニ取扱 九五式力作機

圖二十九百三第

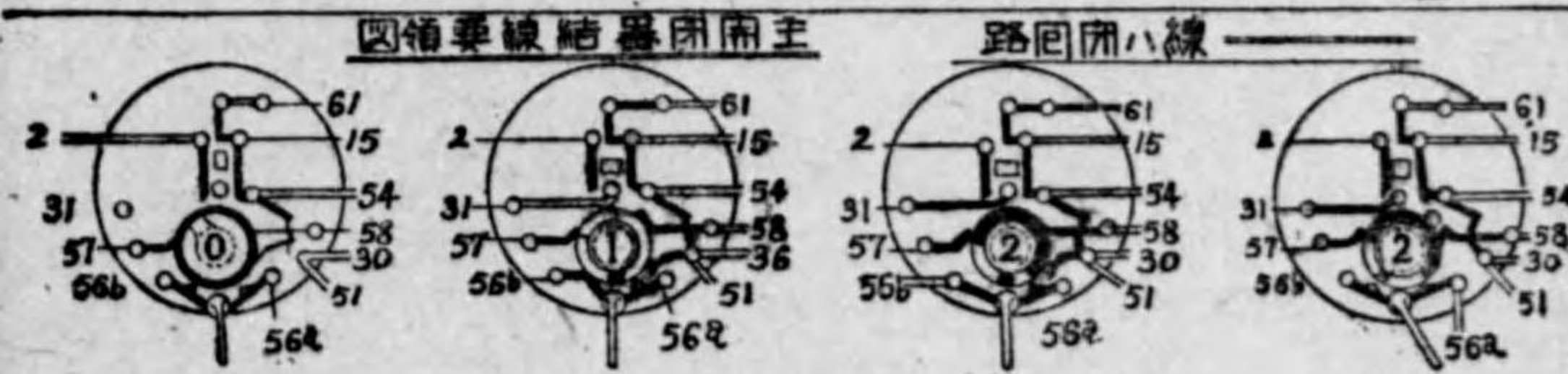
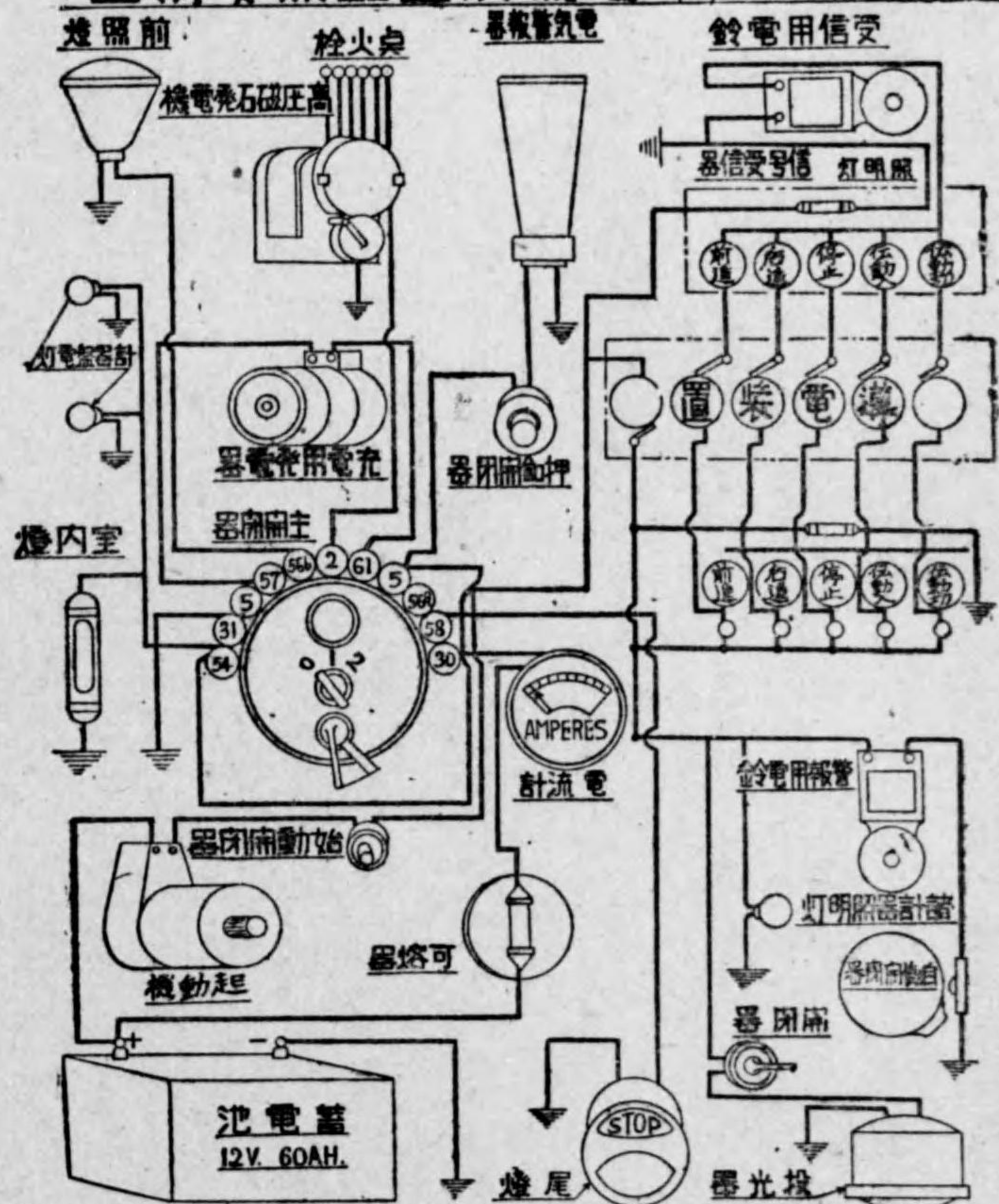


構造機能並ニ取扱 九五式力作機

三六一

圖一十九百三第

圖領要線配置装無電 | 三十第圖附



三六〇

起重機
操縱手席

降 ↑切 ↓昇…………昇降機
左旋回↑切↑右旋回…………回轉盤旋回機
俯 ↑切↑仰…………卷揚柱俯仰機

第五百六十八 起重機「ブレーキ」操縱機ハ回轉臺上ニ取附ケラレ「クラッチ」操縱機前方ニ位置シ昇降機、回轉盤旋回機及捲揚柱俯仰機ノ各「ブレーキ」ニ作用シ急停止ヲ掌ル

第八款 起重機用諸計器

第五百六十九 起重機用諸計器ハ回轉盤上回轉枠組及捲揚柱ニ裝置サレ車體傾斜角指示計、捲揚柱安全裝置、捲揚柱旋回半徑指示計、懸吊重量指示計ヨリ成ル(第三百九十七圖)

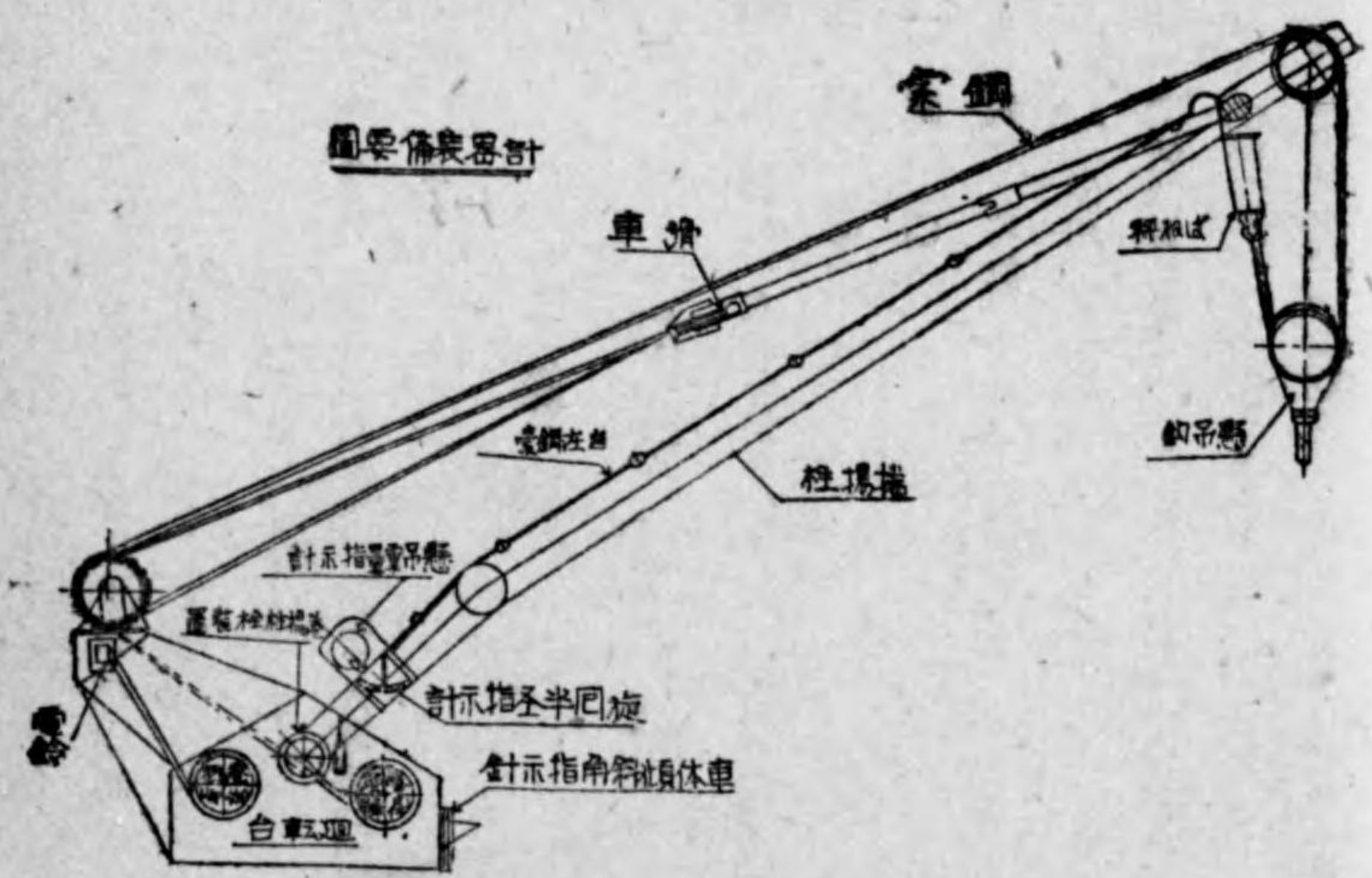
第五百七十 車體傾斜角指示計ハ起重機使用ノ際車體ノ左右ノ傾斜ヲ指示スルモノナリ(第三百九十八圖)

第五百七十一 捲揚安全裝置ハ捲揚柱ノ過度ノ直立ヲ防止シ之ガ一定角度ニ達セントスル直前電鈴ノ警報ニヨリ危險ヲ報告スルモノナリ(第三百九十八圖)

第五百七十二 捲揚柱旋回半徑指示計ハ捲揚柱ノ俯仰傾斜ニ對シ懸吊物中心ト柱中心トノ距離即チ旋回半徑ヲ指示スルモノナリ(第三百九十八圖)

懸吊重量指示計ハ起重機使用ニ際シ操縱手ガ其ノ席ニ於テ懸吊スベキ荷重ヲ自動的ニ知ル裝置ナリ(第三百九十八圖)
第五百七十三 指示重量範圍及許容旋回半徑左ノ如シ

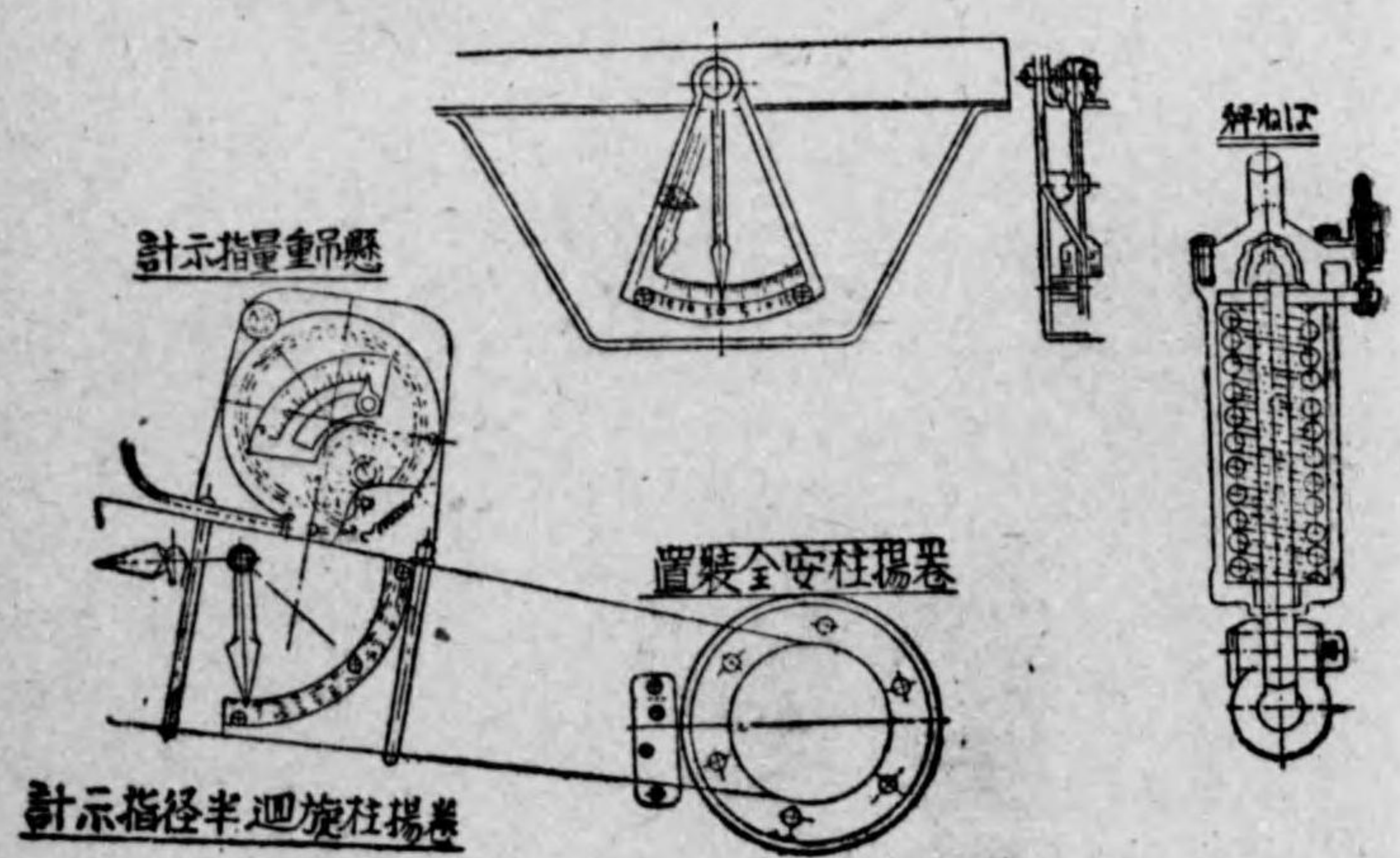
圖七十九百三第



構造機能並ニ取扱 九五式力作機

圖八十九百三第

計示指角斜傾体電



三六七

指示重量範圍

- 二、〇〇呎……………二・二五米
- 一、五〇〇呎……………三・〇〇米
- 一、〇〇〇呎……………四・〇〇米
- 〇、五〇〇呎……………四・二五米

第五百七十四 懸吊ニ際シテハ各重量ニ對スル許容旋回半徑ヲ超ユルコトハ絕對ニ許サズ若シ之ニ反スル時ハ車輛ノ顛覆ヲ惹起スルコトアリ

第二節 取扱

第一款 點檢

第五百七十五 點檢ハ左記要領ニ依リ其ノ順位ハ左ノ通りトス

- 第一視 ◎
- 第二視 ○
- 第三視 符號ナキモノ

第五百七十六 使用前ノ點檢

- 一 燃料油量ヲ點檢シ使用時間ニ對シ十分ナル如ク準備ス
- 二 燃料「タンク」所要「コック」ヲ開キ燃料ノ漏出箇所ナキヲ檢ス
- ◎ 三 「クラッチ」ノ斷續筒ト斷續てこトノ間隙適當ナルヤ

- ◎ 四 「クランク」室滑油ガ取替走行杆ニ達セルヤ否ヤヲ調査ス
- ◎ 五 「クランク」室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 六 傳動齒車室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 七 變速機滑油量ヲ檢ス
- ◎ 八 減速齒車室油量ヲ檢ス
- ◎ 九 橫軸自依接手ニ給脂ス
- ◎ 一〇 橫軸、球軸受室ニ給脂ス
- ◎ 一一 起動齒車室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 一二 起重機傳動裝置傳動軸自在接手ニ給脂ス
- ◎ 一三 傳動軸中部軸受ニ給脂ス
- ◎ 一四 起重機齒車室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 一五 正逆轉機室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 一六 起重機「クラッチ」ノ斷續間隙ノ適當ナルヤヲ檢ス
- ◎ 一七 起重機「ブレーキ」ト「ブレーキ」車トノ間隙適當ナルヤヲ檢ス
- ◎ 一八 昇降機齒車室ノ滑油量ヲ檢ス
- ◎ 一九 昇降機齒車室ノ軸受部ヲ給脂ス
- ◎ 二〇 捲揚柱、俯仰機齒車室ノ滑油量ヲ檢ス

構造機能並ニ取扱 九五式力作機

- ◎二一 捲揚柱、俯仰機齒車室ノ軸受部ニ給脂ス
- ◎二二 捲揚柱下方軸受部ニ給脂ス
- ◎二三 諸滑車軸受部ニ給脂ス
- 二四 點火栓ノ電纜ノ接続ニ弛ミナキヤ
- 二五 正逆轉機下方ニ裝置セル信號器用導電環ノ接觸良好ナルヤヲ檢ス
- 二六 配油管接手ニ弛ミナキヤヲ檢ス
- ◎二七 鋼索ニ損傷ナキヤヲ檢ス
- ◎二八 起重機「クラツチ」操縱機てこガ「切」ノ位置ニ駐止セルヤヲ檢ス
- ◎二九 各部締附及操縱裝置ノてこ及連桿ノ取附部ニ緩解ナキヤヲ檢ス
特ニ操向「クラツチ」及「ブレーキ」ノてこ軸栓ノ割「ピン」ノ脱落セルモノナキヤヲ檢ス
- ◎三〇 動力切入裝置ノてこガ「切」ノ位置ニ駐止セルヤヲ檢ス
- ◎三一 上下部轉輪及搖臂ノ破損及締付ノ弛ミナキヤヲ檢ス
- ◎三二 上下部轉輪及搖臂誘導輪軸ニ注脂ス
- ◎三三 無限軌道ノ變歪龜裂同軸ノ切損及駐銕ノ弛ミ又ハ脱落セルモノナキヤヲ檢ス
- ◎三四 懸架「ばね」駐止裝置ノ完全ニ外レ居ルヤヲ檢ス
- 三五 無限軌道ノ緊張度適當ナルヤヲ檢ス
- ◎三六 卷揚柱ノ緊定確實ナルヤヲ檢ス

◎三七 消火器ノ液量充實シ有ルヤヲ中檢ス

- 三八 車内ニ漏出セル滑油燃料及水等ヲ良ク清掃シ火災豫防並ニ故障ノ發見ニ便ナラシム
- 三九 機關冷却風吸込蓋板ヲ全開位置ニ置タ、但シ酷寒時ニ於テハ之ヲ半開ス

吸込風胴上ノ蓋板ハ夏季ニ在リテハ室内ノ換氣ヲ適當ナラシムル如ク適度ニ開放シ冬季ハ全閉ス

◎四〇 電鍵ヲ押入シ警報器照明燈信號器ヲ檢ス

- 四一 操縱裝置ノ機能ヲ檢ス
- 四二 酷寒季ニ使用スル場合ニ在リテハ左ノ事項ニ附キ注意スベシ
 - (イ) 冷却風吸込風胴上ノ蓋板ヲ閉鎖シ以テ車内ノ保温ヲ行フベシ
 - (ロ) 使用ニ先ダチ車内ニ適當ナル保温裝置ニヨリ適度ノ溫度ニ上昇セシメ諸裝置滑油ノ濃度ヲ適當ナラシム又起動輪軸受室、誘導輪軸受室、上下部轉輪軸受室、橫軸自在接手及起重機傳動裝置、諸齒車室軸受等ノ脂油ノ凝固ヲ解キ以テ軸受等ノ破損ヲ防止スベシ

第五百七十七 使用後ノ點檢

- ◎一 軌板ノ變歪龜裂軌板面ノ切損及駐銕ノ弛ミ或ハ脱落セルモノナキヤヲ檢ス
- ◎二 懸架裝置ノ注脂器ノ脱落セルモノナキヤヲ檢ス
- ◎三 急坂路、或ハ不齊地運行後ニ於テハ「クラツチ」摩擦面ノ滑油ニテ濕潤シアラザルヤヲ檢ス
若シ濕潤シアルトキハ其ノ却冷ヲ待チテ摩擦面ニ少量ノ揮發油ヲ注ギ之ヲ清拭スベシ其ノ高温時之ヲ行フトキハ火災ヲ感起スル虞アルヲ以テ特ニ注意ヲ要ス

構造機能並ニ取扱 九五式力作機

- 四 卷揚柱ノ緊定確實ナルヤヲ檢ス
- 五 鋼索ノ正シク張ラレ居ルヤヲ檢ス
- 六 起重機「クラッチ」てこガ正シク中立ノ位置ニ駐止セルヤヲ檢ス
- 七 空氣清淨器氣化器濾網ハ時々洗淨スベシ

第二款 給脂油

第五百七十八 給脂油箇所、時期及脂油ノ種類左ノ如シ

給脂油部名稱	箇數	脂油ノ種類	給脂油時期	摘要
一 「クランク」室	一	「モビール」	夏期 約一、五〇〇斤 冬期 約二、〇〇〇斤 ニテ新油ト交換	毎日點檢油桿ノ刻線最高最低ノ中間迄充タス
二 脚動機摺動機	一	軟「グリース」	二日毎(約三〇〇斤)	毎日點檢
三 傳動機	一	齒車油	毎日二、五〇〇斤ニテ新油ト交換	毎日點檢油桿ノ刻線最高最低ノ中間迄充タス
四 變速機	一	同	同	同
五 減速齒車室	一	同	同	同
六 起動輪齒車室	二	同	同	同

七 橫動自在接手	二	軟「グリース」	二日毎(約三〇〇斤)	
八 起重機傳動軸自在接手	四	同	起重機運轉二十四時間毎ニ	
九 起重機傳動軸中部軸受	一	同	起重機運轉十二時間毎ニ	
一〇 起重機傳動機	一	齒車油	起重機運轉二十四時間毎ニ	
一一 正逆轉機	三	同	同	
一二 起重機用「クラッチ」	三	軟「グリース」	同	
一三 昇降機	一	齒車油	起重機運轉十二時間毎ニ	
一四 同	二	軟「グリース」	同	
一五 卷揚柱俯仰機	一	齒車油	同	
一六 卷揚栓俯仰機	二	軟「グリース」	同	
一七 捲揚柱	二	同	同	
一八 諸滑車	三	同	同	
一九 回轉盤球受座	一	同	必要ニ應ジ	
二〇 下部轉輪	二四	同	二日毎(約三〇〇斤)	
二一 懸架裝置「クラッチ」軸受	一三	同	同	

構造機能並ニ取扱・九五式力作機

